

十和田市
子ども・子育て支援事業計画策定に
係るニーズ調査

－調査結果報告書－

令和7年1月

十和田市

目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査内容	1
3	調査対象、調査方法及び回収状況	2
4	調査結果の見方	2
II	調査結果（就学前児童の保護者向け）	3
1	お住まいの地域について	3
2	子どもと家族の状況について	4
(1)	子どもの年齢	4
(2)	きょうだいの人数・末子の年齢	5
(3)	回答者	6
(4)	回答者の配偶関係	6
(5)	主に子育てを行っている人	7
3	子育てをめぐる環境について	8
(1)	子育てに日常的に関わっている人・施設	8
(2)	子育てにもっとも影響すると思われる環境	8
(3)	日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無	9
(4)	祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況	9
(5)	友人・知人に子どもをみてもらっている状況	10
(6)	気軽に相談できる人・場所の有無	10
(7)	子育てに関して気軽に相談したり情報を得られる人・場所	11
4	児童虐待やヤングケアラーについて	12
(1)	「児童虐待」の通告先について知っている場所	12
(2)	「虐待の疑いがあると思う」場合でも連絡できることに対する認知度	12
(3)	通告者への配慮に対する認知度	13
(4)	「ヤングケアラー」の認知度	13
5	保護者の就労状況について	14
(1)	就労状況	14
(2)	就労日数・時間	16
(3)	出発時間・帰宅時間	18
(4)	フルタイムへの転換希望	20
(5)	就労希望	21
6	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	23
(1)	定期的な教育・保育事業の利用状況	23
(2)	平日定期的に利用している教育・保育事業／利用したい事業	24
(3)	平日定期的に利用している事業の利用状況	25
(4)	利用している教育・保育事業の実施場所／希望の実施場所	27

(5) 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由	28
(6) 定期的な教育・保育事業を利用していない理由	29
(7) こども誰でも通園制度の利用希望	30
(8) 特に幼稚園の利用を希望するか	32
(9) 施設選択の際に重視した点・重視したい点	33
(10) 子どもを通わせる施設に求めること	34
7 地域の子育て支援拠点事業の利用状況について	35
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	35
(2) 地域子育て支援拠点事業の利用希望	36
(3) 十和田市の子育て支援サービスについて	37
(4) 今後利用したいと思わない理由	39
8 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について.....	40
(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	40
(2) 土曜日・休日にたまに利用したい（毎週ではない）理由	43
(3) 長期休業中の教育・保育事業の利用希望	44
(4) 長期休業中にたまに利用したい（毎日ではない）理由	46
9 病気の際の対応について	47
(1) 子どもが病気やケガで事業を利用できなかったことの有無	47
(2) 事業が利用できなかった際の対応	48
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望	50
(4) 病児・病後児保育施設等を利用する場合の望ましい事業形態.....	51
(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	52
(6) 仕事を休んで看たいと思ったか	53
(7) 休んで看ることが難しいと思う理由	54
10 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	55
(1) 不定期に利用している事業	55
(2) 不定期の事業を利用していない主な理由	56
(3) 私用・親の通院・不定期の就労等の目的での事業の利用希望.....	57
(4) 私用・親の通院・不定期の就労等の目的で子どもを預ける場合の望ましい 事業形態....	59
(5) 短期入所生活援助事業の利用希望	60
11 小学校就学後の放課後の過ごし方について	61
(1) 小学校低学年の放課後に過ごさせたい場所	61
(2) 小学校高学年の放課後に過ごさせたい場所	63
(3) 休日の放課後児童クラブの利用希望	65
(4) 長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望	68
12 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	70
(1) 育児休業の取得状況	70
(2) 育児休業取得後の職場復帰状況	73
(3) 職場復帰と入所タイミングを合わせたか	74

(4) 育児休業の取得期間	75
(5) 3歳まで休暇取得できる制度があった場合の希望期間	76
(6) 職場復帰が希望時期と異なっていた理由	77
(7) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況	79
(8) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	80
(9) 子どもを1歳で預けられる事業がある場合の希望	81
(10) 育児休業給付・保険料免除の仕組みを知っていたか	82
13 子育て環境全般について	83
(1) 十和田市における子育て環境や支援への満足度	83
(2) 市の子育て環境充実のため、特に重要だと思うこと	84
(3) 子育て環境・支援に関する意見	85
III 調査結果（小学生の保護者向け）	88
1 お住まいの地域について	88
2 子どもと家族の状況について	89
(1) 子どもの年齢	89
(2) きょうだいの人数・末子の年齢	90
(3) 回答者	91
(4) 回答者の配偶関係	91
(5) 主に子育てを行っている人	92
3 子育てをめぐる環境について	93
(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設	93
(2) 子育てにもっとも影響すると思われる環境	94
(3) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無	94
(4) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況	95
(5) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況	96
(6) 気軽に相談できる人・場所の有無	96
(7) 子育てに関して気軽に相談できる先	97
4 児童虐待やヤングケアラーについて	98
(1) 「児童虐待」の通告先について知っている場所	98
(2) 「児童虐待の疑いがあると思う」場合でも連絡できることに対する認知度	98
(3) 通告者への配慮に対する認知度	99
(4) 「ヤングケアラー」の認知度	99
5 保護者の就労状況について	100
(1) 就労状況	100
(2) 就労日数・時間	102
(3) 出発時間・帰宅時間	104
(4) フルタイムへの転換希望	106
(5) 就労希望	107
6 病気の際の対応について	109

(1) 子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無.....	109
(2) 学校を休んだ際の対応	110
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望	112
(4) 病児・病後児保育施設等を利用する場合の望ましい事業形態.....	113
(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない主な理由	114
(6) 仕事を休んで看たいと思ったか	115
(7) 休んで看ることが難しいと思う理由	116
(8) 十和田市の子育て支援サービスについて	117
7 放課後の過ごし方について	119
(1) 平日の放課後の過ごし方	119
(2) 放課後の時間を過ごさせたい場所	120
(3) 高学年になったら放課後の時間を過ごさせたい場所	122
(4) 休日の放課後児童クラブの利用希望	124
(5) 長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望	127
8 子育て環境全般について	129
(1) 子育て環境や支援への満足度	129
(2) 市の子育て環境充実のため、重要だと思うこと	130
(3) 子育て環境・支援に関する意見	131
IV ニーズ調査の結果から見た現状と課題.....	134
V 資料編.....	136
(1) 就学前児童の保護者向け調査票	136
(2) 小学生の保護者向け調査票	161

I 調査概要

1 調査の目的

市では幼児期の学校教育・保育や地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため、「第二期十和田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき各種子育て支援事業を実施している。本調査は、第三期計画の策定に向けての基礎資料収集のため、子育て支援に関する動向や要望を把握するとともに、子ども・子育て支援における現状と課題を整理することを目的として保護者向けのニーズ調査を実施した。

2 調査内容

国が示す標準的な調査項目を基本としつつ、十和田市子ども・子育て支援事業計画策定に当たって、新たな課題や施策へのニーズを把握するため、以下の内容についてアンケート調査を実施した。

入学前児童の保護者向け	小学生の保護者向け
1. お住まいの地域について 2. 子どもと家族の状況について 3. 子育てをめぐる環境について 4. 児童虐待やヤングケアラーについて 5. 保護者の就労状況について 6. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について 7. 地域の子育て支援拠点事業の利用状況について 8. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について 9. 病気の際の対応について 10. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について 11. 小学校就学後の放課後の過ごし方について 12. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について 13. 子育て環境全般について	1. お住まいの地域について 2. 子どもと家族の状況について 3. 子育てをめぐる環境について 4. 児童虐待やヤングケアラーについて 5. 保護者の就労状況について 6. 病気の際の対応について 7. 放課後の過ごし方について 8. 子育て環境全般について

3 調査対象、調査方法及び回収状況

	就学前児童の保護者向け	小学生の保護者向け
調査対象者	令和6年6月1日現在 十和田市に居住する 就学前児童（0～5歳児）の保護者	令和6年5月1日現在 十和田市に居住する 小学1～6年生の児童の保護者
調査対象数	1,972人	2,532人
調査方法	2次元コード及びURLを記載した調査依頼文を郵送または保育施設、学校を通じて配布、WEBにて回答	
調査期間	令和6年7月3日（水）～令和6年7月24日（水）	
回収結果	有効回収数：532件 （有効回収率：27.0%）	有効回収数：374件 （有効回収率：14.8%）

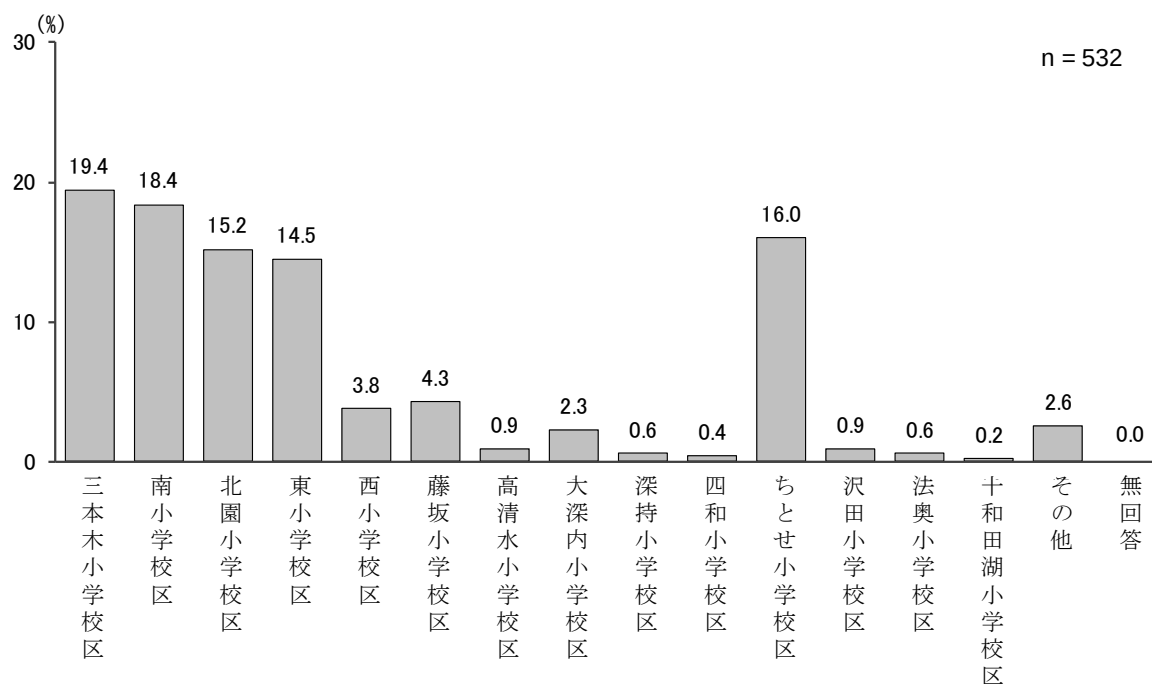
4 調査結果の見方

- ① グラフの「n（number of cases）」はアンケートの有効回収数を示している。
- ② 割合はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100.0%にならない場合もある。
- ③ 複数回答の場合、回答の合計割合が100.0%を超える場合がある。
- ④ 設問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化している場合がある。
- ⑤ 調査結果において表記されている《 》は、類似した複数の選択肢を合算した場合に使用している。
- ⑥ 本書で「平成30年度調査」として表しているのは、平成30年度に実施した『子ども・子育て支援に関するニーズ調査』のことであり、参考として比較を行っている。

Ⅱ 調査結果（就学前児童の保護者向け）

1 お住まいの地域について

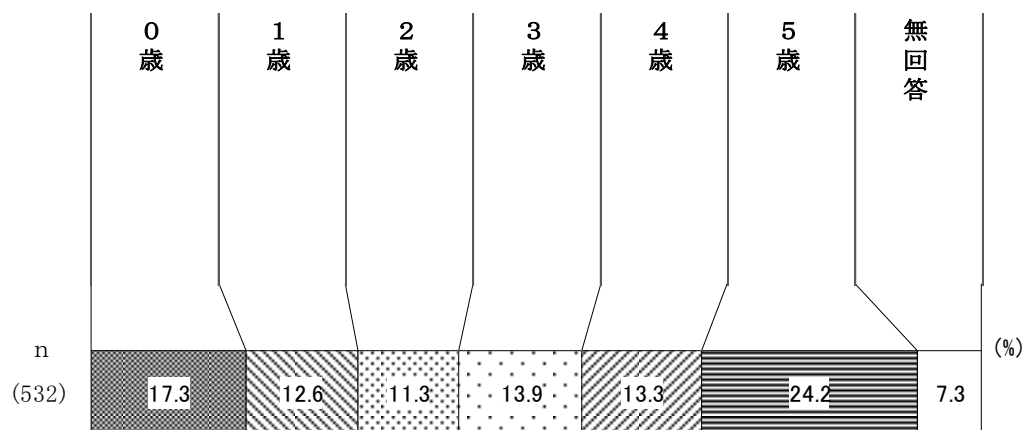
問1 お住まいの地区（小学校区）はどこですか。（あてはまる番号1つに○）



2 子どもと家族の状況について

（１）子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください）



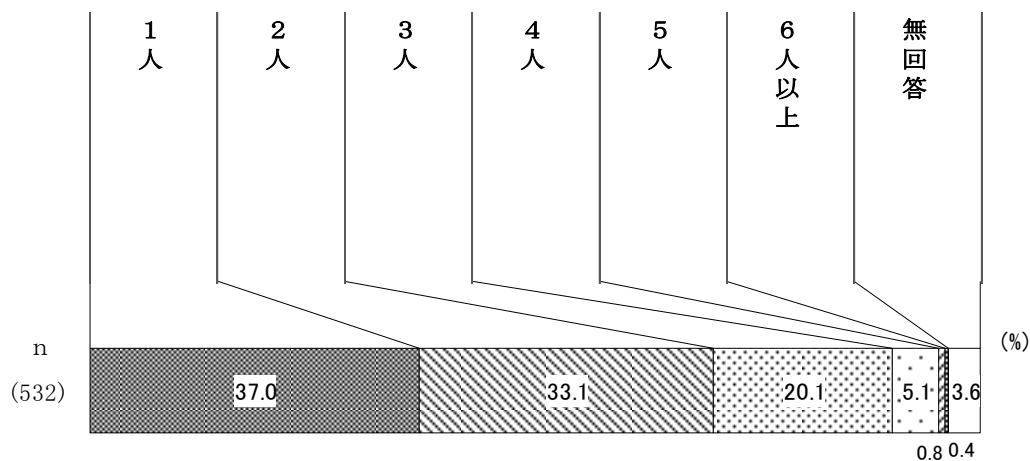
※誕生日を年齢に置き換え集計している

（２）きょうだいの人数・末子の年齢

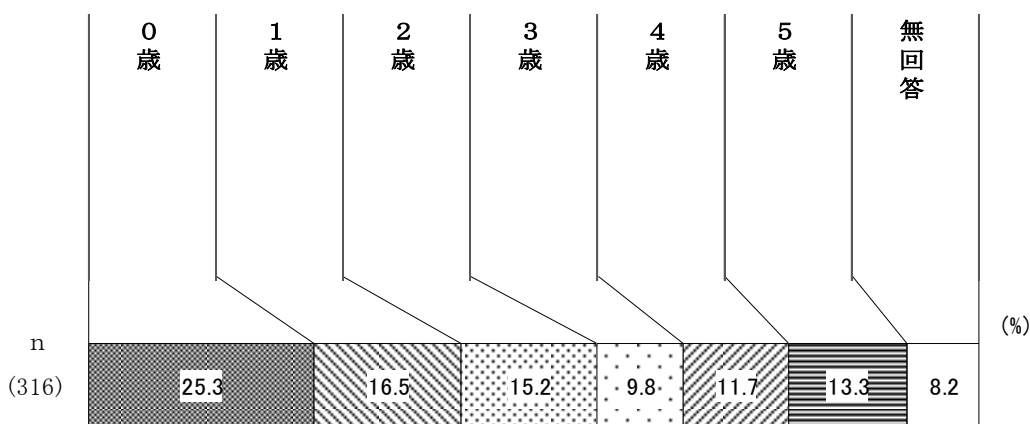
問３ 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※お子さんが２人以上の場合は、末子の生年月をご記入ください。

<きょうだいの人数>



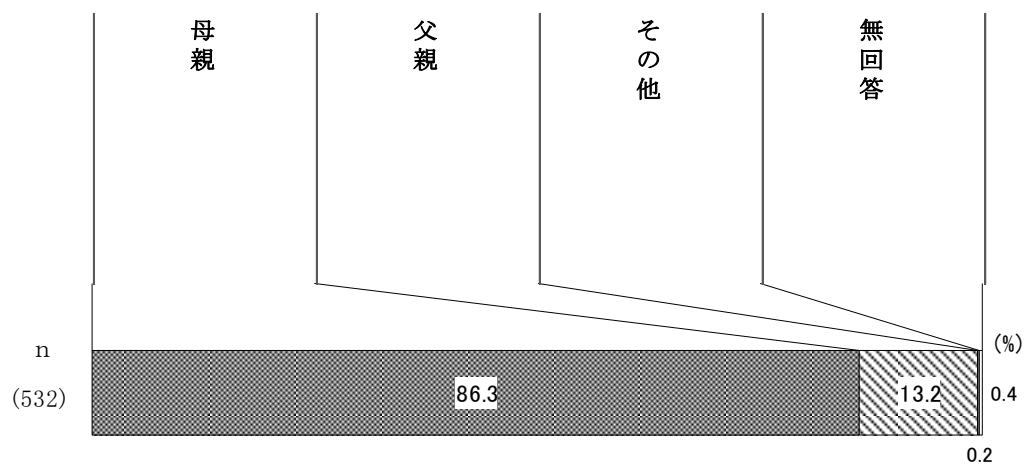
<末子の年齢>



※末子の方の生年月を年齢に置き換え集計している

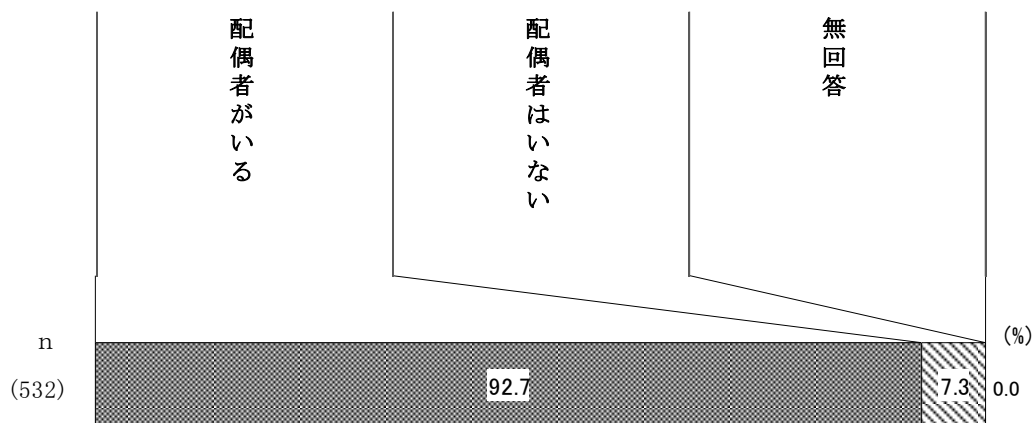
（３）回答者

問４ この調査票に回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号１つに○）



（４）回答者の配偶関係

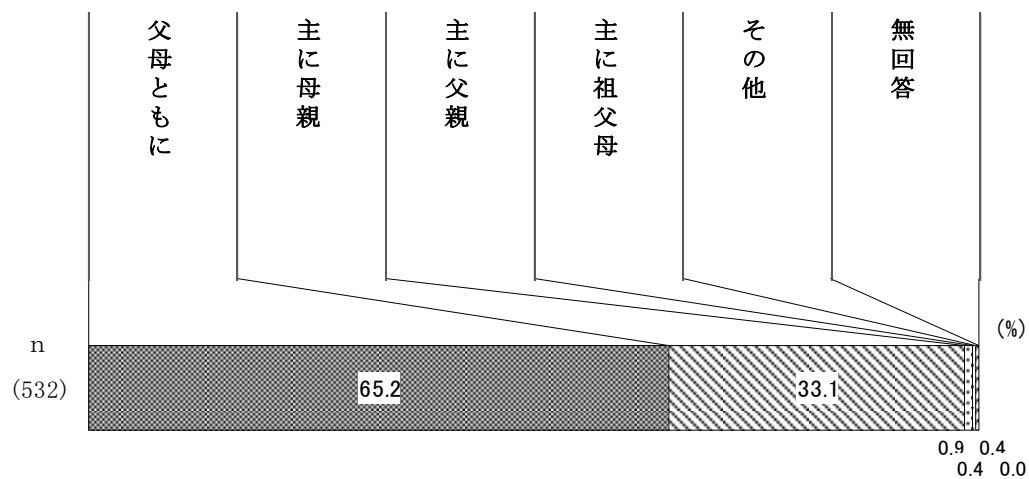
問５ この調査票に回答いただいている方の配偶者の有無についてお聞きます。
（あてはまる番号１つに○）



（５）主に子育てを行っている人

問６ 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号１つに○）

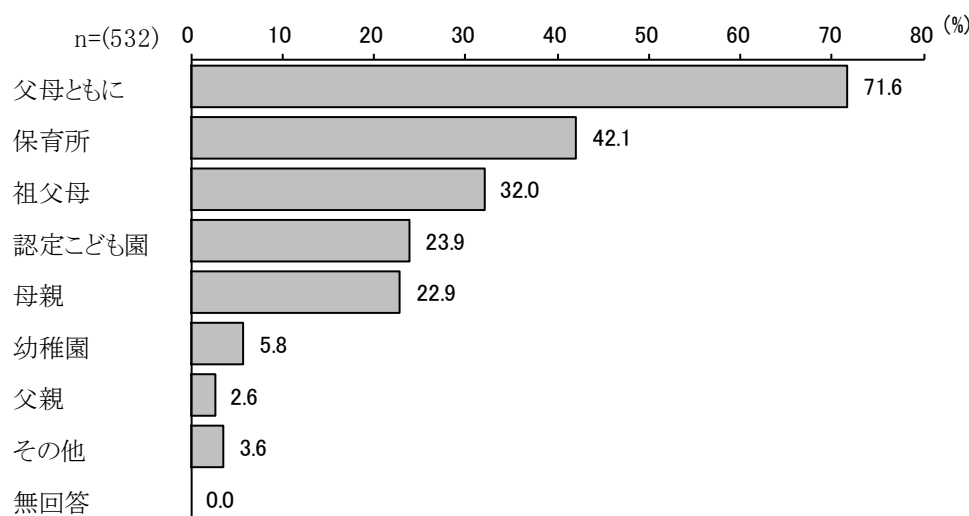


3 子育てをめぐる環境について

（１）子育てに日常的に関わっている人・施設

▶子育てに日常的に関わっている人・施設については、「父母ともに」が71.6%と最も高く、次いで「保育所」（42.1%）、「祖父母」（32.0%）となっている。

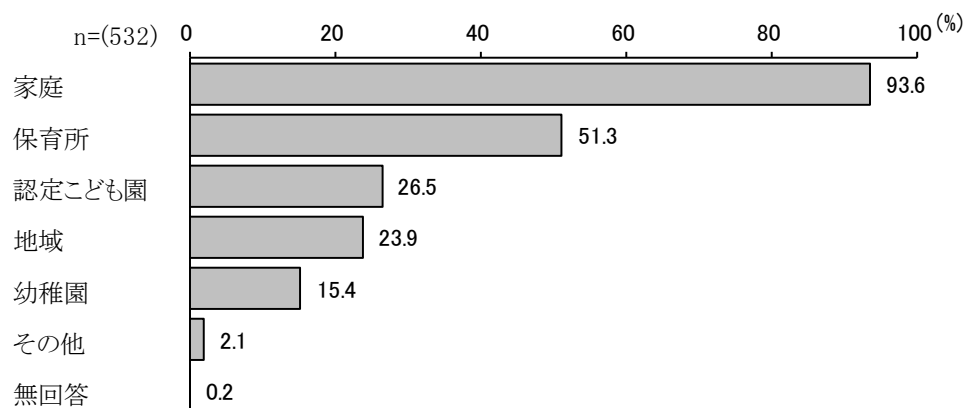
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。
※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）



（２）子育てにもっとも影響すると思われる環境

▶子育てにもっとも影響すると思われる環境については、「家庭」が93.6%と最も高く、次いで「保育所」（51.3%）、「認定こども園」（26.5%）となっている。

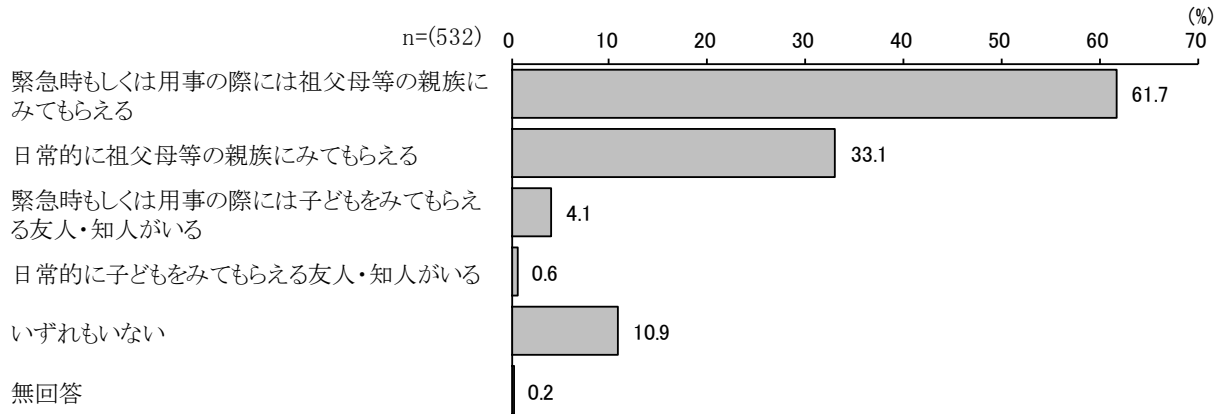
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。
（あてはまる番号すべてに○）



（３）日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無

- ▶ 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（33.1%）となっている。
- ▶ 一方、10.9%が「いずれもない」と回答している。

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）



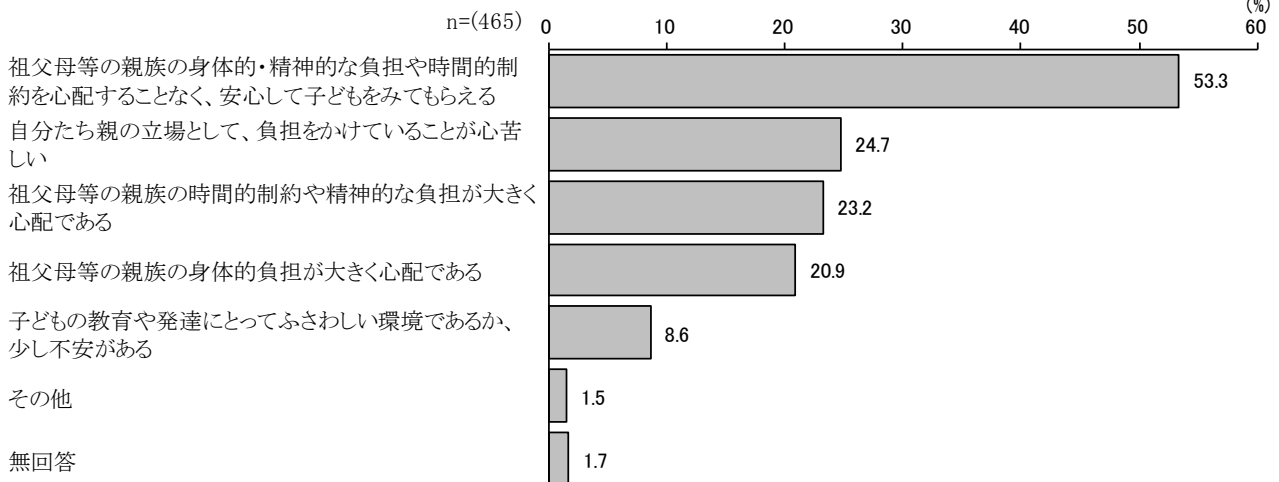
（４）祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

- ▶ 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が53.3%と最も高くなっている。

『問9 日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無』で（日常的・緊急時もしくは用事の際）「祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

（あてはまる番号すべてに○）



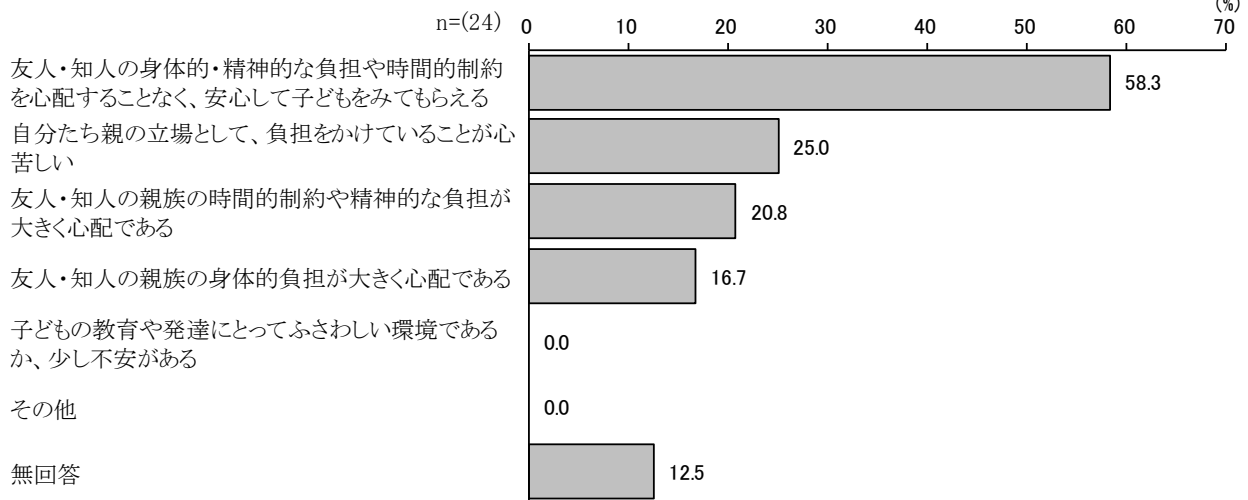
（５）友人・知人に子どもをみてもらっている状況

▶友人・知人に子どもをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 58.3%と最も高くなっている。

『問 9 日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無』（日常的・緊急時もしくは用事の際）
「子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

問 9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

（あてはまる番号すべてに○）

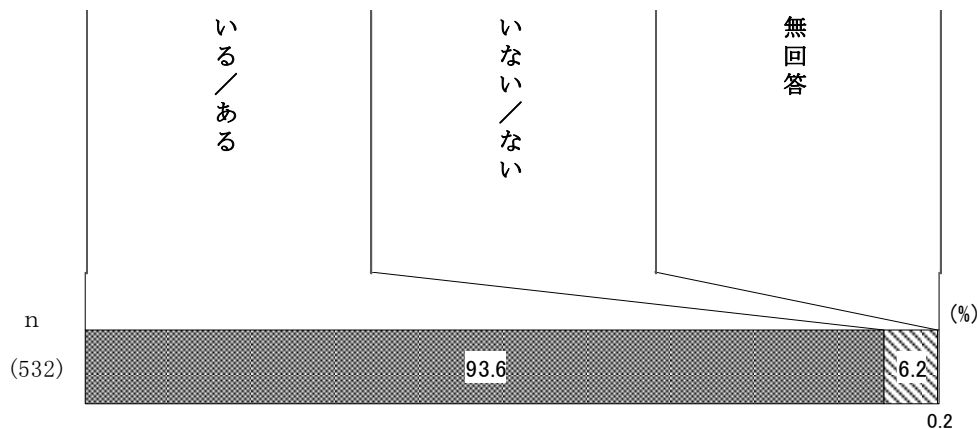


（６）気軽に相談できる人・場所の有無

▶気軽に相談できる人・場所の有無については、93.6%が「いる・ある」と回答している。

▶一方、6.2%が「いない・ない」と回答している。

問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

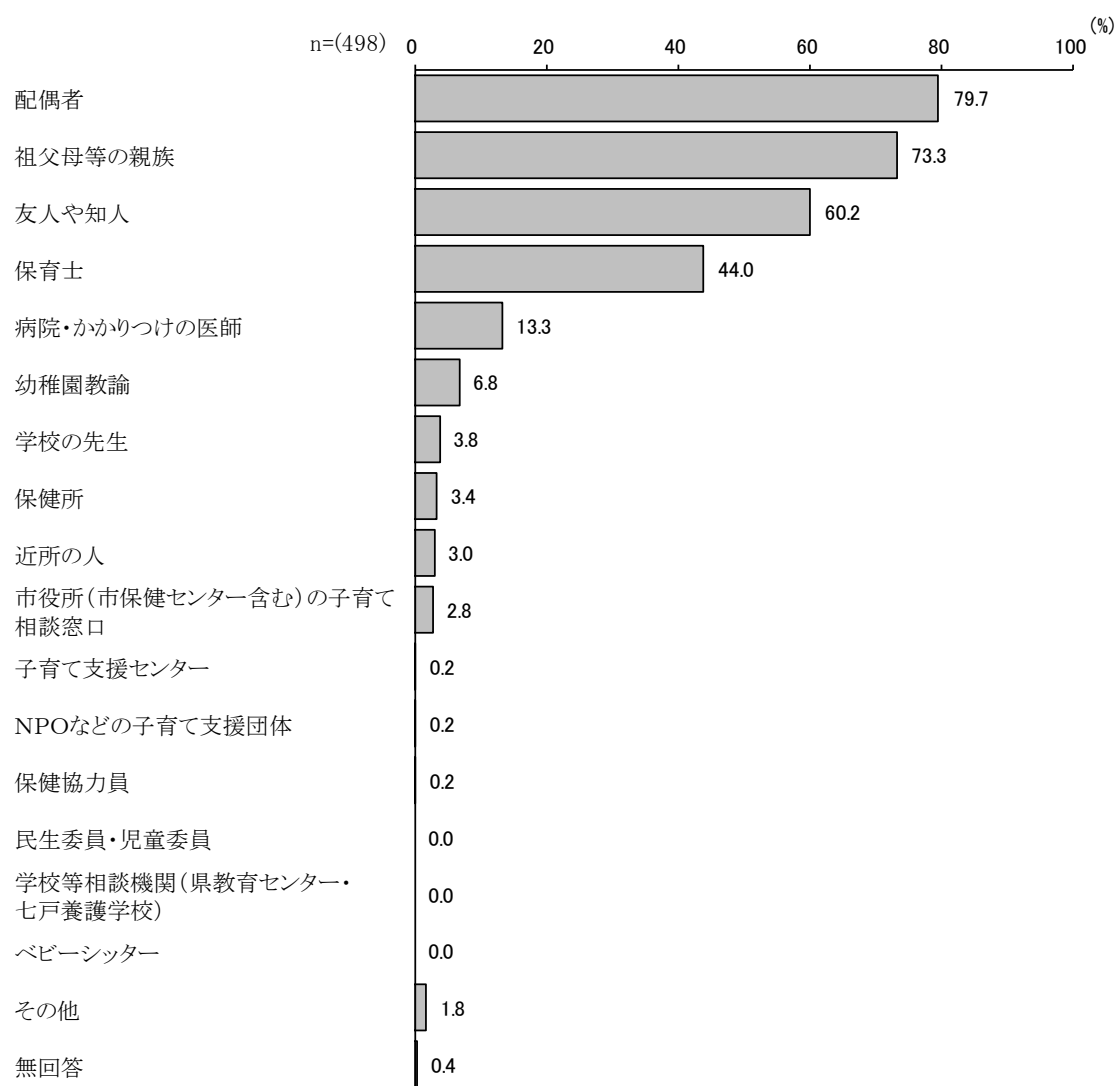


（７）子育てに関して気軽に相談したり情報を得られる人・場所

▶子育てに関して気軽に相談したり情報を得られる人・場所については、「配偶者」が79.7%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」（73.3%）、「友人、知人」（60.2%）と家族や友人など身近な人が上位となっている。

『問10 気軽に相談できる人・場所の有無』で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまる番号すべてに○）



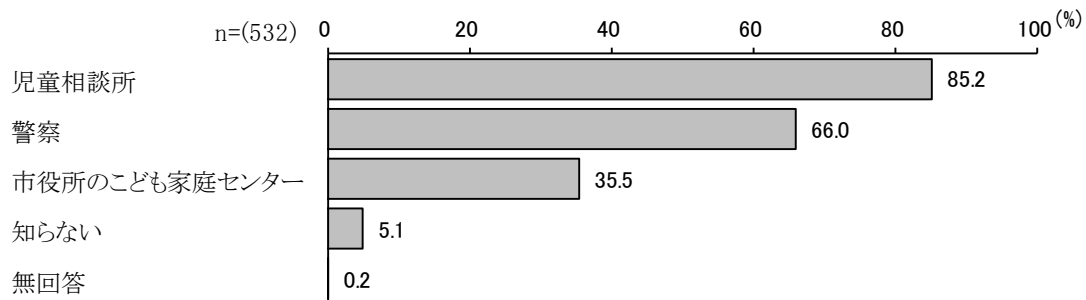
4 児童虐待やヤングケアラーについて

（１）「児童虐待」の通告先について知っている場所

- ▶『児童虐待』の通告先について知っている場所は、「児童相談所」が85.2%と最も高く、次いで「警察」（66.0%）、「市役所のこども家庭センター」（35.5%）となっている。

問 11 「児童虐待」の通告先について、知っているものを選んでください。

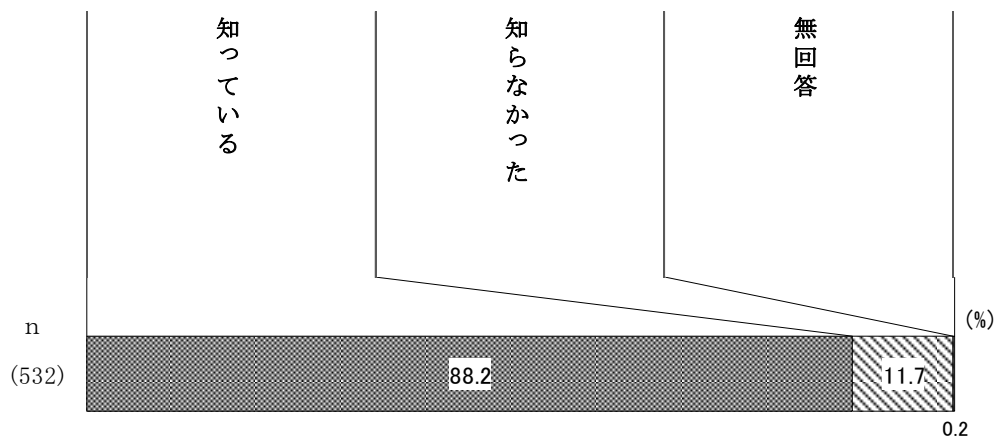
（あてはまる番号すべてに○）



（２）「虐待の疑いがあると思う」場合でも連絡できることに対する認知度

- ▶『虐待の疑いがあると思う』場合でも連絡できることに対する認知度については、88.2%が「知っている」と回答している。
- ▶一方 11.7%が「知らない」と回答している。

問 11-1 「児童虐待」の通告は「虐待の疑いがあると思う」場合でも連絡できることを知っていましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

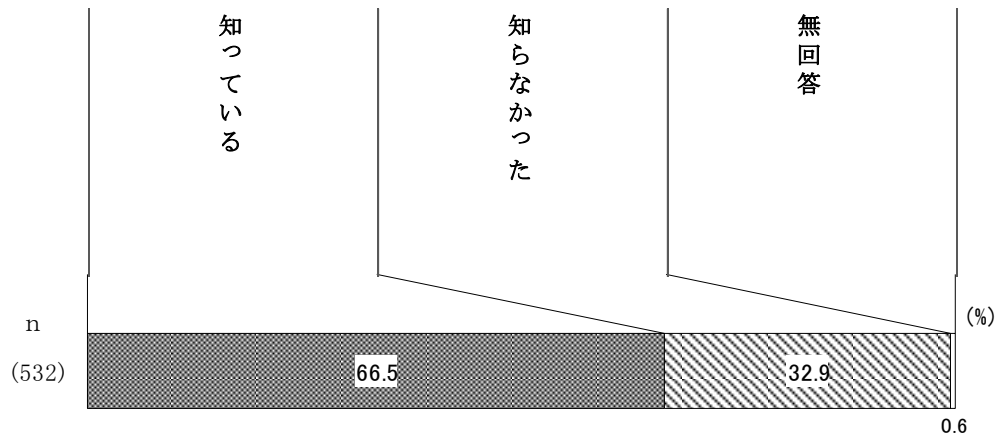


（３） 通告者への配慮に対しての認知度

- ▶ 通告者への配慮に対しての認知度については、66.5%が「知っている」と回答している。
- ▶ 一方、32.9%が「知らない」と回答している。

問 11-2 通告しても通告者が特定されないよう配慮されることを知っていましたか。

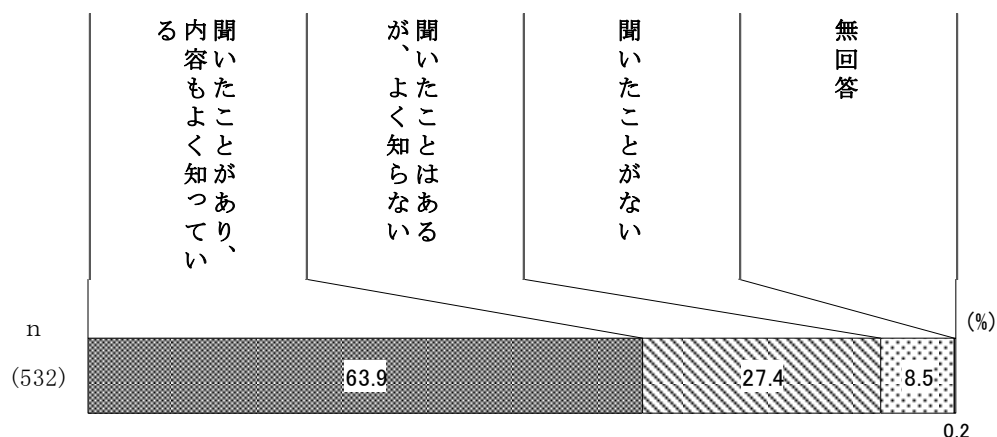
（あてはまる番号１つに○）



（４）「ヤングケアラー」の認知度

- ▶ 『ヤングケアラー』の認知度については、「聞いたことがあり、内容もよく知っている」が 63.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」（27.4%）、「聞いたことがない」（8.5%）となっている。

問 11-3 「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを言いますが、あなたは「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことはありますか。（あてはまる番号１つに○）



5 保護者の就労状況について

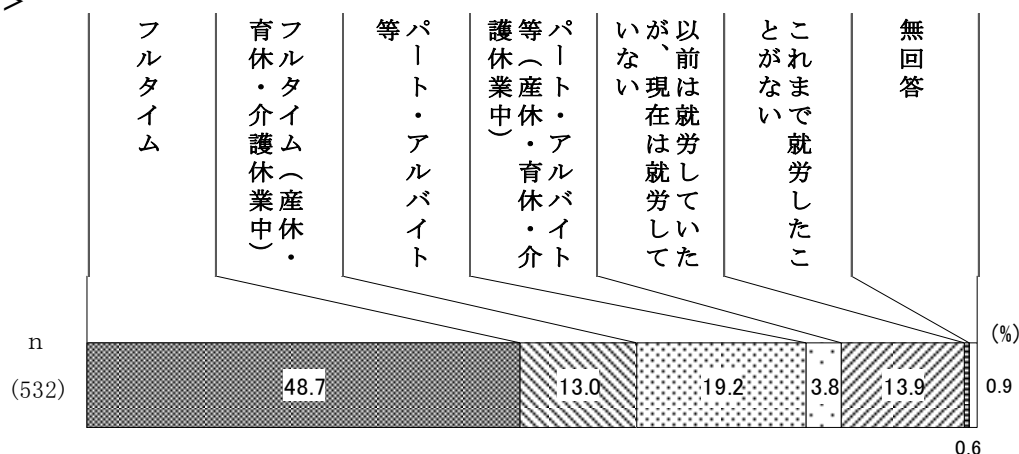
（１）就労状況

- ▶ 母親の就労状況については、「フルタイム」が 48.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等」（19.2%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（13.9%）となっている。
- ▶ 父親の就労状況については、「フルタイム」が 88.3%と最も高くなっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、母親では産休・育休・介護休業中を問わず「フルタイム」が 2.8 ポイント上昇している一方、「パート・アルバイト等」は 3.6 ポイント低下している。

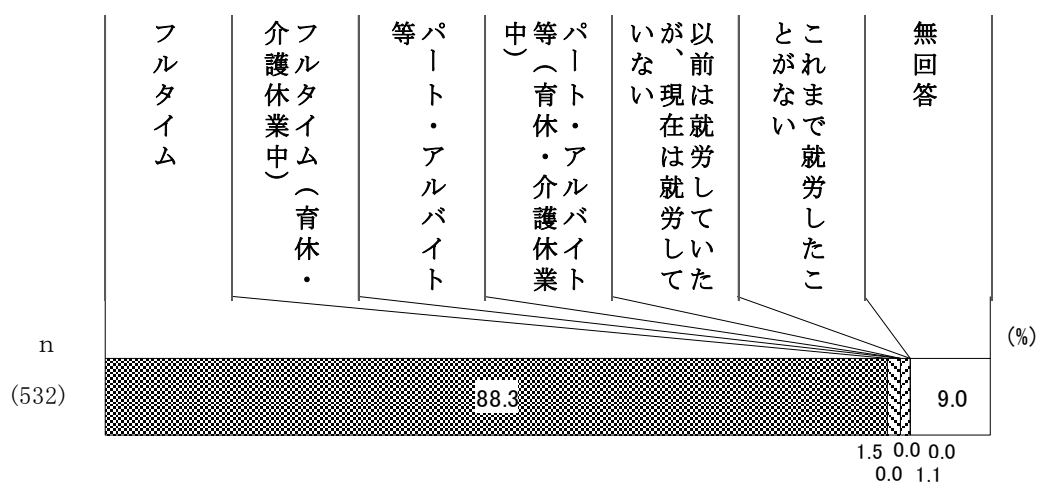
問 12(1)／問 12(2)

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。
（あてはまる番号 1 つに○）

<母親>

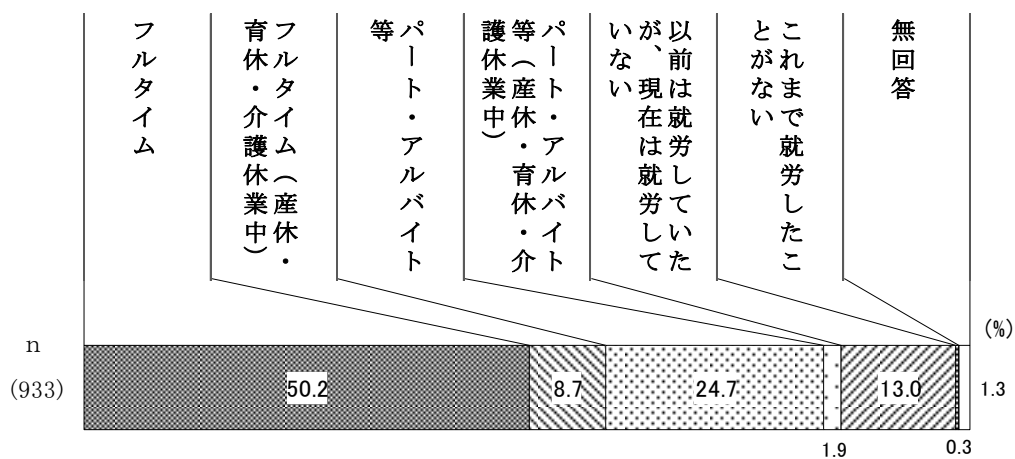


<父親>

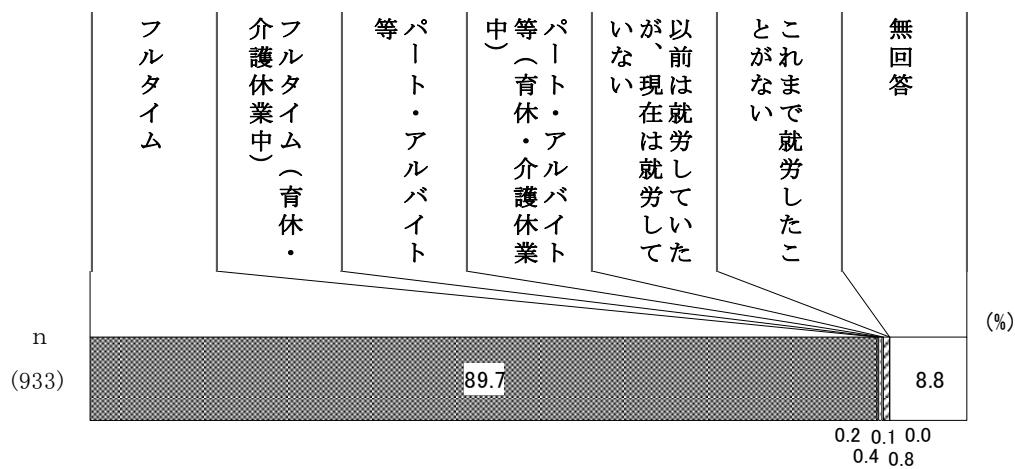


参考：平成 30 年度調査

<母親>



<父親>



（２）就労日数・時間

- ▶ 母親の就労日数・時間については、週当たりの平均就労日数が 5.1 日、1 日当たりの平均就労時間が 7 時間 22 分となっている。
- ▶ 父親の就労日数・時間については、週当たりの平均就労日数が 5.4 日、1 日当たりの平均就労時間が 9 時間 13 分と母親に比べて長い。

『問 12（１）（２） 就労状況』で「フルタイム」、「フルタイム（産休・育休・介護休業中）」、「パート・アルバイト等」、「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）」のいずれか○をつけた方にうかがいます。

問 12（１）-1／問 12（２）-1

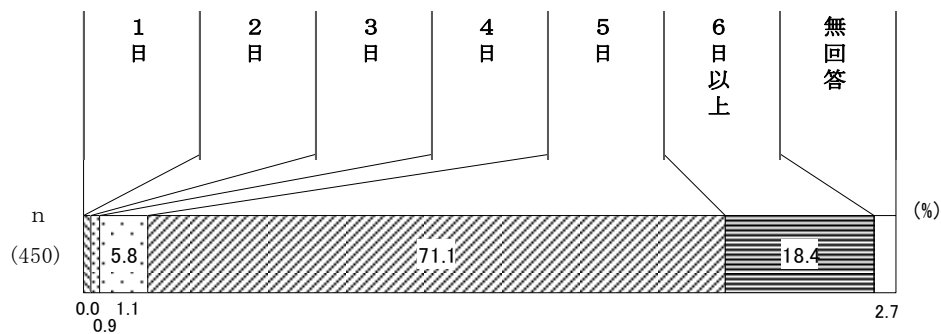
1 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」を、□内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

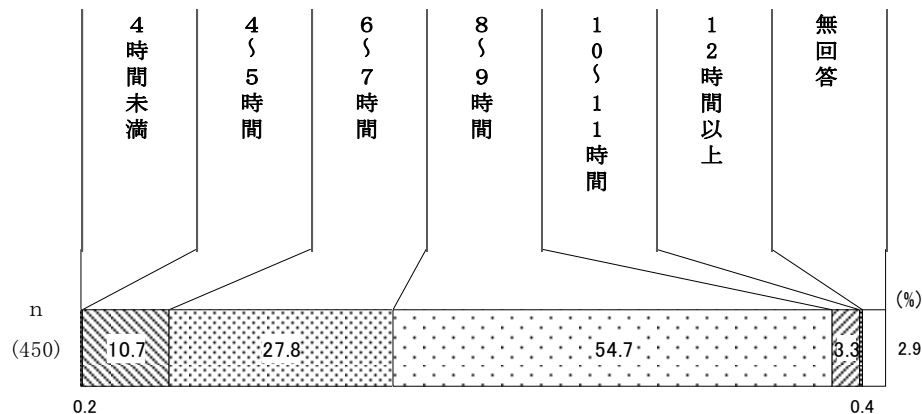
就労日数

<母親>



就労時間

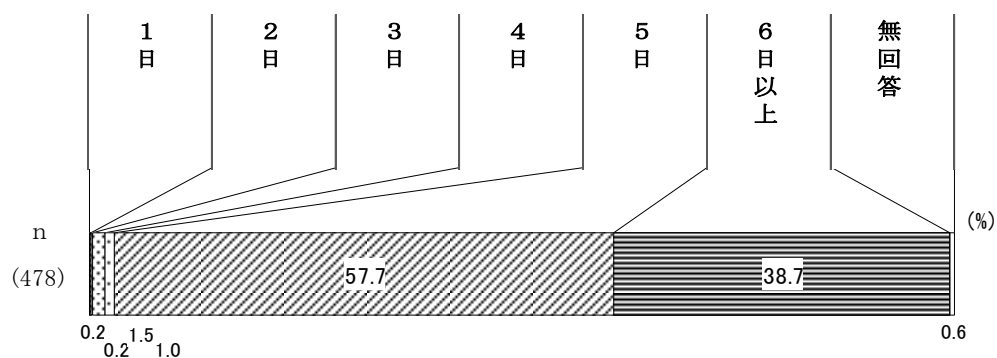
<母親>



	週当たりの 平均就労日数	1 日当たりの 平均就労時間
母親 (n=450)	5.1 日	7 時間22分

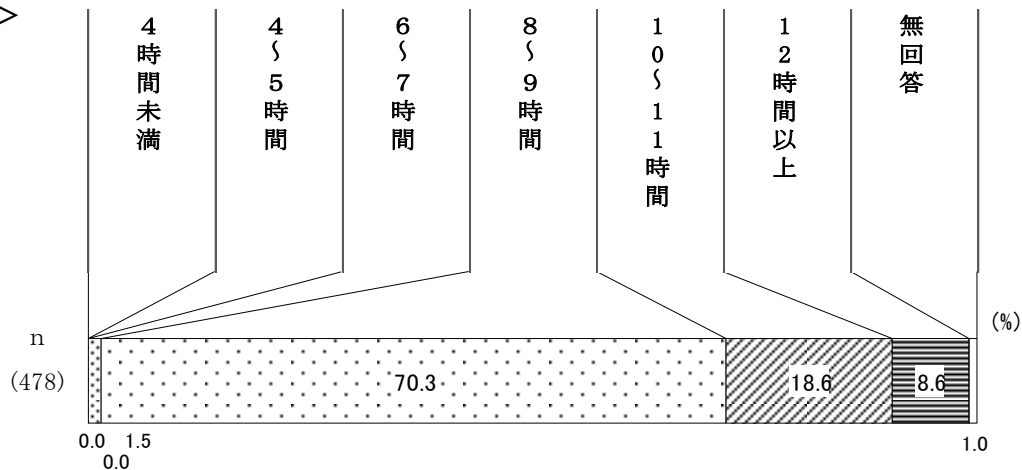
就労日数

<父親>



就労時間

<父親>



	週当たりの 平均就労日数	1日当たりの 平均就労時間
父親（n=478）	5.4日	9時間13分

（３）出発時間・帰宅時間

- ▶母親の出発時間・帰宅時間については、平均出発時間は 7 時 38 分、平均帰宅時間は 17 時 07 分となっている。
- ▶父親の出発時間・帰宅時間については、平均出発時間は 7 時 10 分と母親より早く、平均帰宅時間は 18 時 56 分と遅い。

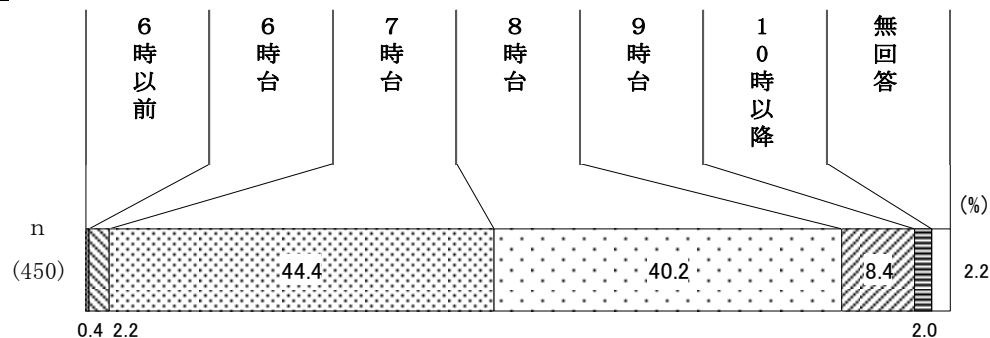
『問 12（１）（２） 就労状況』で「フルタイム」、「フルタイム（産休・育休・介護休業中）」、「パート・アルバイト等」、「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）」のいずれか○をつけた方にうかがいます。

問 12（１）-2／問 12（２）-2

家を出る時間と帰宅時間を、□内に数字でご記入ください。

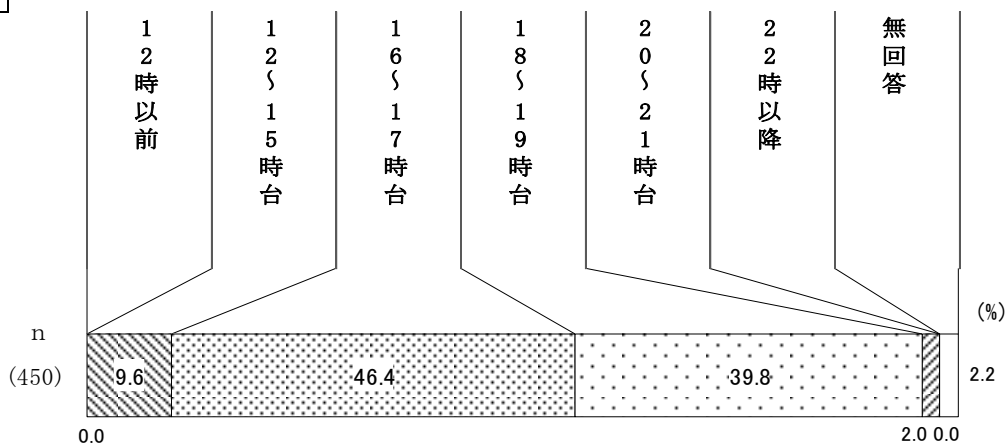
出発時間

<母親>



帰宅時間

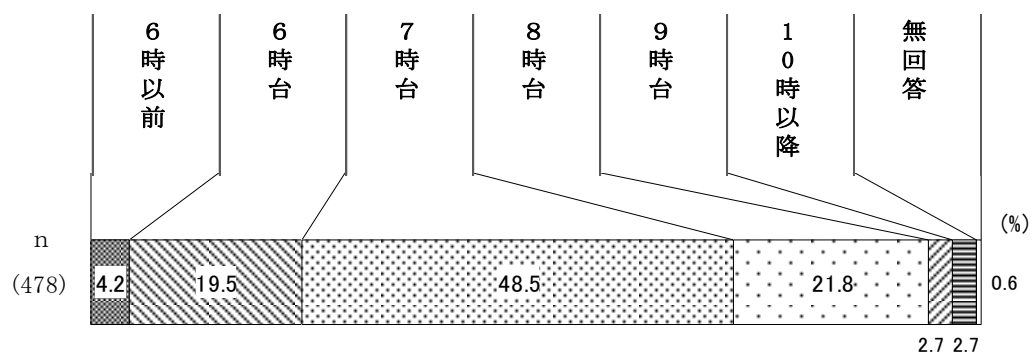
<母親>



	平均出発時間	平均帰宅時間
母親（n=450）	7時38分	17時07分

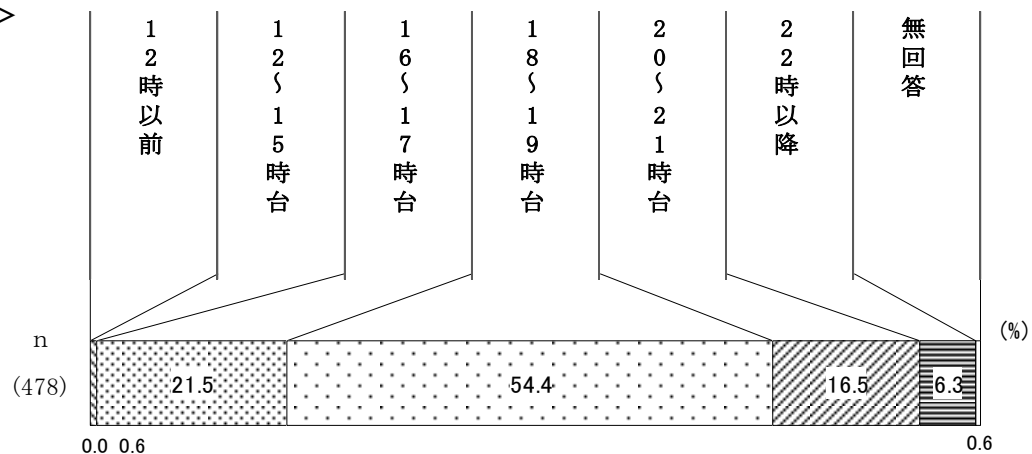
出発時間

<父親>



帰宅時間

<父親>



	平均出発時間	平均帰宅時間
父親（n=478）	7時10分	18時56分

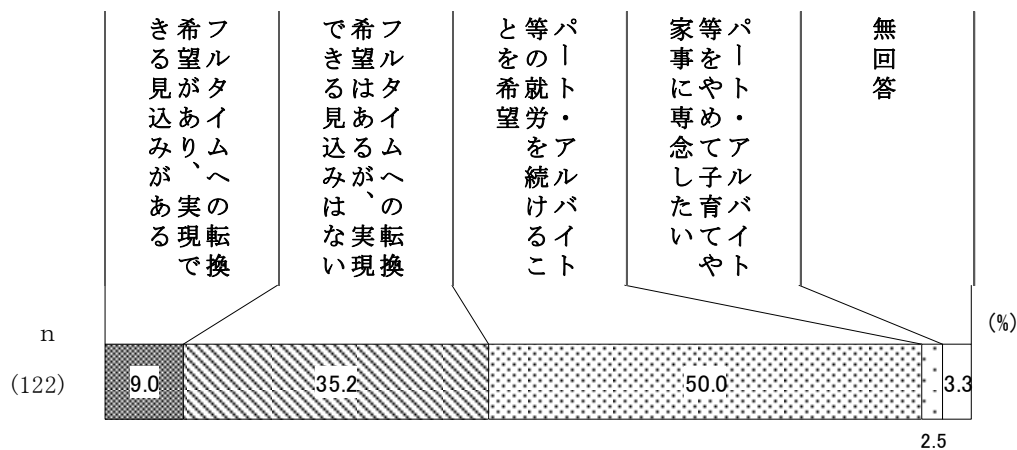
（４）フルタイムへの転換希望

- ▶母親のフルタイムへの転換希望については、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた《フルタイムへの転換希望がある》が44.2%、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は50.0%となっており、現在の就労状況の継続を希望する人が多い。
- ▶父親のフルタイムへの転換希望については回答がない（0件）ため、グラフを非掲載としている。

『問12（1） 就労状況』で「パート・アルバイト等」または「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）」に○をつけた方にうかがいます。

問13（1） フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

<母親>



（５）就労希望

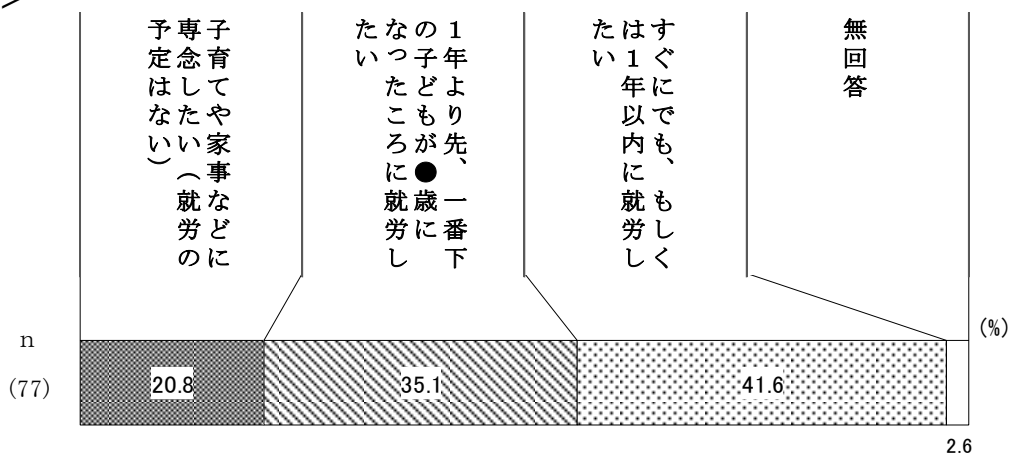
- ▶母親の就労希望については、「１年より先、一番下の子どもが●歳になった頃に就労したい」と「すぐにも、もしくは１年以内に就労したい」を合わせた《就労したい》が 76.7%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 20.8%となっている。
- ▶母親の就労を希望する時期の末子の年齢については、「０～３歳」が 66.7%と最も高く、「６～８歳」（18.5%）、「４～５歳」（7.4%）など、幼稚園や小学校の入園・入学時期付近の回答が多くなっている。
- ▶父親の就労希望、就労を希望する時期の末子の年齢については回答数が少ない（就労希望：６件、末子の年齢：１件）ため、グラフを非掲載としている。

『問 12（１） 就労状況』で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問 14（１） 就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号、丸数字それぞれ１つに○）
※該当する口内には数字をご記入ください。

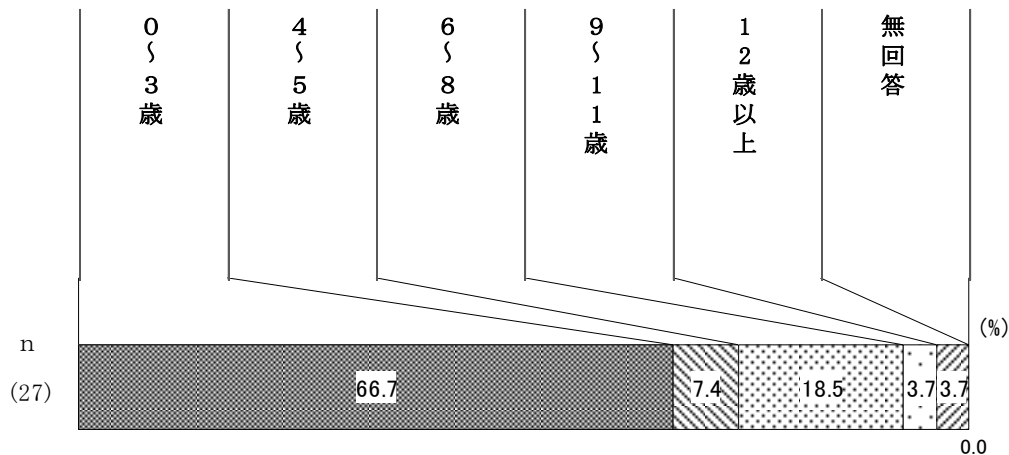
就労希望

<母親>



就労を希望する時期の末子の年齢

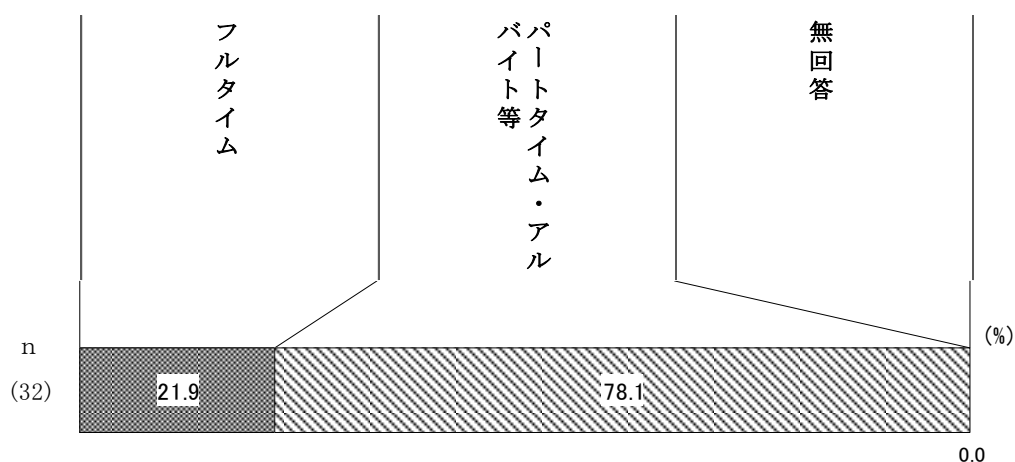
<母親>



- ▶ 母親の希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等」が 78.1%と大多数を占めている。
- ▶ 「パートタイム・アルバイト等」の就労形態を希望する母親の就労条件の希望については、週当たりの平均就労日数が 4.6 日、1 日当たりの平均就労時間が 5 時間 17 分となっている。
- ▶ 父親の希望する就労形態、就労条件については回答がない（0 件）ため、グラフ等を非掲載としている。

希望する就労形態

<母親>



希望する就労条件

<母親>

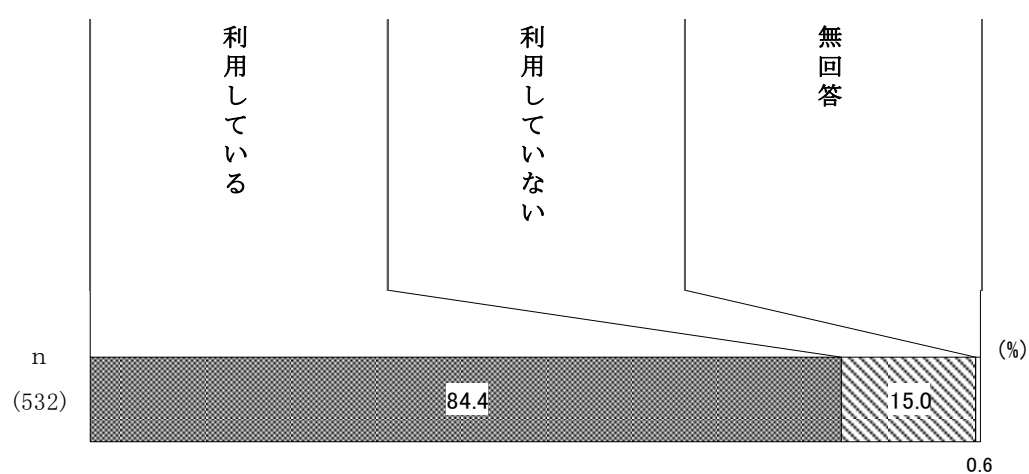
	週当たりの 平均就労日数	1 日当たりの 平均就労時間
母親（n=25）	4.6 日	5 時間 17 分

6 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

（１）定期的な教育・保育事業の利用状況

▶平日の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が84.4%、「利用していない」が15.0%となっている。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。（あてはまる番号1つに○）



（２）平日定期的に利用している教育・保育事業／利用したい事業

- ▶平日定期的に利用している教育・保育事業については、「認可保育所」が 52.6%と最も高く、次いで「認定こども園」（36.3%）、「幼稚園」（7.6%）となっている。
- ▶利用状況と今後の利用希望を比較すると、希望として「幼稚園」が 14.2 ポイント、「認定こども園」が 9.4 ポイント、「幼稚園の預かり保育」が 9.0 ポイント高くなっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「認可保育所」は 7.4 ポイント低く、「認定こども園」は 5.5 ポイント高くなっている。

問 15-1／問 16

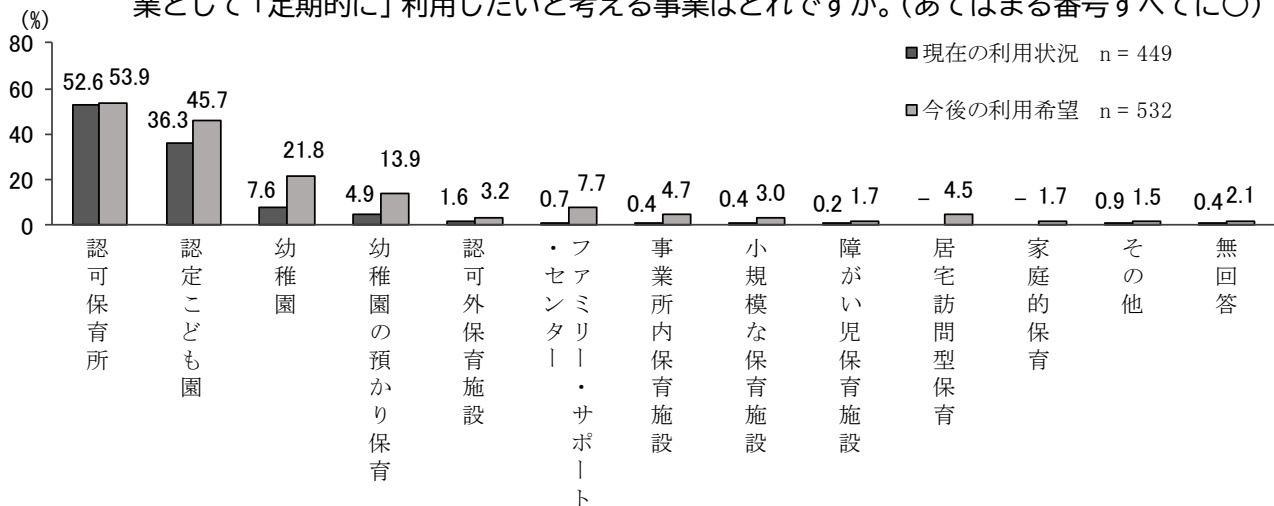
『問 15 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

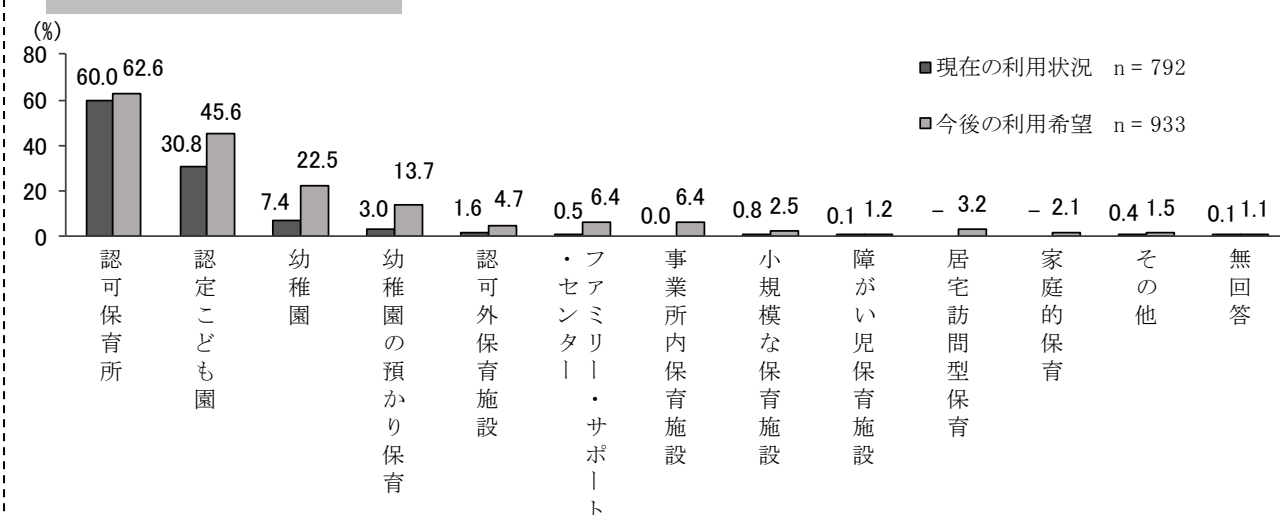
（あてはまる番号すべてに○）

※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）



参考：平成 30 年度調査



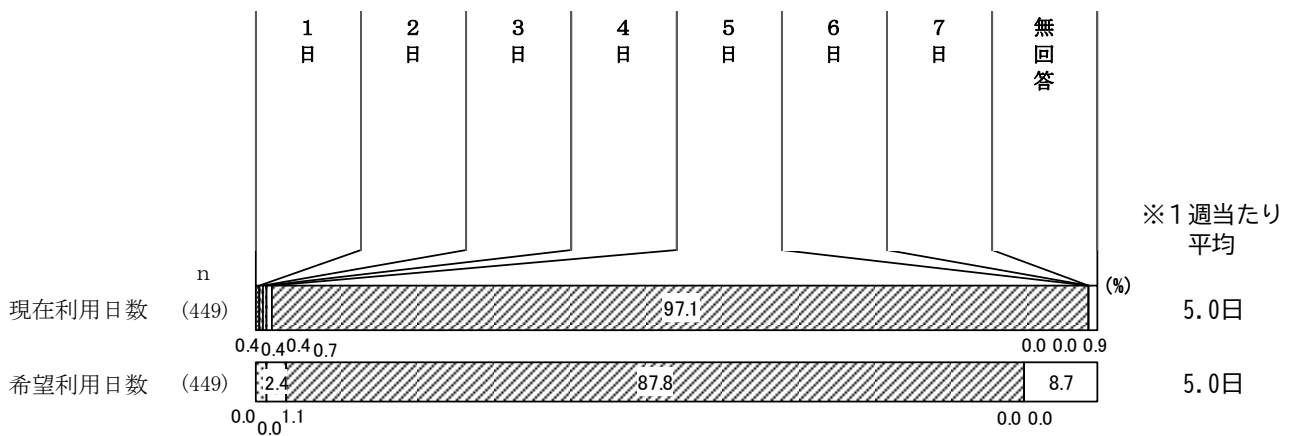
（３）平日定期的に利用している事業の利用状況

- ▶平日定期的に利用している事業の利用状況については、現在・希望ともに「週５日」（現在：97.1%、希望：87.8%）が最も高くなっている。
- ▶利用時間については、現在・希望ともに「１日当たり８時間」（現在：30.7%、希望：32.3%）が最も高くなっている。

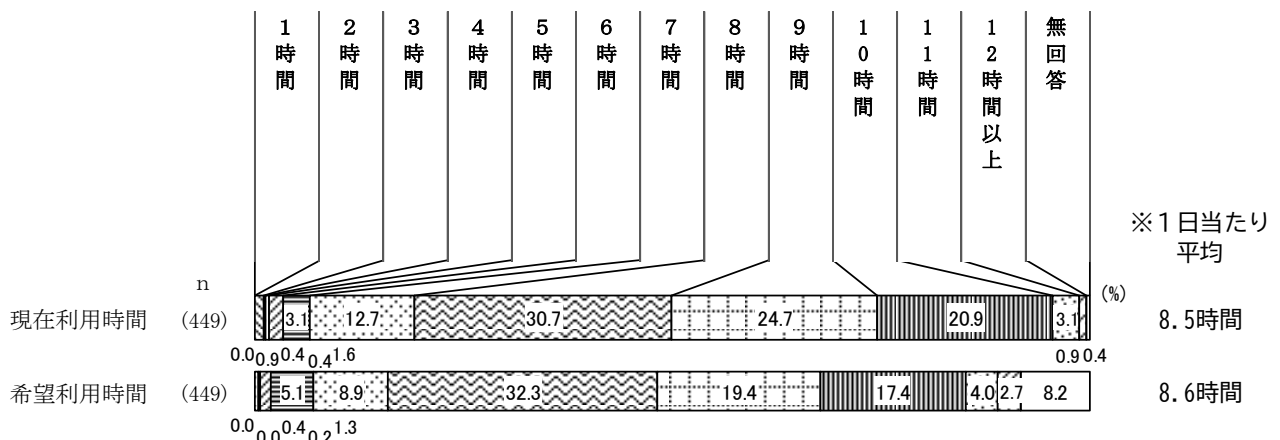
問 15-2 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

※１週当たり何日、１日あたり何時間（何時から何時）かを、口内に数字でご記入ください。

利用日数

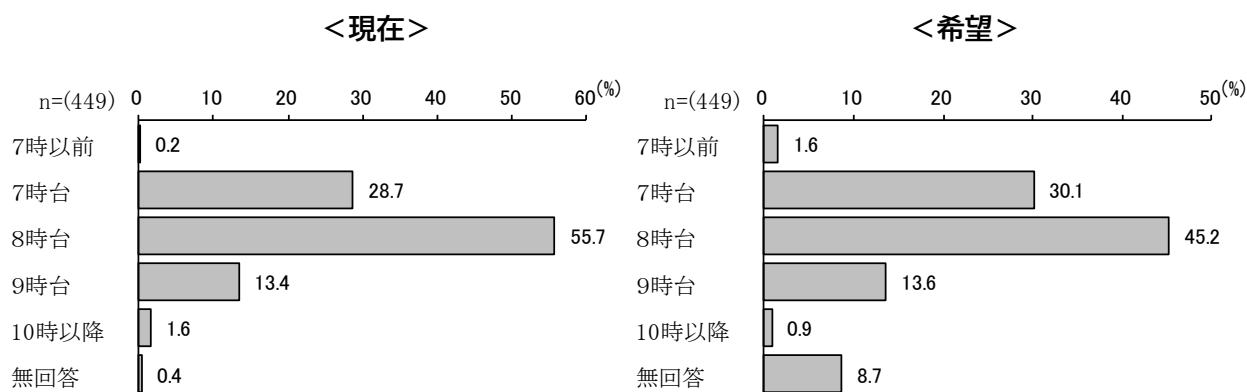


利用時間

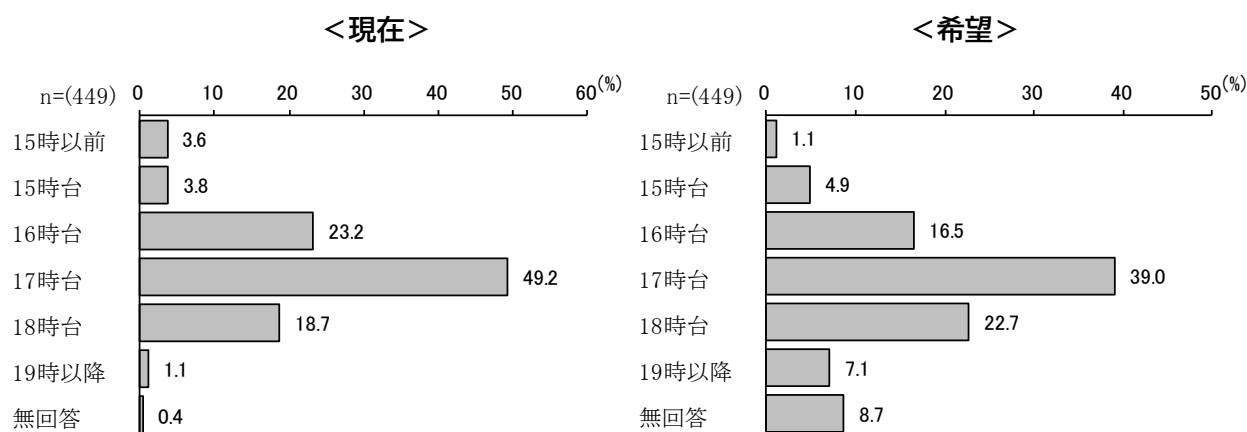


▶利用時間帯について、現在では開始時間は「8時台」（55.7%）、終了時間は「17時台」（49.2%）の利用が最も高くなっているおり、現在と希望の開始時間は大きな差はない。希望の終了時間では、「19時以降」が現在と比べ、6ポイント高い。

利用開始時間



利用終了時間



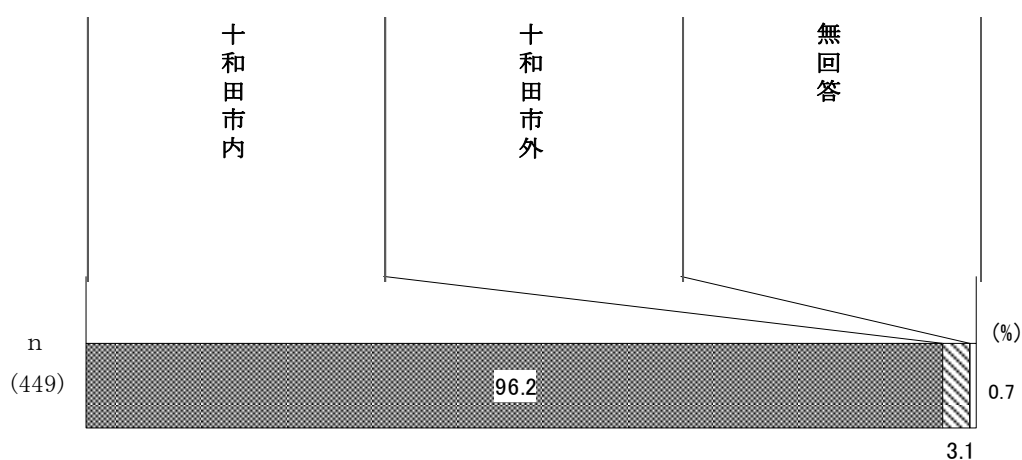
（４）利用している教育・保育事業の実施場所／希望の実施場所

- ▶利用している教育・保育事業の実施場所については、「十和田市内」が 96.2%と大多数を占め、「十和田市外」は 3.1%となっている。
- ▶教育・保育事業を利用したい場所については、「十和田市内」が 97.4%と大多数を占め、「十和田市外」は 1.1%となっている。

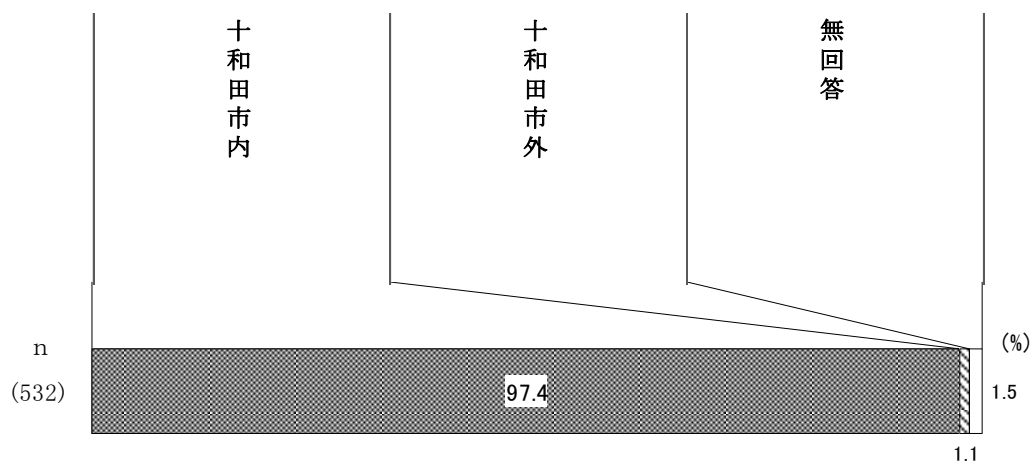
問 15-3／問 16-1

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

（あてはまる番号 1 つに○）



問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。（あてはまる番号 1 つに○）

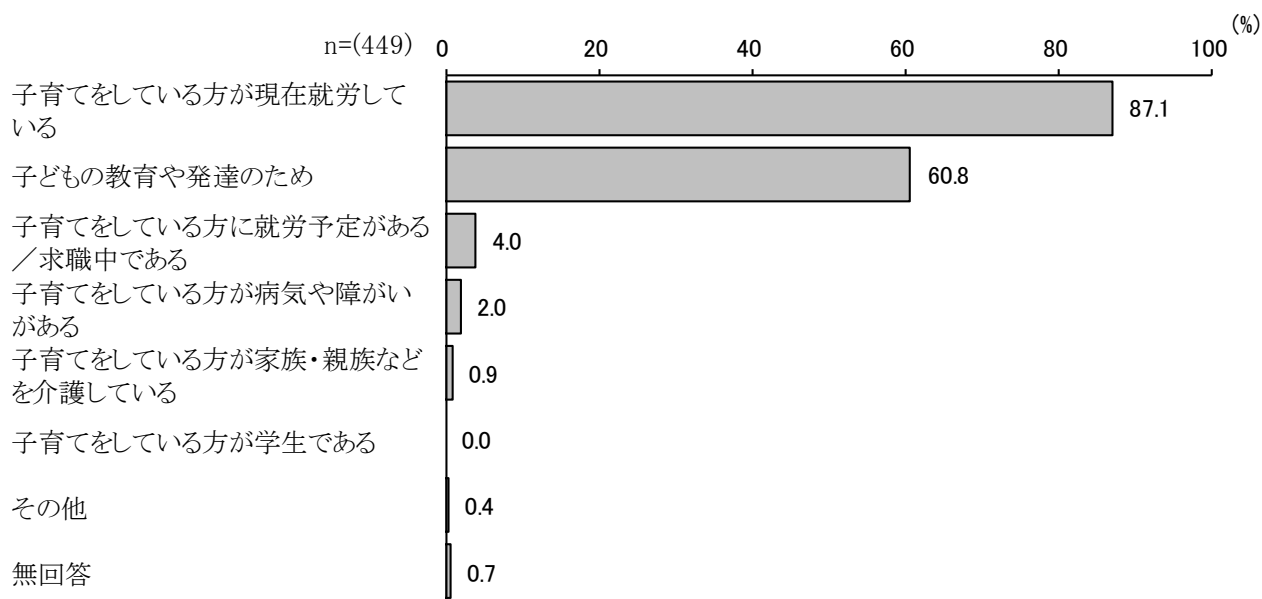


（５）平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由

▶平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由については、「子育てをしている方が現在就労している」が 87.1%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」（60.8%）となっている。

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。

（あてはまる番号すべてに○）



（６）定期的な教育・保育事業を利用していない理由

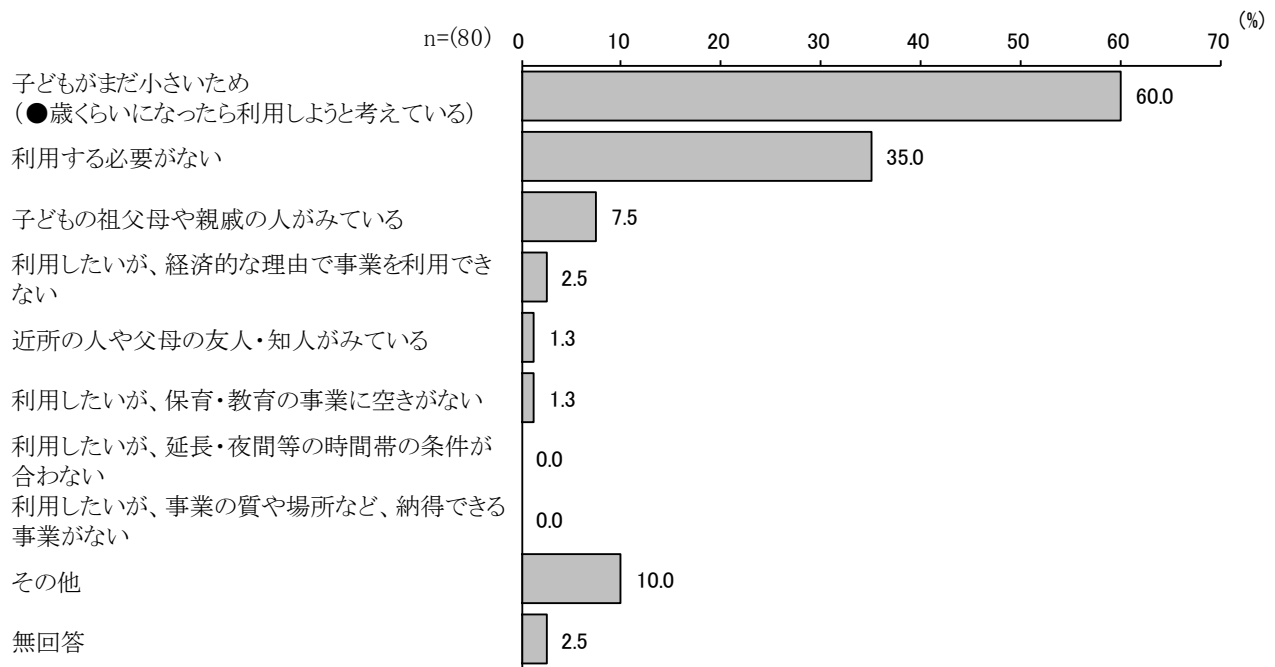
▶ 定期的な教育・保育事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため（●歳くらいになったら利用しようと考えている）」が60.0%と最も高く、次いで「利用する必要がない」（35.0%）となっている。

▶ また、利用を検討する子どもの年齢については、「1歳」が45.8%と最も高くなっている。

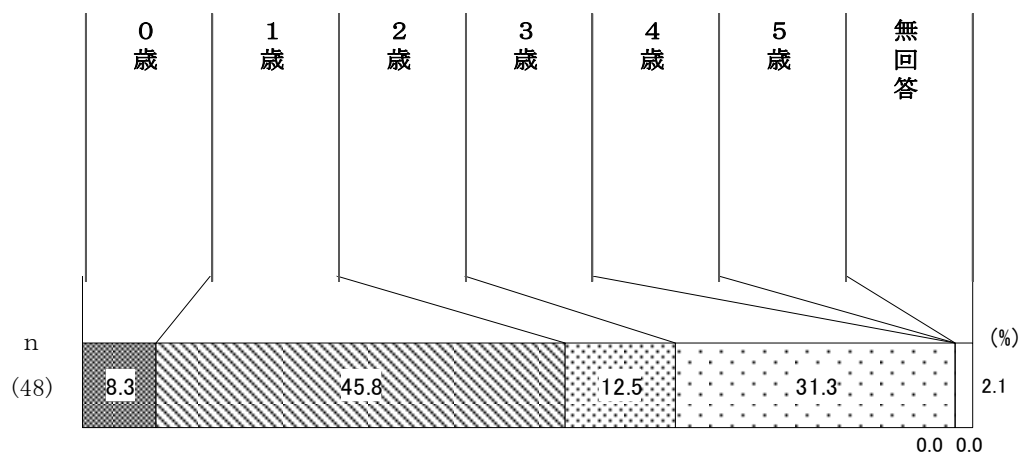
『問15 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問15-5 利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

※「8.」に○をつけた場合は、年齢を□内に数字でご記入ください。



利用を検討する子どもの年齢



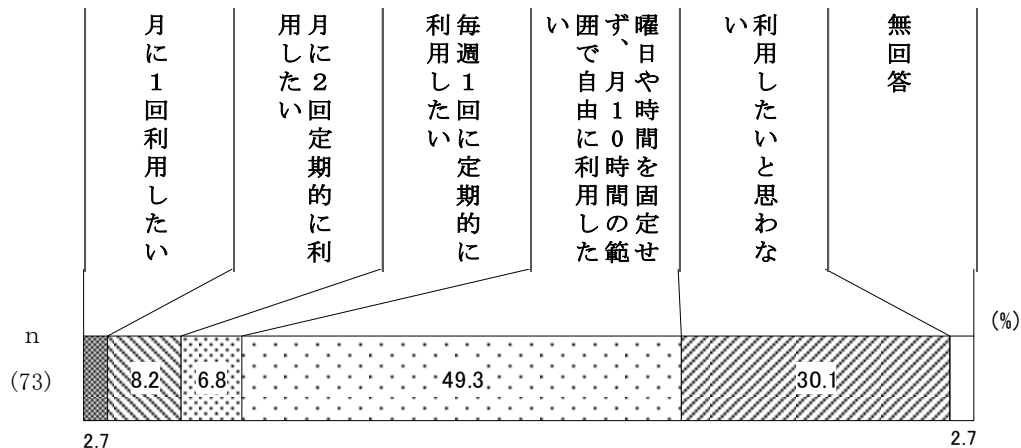
（７）こども誰でも通園制度の利用希望

▶こども誰でも通園制度の利用希望については、「曜日や時間を固定せず、月 10 時間の範囲で自由に利用したい」が 49.3%と最も高くなっている。また、「月に 1 回利用したい」、「月 2 回定期的に利用したい」、「毎週 1 回定期的に利用したい」、「曜日や時間を固定せず、月 10 時間の範囲で自由に利用したい」を合わせた《利用したい》が 67.0%であるのに対し、「利用したいと思わない」は 30.1%となっている。

『問 15 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用していない」に○をつけた方のうち、宛名のお子さんの年齢が 0 歳から 2 歳の方にうかがいます。

問 15-6 国が取り組みを進めている「こども誰でも通園制度（仮称）」が開始された場合、月 10 時間まで定期的に利用できるとしたら、利用したいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）
※「2. 3」の場合は、利用を希望する時間帯も□内にご記入ください。

利用希望



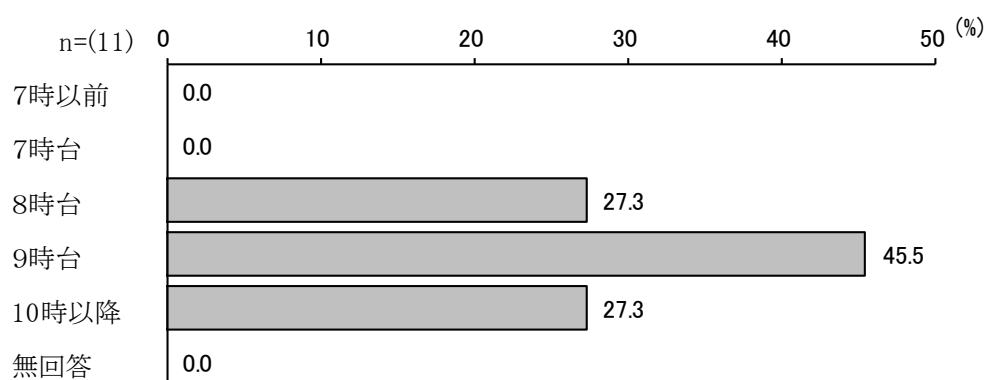
※「こども誰でも通園制度（仮称）」とは、保護者の就労要件などを問わず、子どもを保育所などの施設に通わせることが出来る新たな制度で、令和 8 年度から全国的にスタートする予定です。0 歳 6 か月から 2 歳までの普段保育所などに通っていない子どもが対象です。

▶こども誰でも通園制度の利用希望時間帯について、開始時間は「9 時台」が 45.5%と最も高く、次いで「8 時台」、「10 時以降」（ともに 27.3%）となっている。終了時間は「15 時以前」が 72.7%と最も高く、次いで「15 時台」（18.2%）となっている。

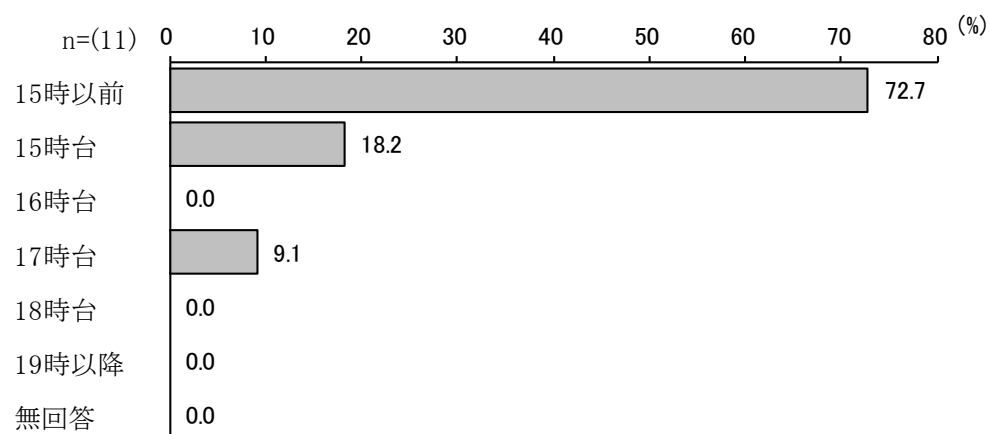
『問 15-6 こども誰でも通園制度の利用希望』で「月 2 回定期的に利用したい」「毎週 1 回定期的に利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

利用希望時間帯

<開始時間>



<終了時間>

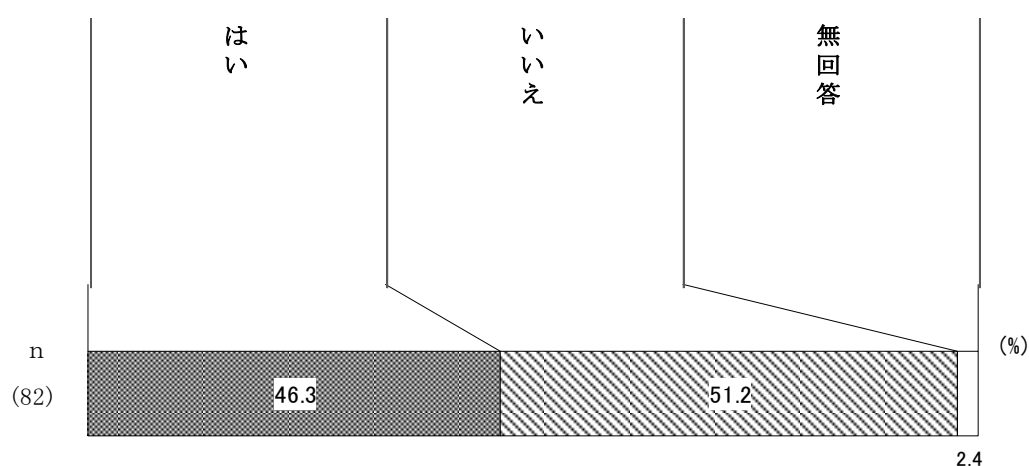


（８）特に幼稚園の利用を希望するか

▶特に幼稚園の利用を希望するかについては、「はい」が 46.3%、「いいえ」が 51.2%となっている。

『問 16 平日に定期的に利用したい事業』で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつそれ以外のいずれかにも○をつけた方にうかがいます。

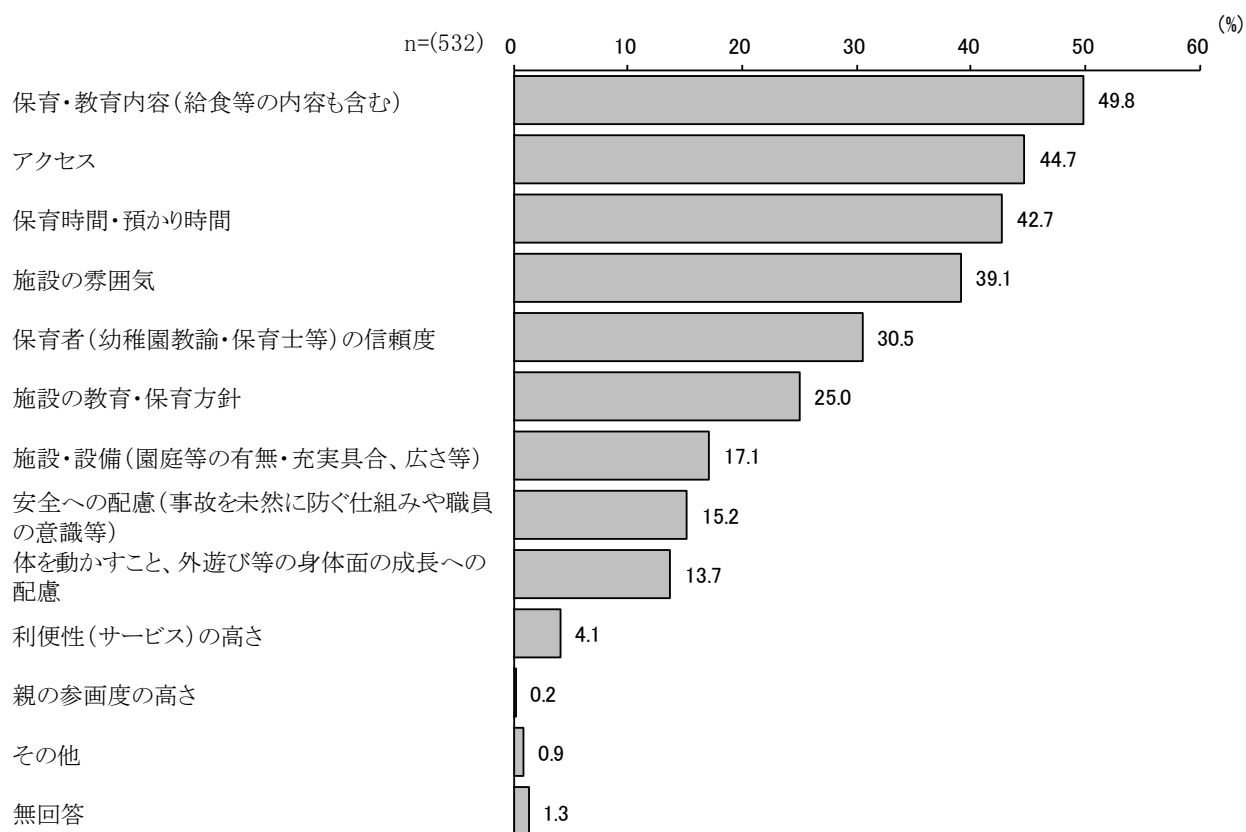
問 16-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（あてはまる番号 1 つに○）



（９）施設選択の際に重視した点・重視したい点

▶施設選択の際に重視した点については、「保育・教育内容（給食等の内容も含む）」が49.8%と最も高く、次いで「アクセス」（44.7%）、「保育時間・預かり時間」（42.7%）となっている。

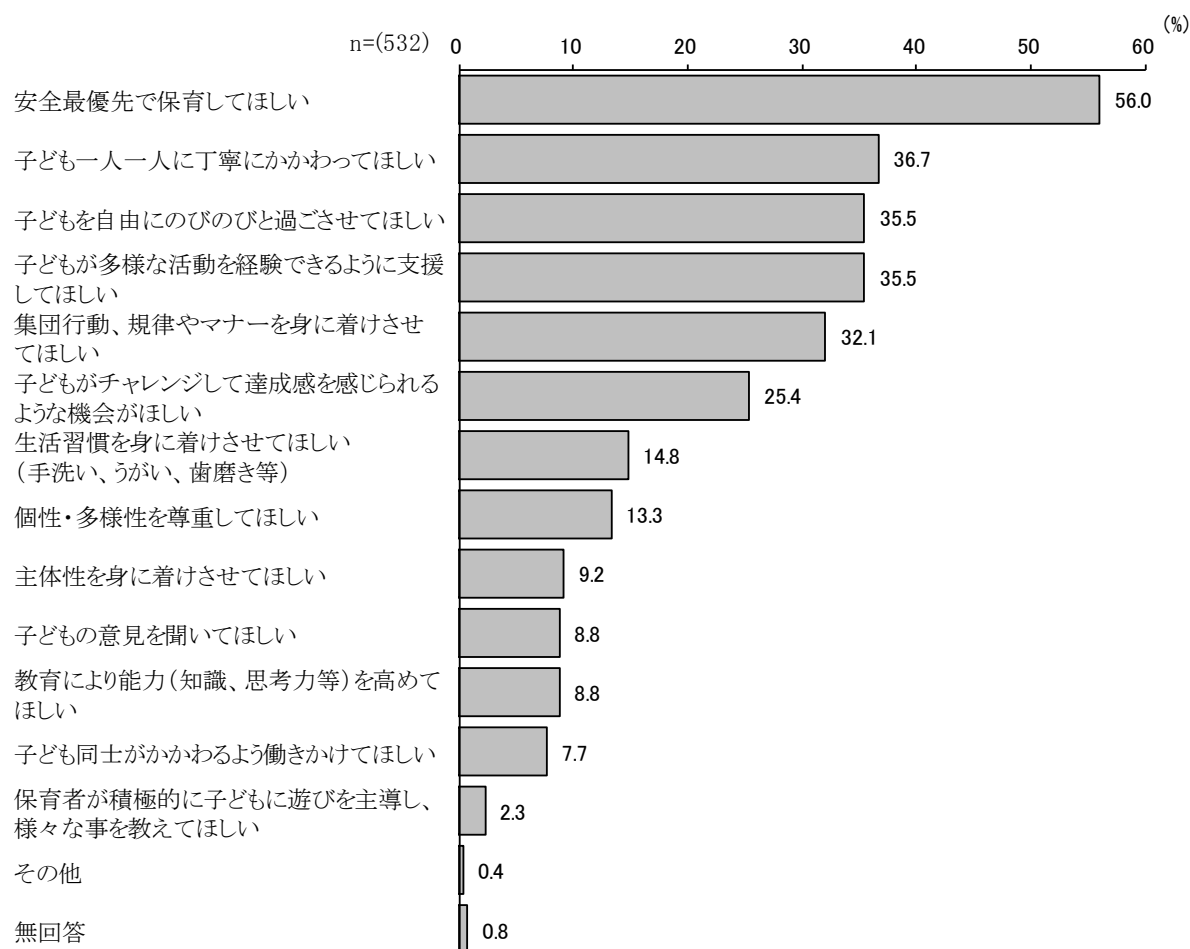
問 16-3 「定期的な教育・保育」の利用について、施設選択の際に重視した点（施設に通っていない方は今後利用する際に重視したい点）は何ですか。特に重要だと思う番号3つまでに○をつけてください。



（１０）子どもを通わせる施設に求めること

▶子どもを通わせる施設に求めることについては、「安全最優先で保育して欲しい」が56.0%と最も高く、次いで、「子ども一人一人に丁寧にかかわってほしい」（36.7%）、「子どもを自由にのびのびと過ごさせてほしい」、「子どもが多様な活動を経験できるように支援して欲しい」（ともに35.5%）となっている。

問 16-4 現在、「定期的な教育・保育」を利用している、利用していないにかかわらず、お子さんを通わせる施設に求めることは何ですか。特に重要だと思う番号3つまでに○をつけてください。



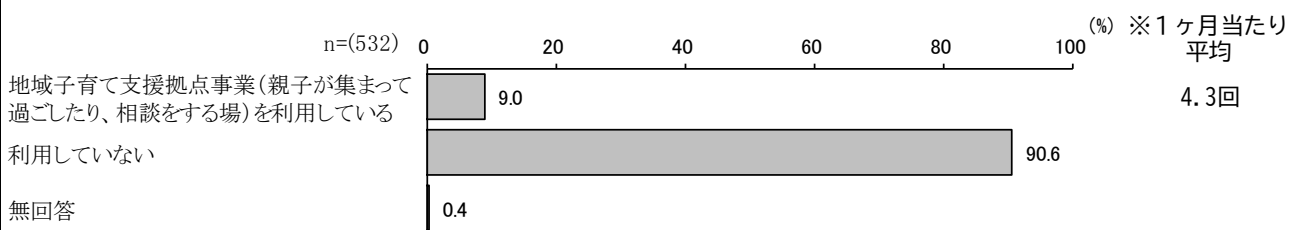
7 地域の子育て支援拠点事業の利用状況について

（1）地域子育て支援拠点事業の利用状況

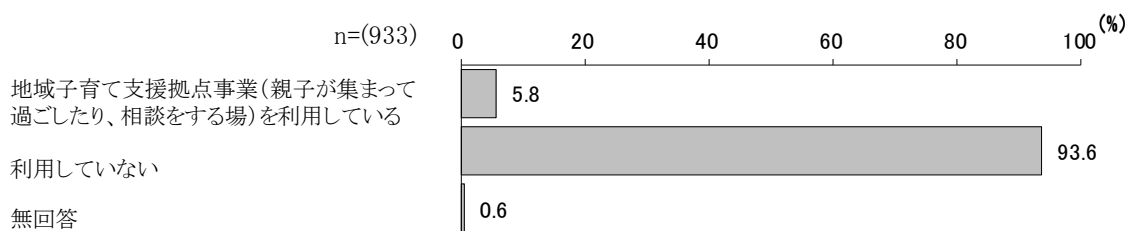
- ▶ 地域子育て支援拠点事業の利用状況については、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）を利用している」が 9.0%、1 ヶ月当たり平均回数は 4 回程度となっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）を利用している」が約 3.2 ポイント上昇し、「利用していない」が 3.0 ポイント低下している。

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（あてはまる番号 1 つに○）

※おおよその利用回数（頻度）を該当する口内に数字でご記入ください。



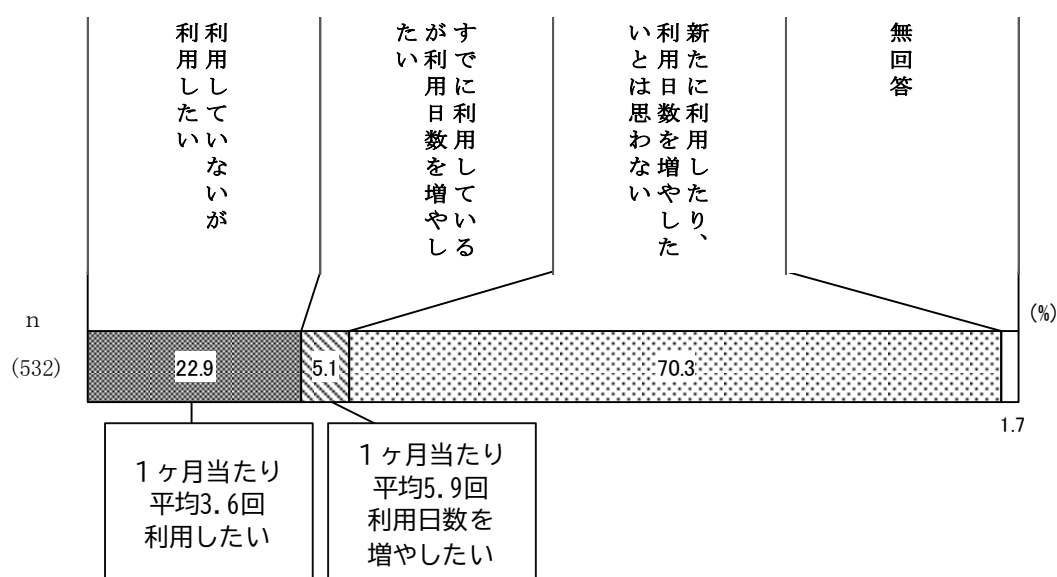
参考：平成 30 年度調査



（２）地域子育て支援拠点事業の利用希望

▶地域子育て支援拠点事業の利用希望については、「利用していないが利用したい」が 22.9%、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」が 5.1%となっており、利用希望・追加希望の月間平均回数は 3 ～ 5 回程度となっている。

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）
※おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

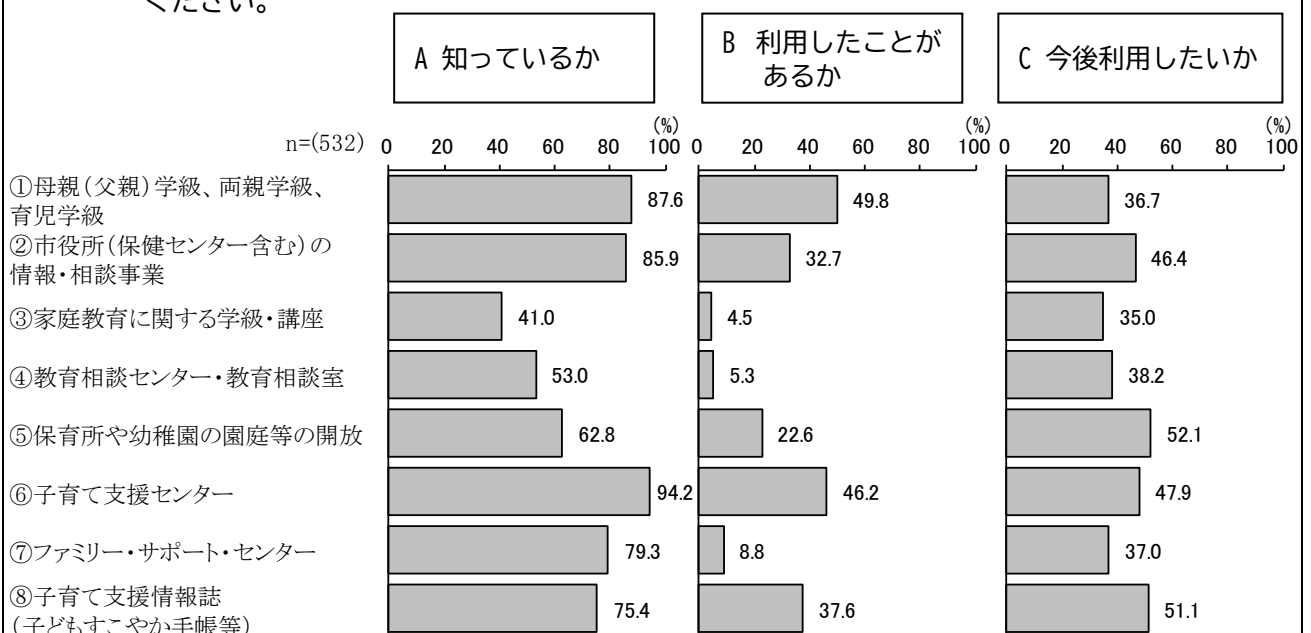


（３）十和田市の子育て支援サービスについて

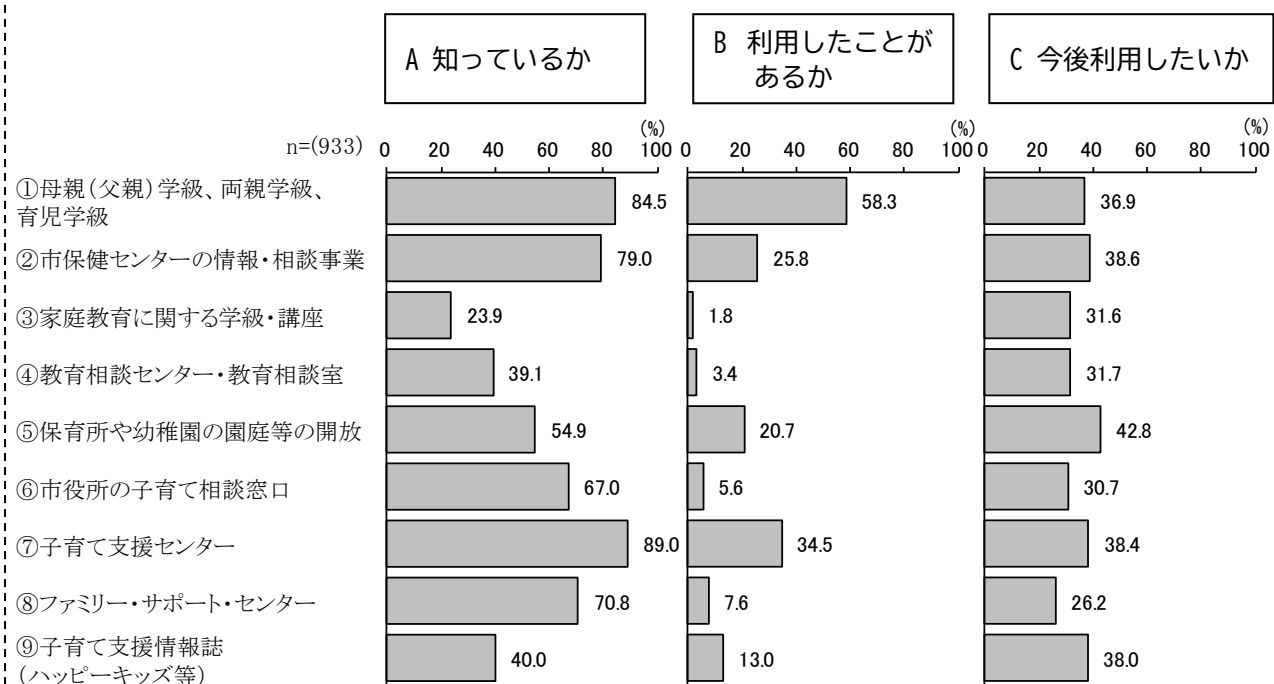
- ▶十和田市で実施している子育て支援サービスの認知度は、「⑥子育て支援センター」が 94.2%と最も高く、次いで「①母親（父親）学級、両親学級、育児学級」（87.6%）、「②市役所（保健センター含む）の情報・相談事業」（85.9%）となっている。
- ▶子育て支援サービスの認知度について平成 30 年度調査と比較すると、概ね順位に変わりはないものの、「⑥子育て支援センター」は 5.2 ポイント上昇している。
- ▶十和田市で実施している子育て支援サービスの利用経験は、「①母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が 49.8%と最も高く、次いで「⑥子育て支援センター」（46.2%）、「⑧子育て支援情報誌（子どもすこやか手帳等）」（37.6%）となっている。
- ▶子育て支援サービスの利用経験について平成 30 年度調査と比較すると、今回調査で第 3 位の「⑧子育て支援情報誌」が 24.6 ポイント上昇し、順位の入れ替わりがみられる。一方、第 1 位の「①母親（父親）学級、両親学級、育児学級」は 8.5 ポイント低下し、第 2 位の「⑥子育て支援センター」は 11.7 ポイント上昇している。
- ▶十和田市で実施している子育て支援サービスの今後の利用意向は、「⑤保育所や幼稚園の園庭等の解放」が 52.1%と最も高く、次いで「⑧子育て支援情報誌（子どもすこやか手帳等）」（51.1%）、「⑥子育て支援センター」（47.9%）となっている。
- ▶子育て支援サービスの今後の利用意向について平成 30 年度調査と比較すると、今回調査で第 2 位の「⑧子育て支援情報誌」が 13.1 ポイント上昇し、順位の入れ替わりがみられる。また、第 1 位の「⑤保育所や幼稚園の園庭等の解放」、第 3 位の「⑥子育て支援センター」は平成 30 年度調査同様利用意向が高く、9～10 ポイント上昇している。

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことはあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

※①～⑧の事業ごと、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。



参考：平成 30 年度調査



（４）今後利用したいと思わない理由

▶すべての事業で、「特に利用する必要がない」が最も高くなっている。次いで「事業の内容がよくわからない」の回答が多く、事業の内容の周知の必要性がうかがえる。

『問 19 十和田市の子育て支援サービス』（今後利用したい）で「いいえ」に○をつけた方にうかがいます。

問 19-1 そう思われる理由は何ですか。それぞれの理由に該当する問 19 の事業番号を記入してください。（あてはまる番号すべてに○）

		(上段:件 下段:%)						
		調査数	な 特 い に 利 用 す る 必 要 が	い 続 き 業 等 の 利 用 方 法 か へ 手	か 事 ら 業 な の 内 容 が よ く わ	利 用 料 が わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
事業別	【①母親(父親)学級、両親学級、育児学級】	321	274 85.4	15 4.7	18 5.6	15 4.7	16 5.0	20 6.2
	【②市役所(保健センター含む)の情報・相談事業】	273	200 73.3	26 9.5	38 13.9	13 4.8	18 6.6	17 6.2
	【③家庭教育に関する学級・講座】	328	235 71.6	28 8.5	52 15.9	14 4.3	17 5.2	25 7.6
	【④教育相談センター・教育相談室】	308	225 73.1	29 9.4	44 14.3	16 5.2	18 5.8	20 6.5
	【⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放】	238	185 77.7	20 8.4	21 8.8	13 5.5	12 5.0	15 6.3
	【⑥子育て支援センター】	264	208 78.8	20 7.6	25 9.5	12 4.5	21 8.0	15 5.7
	【⑦ファミリー・サポート・センター】	319	236 74.0	25 7.8	38 11.9	16 5.0	32 10.0	16 5.0
	【⑧子育て支援情報誌(子どもすこやか手帳等)】	241	183 75.9	21 8.7	29 12.0	16 6.6	13 5.4	21 8.7

8 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

（１）土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

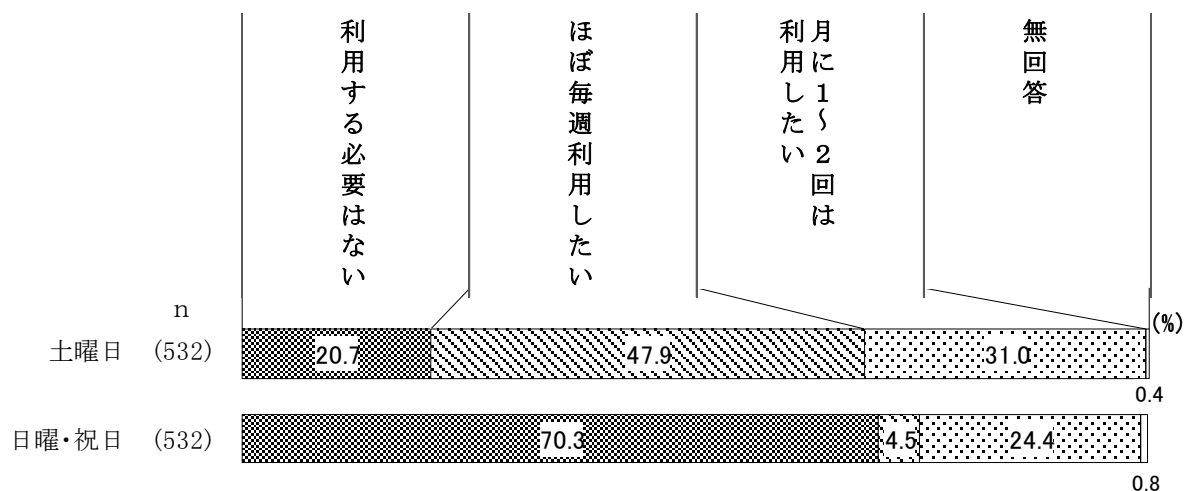
- ▶土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」（47.9%）と「月に1～2回は利用したい」（31.0%）を合わせた78.9%に利用意向があった。
- ▶日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、70.3%は「利用する必要はない」と回答しているものの、「ほぼ毎週利用したい」（4.5%）と「月に1～2回は利用したい」（24.4%）を合わせた28.9%に利用意向があった。
- ▶平成30年度調査と比較すると、土曜日は「月に1～2回は利用したい」が31.0%と12.4ポイント上昇しているが、日曜・祝日は、概ね同様の傾向がみられる。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

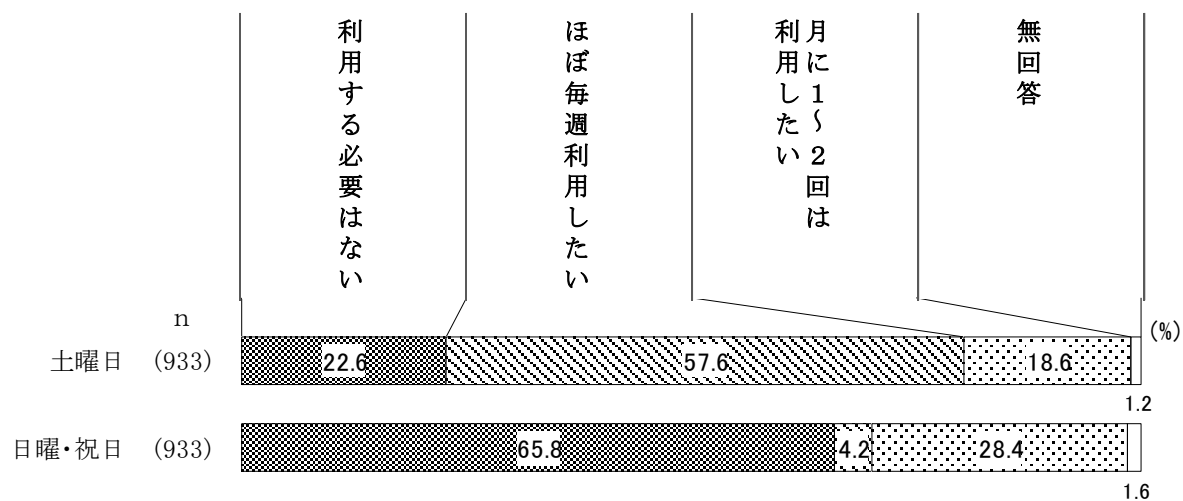
((1) (2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

利用希望



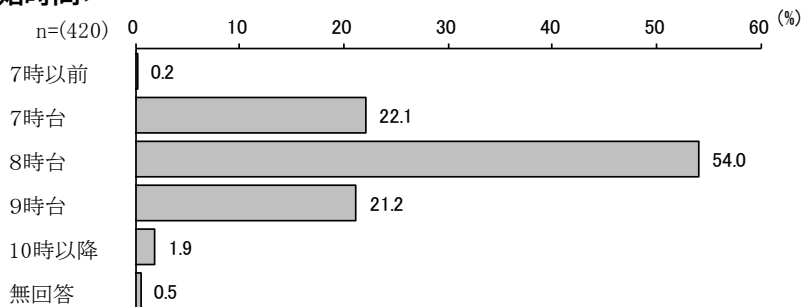
参考：平成 30 年度調査



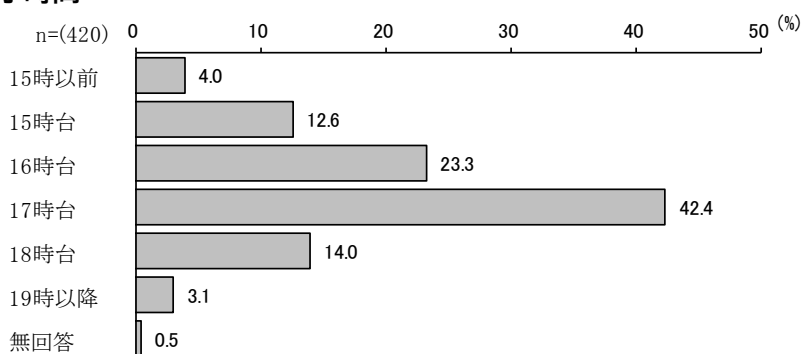
- ▶土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望時間帯について、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた《利用したい》では、開始時間は「8時台」（54.0%）、終了時間は「17時台」（42.4%）が最も高い。
- ▶日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望時間帯について、《利用したい》では、開始時間は「8時台」（48.1%）、終了時間は「17時台」（41.6%）が最も高い。

利用希望時間帯

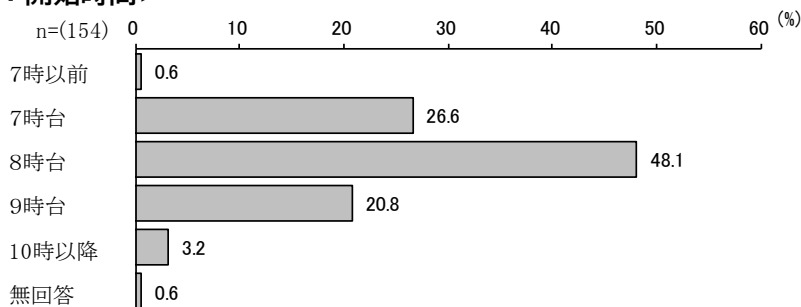
<土曜日：開始時間>



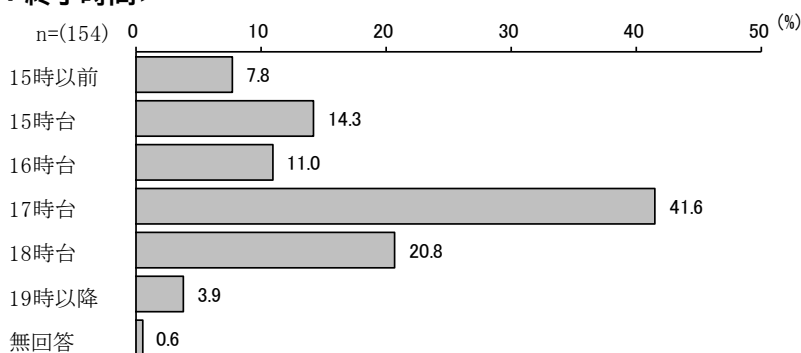
<土曜日：終了時間>



<日曜・祝日：開始時間>



<日曜・祝日：終了時間>

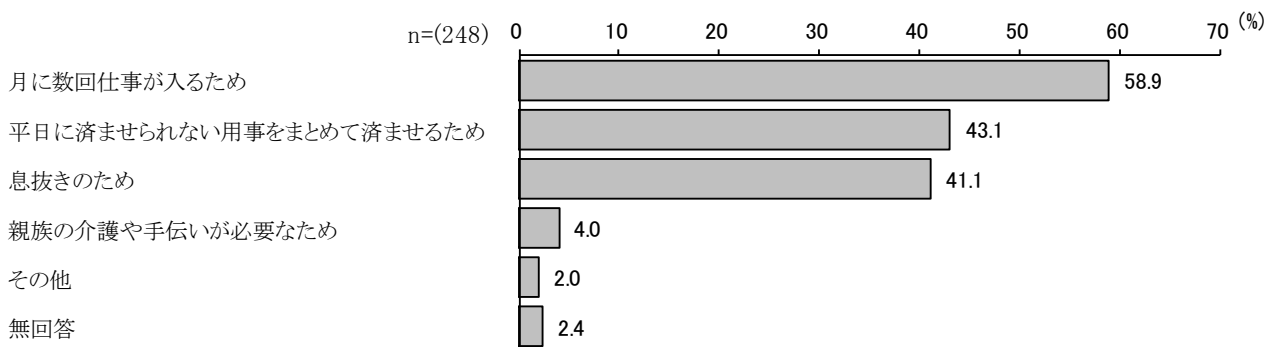


（２）土曜日・休日にたまに利用したい（毎週ではない）理由

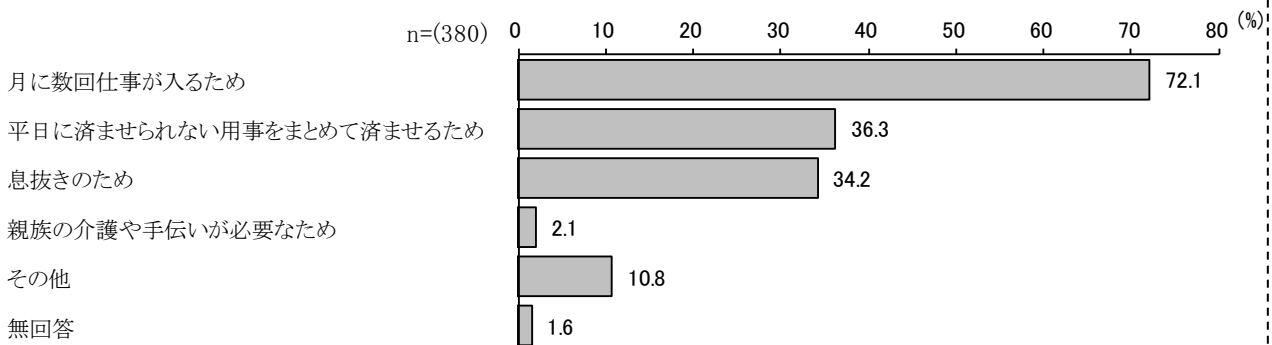
- ▶土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用が毎週ではない理由については、「月に数回仕事が入るため」が 58.9%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」（43.1%）、「息抜きのため」（41.1%）となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「月に数回仕事が入るため」が 13.2 ポイント低下し、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 6.8 ポイント、「息抜きのため」が 6.9 ポイント上昇している。

『問 20 土曜日と日曜・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望』の（１）土曜日、（２）日曜日で「月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）



参考：平成 30 年度調査

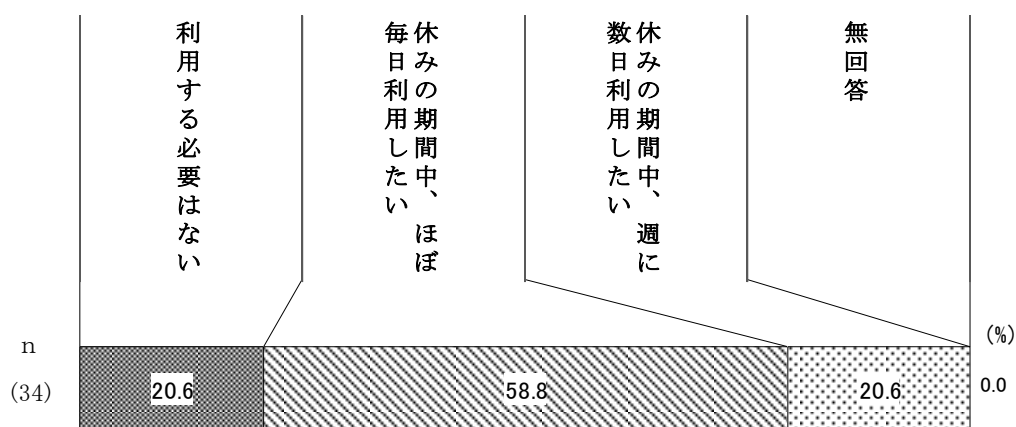


（３）長期休業中の教育・保育事業の利用希望

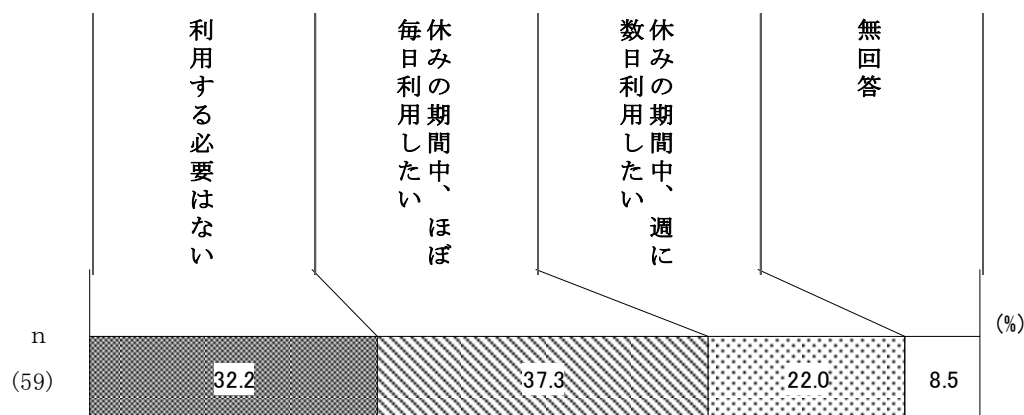
- ▶長期休業中の教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が58.8%と最も高く、「休みの期間中、週に数日利用したい」（20.6%）と合わせた《利用したい》79.4%に利用意向があった。
- ▶平成30年度調査と比較すると、《利用したい》が20.1ポイント上昇している。

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。（あてはまる番号1つに○）



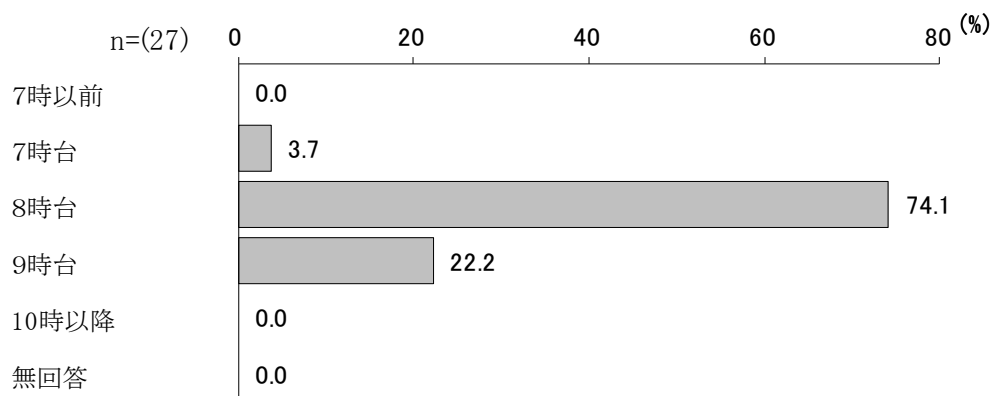
参考：平成30年度調査



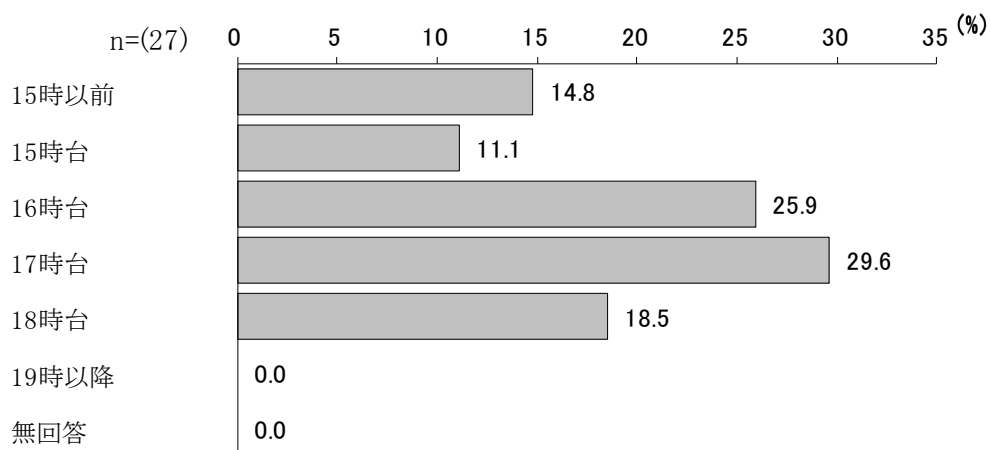
- ▶長期休業中の教育・保育事業の利用希望時間帯については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」を合わせた《利用したい》では、開始時間は「8時台」（74.1%）、終了時間は「17時台」（29.6%）が最も高い。

利用希望時間帯

<開始時間>



<終了時間>

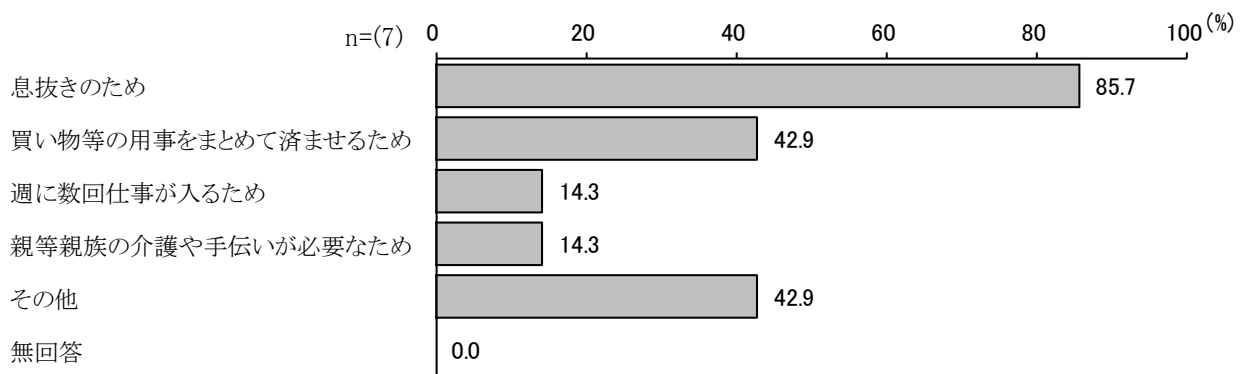


（４）長期休業中にたまに利用したい（毎日ではない）理由

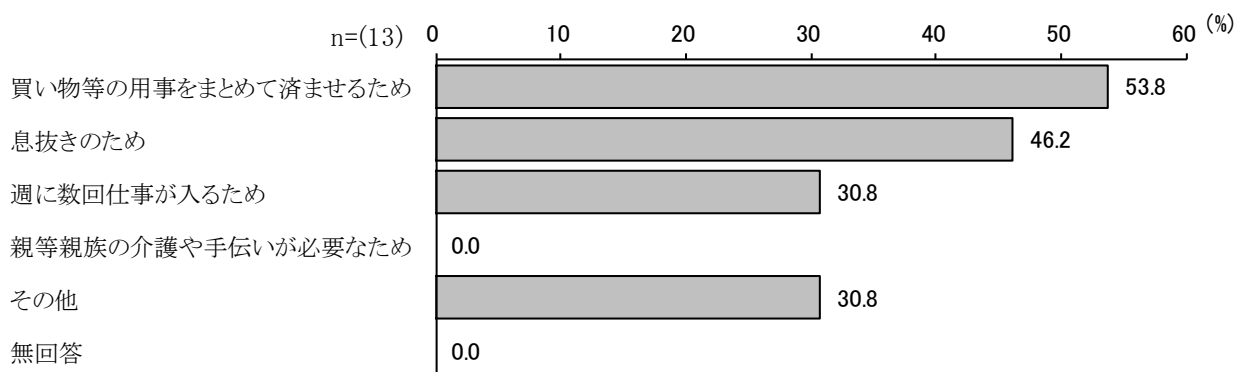
- ▶長期休業中の教育・保育事業の利用が毎日ではない理由については、「息抜きのため」が 85.7%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（42.9%）となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「息抜きのため」が 39.5 ポイント上昇している。

『問 21 長期休業中の教育・保育事業の利用希望』で「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）



参考：平成 30 年度調査



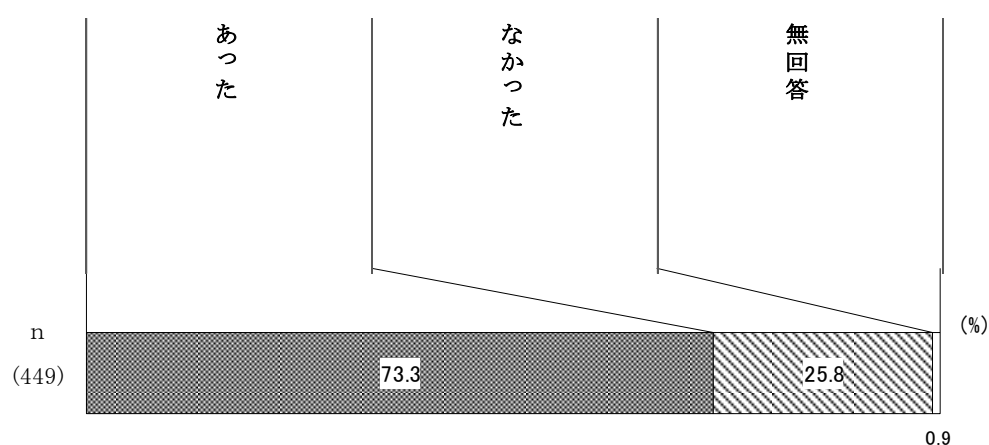
9 病気の際の対応について

（１）子どもが病気やケガで事業を利用できなかったことの有無

▶ 子どもが病気やケガで事業を利用できなかったことの有無については、「あった」が73.3%、「なかった」が25.8%となっている。

『問15 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

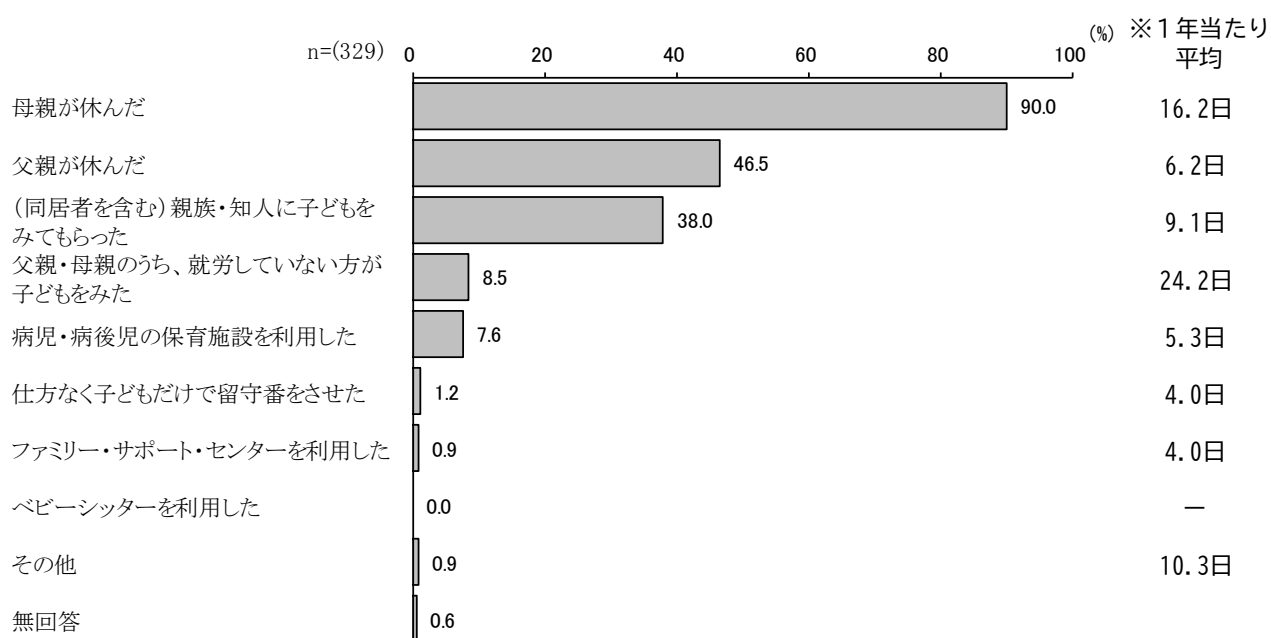


（２）事業が利用できなかった際の対応

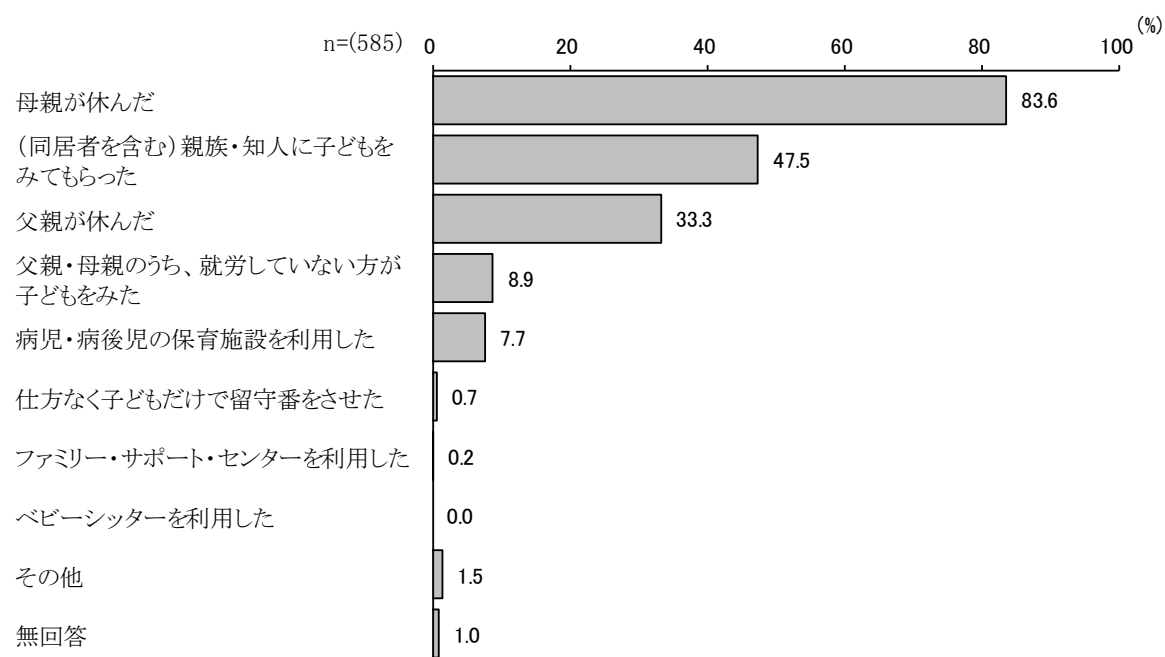
- ▶事業が利用できなかった際の対応については、「母親が休んだ」が90.0%と最も高く、次いで「父親が休んだ」（46.5%）、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（38.0%）となっている。
- ▶平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」の順位が入れ替わっており、「父親が休んだ」は13.2ポイント上昇している。

『問22 子どもが病気やケガで事業を利用できなかったことの有無』で「あった」に○をつけた方にうかがいます。

問22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。（あてはまる番号すべてに○）
※それぞれ、おおよその日数も□内に数字でご記入ください。（半日程度も1日と数えます）



参考：平成 30 年度調査



（３）病児・病後児保育施設等の利用希望

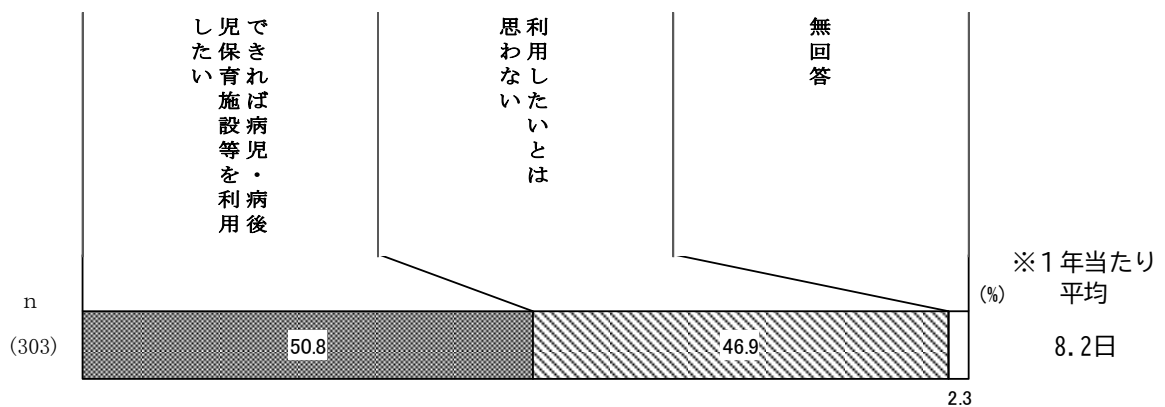
- ▶病児・病後児保育施設等の利用希望については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 50.8%であり、利用希望の年間平均日数は 8.2 日となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 13.1 ポイント上昇している。

『問 22-1 事業が利用できなかった際の対応』で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

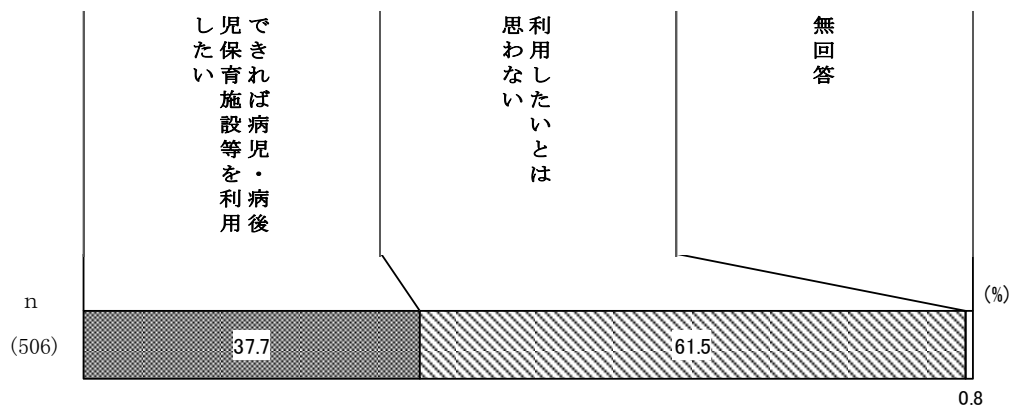
問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
(あてはまる番号 1 つに○)

※日数についても□内に数字でご記入ください。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(令和 6 年度から十和田市民が十和田東病院病児・病後児保育所「里の森」を利用する場合の利用料は無料となりました。)



参考：平成 30 年度調査

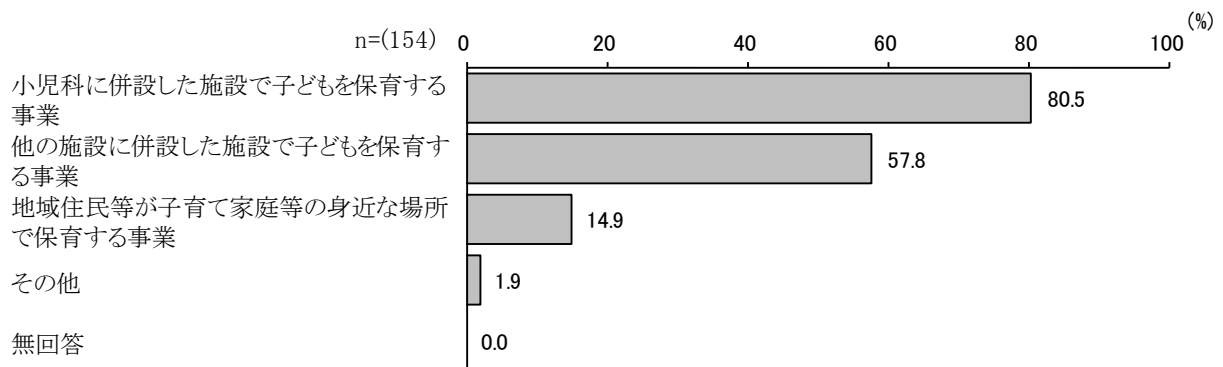


（４）病児・病後児保育施設等を利用する場合の望ましい事業形態

▶病児・病後児保育施設等を利用する場合の望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 80.5%、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 57.8%となっている。

『問 22-2 病児・病後児保育施設等を利用したいか』で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
（あてはまる番号すべてに○）

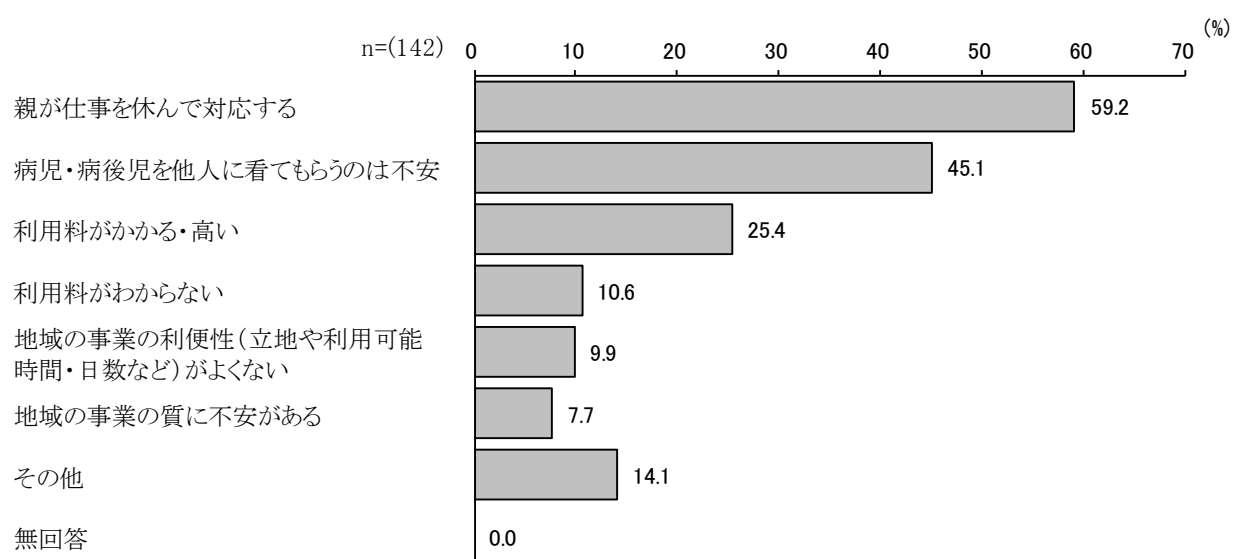


（５）病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

▶病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応する」が59.2%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」（45.1%）、「利用料がかかる・高い」（25.4%）となっている。

『問 22-2 病児・病後児保育施設等を利用したいか』で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-4 そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

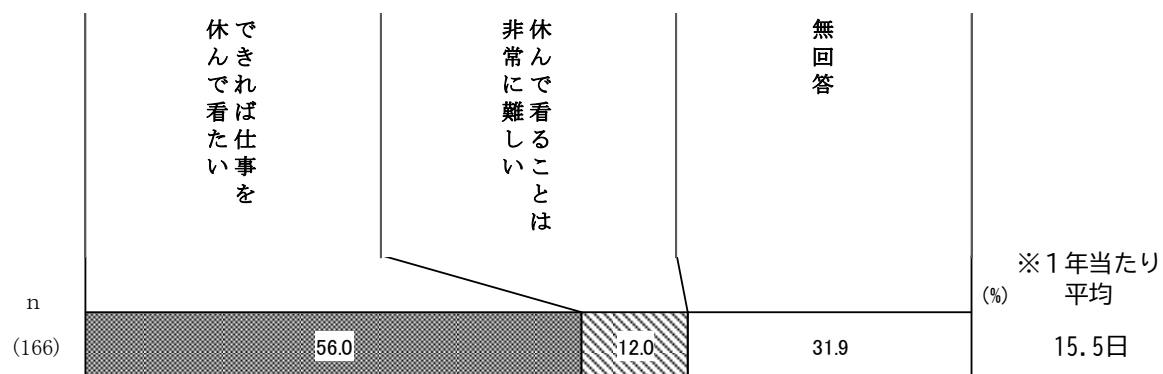


（６）仕事を休んで看たいと思ったか

▶仕事を休んで看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」が 56.0%であり、休んで看た
 かった年間平均日数は 15.5 日となっている。

『問 22-1 事業が利用できなかった際の対応』で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外に○をつけ
 た方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
 （あてはまる番号 1 つに○）

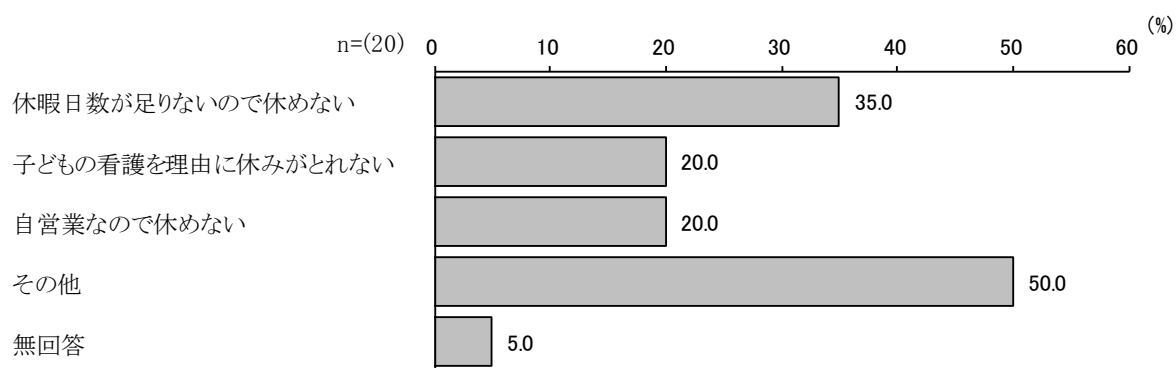


（７）休んで看ることが難しいと思う理由

- ▶休んで看ることが難しいと思う理由については、「休暇日数が足りないので休めない」が 35.0%と最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」、「自営業なので休めない」（ともに 20.0%）となっている。
- ▶また、「その他」の回答には、「休むことに気が引ける」、「仕事の調整が難しい」、「申し訳ない気持ちがある」などの回答が多かった。

『問 22-5 仕事を休んで看たいと思ったか』で「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-6 そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

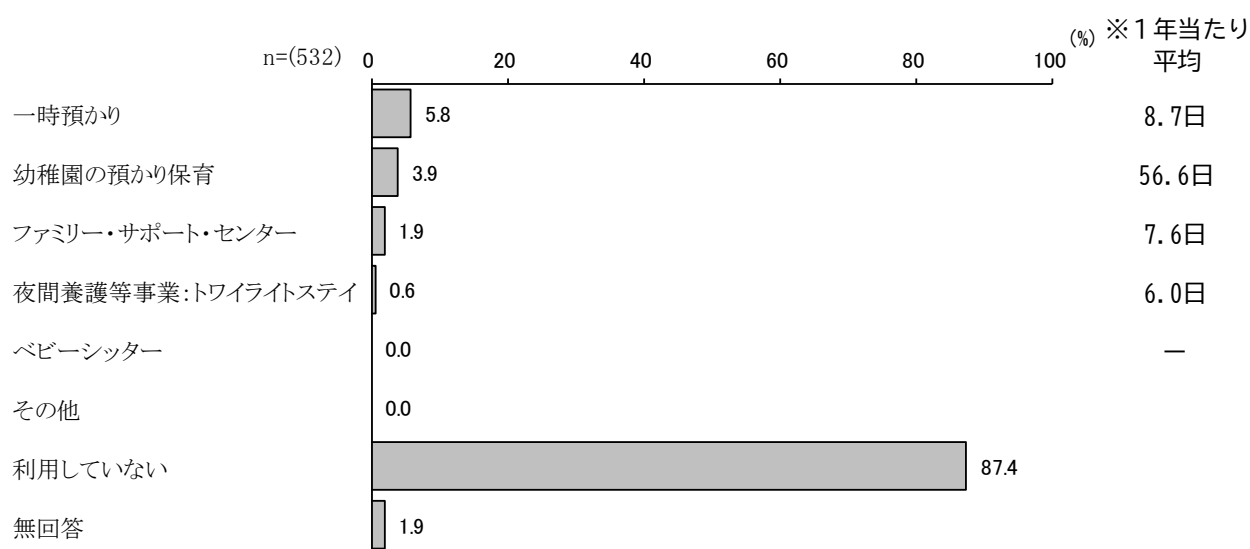


10 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

（1）不定期的に利用している事業

- ▶不定期的に利用している事業については、「一時預かり」が 5.8%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」（3.9%）となっており、年間平均利用日数は「一時預かり」で 8.7 日、「幼稚園の預かり保育」で 56.6 日となっている。
- ▶一方、87.4%が「利用していない」と回答している。

問 23 宛名のお子さんについて、平日の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。（あてはまる番号すべてに○）
※1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

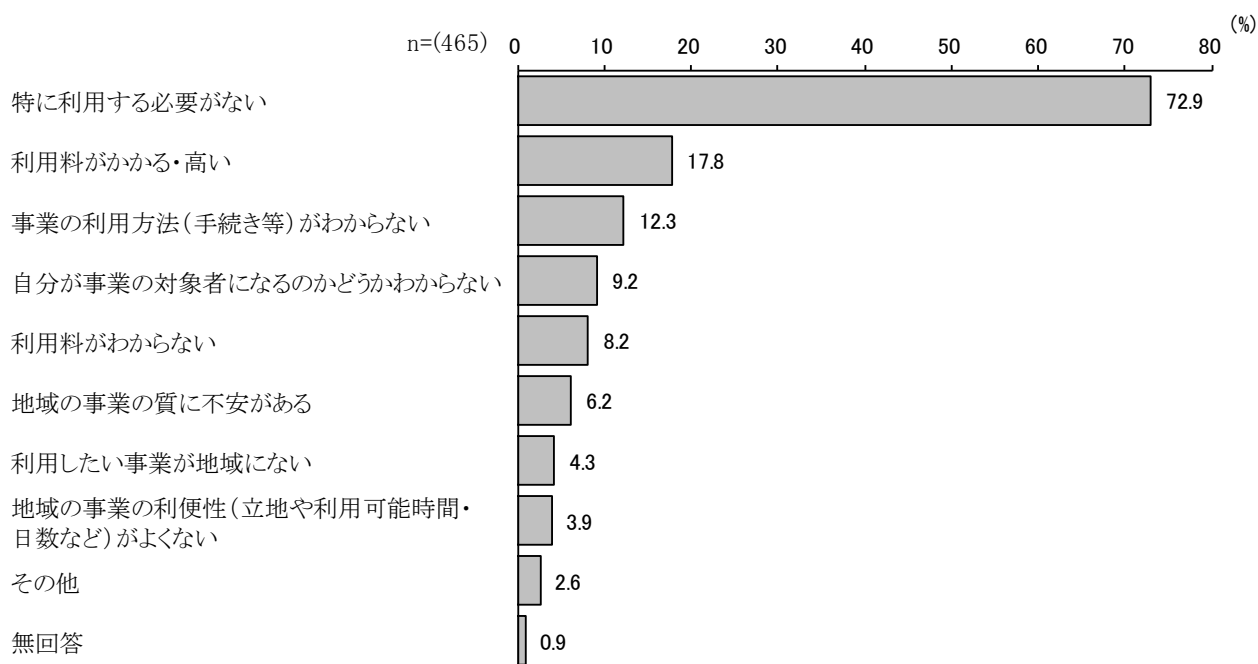


（２）不定期の事業を利用していない主な理由

▶不定期の事業を利用していない主な理由については、「特に利用する必要がない」が72.9%と大多数を占めており、次いで「利用料がかかる・高い」（17.8%）となっている。

『問23 不定期的に利用している一事業』で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

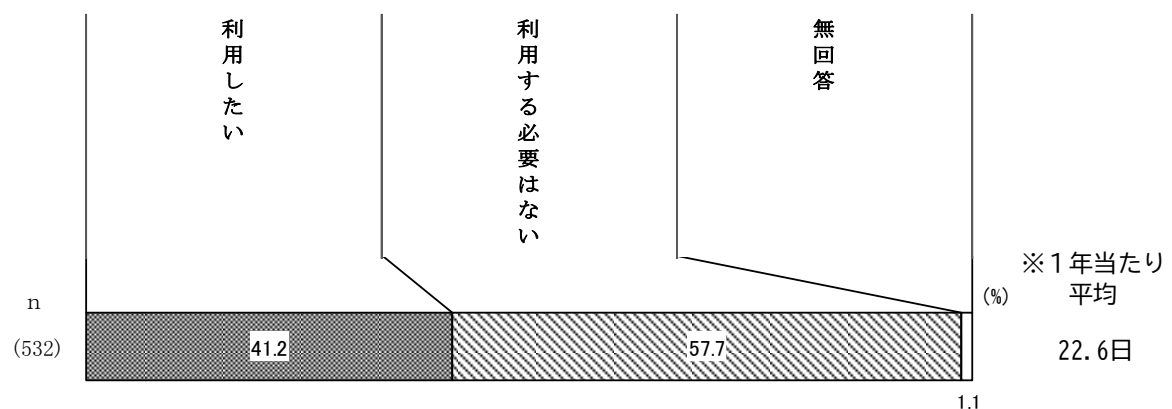


（３）私用・親の通院・不定期の就労等の目的での事業の利用希望

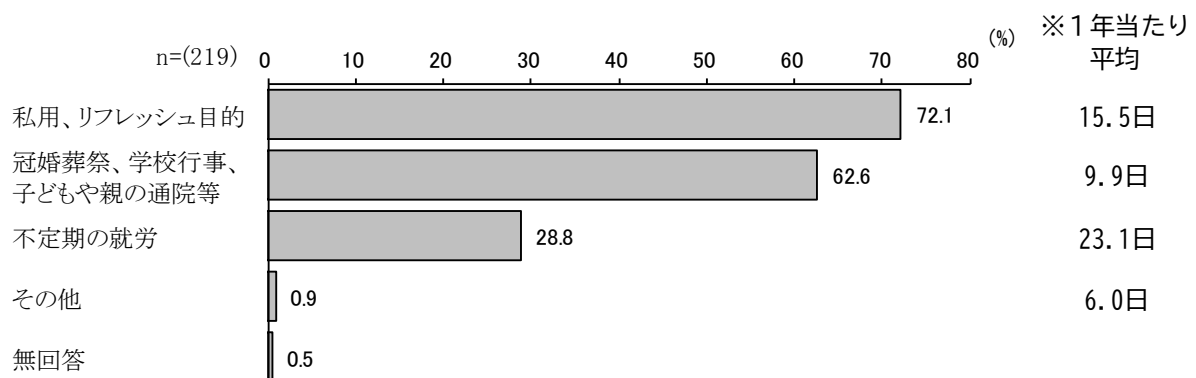
- ▶私用・親の通院・不定期の就労等の目的での事業の利用希望については、「利用したい」が 41.2%であり、利用希望の年間平均日数は 22.6 日となっており、平成 30 年度調査と比較すると 13.7 ポイント上昇している。
- ▶利用目的については、「私用、リフレッシュ目的」が 72.1%と最も高く、平成 30 年度調査と比較すると 11.8 ポイント上昇している。次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（62.6%）、「不定期の就労」（28.8%）となっている。

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。（あてはまる番号・丸数字すべてに○）
※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。

利用希望

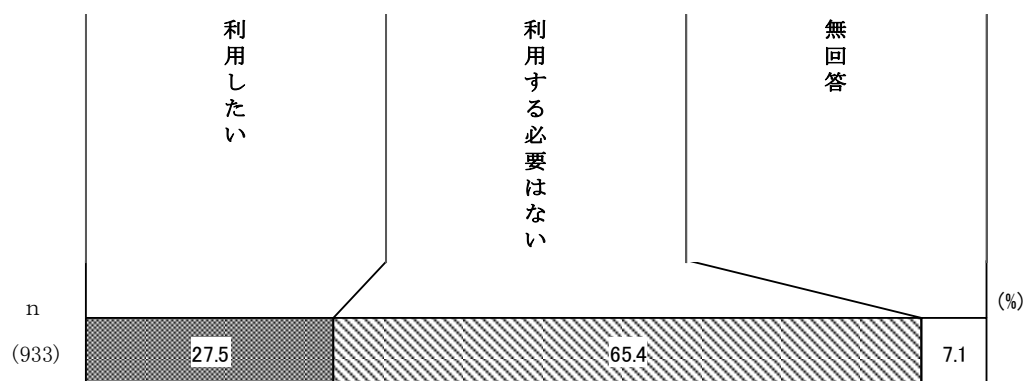


利用目的

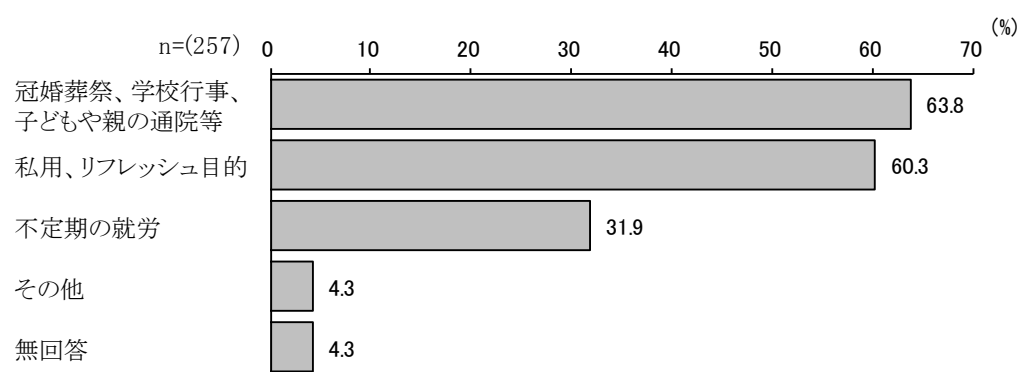


参考：平成 30 年度調査

利用希望



利用目的

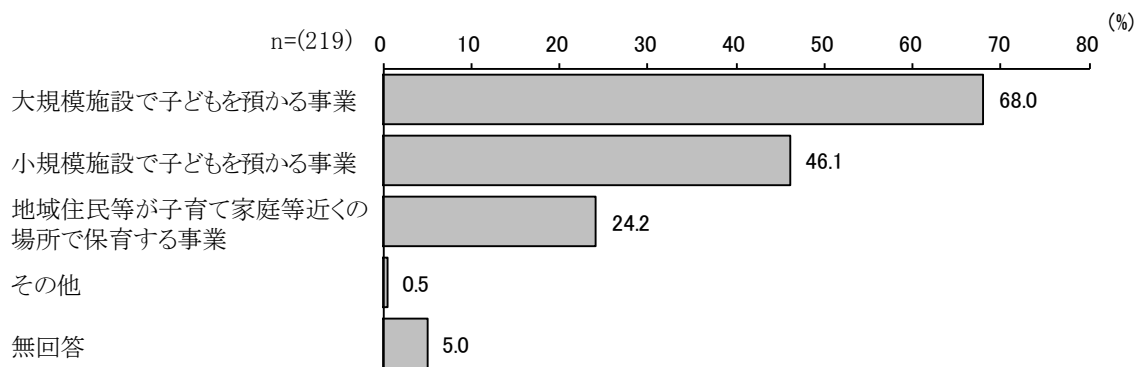


（４）私用・親の通院・不定期の就労等の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態

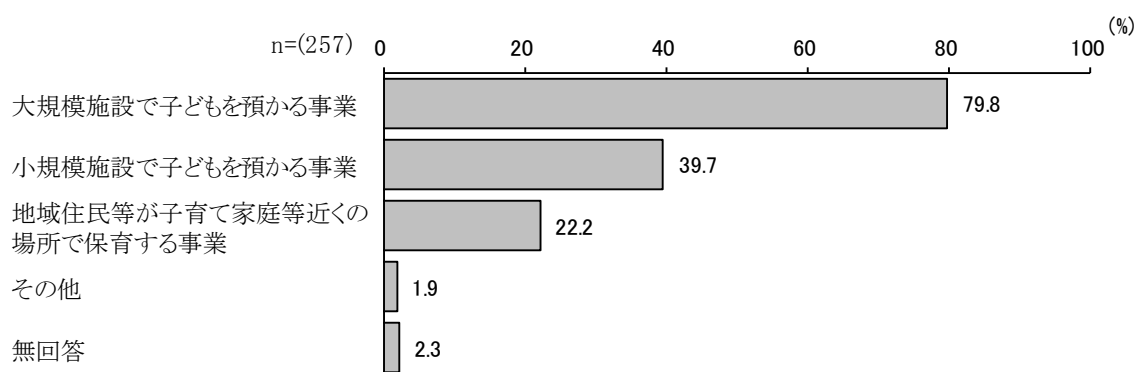
- ▶私用・親の通院・不定期の就労等の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態については、「大規模施設で子どもを預かる事業」が 68.0%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを預かる事業」（46.1%）、「地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業」（24.2%）となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「大規模施設で子どもを預かる事業」が 11.8 ポイント低下している。

『問 24 私用・親の通院・不定期の就労等の目的での事業の利用希望』で「利用したい」に○をつけた方
にうかがいます。

問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われます
か。（あてはまる番号すべてに○）



参考：平成 30 年度調査



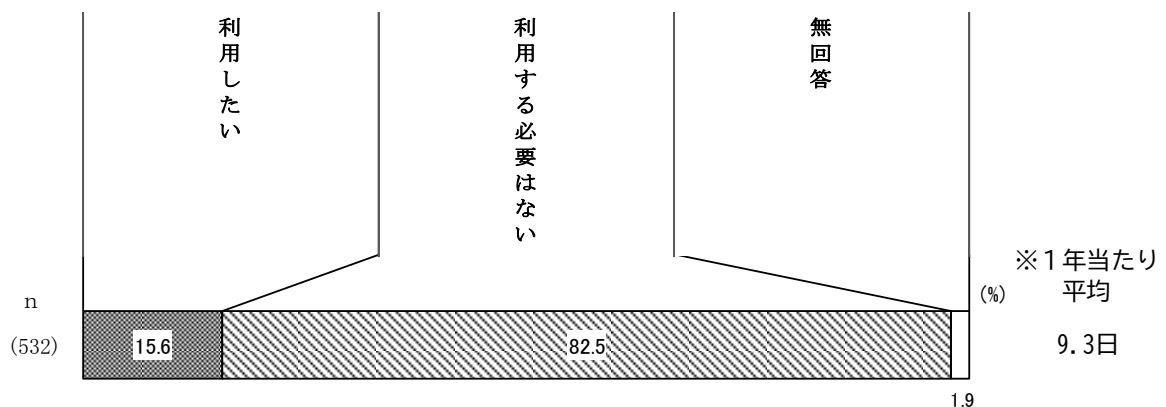
（５）短期入所生活援助事業の利用希望

- ▶短期入所生活援助事業の利用希望については、「利用したい」が 15.6%であり、利用希望の年間平均日数は 9.3 日となっている。
- ▶利用目的については、「保護者や家族の育児疲れ・不安」、「保護者や家族の病気」がともに 65.1%と高く、次いで「冠婚葬祭」（44.6%）となっている。

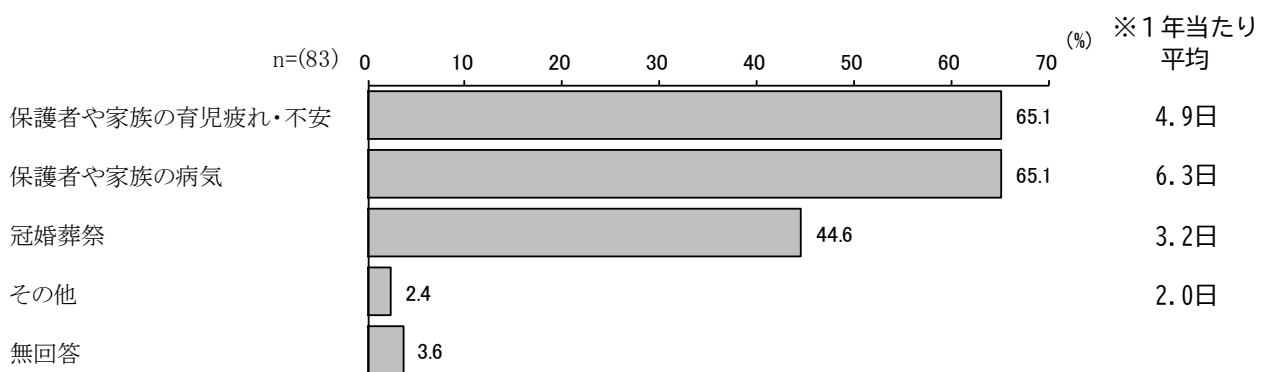
問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

※短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・丸数字全てに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。

利用希望



利用目的



11 小学校就学後の放課後の過ごし方について

（１）小学校低学年の放課後に過ごさせたい場所

- ▶ 小学校低学年の放課後に過ごさせたい場所については、「放課後児童クラブ（仲よし会）」が 70.2%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（38.3%）、「自宅」（35.1%）となっている。
- ▶ 平成 30 年度調査結果と比較すると、「放課後児童クラブ（仲よし会）」は 1.8 ポイント低下している一方、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は 1.7 ポイント、「自宅」は 12.1 ポイント上昇している。
- ▶ 放課後児童クラブ（仲よし会）を希望する場合の利用終了時間については、「下校時から 17 時台」が 39.4%と最も高く、次いで「下校時から 17 時以前」（29.5%）となっている。

宛名のお子さんが５歳以上の方にうかがいます。

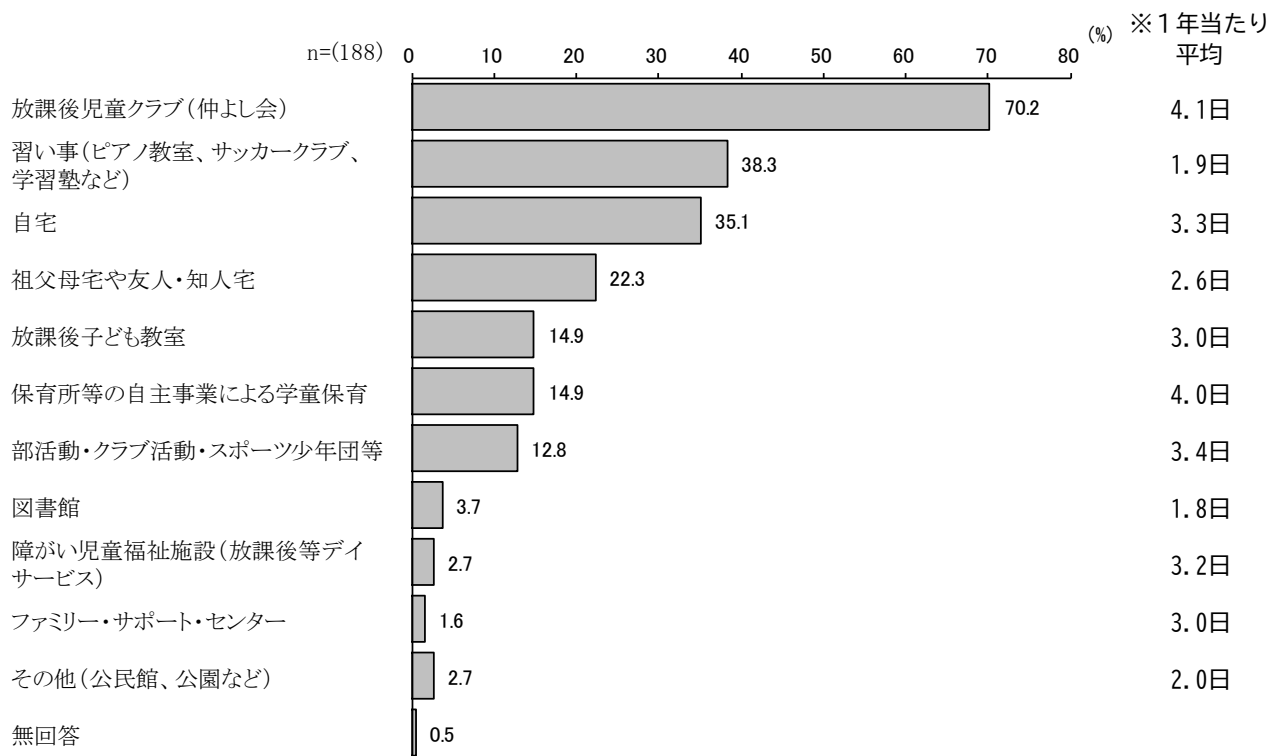
問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

（あてはまる番号すべてに○）

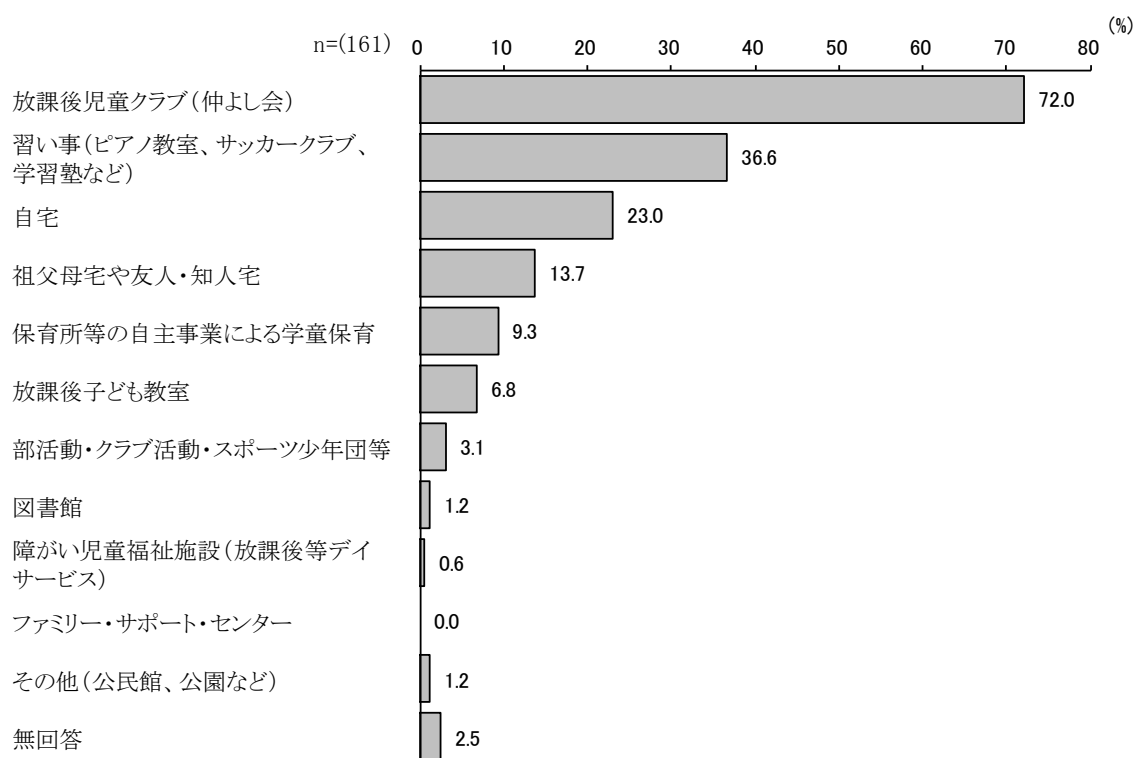
※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。

※「６．放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も 30 分単位で口内に数字でご記入ください。

小学校低学年の放課後に過ごさせたい場所

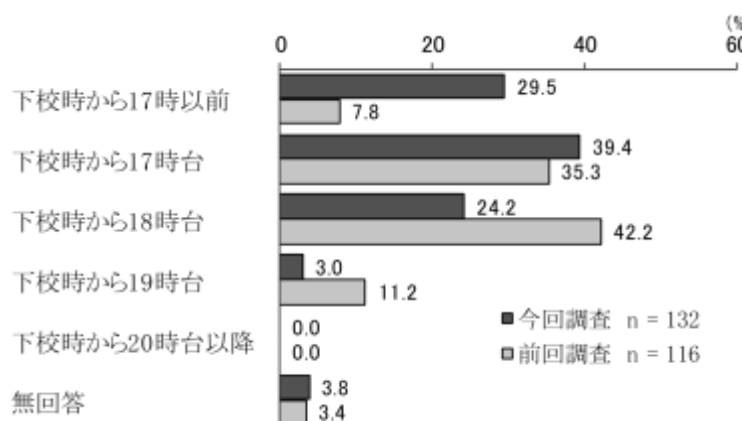


参考：平成 30 年度調査

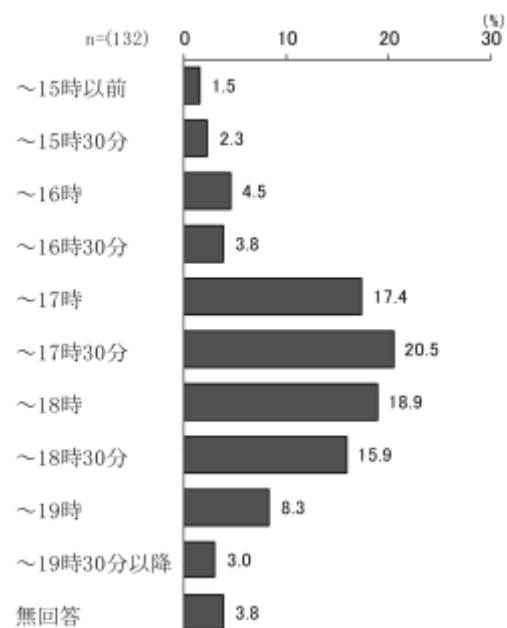


利用終了時間

<前回比較>



<今回調査(30分単位)>



（２）小学校高学年の放課後に過ごさせたい場所

- ▶ 小学校高学年の放課後に過ごさせたい場所については、「自宅」が 68.6%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（55.3%）、「部活動・クラブ活動・スポーツ少年団等」（32.4%）となっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の順位が入れ替わっており、「自宅」は 18.9 ポイント上昇している。
- ▶ 放課後児童クラブ（仲よし会）を希望する場合の利用終了時間については、「下校時から 17 時台」が 46.3%と最も高く、次いで「下校時から 18 時台」（24.1%）となっている。

宛名のお子さんが5歳以上の方にかがいます。

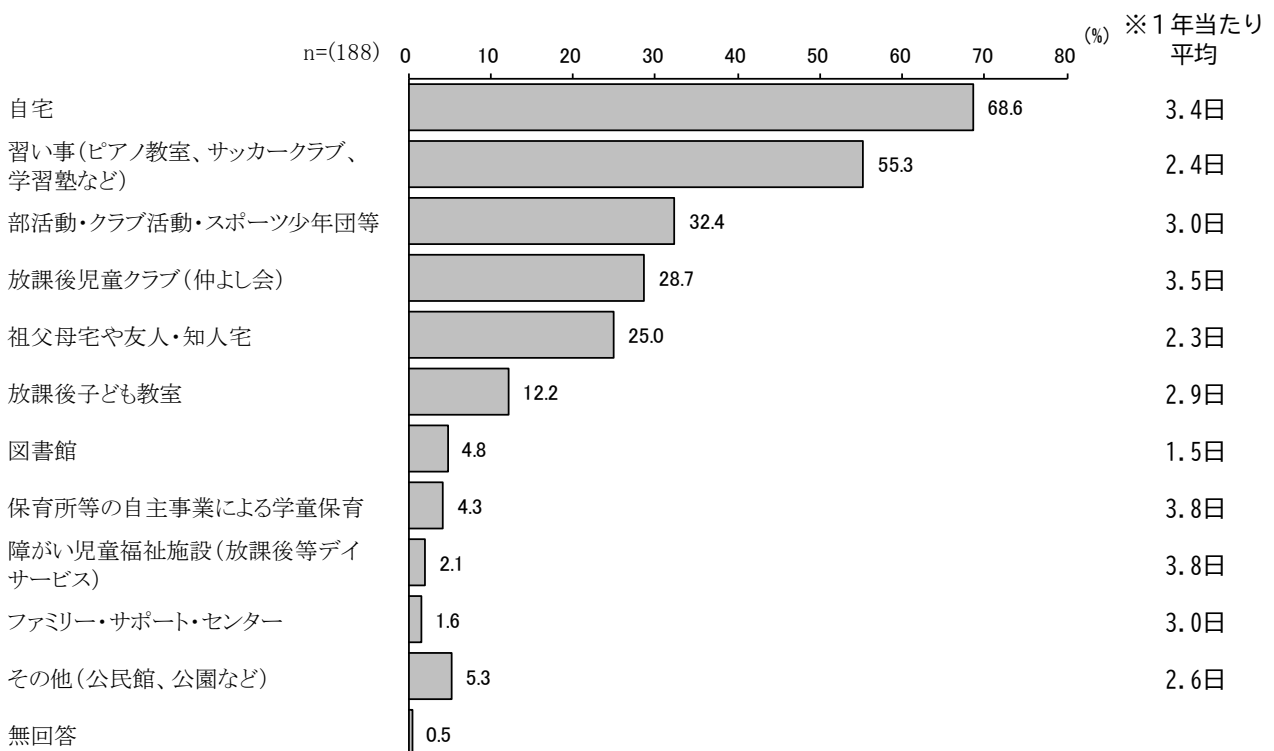
問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。

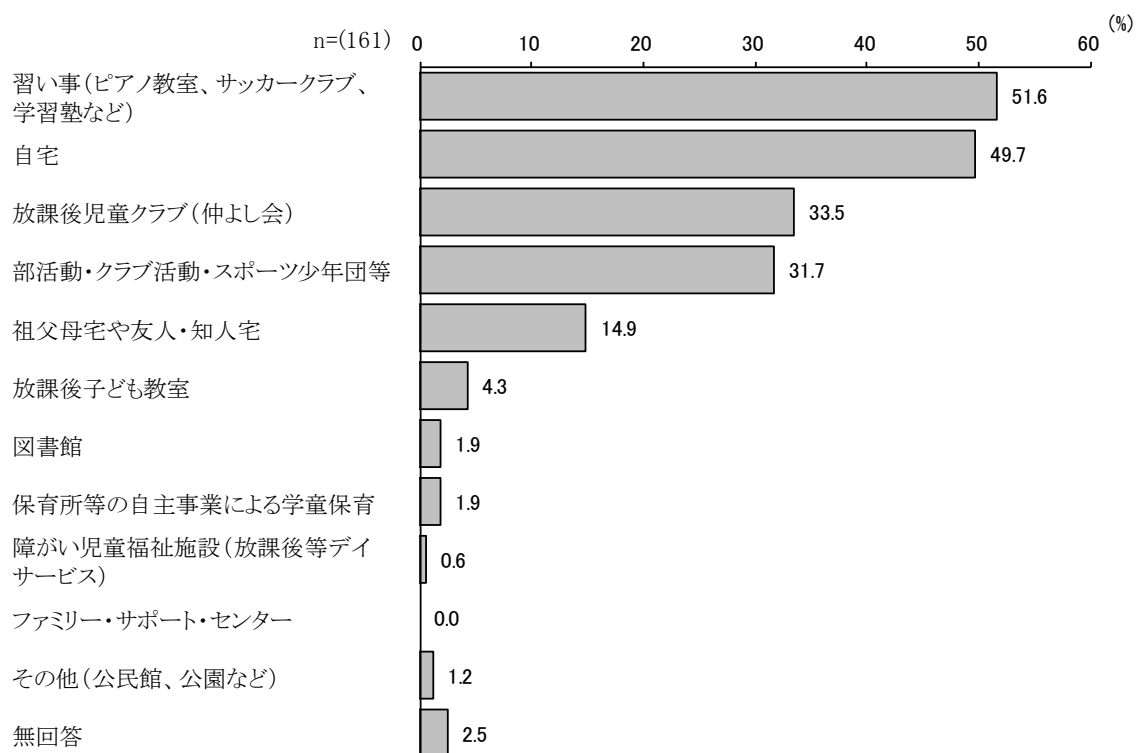
※「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も 30 分単位で口内に数字でご記入ください。

※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

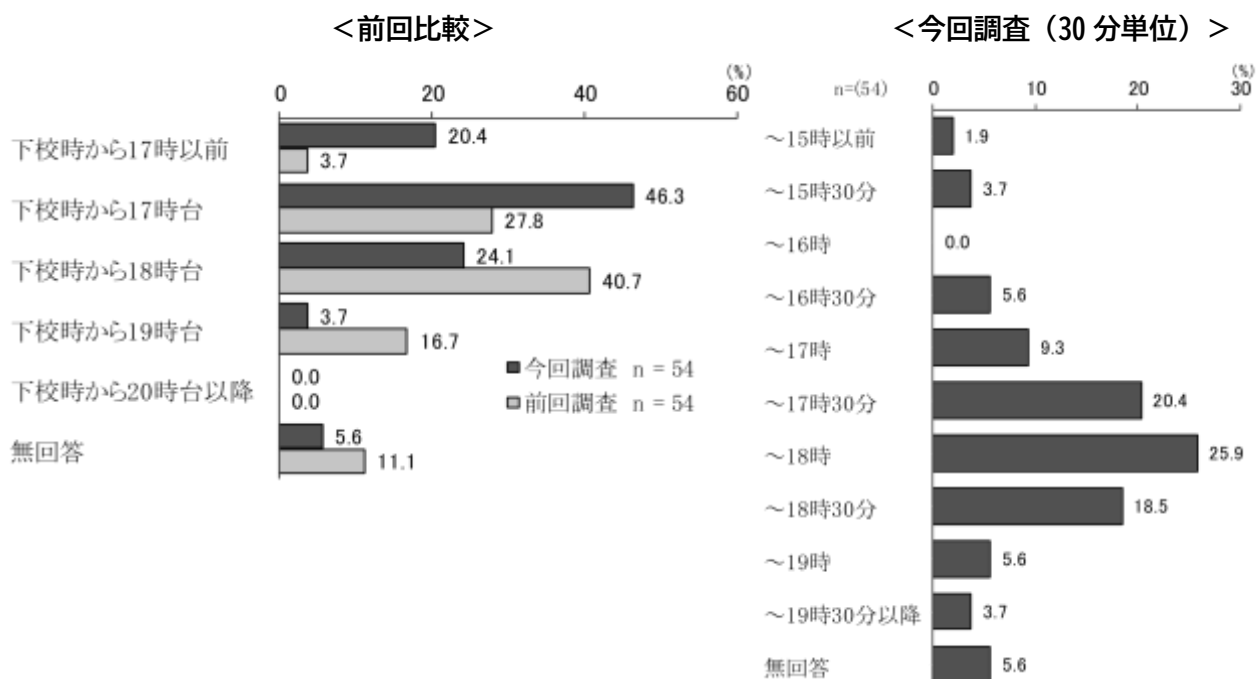
小学校高学年の放課後に過ごさせたい場所



参考：平成 30 年度調査



利用終了時間



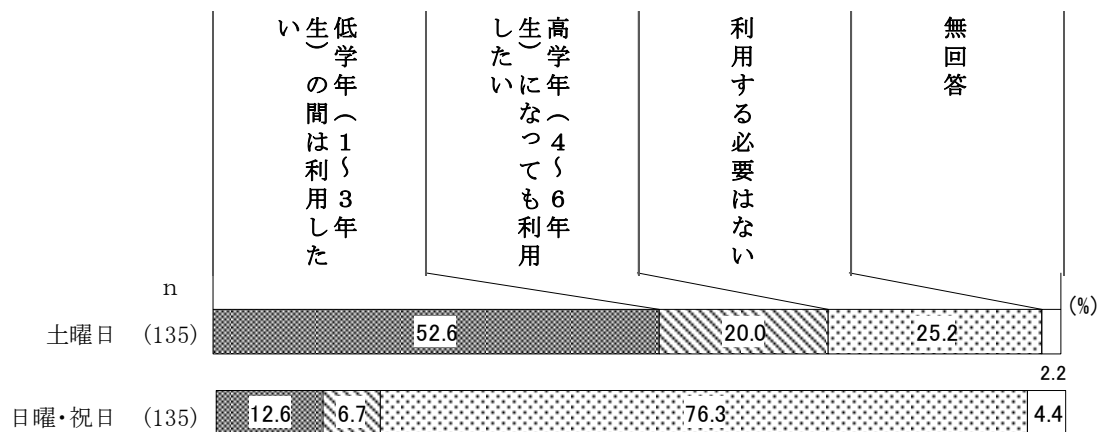
（３）休日の放課後児童クラブの利用希望

- ▶ 休日の放課後児童クラブの利用希望について、土曜日は「低学年の間は利用したい」が 52.6%、「高学年になっても利用したい」が 20.0%となっており、日曜・祝日はどちらも 1 割程度となっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、土曜日では「高学年になっても利用したい」が約 8.1 ポイント上昇している。日曜・祝日については「低学年の間は利用したい」、「高学年になっても利用したい」がどちらも 3.3 ポイント上昇している。

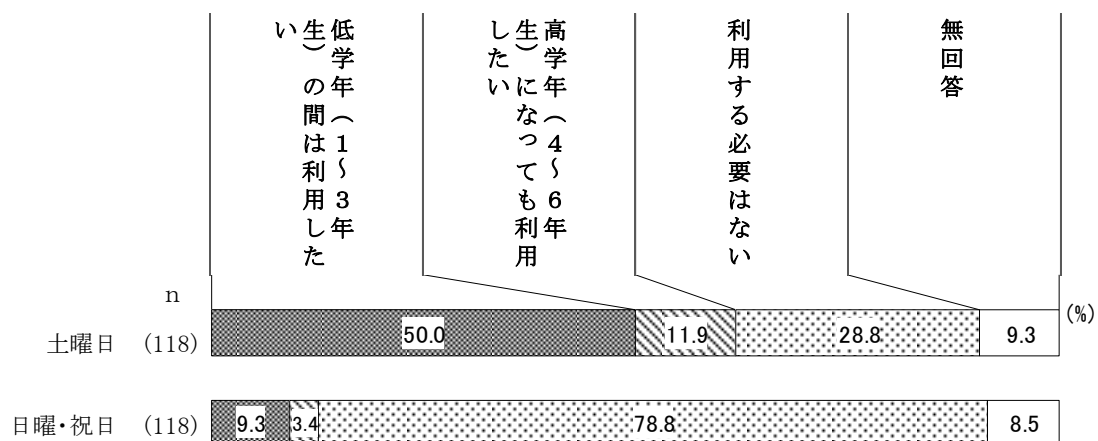
『問 26・問 27 小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所』で「放課後児童クラブ（仲よし会）」に○をつけた方にうかがいます。

問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（（１）（２）それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○）
※利用したい時間帯を 30 分単位で口内に数字でご記入ください。

利用希望



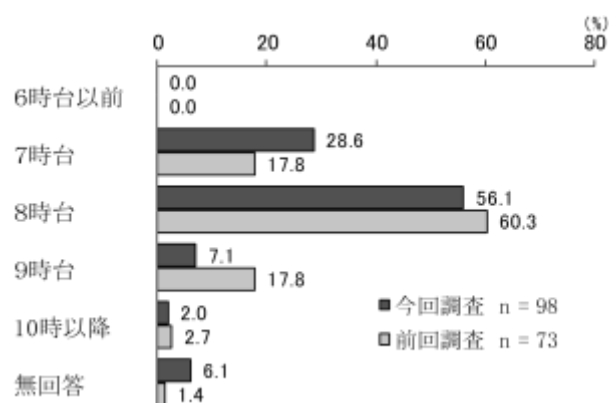
参考：平成 30 年度調査



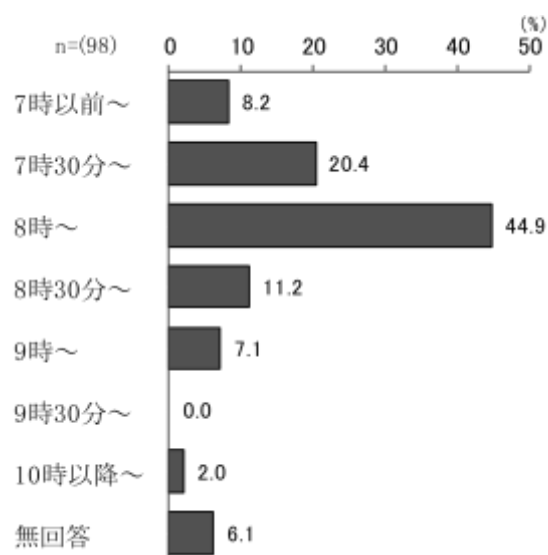
- ▶土曜日の放課後児童クラブ（仲よし会）の利用について、「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせた《利用したい》と回答した方の希望時間帯は、開始時間は「8 時台」（56.1%）、終了時間は「17 時台」（42.9%）が最も高い。

利用希望時間帯：土曜日

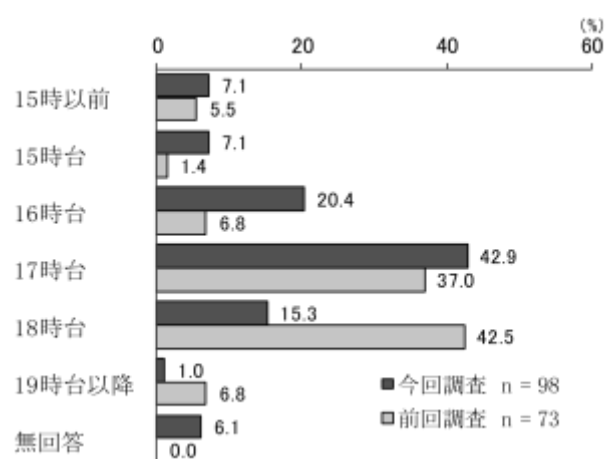
<前回比較（開始時間）>



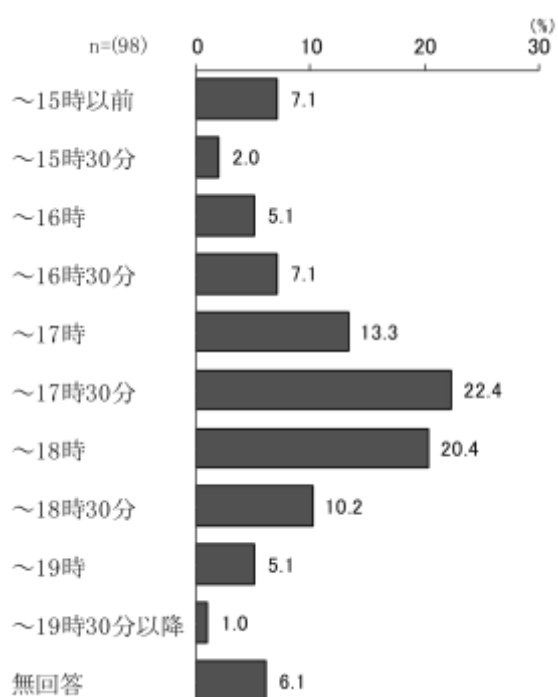
<今回調査（開始時間：30分単位）>



<前回比較（終了時間）>



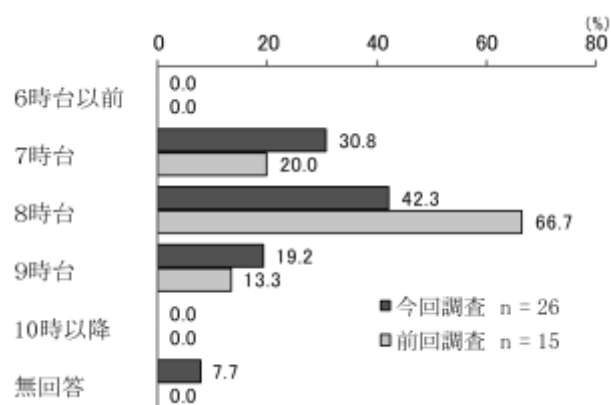
<今回調査（終了時間：30分単位）>



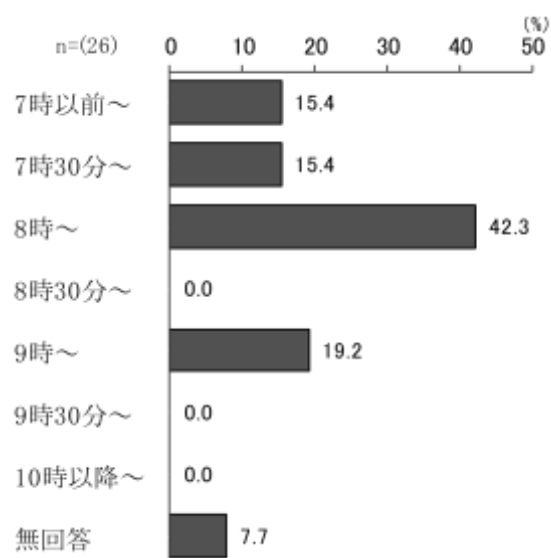
▶日曜日・祝日の放課後児童クラブ（仲よし会）の利用について、《利用したい》と回答した方の希望時間帯は、開始時間は「8時台」（42.3%）、終了時間は「16時台」（30.8%）が最も高い。

利用希望時間帯：日曜日・祝日

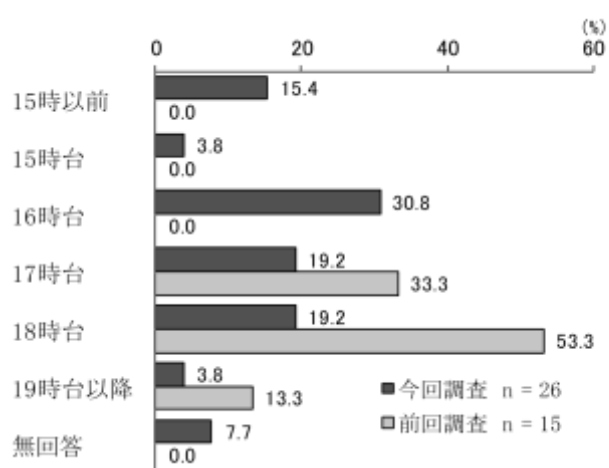
<前回比較（開始時間）>



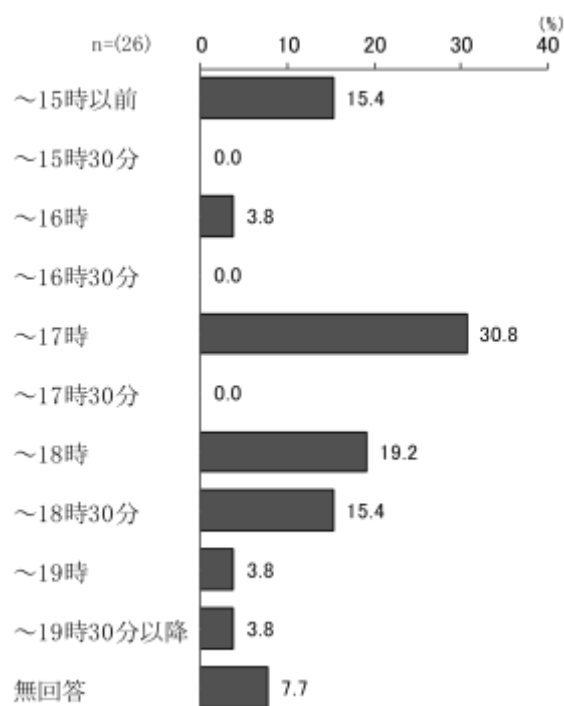
<今回調査（開始時間：30分単位）>



<前回比較（終了時間）>



<今回調査（終了時間：30分単位）>



（４）長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望

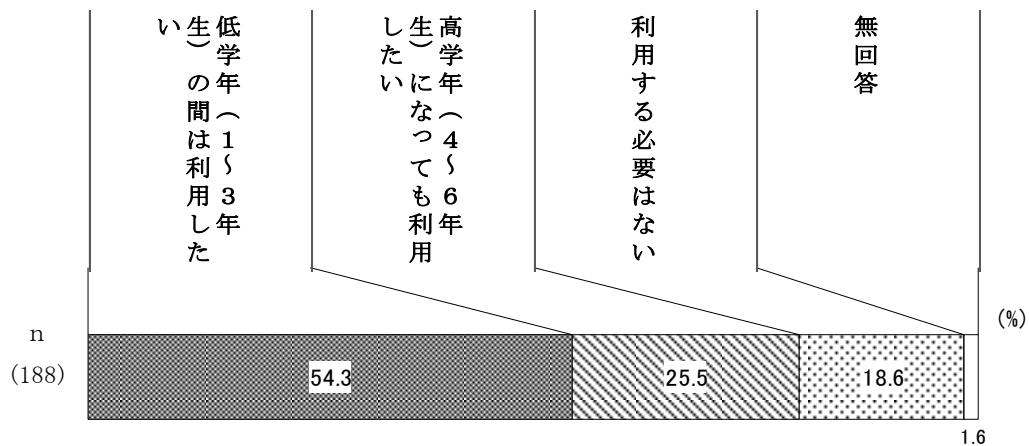
- ▶長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 54.3%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 25.5%となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「高学年になっても利用したい」が 5.2 ポイント、「利用する必要はない」は 11.0 ポイント上昇している。

問 29 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

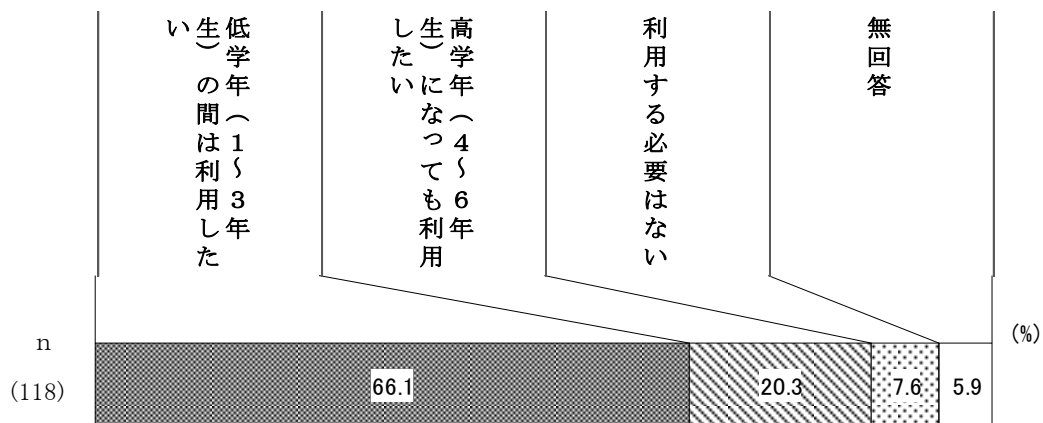
※事業の利用には一定の利用料がかかります。

※利用したい時間帯を 30 分単位で□内に数字でご記入ください。

利用希望



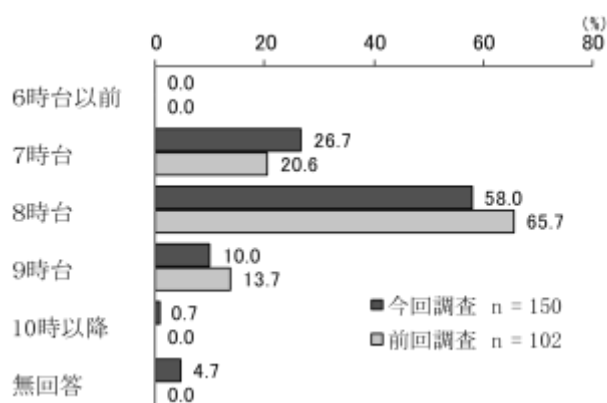
参考：平成 30 年度調査



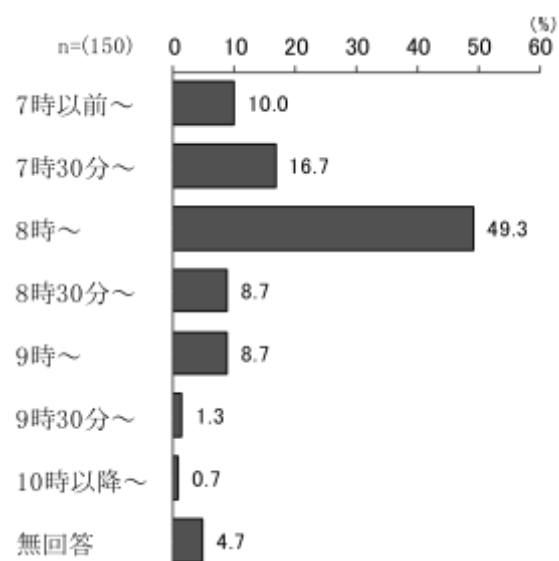
▶長期休業期間中の放課後児童クラブ（仲よし会）の利用について、「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせた《利用したい》と回答した方の希望時間帯は、開始時間は「8 時台」（58.0%）、終了時間は「17 時台」（44.0%）が最も高い。

利用希望時間帯

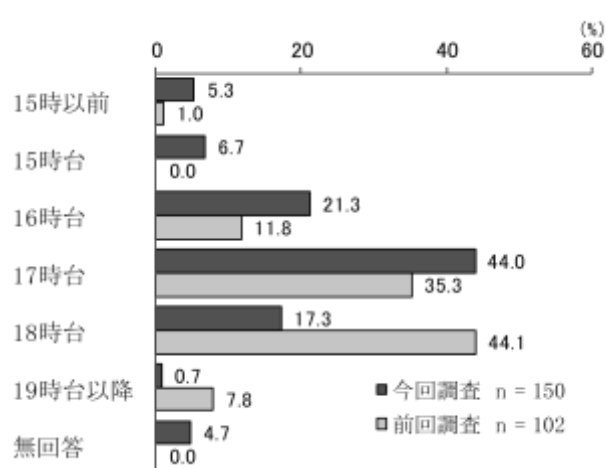
<前回比較（開始時間）>



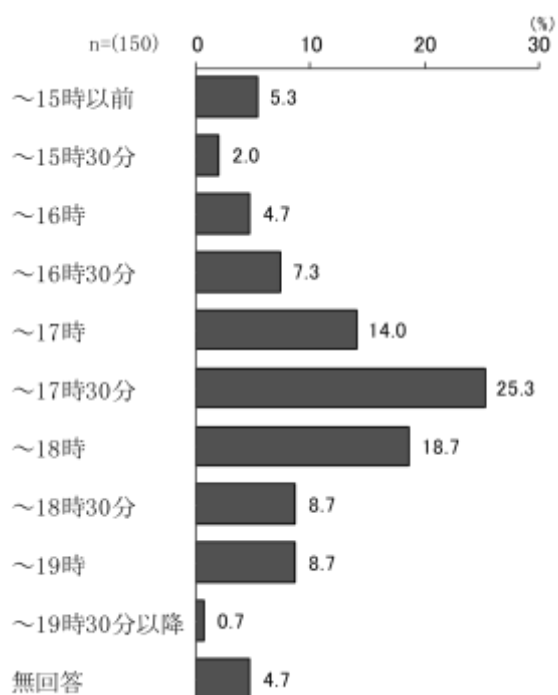
<今回調査（開始時間：30分単位）>



<前回比較（終了時間）>



<今回調査（終了時間：30分単位）>

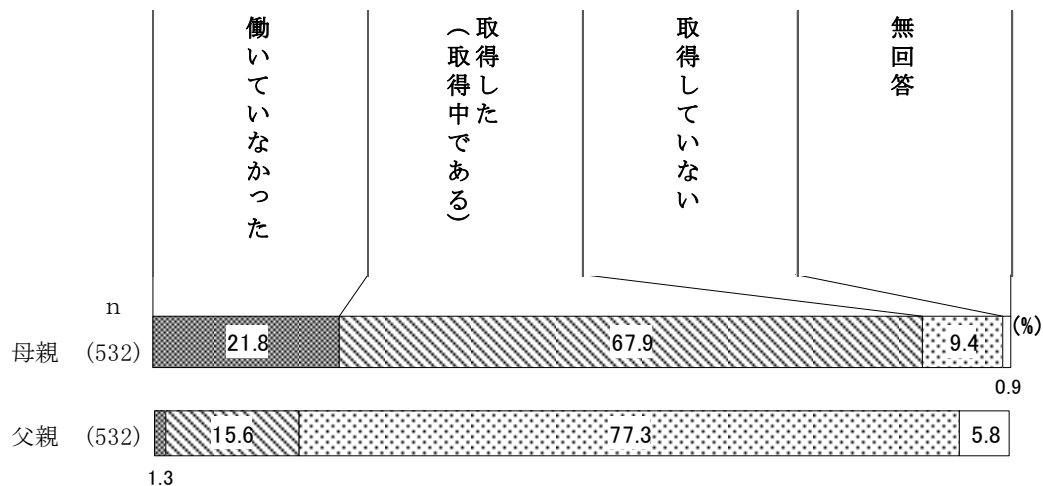


12 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

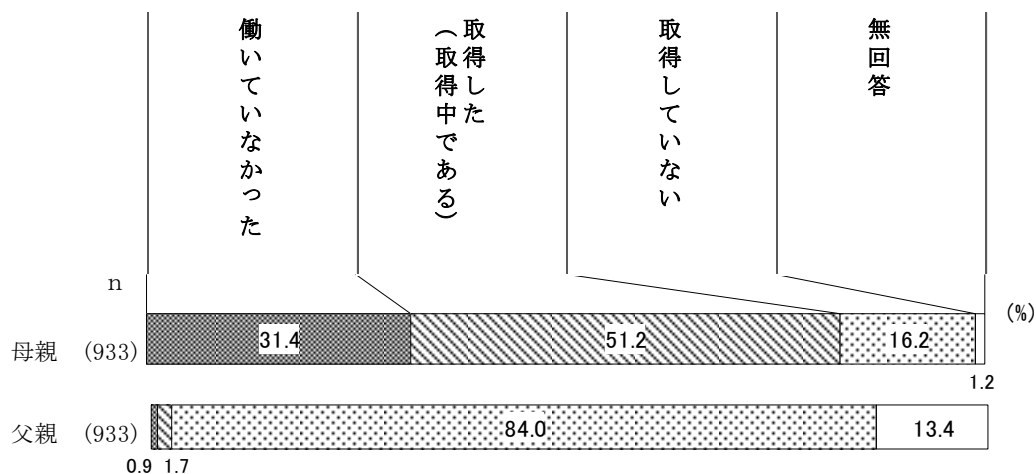
（1）育児休業の取得状況

- ▶ 母親の育児休業の取得状況については、「取得した（取得中である）」が 67.9%、「働いていなかった」が 21.8%、「取得していない」が 9.4%となっている。
- ▶ 父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」が 77.3%と大多数を占めており、「取得した（取得中である）」は 15.6%となっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」が、母親では 16.7 ポイント、父親では 13.9 ポイント高くなっている。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
（母親、父親それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○）
※取得していない方はその理由をご記入ください。

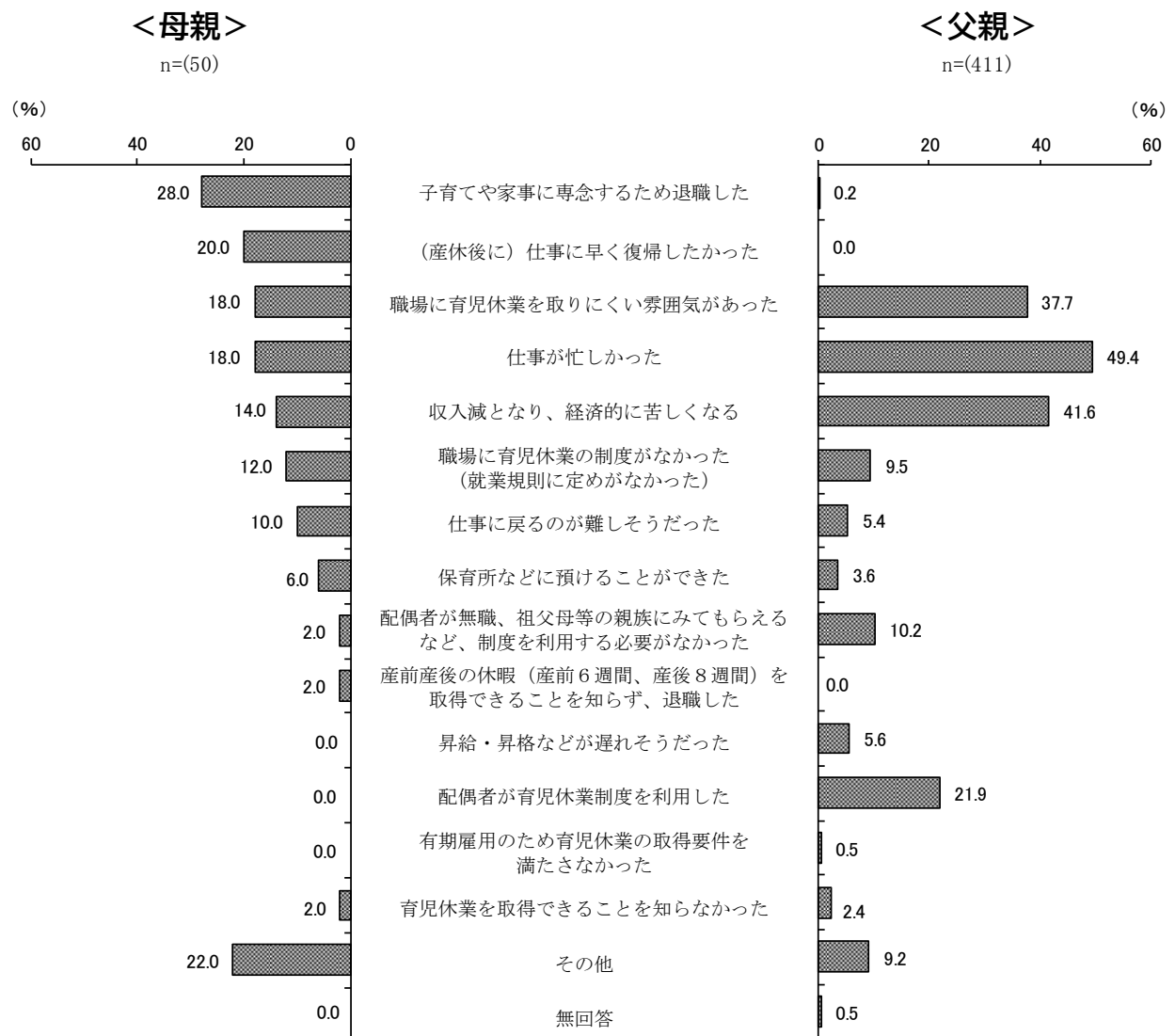


参考：平成 30 年度調査



- ▶ 母親の育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が 28.0%と最も高い。このほか、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」（20.0%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」（ともに 18.0%）など職場の状況を理由とする回答が多い。
- ▶ 母親の理由について平成 30 年度調査と比較すると、「子育てや家事に専念するため退職した」が 9.5 ポイント、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」が 13.4 ポイント上昇している一方、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」は 9.2 ポイント低下している。
- ▶ 父親の育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」（49.4%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（41.6%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（37.7%）など職場の状況を理由とする回答や、「配偶者が育児休業制度を利用した」（21.9%）といった回答が多い。
- ▶ 父親の理由について平成 30 年度調査と比較すると、「仕事が忙しかった」は 17.4 ポイント、「収入減となり、経済的に苦しくなる」は 16.5 ポイント上昇している一方、「配偶者が育児休業制度を利用した」は 9.4 ポイント低下している。

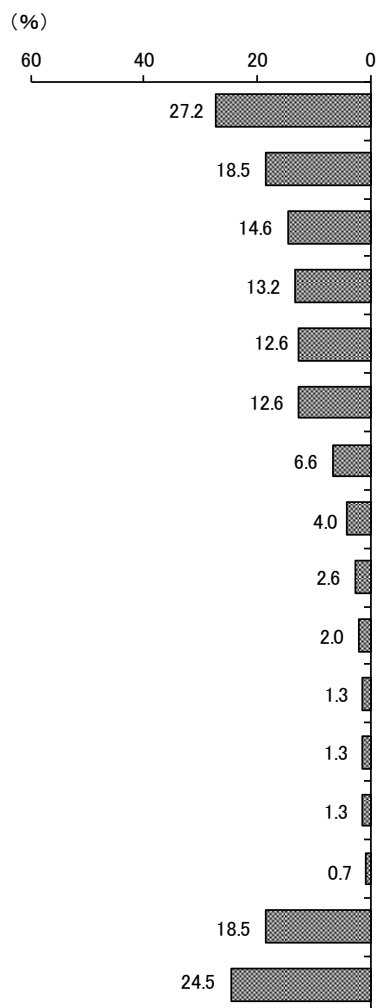
育児休業を取得していない理由



参考：平成 30 年度調査

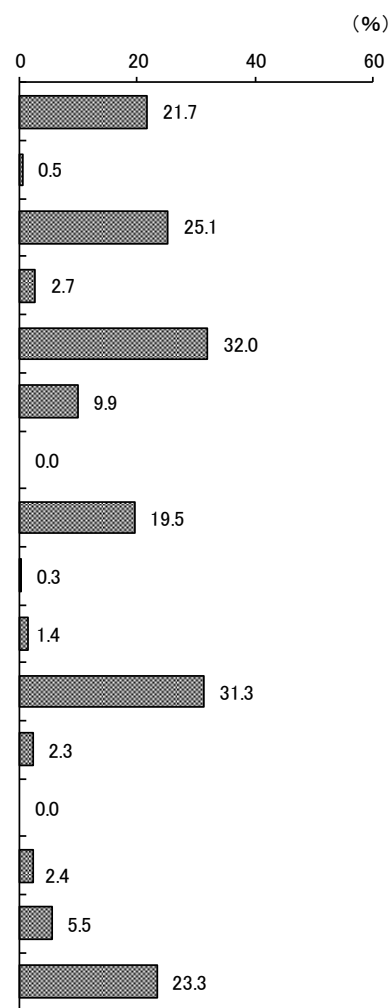
<母親>

n=(151)



<父親>

n=(784)

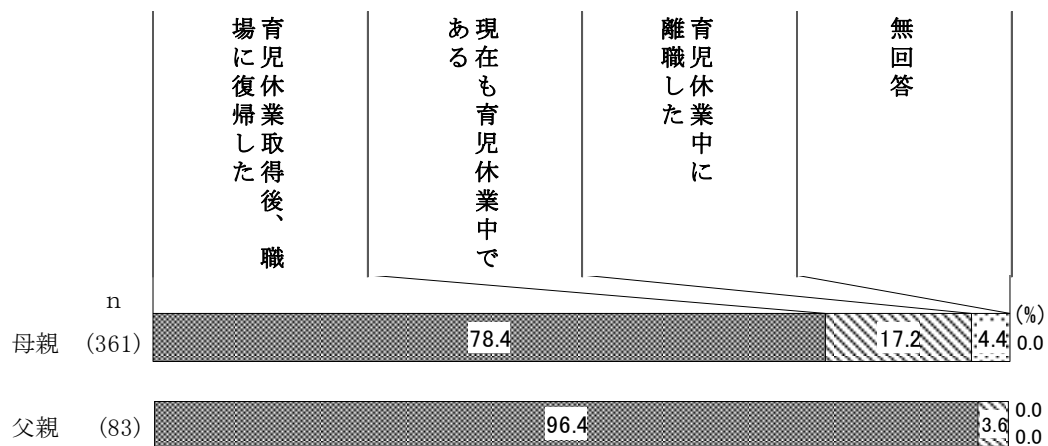


（２）育児休業取得後の職場復帰状況

▶ 育児休業取得後の職場復帰状況については、父母ともに、「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も高くなっている。

『問 30 育児休業の取得状況』で「取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（あてはまる番号 1 つに○）



（３）職場復帰と入所タイミングを合わせたか

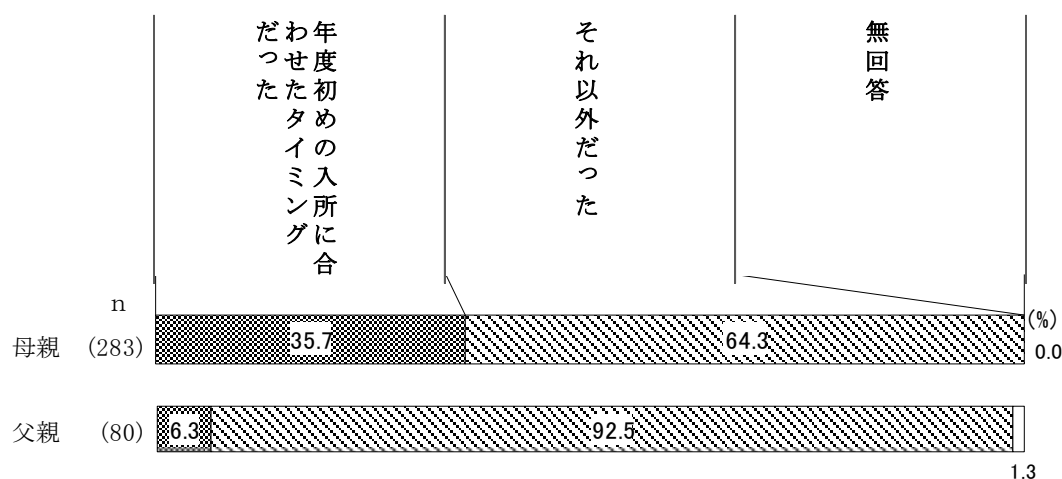
▶職場復帰と入所タイミングを合わせたかについては、父母ともに、「それ以外だった」が最も高いが、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が35.7%と父親に比べて高くなっている。

『問 30-1 育児休業取得後の職場復帰状況』で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方
にうかがいます。

問 30-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等への入所に合わせたタイミングで
したか。あるいはそれ以外でしたか。（どちらか1つに○）

※年度初めで認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可保育所に入
所した場合なども「1.」に当てはまります。

※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかった
という場合も「1.」と回答してください。



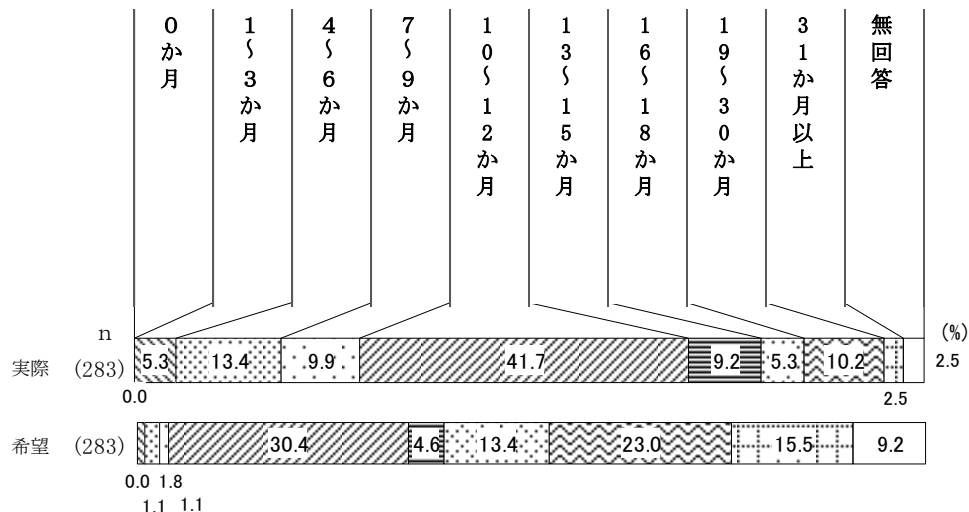
（４）育児休業の取得期間

- ▶ 母親の育児休業の取得期間については、13 か月以上の取得を希望している割合が 56.5%となっているが、実際に 13 か月以上取得できた割合は 27.2%となっている。
- ▶ 父親の育児休業の取得期間については、3 か月以上の取得を希望する割合が 47.7%となっているが、実際に 3 か月以上取得できた割合は 13.8%となっている。

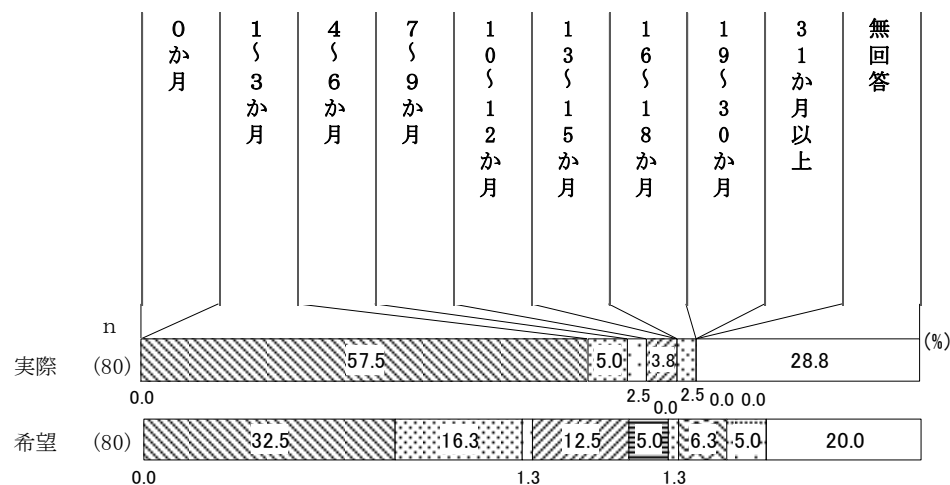
『問 30-1 育児休業取得後の職場復帰状況』で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方
にうかがいます。

問 30-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月の時に職場復帰しましたか。また、お勤
め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

<母親>



<父親>

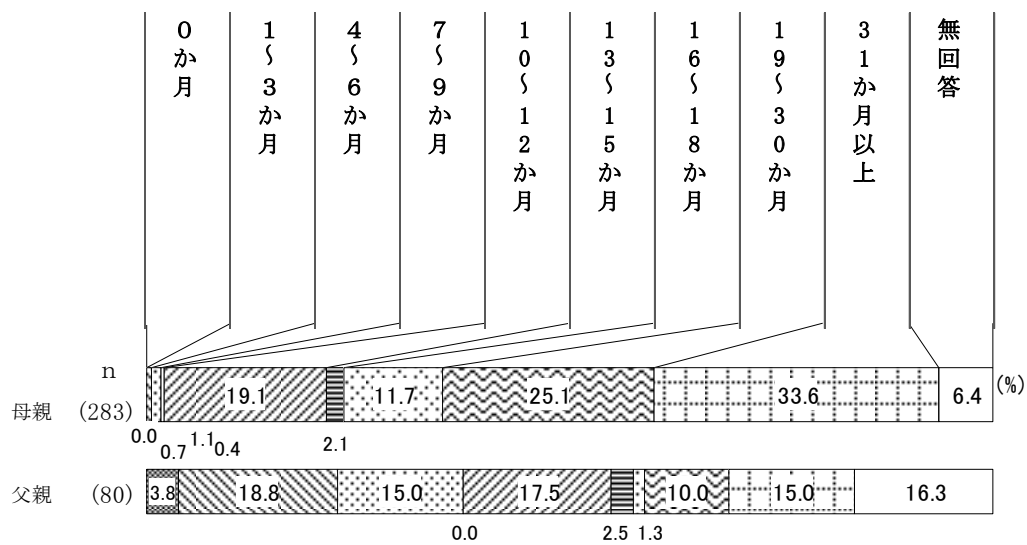


（５）３歳まで休暇取得できる制度があった場合の希望期間

- ▶ ３歳まで休暇取得できる制度があった場合の希望期間については、母親では「31 か月以上」（33.6%）、父親では「１～３ か月」（18.8%）が最も高くなっている。

『問 30-1 育児休業取得後の職場復帰状況』で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-4 お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。



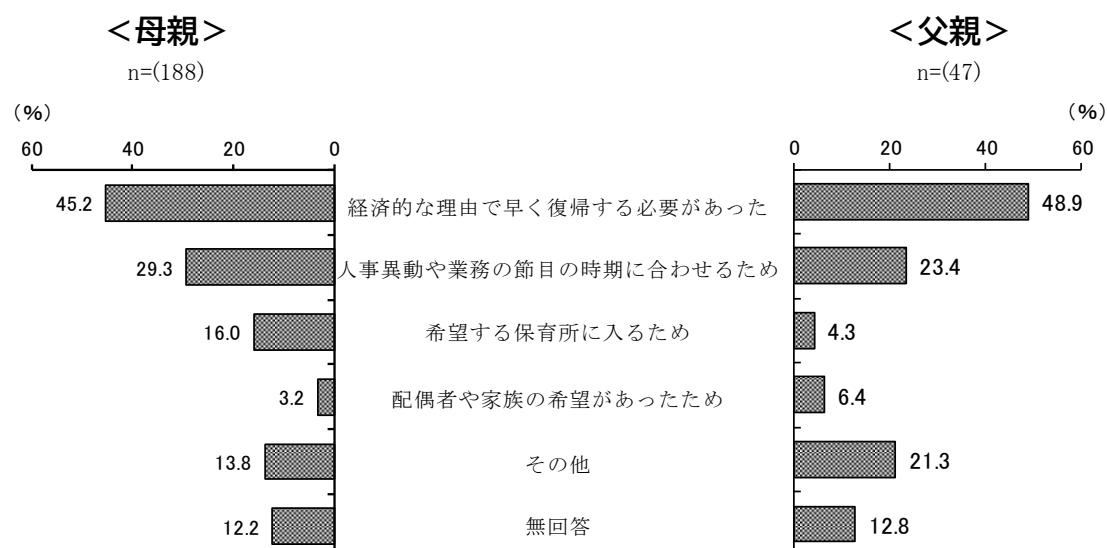
（６）職場復帰が希望時期と異なっていた理由

- ▶希望より早く職場復帰した理由については、母親、父親ともに「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」となっており、経済面や職場の状況を理由とする回答が多い。
- ▶希望より遅く職場復帰した理由については、母親では「希望する保育所等に入れなかったため」が22.2%と最も高く、次いで「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」（11.1%）となっている。

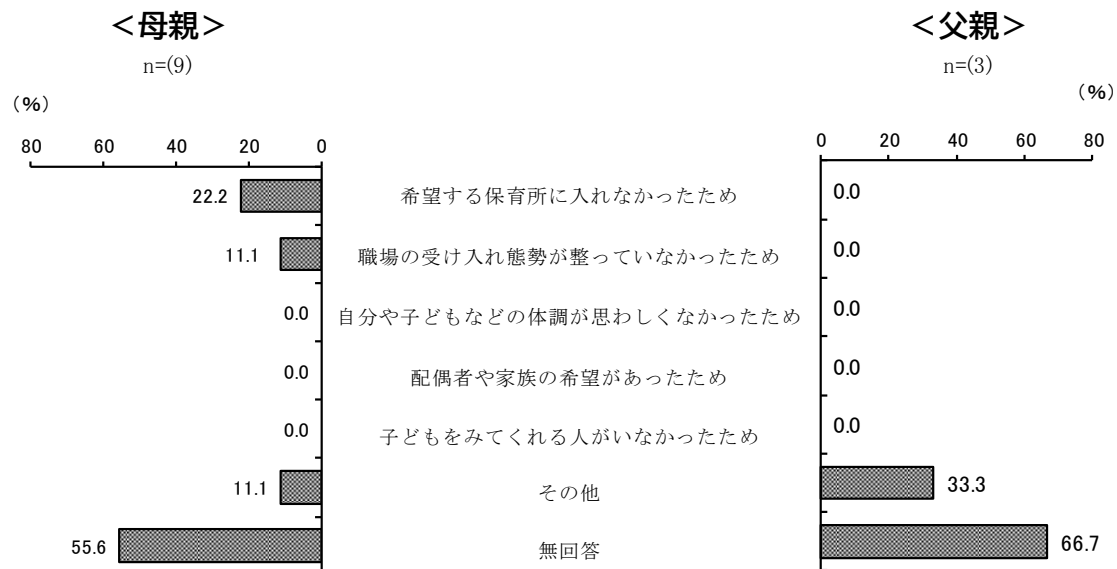
『問 30-3 育児休業の取得期間』で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「希望」より早く復帰した理由



「希望」より遅く復帰した理由



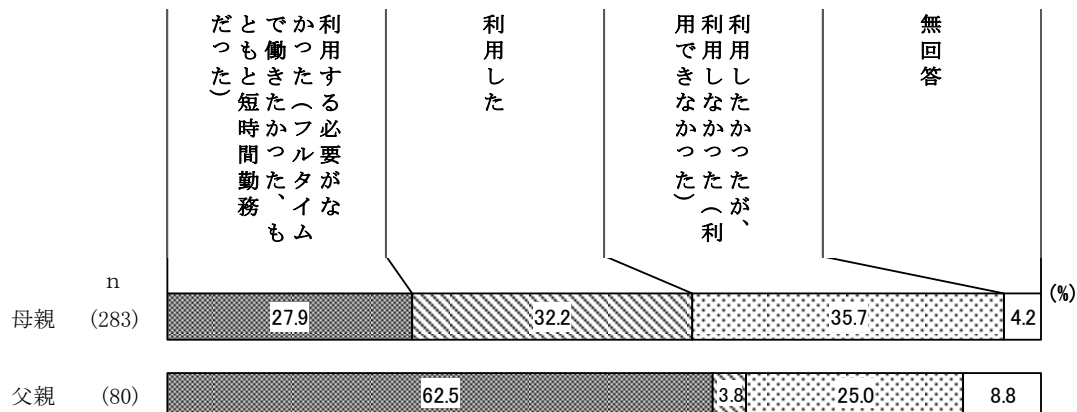
（７）職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

- ▶ 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況について、母親では「利用した」が 32.2%であるのに対し、父親では 3.8%となっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、「利用した」が、母親では 7.8 ポイント、父親では 3.8 ポイント高くなっている。

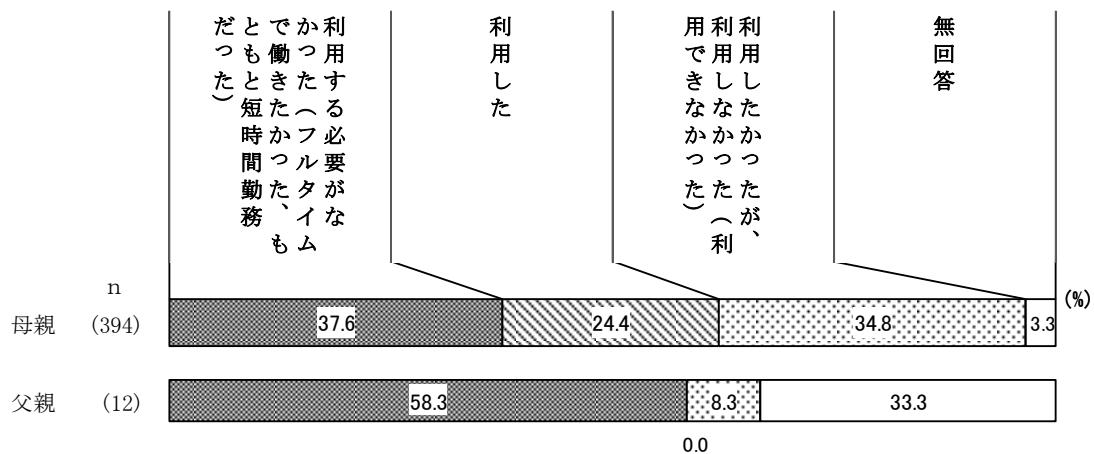
『問 30-1 育児休業取得後の職場復帰状況』で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

短時間勤務制度の利用有無



参考：平成 30 年度調査



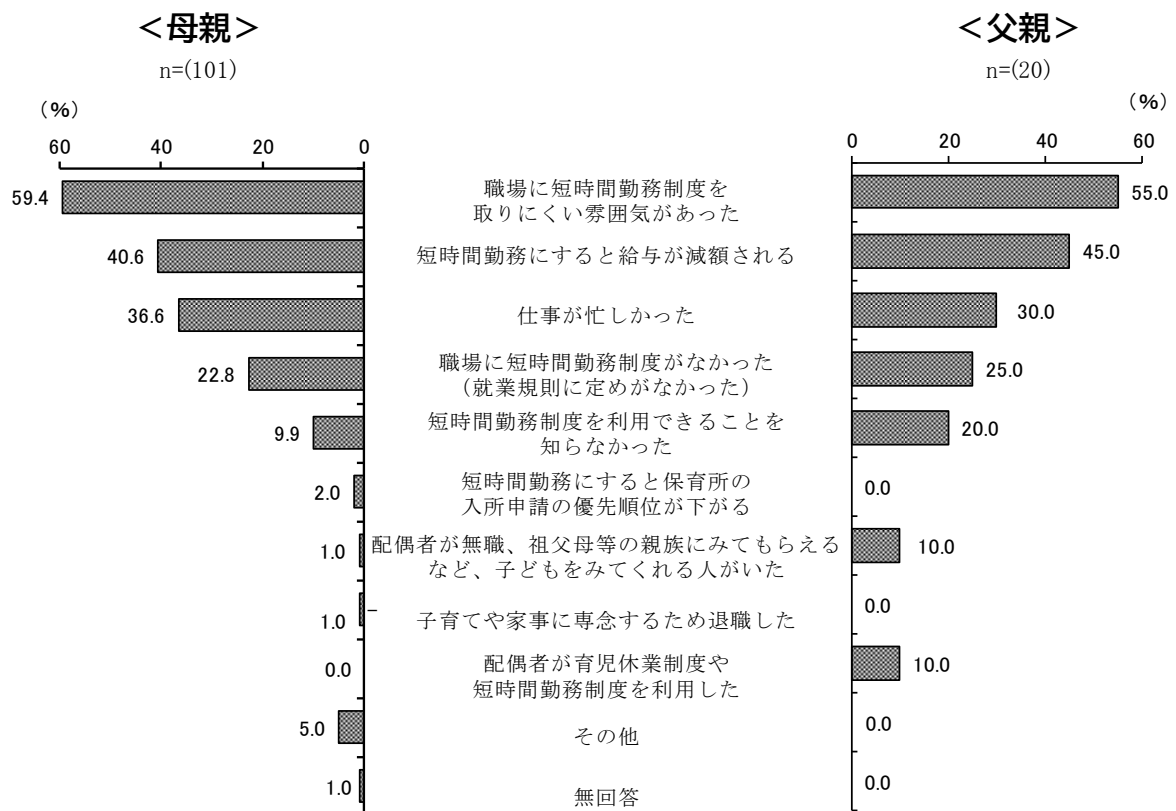
（８）短時間勤務制度を利用しなかった理由

▶短時間勤務制度を利用しなかった理由について、母親、父親ともに「職場に短時間制度を取りにくい雰囲気があった」が最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」、「仕事が忙しかった」となっている。

『問 30-6 育児休業取得後の職場復帰状況』で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-7 短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

制度を利用しなかった（利用できなかった）理由

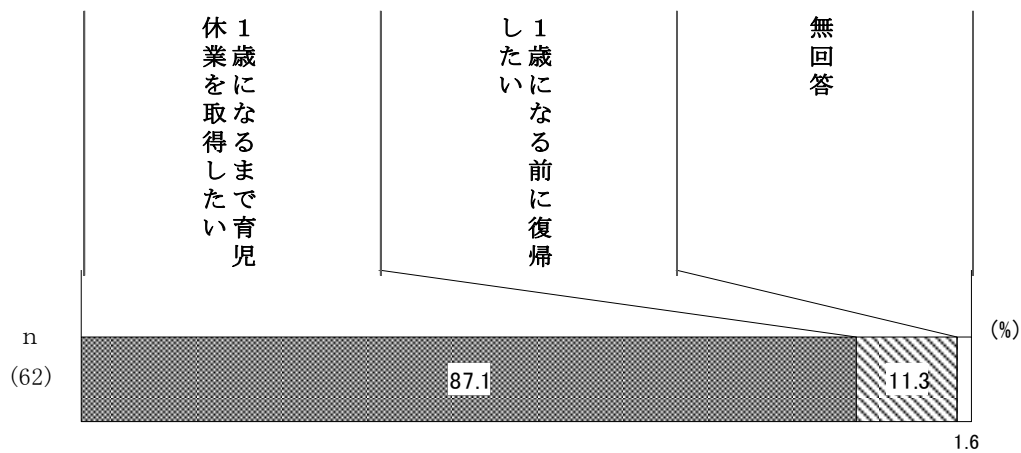


（９）子どもを１歳で預けられる事業がある場合の希望

- ▶ 母親の子どもを１歳で預けられる事業がある場合の希望については、「１歳になるまで育児休業を取得したい」が 87.1%と大多数を占めており、「１歳になる前に復帰したい」は 11.3%となっている。
- ▶ 父親の子どもを１歳で預けられる事業がある場合の希望については回答が少ない（３件）ため、グラフを非掲載としている。

『問 30-1 育児休業取得後の職場復帰状況』で「現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

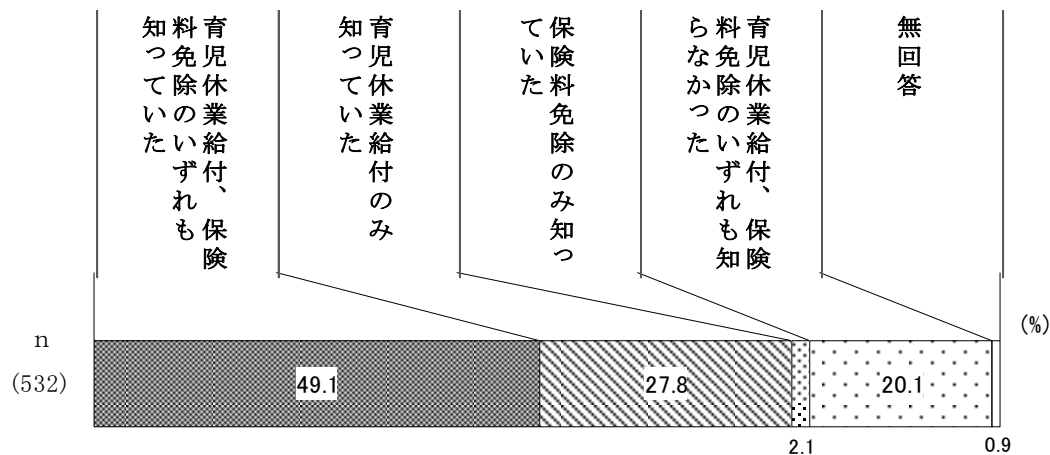
問 30-8 宛名のお子さんが１歳になったときに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳になる前に復帰しますか。
（あてはまる番号１つに○）



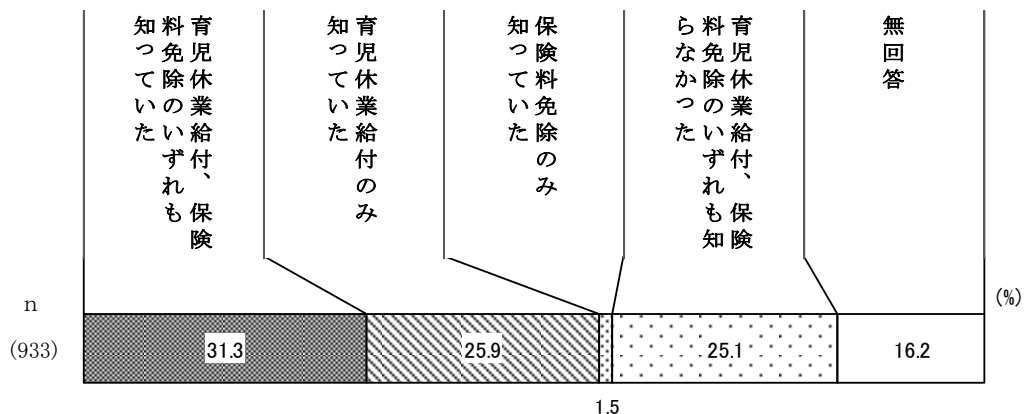
（１０）育児休業給付・保険料免除の仕組みを知っていたか

- ▶ 育児休業給付・保険料免除の仕組みを知っていたかについては、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 49.1%、「育児休業給付のみ知っていた」が 27.8%、「保険料免除のみ知っていた」が 2.1%となっている。
- ▶ 一方、20.1%が「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」と回答している。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 17.8 ポイント上昇している。

問 31 子どもが原則 1 歳（保育所等における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等期間において健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）がありますが、そのことをご存じでしたか。（あてはまる番号 1 つに○）



参考：平成 30 年度調査

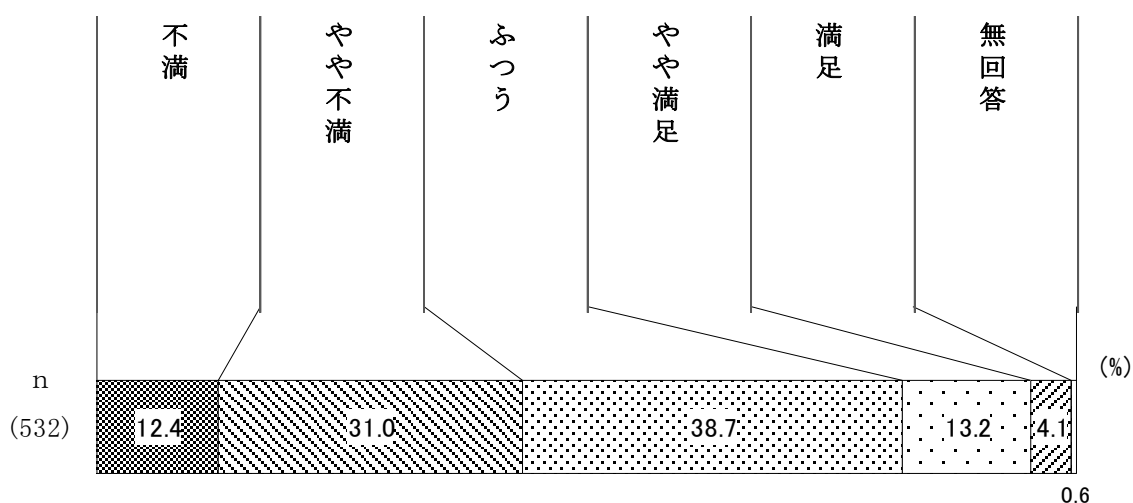


13 子育て環境全般について

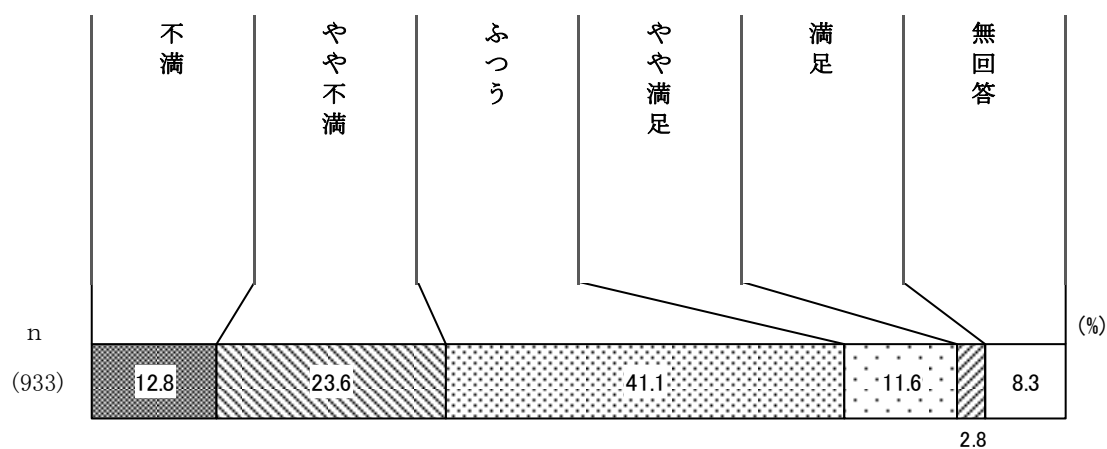
（1）十和田市における子育て環境や支援への満足度

- ▶十和田市における子育て環境や支援への満足度については、「やや満足」と「満足」を合わせた《満足》が17.3%となっているが、「不満」と「やや不満」を合わせた《不満》が43.4%と子育て環境の整備や支援の必要性がうかがえる。
- ▶平成30年度調査と比較すると、「やや不満」が7.4ポイント上昇している。

問32 十和田市における子育て環境や支援への満足度をお答えください。（あてはまる番号1つに○）



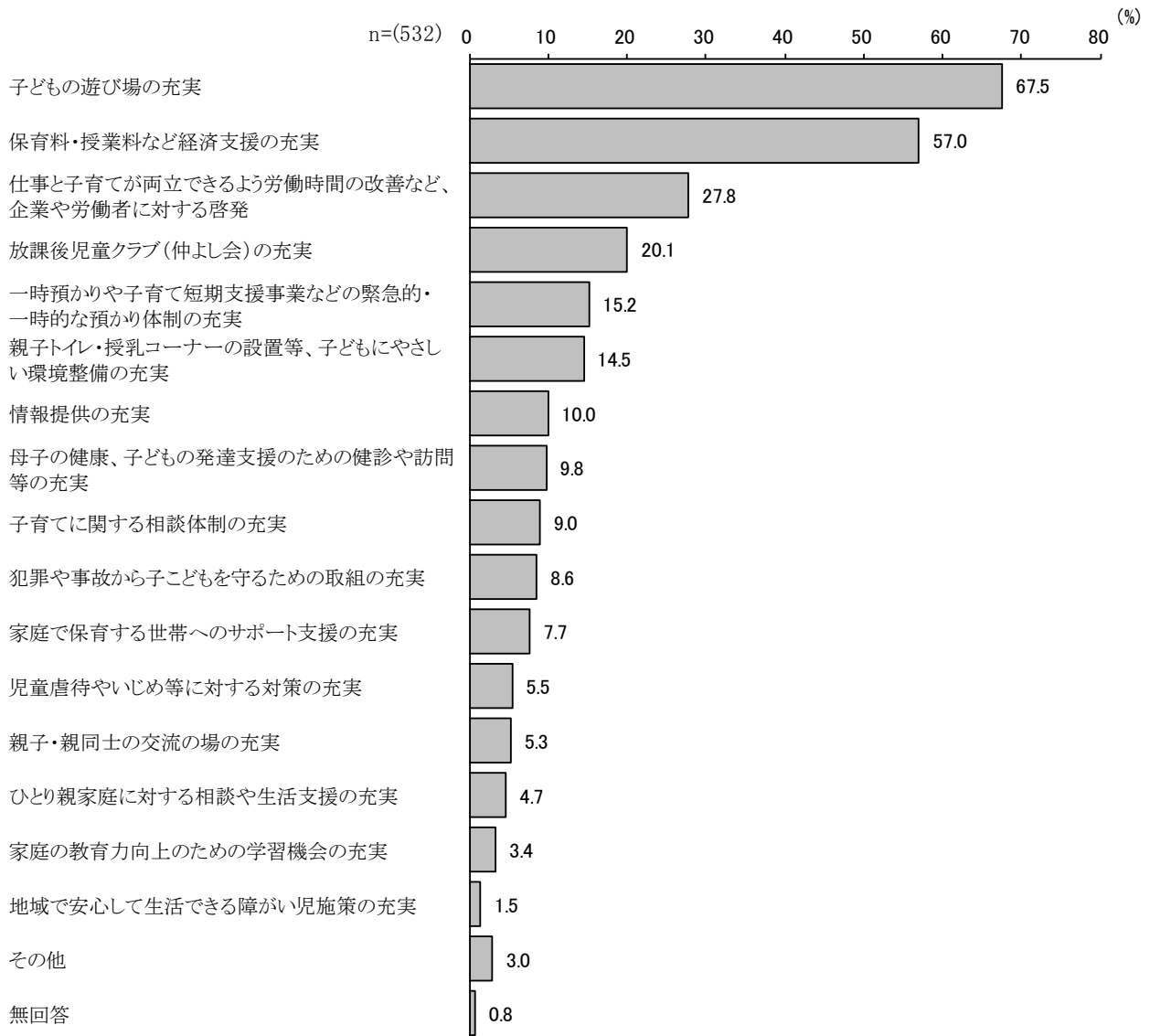
参考：平成30年度調査



（２）市の子育て環境充実のため、特に重要だと思うこと

▶市の子育て環境充実のため、特に重要だと思うことは、「子どもの遊び場の充実」が 67.5%と最も高く、次いで「保育料・授業料など経済支援の充実」（57.0%）、「仕事と子育てが両立できるような労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発」（27.8%）となっている。

問 33 十和田市の子育て環境充実のため、今後どのようなことが重要だと思いますか。特に重要だと思う番号3つまでに○をつけてください。



（３）子育て環境・支援に関する意見

問 34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

順位	内容	件数
1	遊び場の充実について	77 件
2	経済的な支援の充実について	44 件
3	地域における子育て支援の充実について	35 件
4	病児・病後児保育の充実について	18 件
5	放課後等の居場所について	16 件
6	保育環境について	15 件
7	情報提供・相談体制について	12 件
8	職場環境について	10 件
9	学校等教育環境について	8 件
-	その他	34 件

【自由意見（抜粋）】

1. 遊び場の充実について

○公園から遊具がなくなっています。危ないからではなく、危ないから気をつけて遊ぶことを教えたいし痛みも感じていいと思う。あと、屋内での遊び場が無い。子どもたちは運動不足です。健康のためにも屋内の温水プールがあると嬉しい。

○十和田市内には公園がいくつかありますが、徒歩で行ける範囲に公園がなく、またほとんどの公園に駐車場がないため、決まった公園に行くことしかできず、また遊具もそんなに種類がある訳ではないので、子どもがあまり楽しめてないようです。その辺りを改善できれば良いなあと思います。（駒っこランドはありますが、できれば街中に近い場所で駐車場があり、アスレチックみたいな遊具があれば嬉しいです）

○雨の日に遊べる場所がなく困っているので室内の遊べる場所を作って欲しいです。

2. 経済的な支援の充実について

○医療費が無料で大変助かっている。年が上になればなるほど、お金はかかるから児童手当は高校生までしっかり出してほしい。金銭的に余裕があれば、気持ちにも余裕が持てて、子育てももっと楽しめるのかなと思うので、助成してもらえるとこはいくらでも助成してほしい。

○年齢関係なく保育料を無償にして欲しい。今すぐにでも妊娠・出産をしたいが第一子の出産費用が約 60 万（手出し 20 万）でした。その他にも毎回診察の度に出費があり、それに加えて第一子の保育料、物価高などの金銭的理由で第二子を諦めかけています。妊娠・出産に関わる費用は無償または減額になって欲しい。大変な思いをして出産した後の 60 万の請求はとてもキツかったです。

○ひとり親家庭に支援することは大事ですが、子どもが多い家庭にもなんらかの支援をしてほしいです。経済的に大変なので…。

3. 地域における子育て支援の充実について

○支援センターがあるのは知っているが、いざ利用するとなるとハードルが高いのもっと身近に感じられるような工夫がほしい。ほっとマミーサロンで支援センターの方々のお話があったときにようやく行ってみようかな、と思えた。

○専業主婦にも優しい子育て支援制度が欲しい。気軽に尚且つ安心して預けられる場所がほしい。

○自営業（農業）のため曜日関係なく仕事があつたりします。日曜日どうしても育児の時間が取れない日や繁忙期などに子どもを見てもらえるような制度が出来たら嬉しいです。

4. 病児・病後児保育の充実について

○病児保育の場所を増やすか、枠を広げて欲しい。

○子どもが体調不良の際に病児保育があると助かりますが、現在の十和田市の病児保育の時間では、預けることが出来ません。平日は 18 時まで土曜日 17 時までであると大変助かります！病院での病児保育でも、自宅に来て診て頂ける様な訪問型でも良いのでお値段が多少高くてもそんな事業があると良いです。シングルで祖父母も近くにおらず、個人事業で仕事休めません。

5. 放課後等の居場所について

○平日の仲よし会の閉所時間延長（最低 18 時 30 分まで）と、長期休暇時の開所時間前倒し（7 時半から）を希望します。

○小学校入学後、放課後が子ども 1 人にならないよう児童館等預けられるよう充実してもらいたい。

6. 保育環境について

○保育園を安心して利用できるように、保育士を増やさなければいけない。受け入れる施設は今でも毎日人手不足の中ギリギリで保育をしている。このまま受け入れを増やすと、丁寧な関わりは難しくなり、子どもは可哀想だとも思う。子育て世帯を応援するためには、それに関わる環境への配慮が大切です。子どもを見守る人員は足りていません。

○保育園、幼稚園の人气に偏りがあり、子の産まれる時期、育休が明ける時期によって希望する園に通うことができないケースがある。園を選ばなければどこでも入れる現状から、希望した園に入れるよう人気の園の受け入れ数や雇用の拡大を支援してほしい。

7. 情報提供・相談体制について

○検診が 3 歳児健診で終了するが、それ以降も健診があれば安心できる。

○子どもが産まれた際は、保健センターの連絡が頻繁にありましたが 1 歳以降はあまりなく健診の際に相談でした。コロナの関係もあつたからかと思いますが、今後何か気軽に連絡できる体制があればと思います。16 時までの営業なので。困った時はこのようにしてみてもはの Q&A があれば。子どもが泣きやまない、叱っても言うことを聞かないなど夜間などに相談できる窓口があれば。もっと親

の負担も軽減できるかな？#8000 の子ども医療相談のように 16 時～翌朝 8 時までに気軽に電話で相談できるサービスがほしいですね。

8. 職場環境について

○子育て当事者だけでなく、働く環境はとても重要だと思う。育児休暇や短時間勤務をするにあたって、犠牲になる働き手も疲弊しない環境、お互いが気持ち良く働ける環境が大事だと思う。また保育士、幼稚園教諭の人員不足解消も必須だと思う。保育士等もまた 1 人の子育て当事者だとすれば、それに対する配慮も必要だと思う。（預ける側も見てもらって当然という考えを改めなければならない）

○子が小さいうち（特に 3 歳未満）は風邪などかかりやすく、通院や看病が理由で有休をとることが多い。看病休暇というのがあるが、有休や特別休暇と違い、無給休暇なため、結局有休をとることに。子の看病でもう少し休みが取りやすい環境になってほしい。

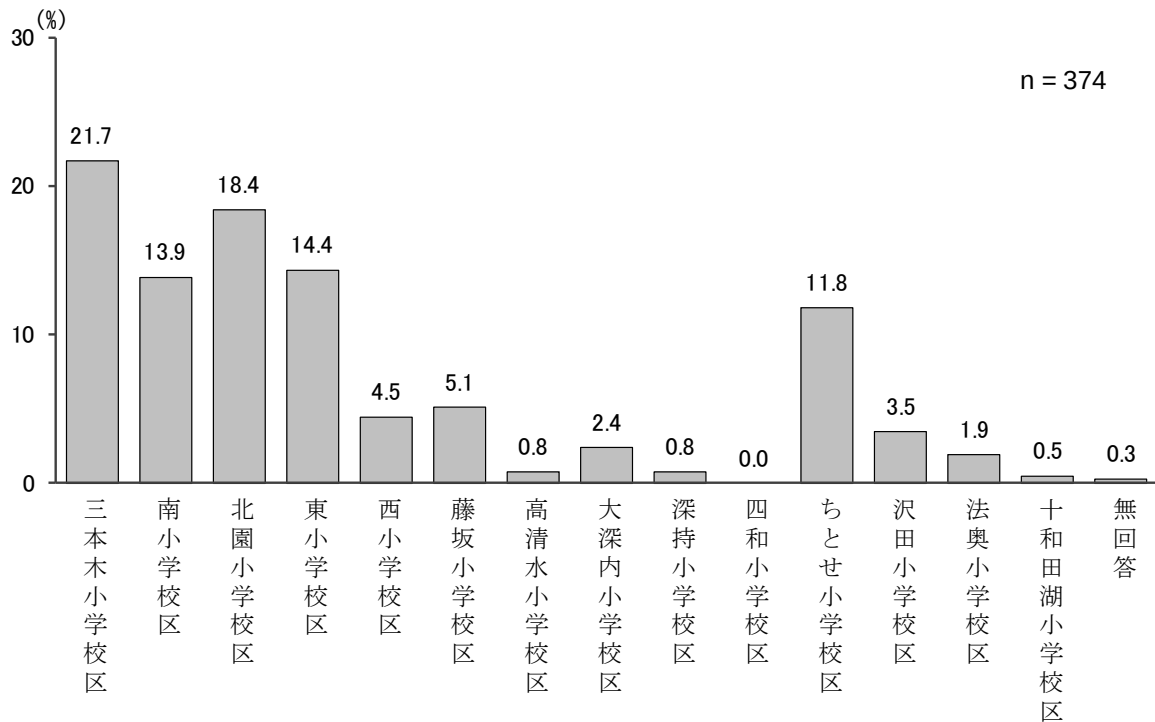
9. 学校等教育環境について

○自分の子は自閉症及び知的障害があるので障害のある子をサポートしてくれたり、教育を受けれる学校や施設が十和田市にあるといいと感じます。

Ⅲ 調査結果（小学生の保護者向け）

1 お住まいの地域について

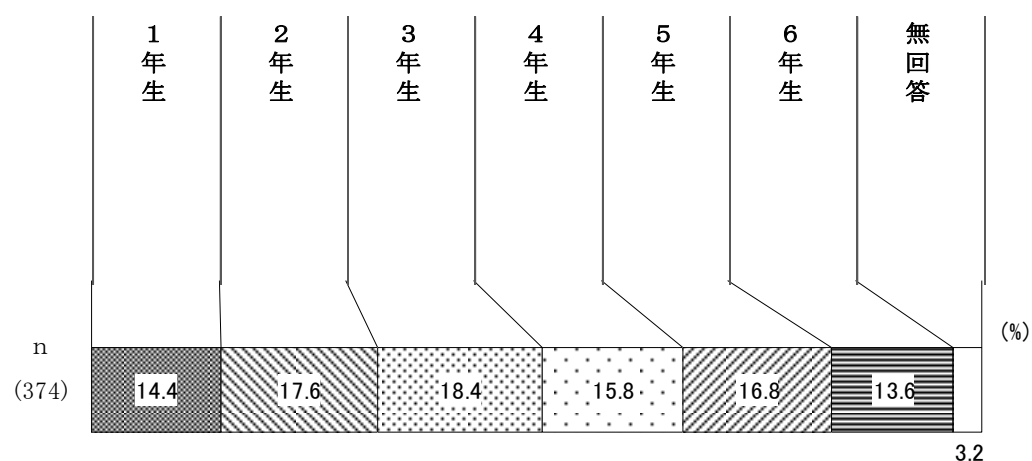
問1 お住まいの地区（小学校区）はどこですか。（あてはまる番号1つに○）



2 子どもと家族の状況について

（1）子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの年齢をご記入ください。※（口内に数字でご記入ください）

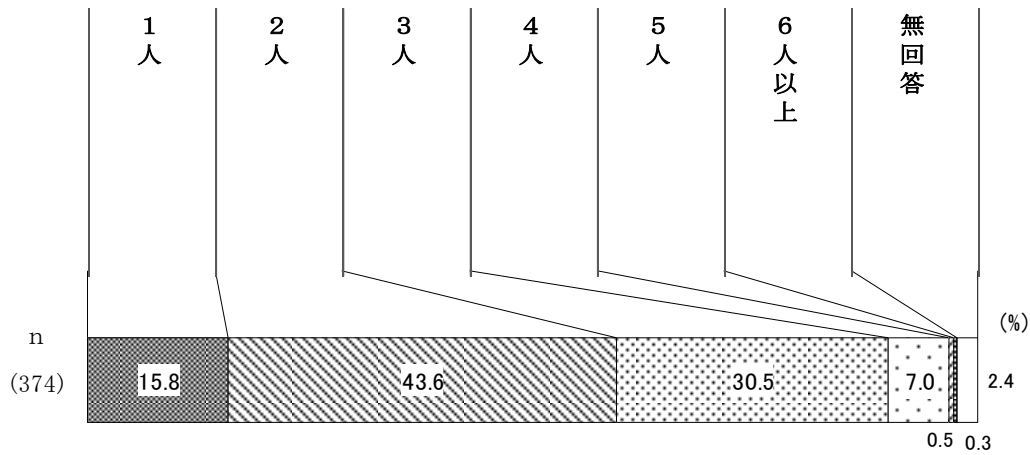


（２）きょうだいの人数・末子の年齢

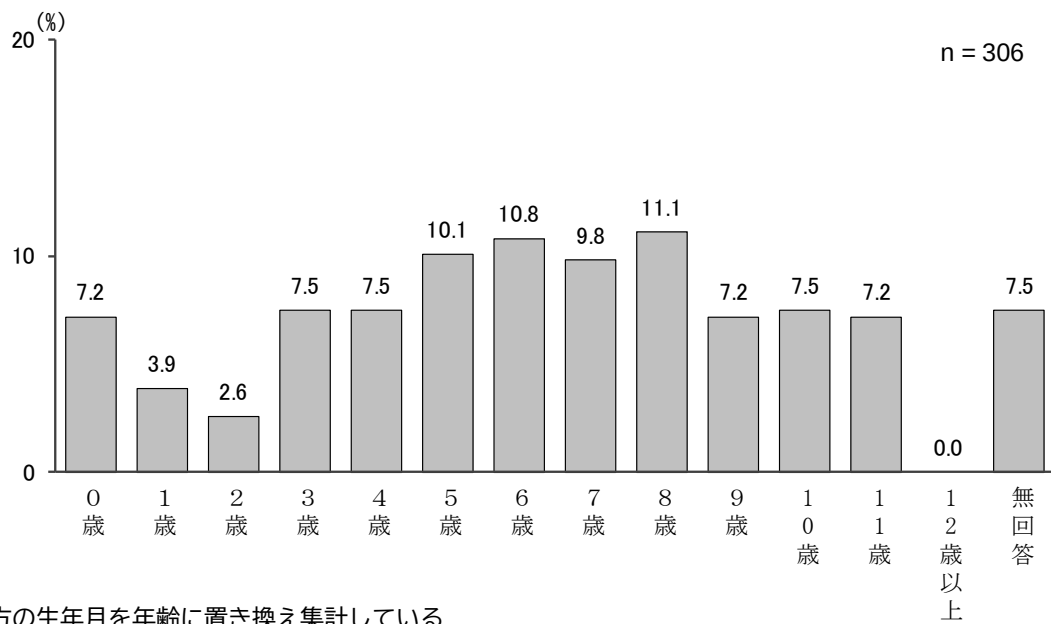
問３ 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※お子さんが２人以上の場合は、末子の生年月をご記入ください。

<きょうだいの人数>



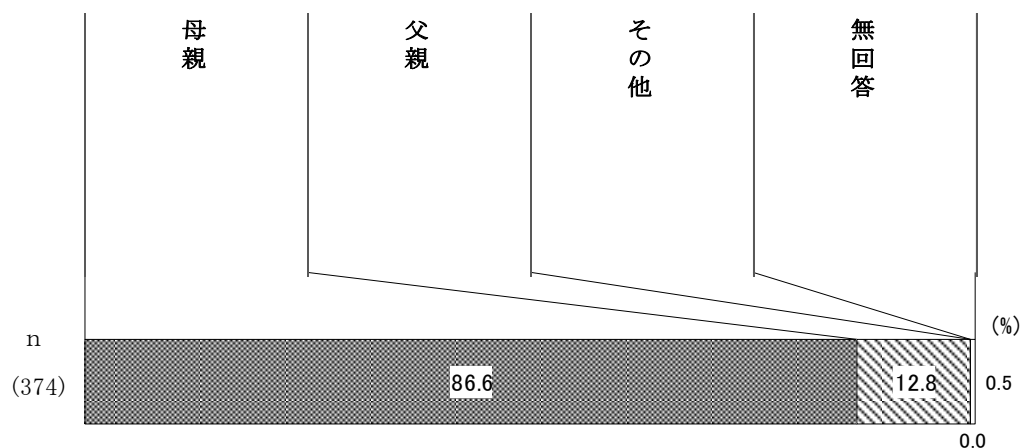
<末子の年齢>



※末子の方の生年月を年齢に置き換え集計している

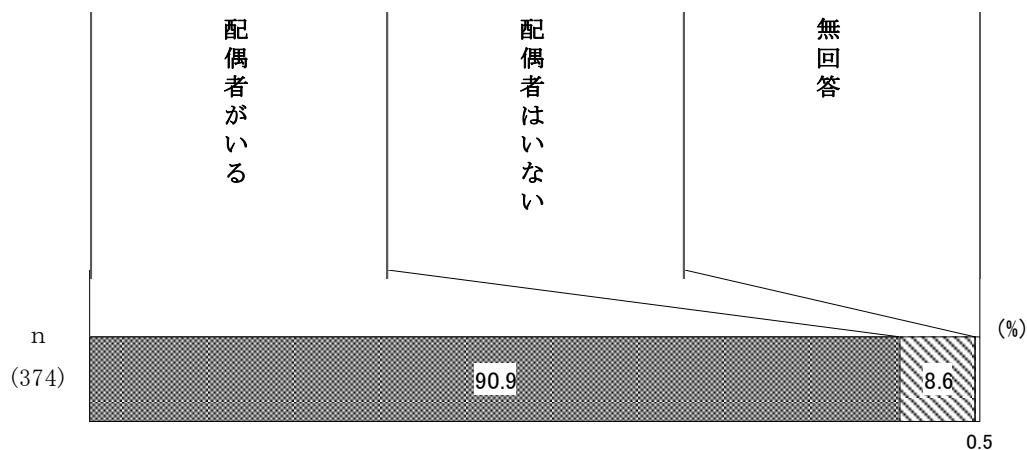
（３）回答者

問４ この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号１つに○）



（４）回答者の配偶関係

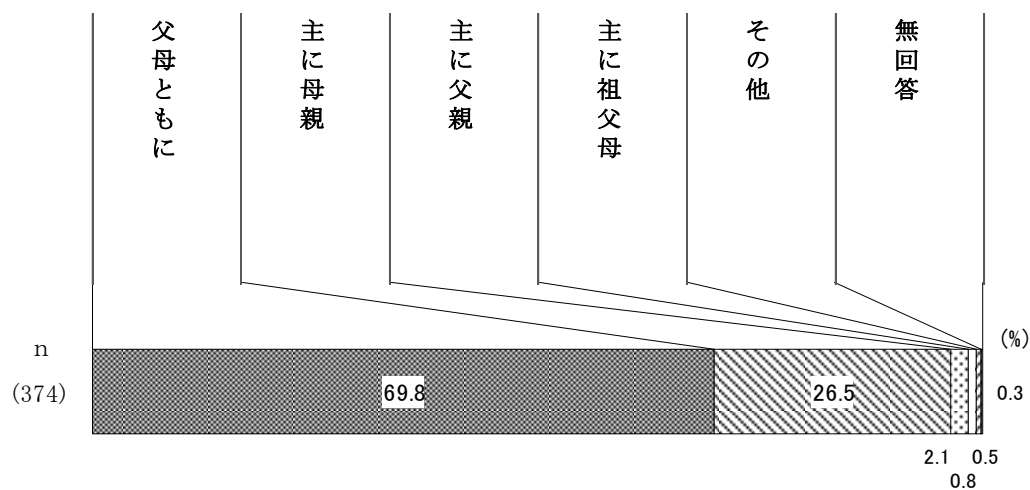
問５ この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無についてお聞きます。（あてはまる番号１つに○）



（５）主に子育てを行っている人

問６ 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号１つに○）

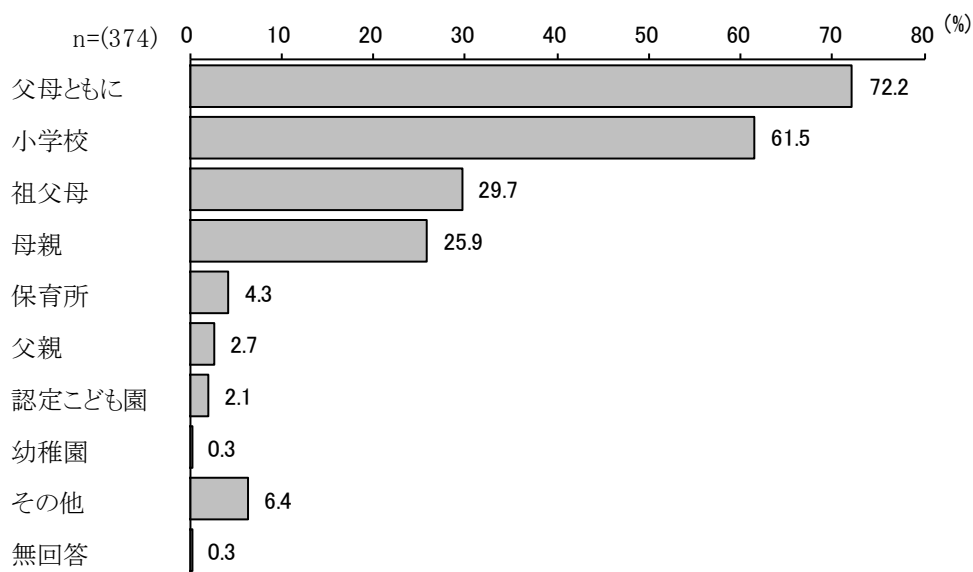


3 子育てをめぐる環境について

（１）子育てに日常的に関わっている人・施設

▶子育てに日常的に関わっている人・施設については、「父母ともに」が72.2%と最も高く、次いで「小学校」（61.5%）、「祖父母」（29.7%）となっている。

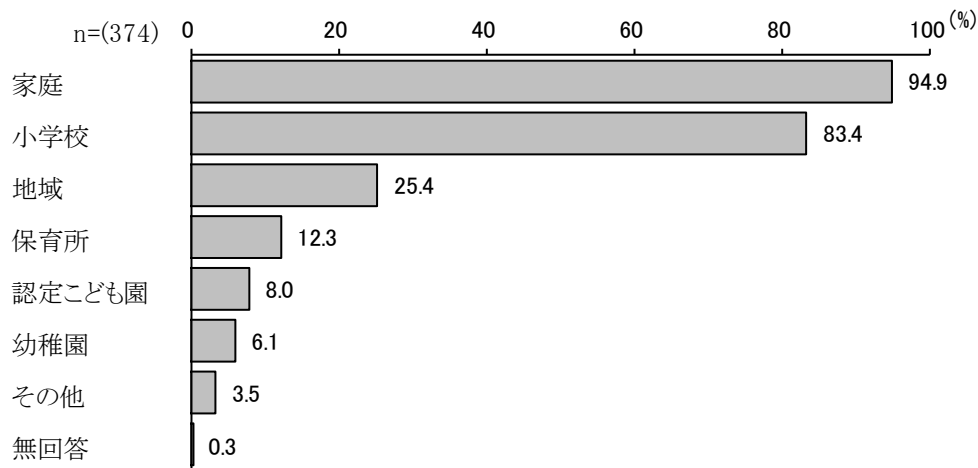
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。
※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）



（２）子育てにもっとも影響すると思われる環境

▶子育てにもっとも影響すると思われる環境については、「家庭」が 94.9%と最も高く、次いで「小学校」（83.4%）となっている。

問８ 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思う環境は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

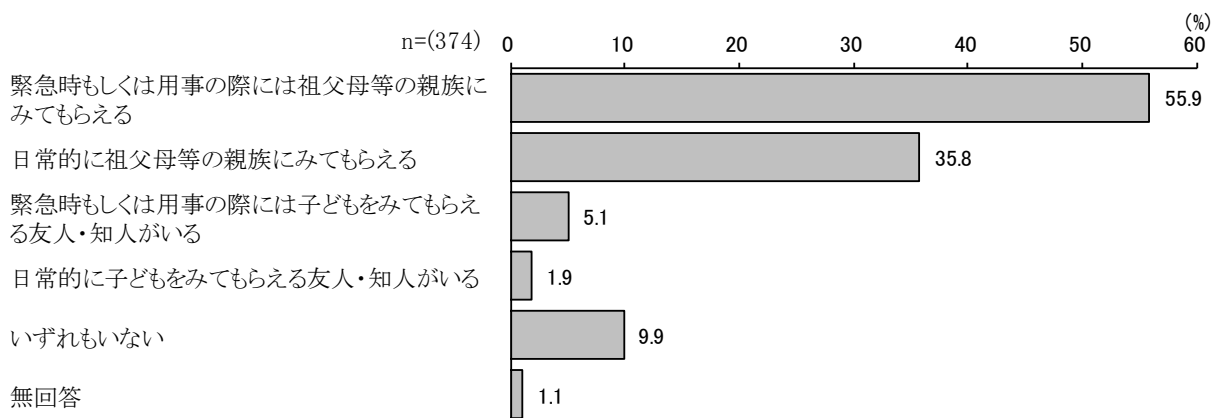


（３）日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無

▶日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 55.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（35.8%）となっており、比較的祖父母等の親族に預けられるという回答が多い。

▶一方、9.9%が「いずれもない」と回答している。

問９ 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）



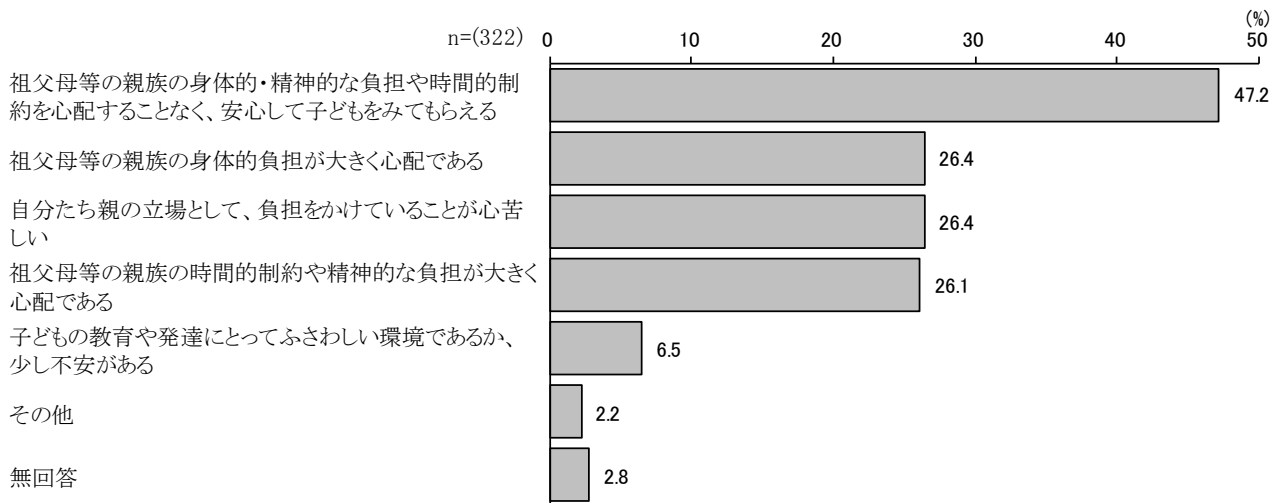
（４）祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

▶祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が47.2%と最も高くなっている。

『問9 日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無』で（日常的・緊急時もしくは用事の際）「祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

（あてはまる番号すべてに○）



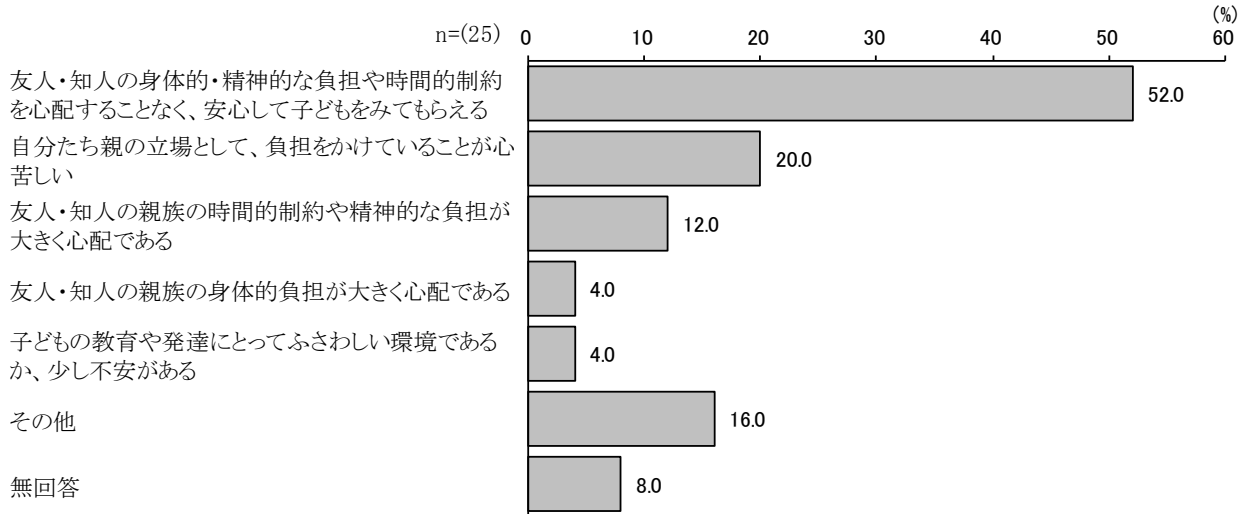
（５）友人・知人に子どもをみてもらっている状況

▶友人・知人に子どもをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 52.0%と最も高くなっている。

『問 9 日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無』で（日常的・緊急時もしくは用事の際）「子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

問 9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

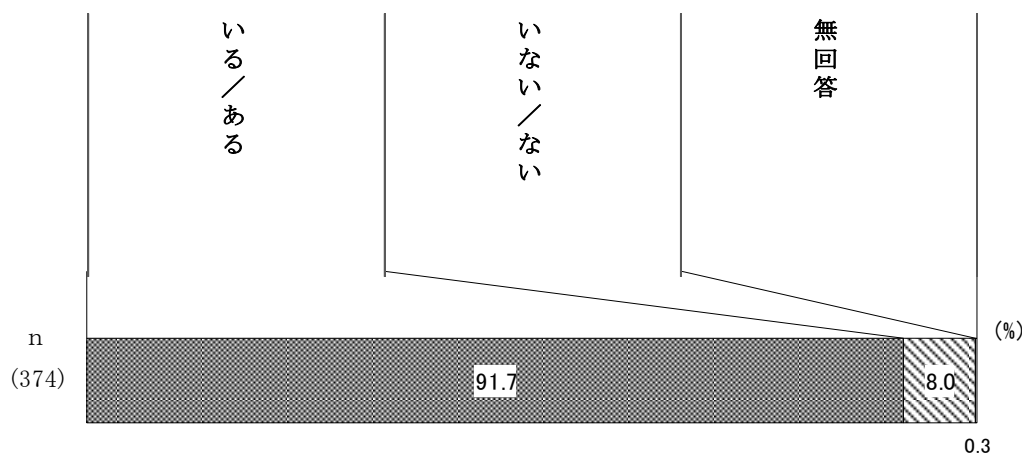
（あてはまる番号すべてに○）



（６）気軽に相談できる人・場所の有無

▶気軽に相談できる人・場所の有無については、91.7%が「いる／ある」と回答しているものの、「いない／ない」の回答も 8.0%あった。

問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

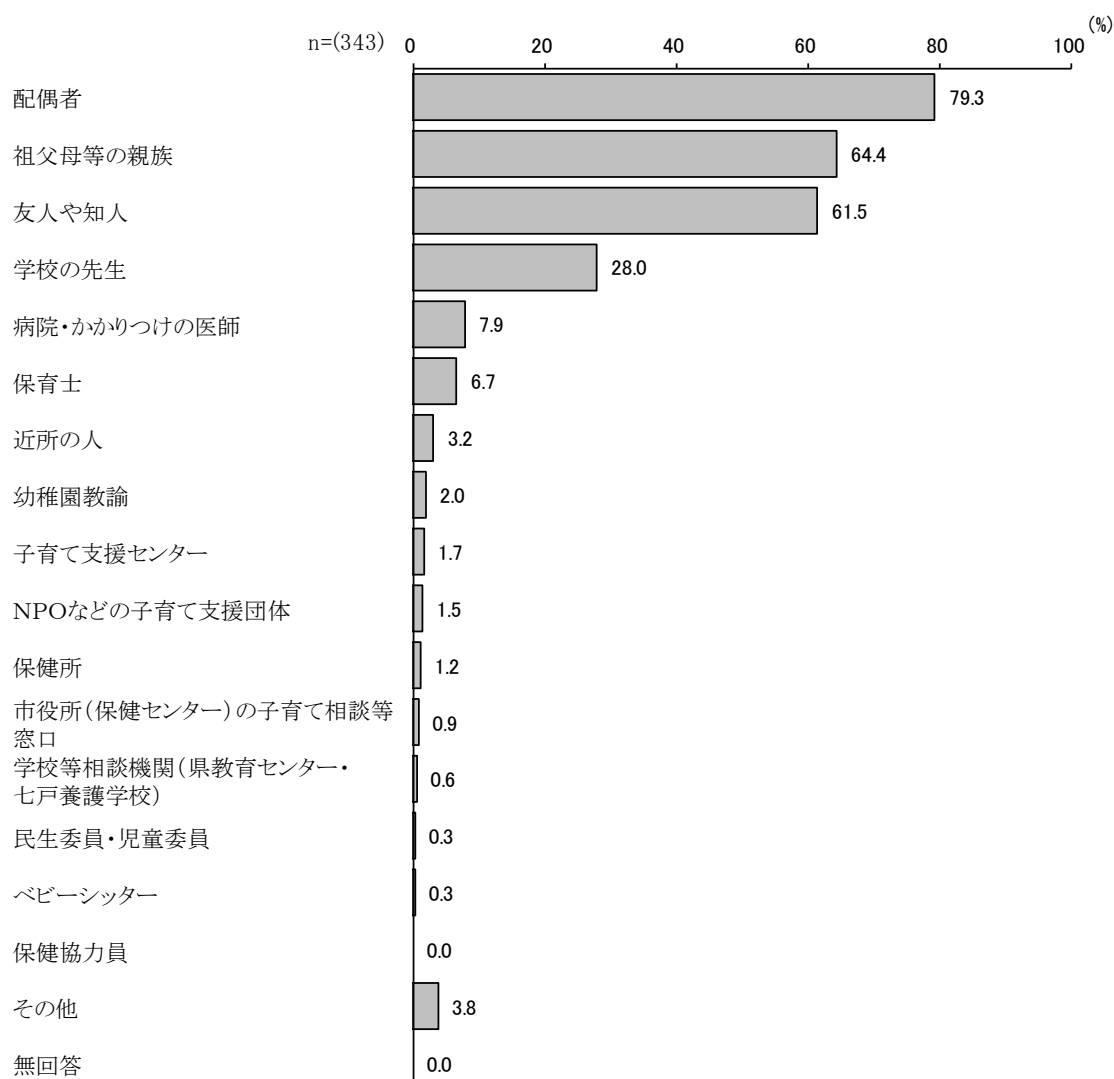


（７）子育てに関して気軽に相談できる先

- ▶ 子育てに関して気軽に相談したり情報を得られる先については、「配偶者」が 79.3%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」（64.4%）、「友人、知人」（61.5%）と家族や友人など身近な人が上位となっている。
- ▶ 一方、十和田市の関連施設（「市役所（保健相談センター）の子育て相談等窓口」）は 1 %以下となっている。

『問 10 気軽に相談できる人・場所の有無』で「いる・ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまる番号すべてに○）



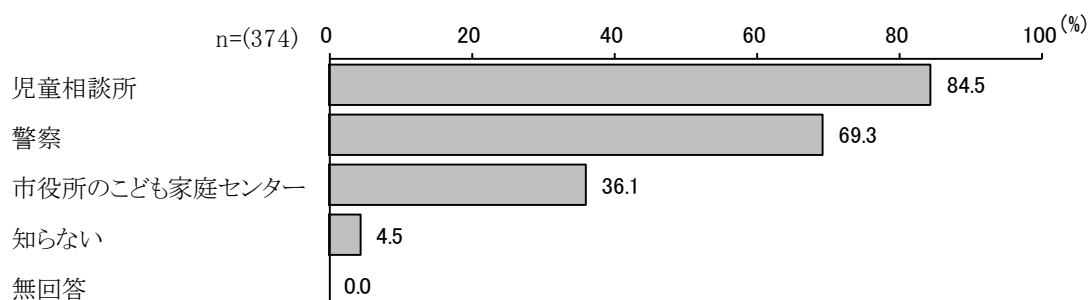
4 児童虐待やヤングケアラーについて

（１）「児童虐待」の通告先について知っている場所

- ▶「児童虐待」の通告先について知っている場所は、「児童相談所」が84.5%と最も高く、次いで「警察」（69.3%）、「市役所のこども家庭センター」（36.1%）となっている。

問 11 「児童虐待」の通告先について、知っているものを選んでください。

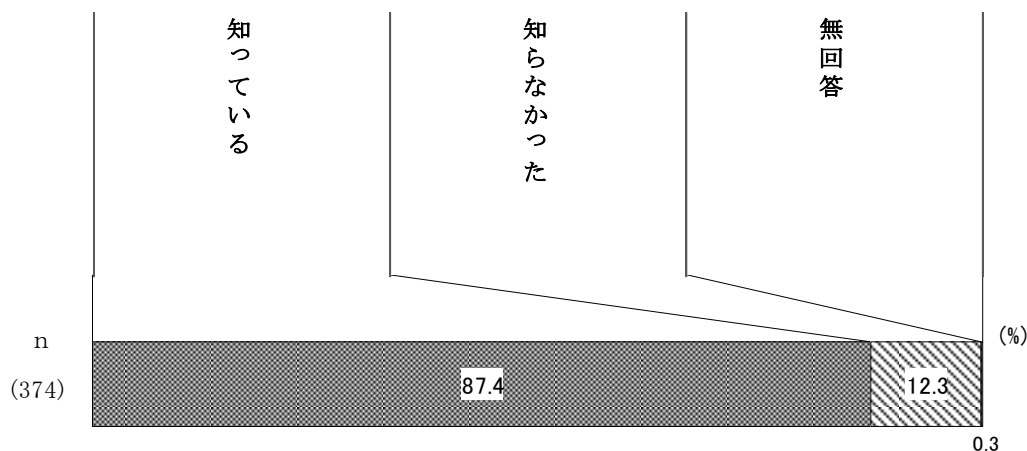
（あてはまる番号すべてに○）



（２）「児童虐待の疑いがあると思う」場合でも連絡できることに対する認知度

- ▶「児童虐待の疑いがあると思う」場合でも連絡できることに対する認知度については、87.4%が「知っている」と回答している。
- ▶一方、12.3%が「知らなかった」と回答している。

問 11-1 「児童虐待」の通告は「虐待の疑いがあると思う」場合でも連絡できることを知っていましたか。（あてはまる番号1つに○）

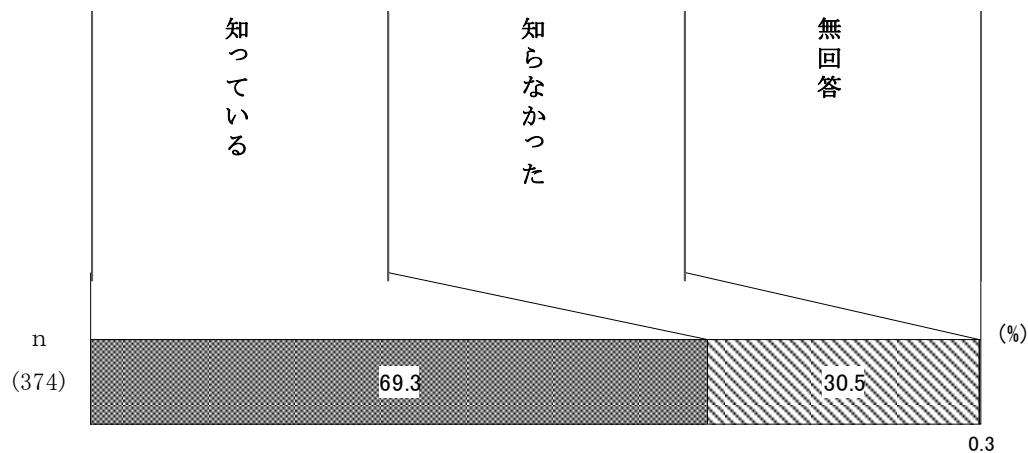


（３） 通告者への配慮に対しての認知度

- ▶ 通告者への配慮に対しての認知度は、69.3%が「知っている」と回答している。
- ▶ 一方、30.5%が「知らなかった」と回答している。

問 11-2 通告しても通告者が特定されないよう配慮されることを知っていましたか。

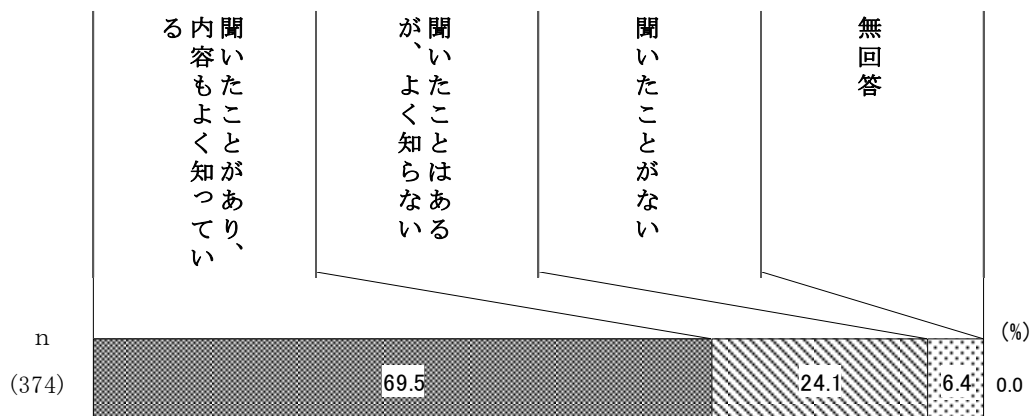
（あてはまる番号 1 つに○）



（４）「ヤングケアラー」の認知度

- ▶ 「ヤングケアラー」の認知度については、「聞いたことがあり、内容もよく知っている」が 69.5%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」（24.1%）となっている。
- ▶ 一方、6.4%が「聞いたことがない」と回答している。

問 11-3 「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを言いますが、あなたは「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことはありますか。（あてはまる番号 1 つに○）



5 保護者の就労状況について

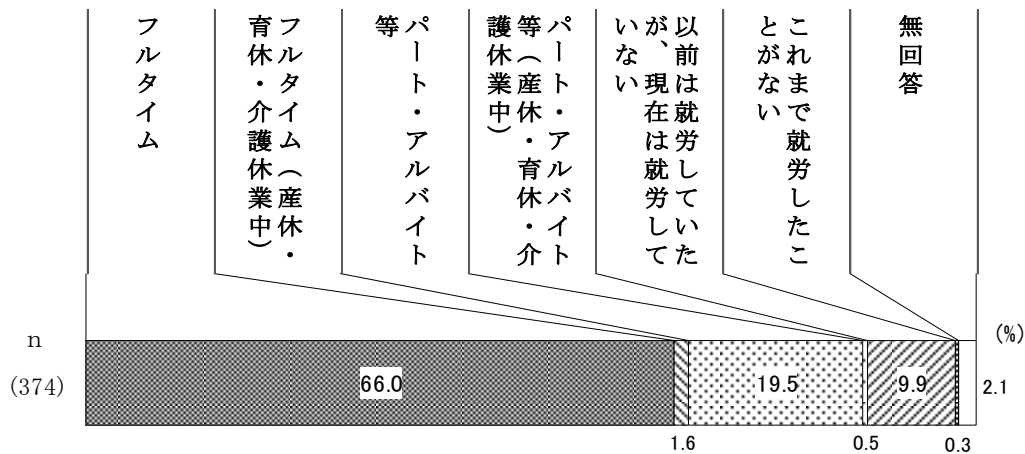
（１）就労状況

- ▶母親の就労状況については、「フルタイム」が 66.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等」（19.5%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（9.9%）となっている。
- ▶父親の就労状況については、「フルタイム」が 88.8%と最も高くなっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、母親は産休・育休・介護休業中を問わず「フルタイム」が 11.3 ポイント上昇している一方、「パート・アルバイト等」は 8.6 ポイント低下している。

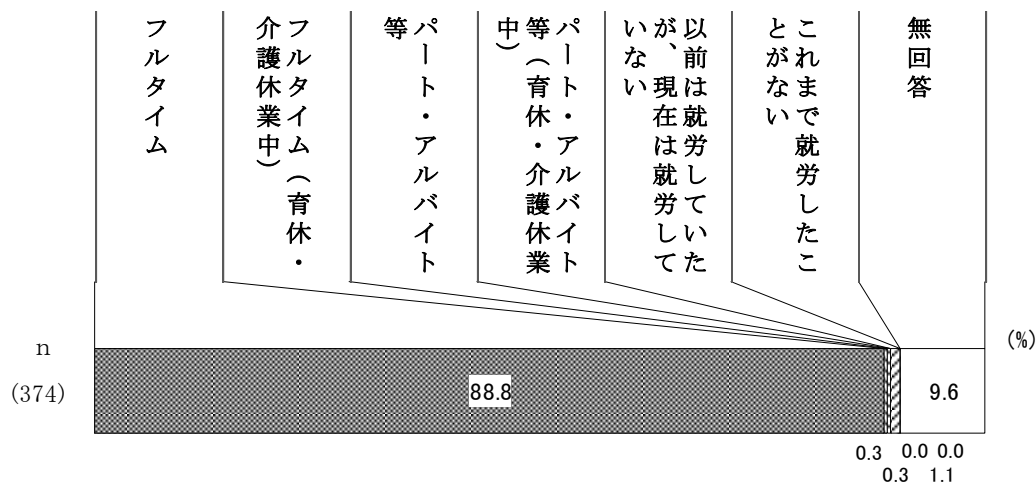
問 12(1)／問 12(2)

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

<母親>

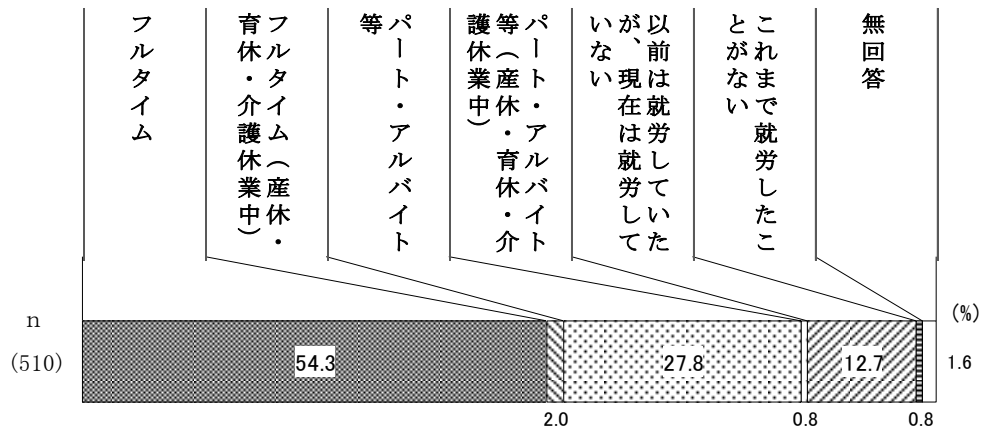


<父親>

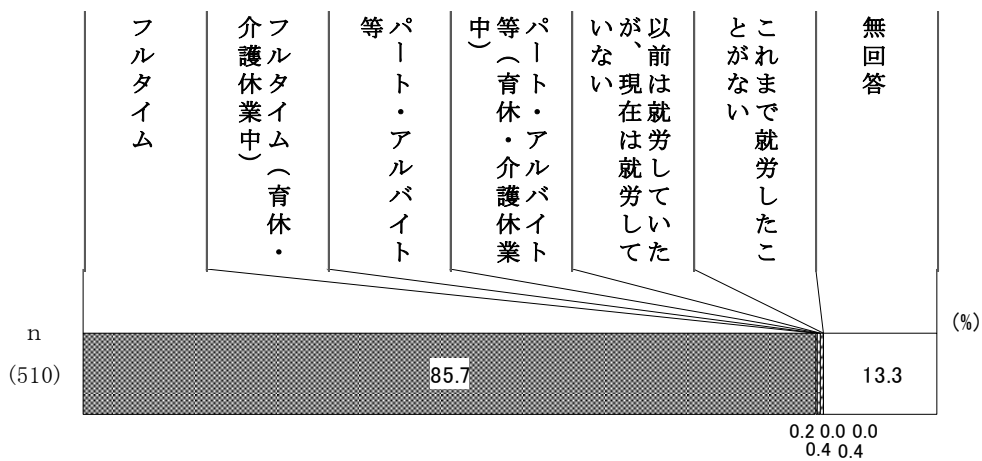


参考：平成 30 年度調査

<母親>



<父親>



（２）就労日数・時間

- ▶ 母親の就労日数・時間については、週当たりの平均就労日数が 5.2 日、1 日当たりの平均就労時間が 7 時間 41 分となっている。
- ▶ 父親の就労日数・時間については、週当たりの平均就労日数が 5.4 日、1 日当たりの平均就労時間が 9 時間 1 分と母親に比べて長くなっている。

『問 12（１）（２） 就労状況』で「フルタイム」、「フルタイム（産休・育休・介護休業中）」、「パート・アルバイト等」、「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）」に○をつけた方にうかがいます。

問 12（１）-1／問 12（２）-1

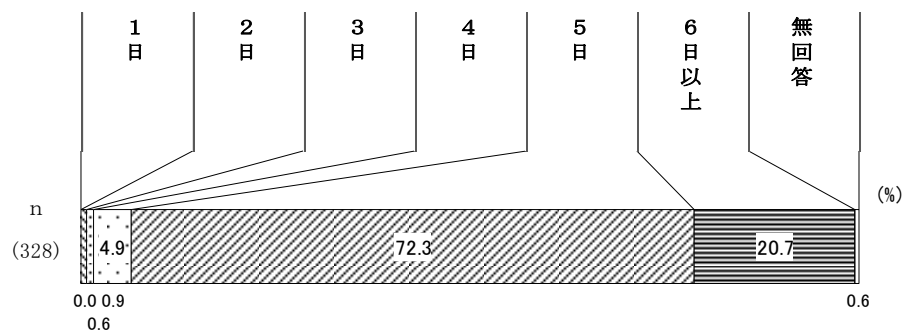
1 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」を□内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

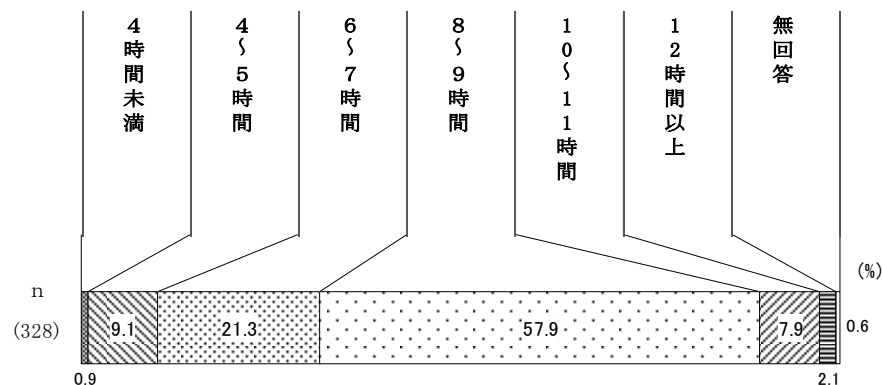
就労日数

<母親>



就労時間

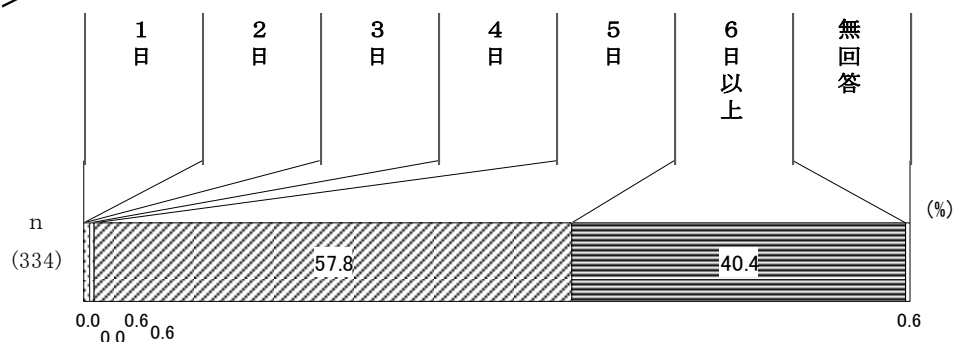
<母親>



	週当たりの 平均就労日数	1 日当たりの 平均就労時間
母親（n=328）	5.2 日	7 時間 41 分

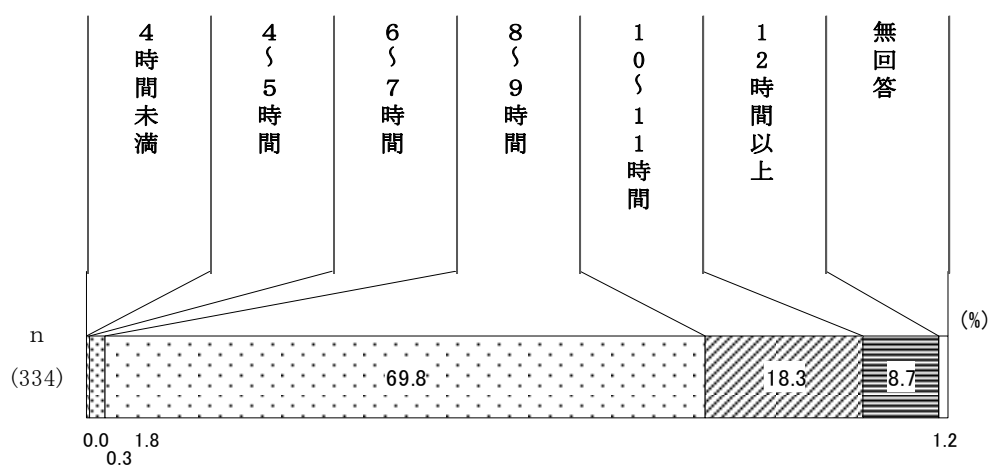
就労日数

<父親>



就労時間

<父親>



	週当たりの 平均就労日数	1日当たりの 平均就労時間
父親（n=334）	5.4日	9時間1分

（３）出発時間・帰宅時間

- ▶ 母親の出発時間・帰宅時間については、平均出発時間は 7 時 37 分、平均帰宅時間は 17 時 23 分となっている。
- ▶ 父親の出発時間・帰宅時間については、平均出発時間は 7 時 10 分と母親より早く、平均帰宅時間は 18 時 38 分と遅い。

『問 12（１）（２） 就労状況』で「フルタイム」、「フルタイム（産休・育休・介護休業中）」、「パート・アルバイト等」、「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）」に○をつけた方にかがいます。

問 12（１）-2／問 12（２）-2

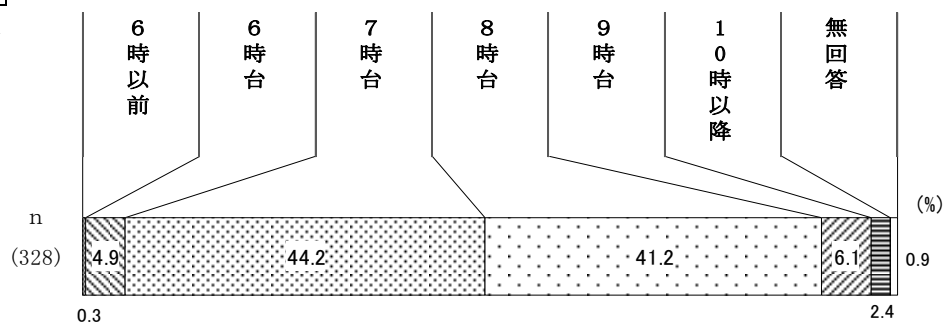
家を出る時間と帰宅時間を口内に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

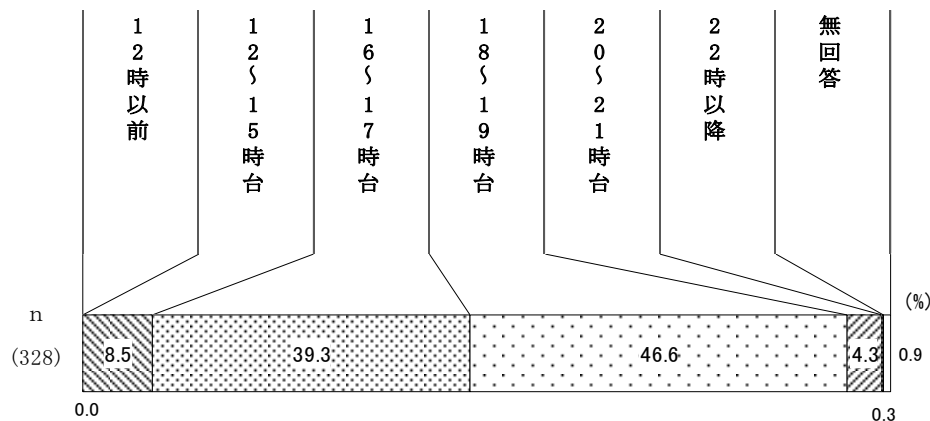
出発時間

<母親>



帰宅時間

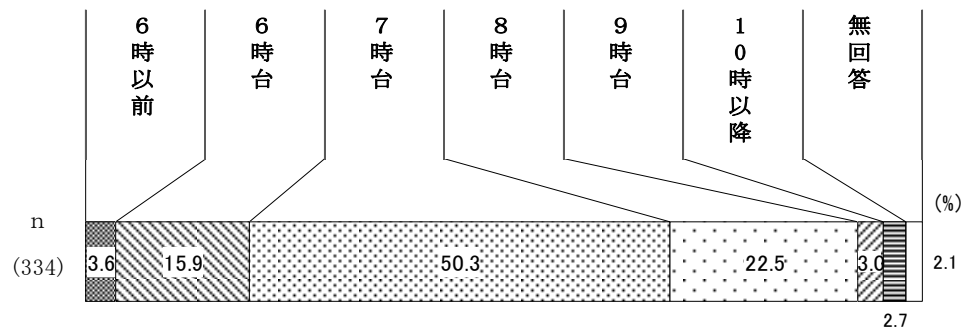
<母親>



	平均出発時間	平均帰宅時間
母親（n=328）	7時37分	17時23分

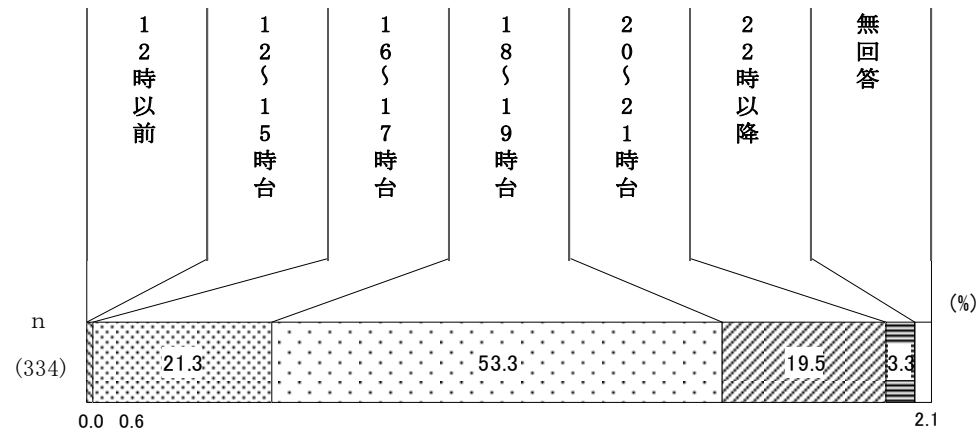
出発時間

<父親>



帰宅時間

<父親>



	平均出発時間	平均帰宅時間
父親 (n=334)	7時10分	18時38分

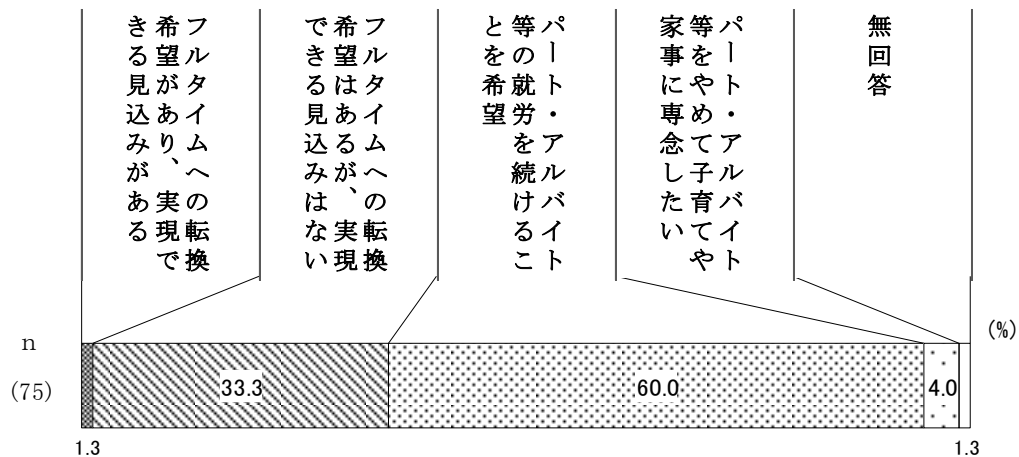
（４）フルタイムへの転換希望

- ▶ 母親のフルタイムへの転換希望については、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた《フルタイムへの転換希望がある》が 34.6%であるのに対し、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は 60.0%となり、現在の就労状況の継続を希望する人が多い。
- ▶ 父親のフルタイムへの転換希望については回答数が少ない（１件）ため、グラフを非掲載としている。

『問 12（１） 就労状況』で「パート・アルバイト等」または「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）」に○をつけた方にうかがいます。

問 13（１） フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号１つに○）

<母親>



（５）就労希望

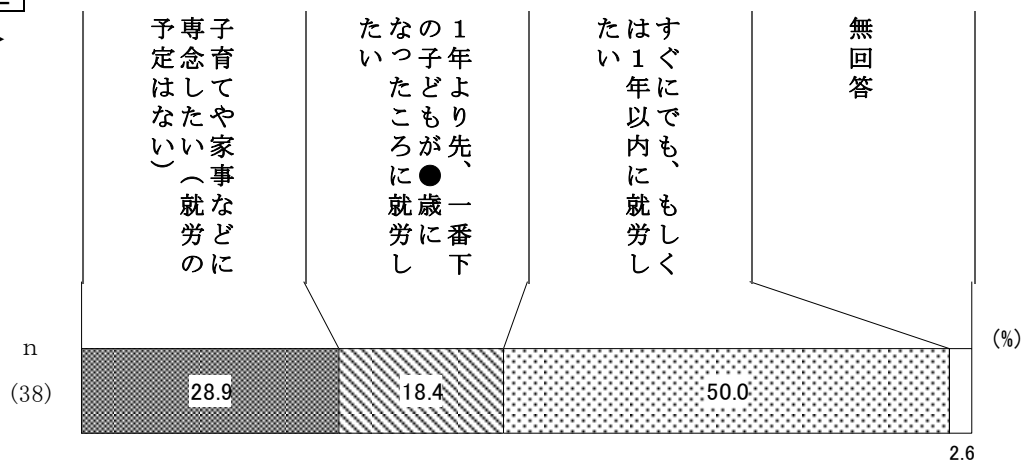
- ▶母親の就労希望については、「１年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」と「すぐにも、もしくは１年以内に就労したい」を合わせた《就労したい》が 68.4%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 28.9%となっている。
- ▶母親の就労を希望する時期の末子の年齢については、「６～８歳」が 57.1%と最も高く、次いで「１２歳以上」（28.6%）、「９～１１歳」（14.3%）となっている。
- ▶父親の就労希望は回答数が少なく（４件）、「１年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」を選択した方はおらず、末子の年齢については回答がない（０件）ため、グラフを非掲載としている。

『問 12（１） 就労状況』で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問 14（１） 就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号・丸数字それぞれ１つに○）
※該当する口内には数字をご記入ください。

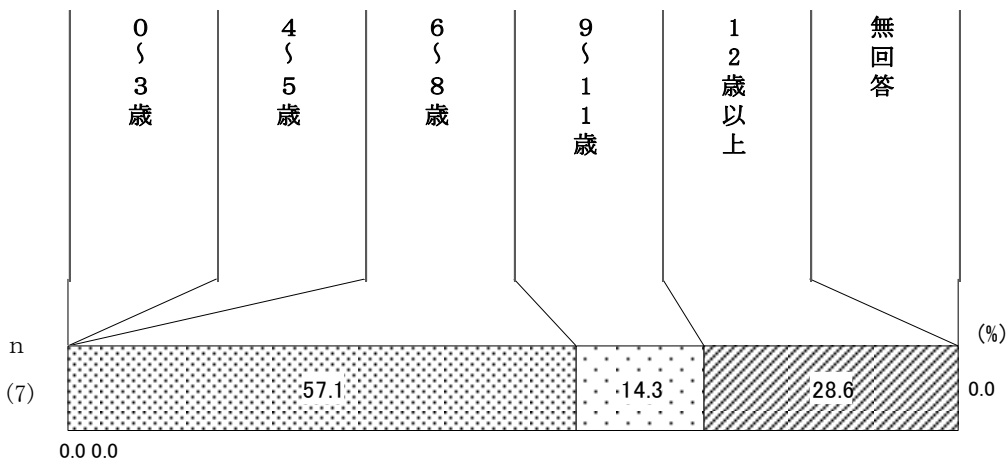
就労希望

<母親>



就労を希望する時期の末子の年齢

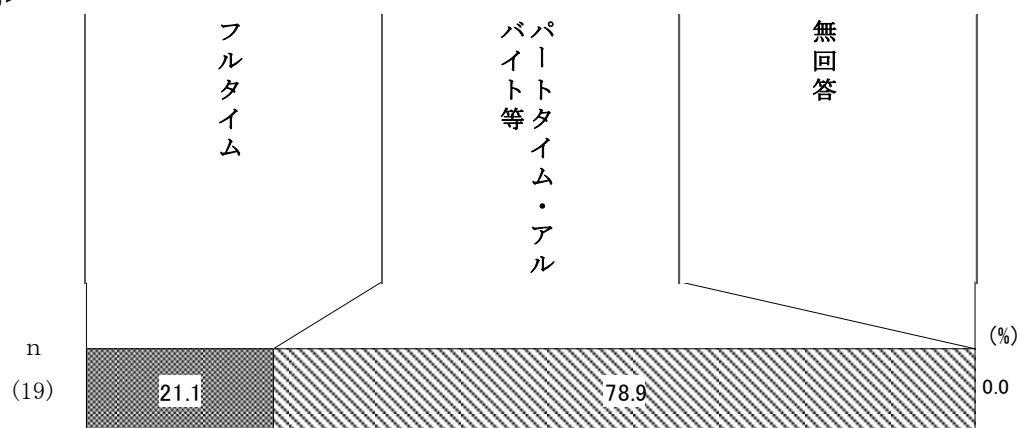
<母親>



- ▶ 母親の希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等」が 78.9%、「フルタイム」が 21.1%となっている。
- ▶ 「パートタイム・アルバイト等」の就労形態を希望する母親の就労条件の希望については、週当たりの平均就労日数が 4.6 日、1 日当たりの平均就労時間が 4 時間 56 分となっている。
- ▶ 父親の希望する就労形態については回答が少なく（2 件）、ともに「フルタイム」を希望しており、就労条件については回答がない（0 件）ため、グラフを非掲載としている。

希望する就労形態

<母親>



希望する就労条件

<母親>

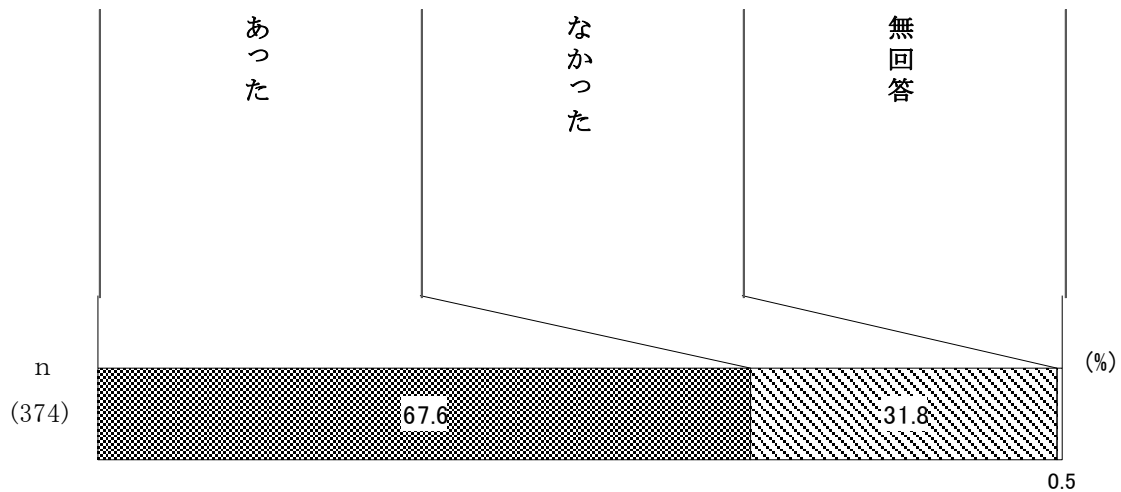
	週当たりの 平均就労日数	1 日当たりの 平均就労時間
母親（n=15）	4.6 日	4 時間56分

6 病気の際の対応について

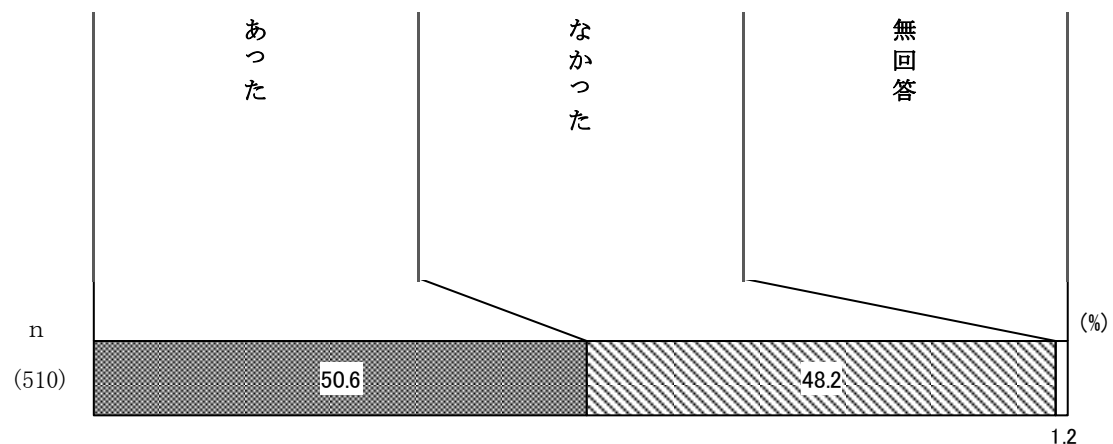
（１）子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無

- ▶子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無については、「あった」が 67.6%、「なかった」が 31.8%となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「あった」が 17.0 ポイント上昇している。

問 15 この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校に行けなかったことはありますか。
（あてはまる番号１つに○）



参考：平成 30 年度調査



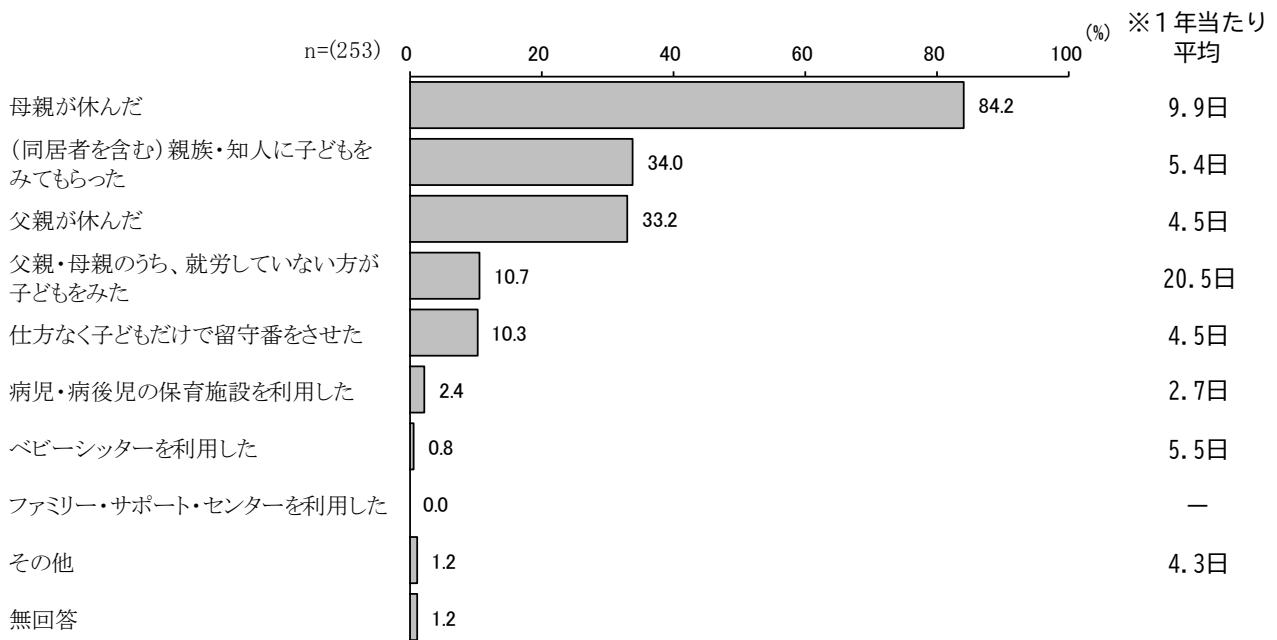
（２）学校を休んだ際の対応

- ▶ 学校を休んだ際の対応については、「母親が休んだ」が 84.2% で最も高く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（34.0%）となっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、「母親が休んだ」が 12.1 ポイント、「父親が休んだ」が 13.4 ポイント上昇している。

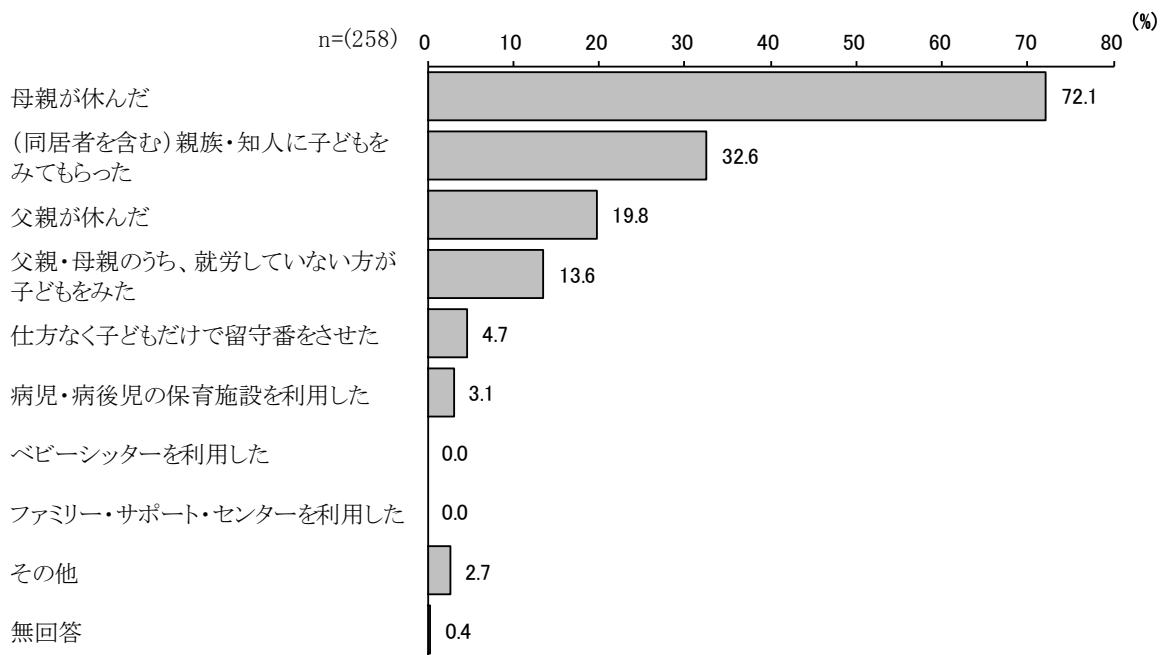
『問 15 子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無』で「あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 宛名のお子さんが病気やケガで学校に行けなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法はどれになりますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ、おおよその日数も□内に数字でご記入ください。



参考：平成 30 年度調査



（３）病児・病後児保育施設等の利用希望

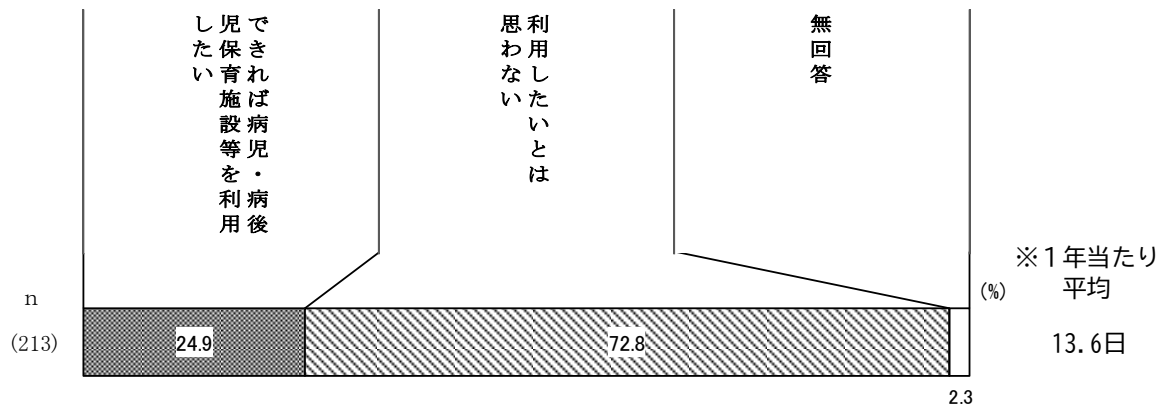
▶病児・病後児保育施設等の利用希望については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が24.9%であり、利用希望の年間平均日数は13.6日となっている。

『問 15-1 学校を休んだ際の対応』で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

問 15-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
（あてはまる番号1つに○）

※日数についても□内に数字でご記入ください。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。（令和6年度から十和田市民が十和田東病院病児・病後児保育所「里の森」を利用する場合の利用料は無料となりました。）

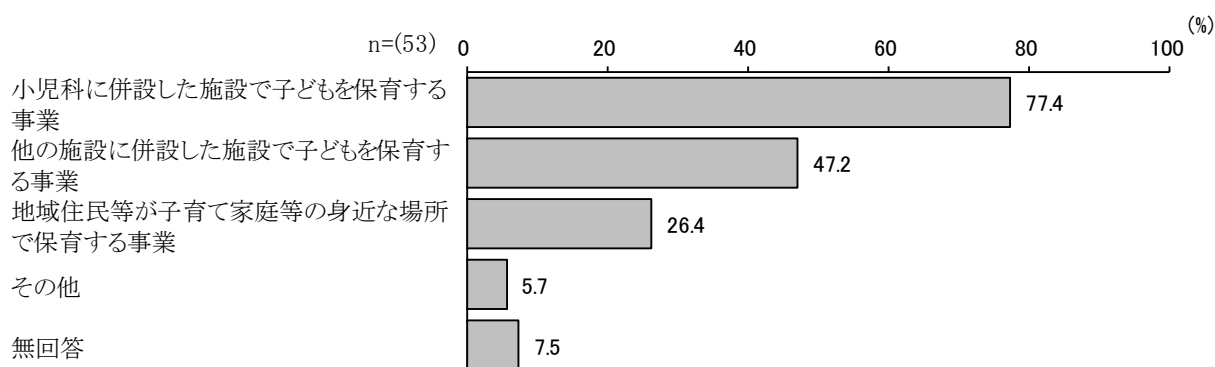


（４）病児・病後児保育施設等を利用する場合の望ましい事業形態

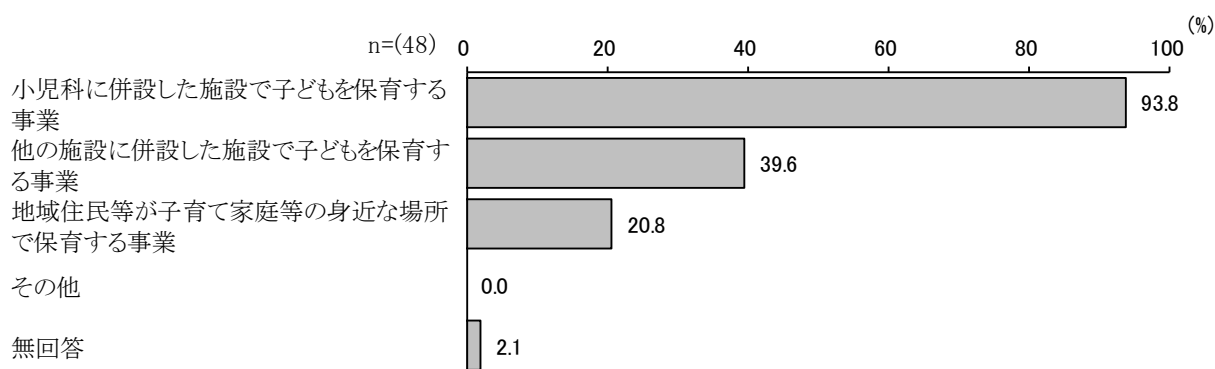
- ▶病児・病後児保育施設等を利用する場合の望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 77.4%、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 47.2%となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 16.4 ポイント低下している。

『問 15-2 病児・病後児保育施設等を利用したいか』で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
（あてはまる番号すべてに○）



参考：平成 30 年度調査

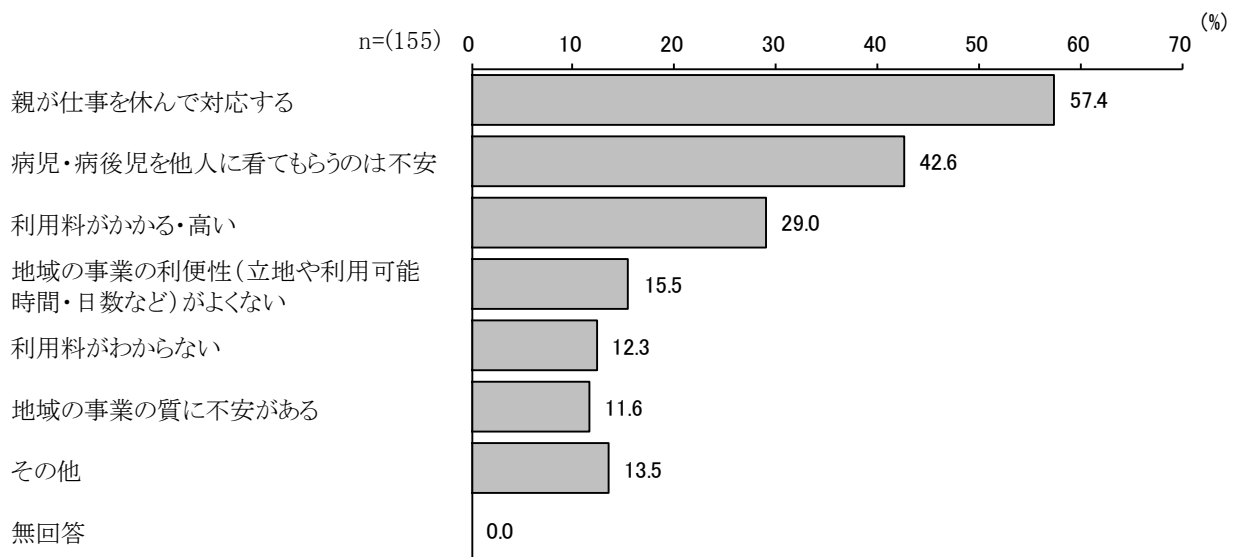


（５）病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない主な理由

▶病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない主な理由については、「親が仕事を休んで対応する」が57.4%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」（42.6%）、「利用料がかかる・高い」（29.0%）となっている。

『問 15-2 病児・病後児保育施設等を利用したいか』で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-4 そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

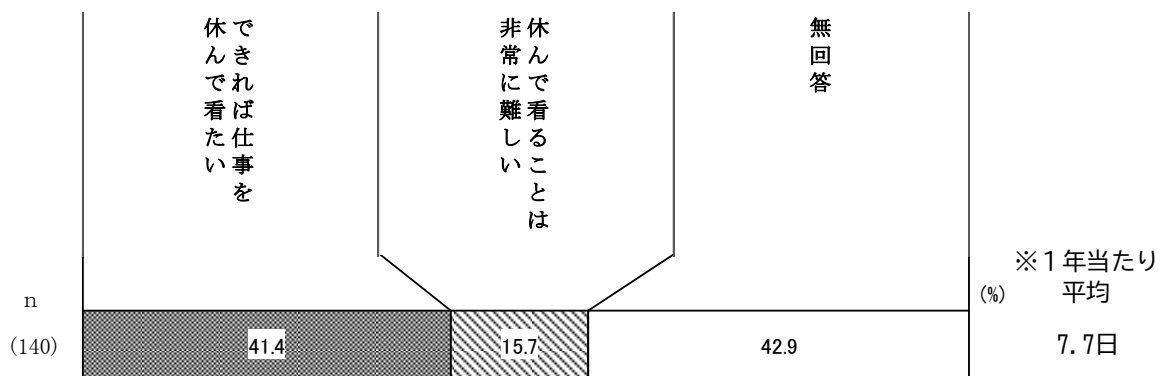


（６）仕事を休んで看たいと思ったか

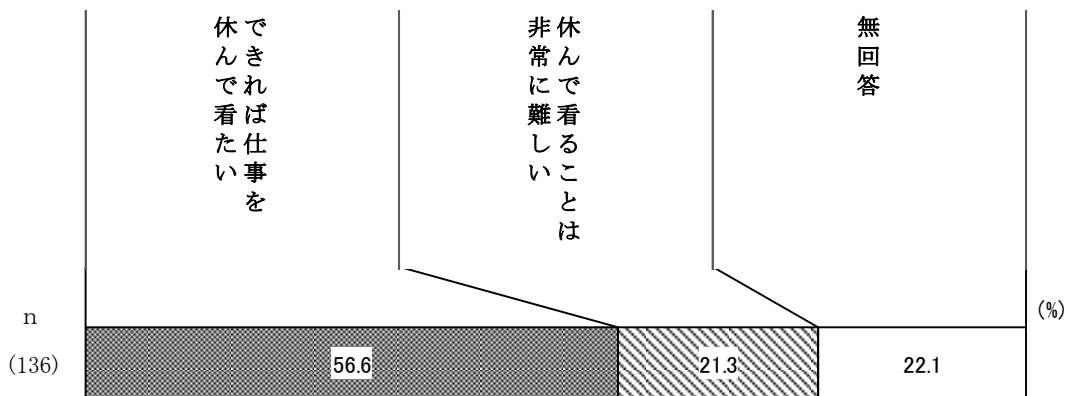
- ▶仕事を休んで看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」が 41.4%であり、休んで看たかった年間平均日数は 7.7 日となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」が 15.2 ポイント低下している。

『問 15-1 学校を休んだ際の対応』で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外を選択した方にうかがいます。

問 15-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
（あてはまる番号 1 つに○）



参考：平成 30 年度調査

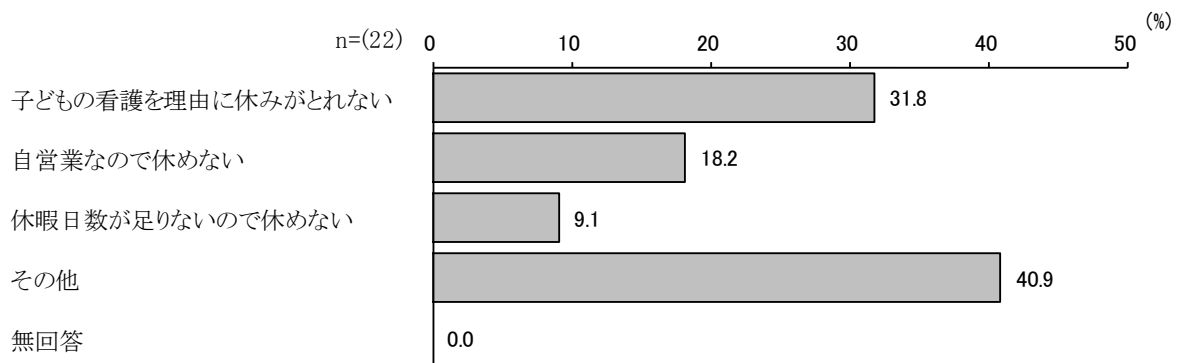


（７）休んで看ることが難しいと思う理由

- ▶休んで看ることが難しいと思う理由については、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が31.8%と最も高く、次いで「自営業なので休めない」（18.2%）、「休暇日数が足りないので休めない」（9.1%）となっている。
- ▶また、「その他」の回答には、「仕事が忙しすぎて休めない」、「職場の人員不足で休みづらい」、「他の人に業務負担が生じる」などの回答があった。

『問 15-5 仕事を休んで看たいと思ったか』で「休んで看ことは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

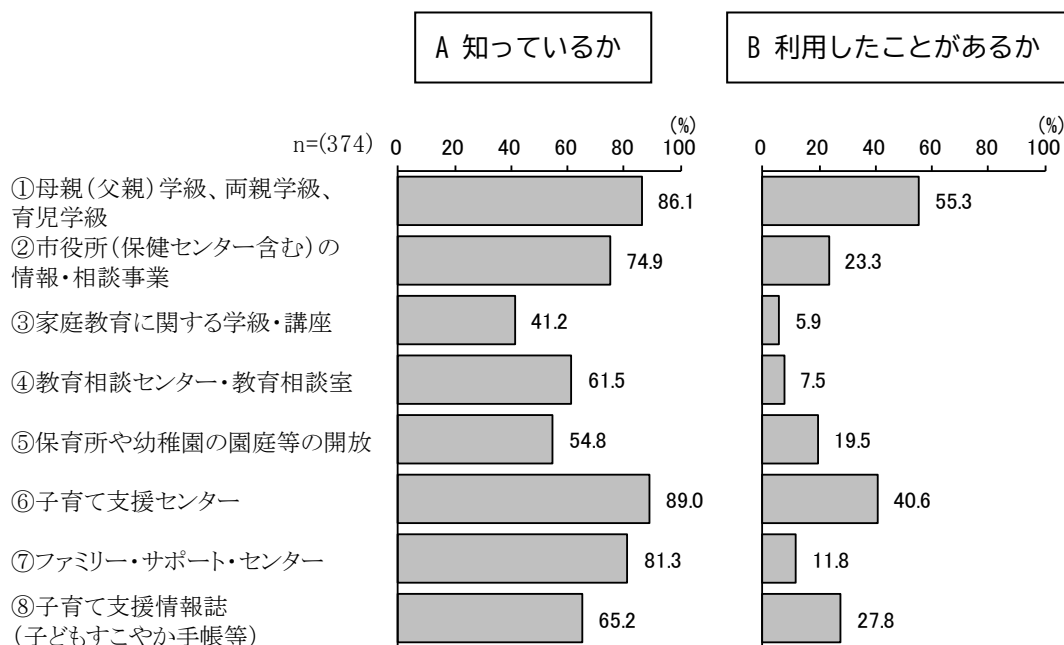
問 15-6 そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）



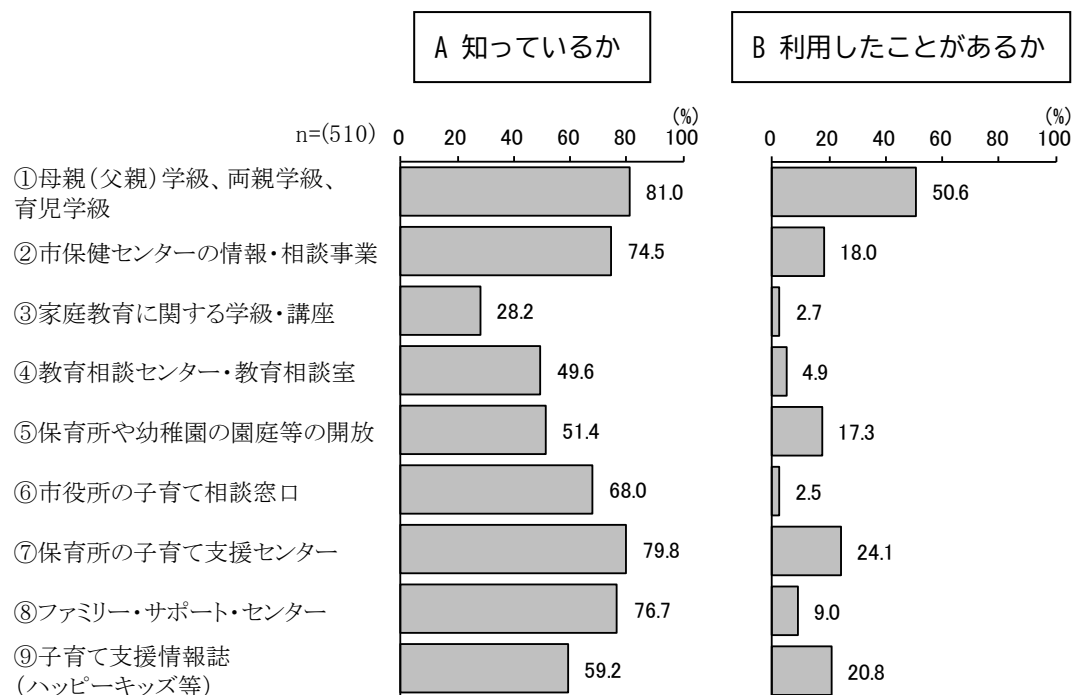
（８）十和田市の子育て支援サービスについて

- ▶ 十和田市で実施している子育て支援サービスの認知度は、「⑥子育て支援センター」が 89.0%と最も高く、次いで「①母親（父親）学級、両親学級、育児学級」（86.1%）、「⑦ファミリー・サポート・センター」（81.3%）となっている。
- ▶ 子育て支援サービスの認知度について平成 30 年度調査と比較すると、今回調査で第 1 位の「⑥子育て支援センター」が 9.2 ポイント上昇し、順位の入替わりがみられる。また、第 2 位の「①母親（父親）学級、両親学級、育児学級」は 5.1 ポイント、第 3 位の「⑦ファミリー・サポート・センター」は 4.6 ポイント上昇しており、すべての事業で認知度が上昇している。
- ▶ 十和田市で実施している子育て支援サービスの利用経験は、「①母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が 55.3%と最も高く、次いで「⑥子育て支援センター」（40.6%）、「⑧子育て支援情報誌（子どもすこやか手帳等）」（27.8%）となっている。
- ▶ 子育て支援サービスの利用経験について平成 30 年度調査と比較すると、概ね順位に変わりはないものの、「⑥子育て支援センター」は 16.5 ポイント上昇、「⑧子育て情報誌」は 7.0 ポイント上昇しており、すべての事業で利用経験者が増加している。

問 16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるものをお答えください。
※①～⑧の事業ごと、A・Bのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。



参考：平成 30 年度調査



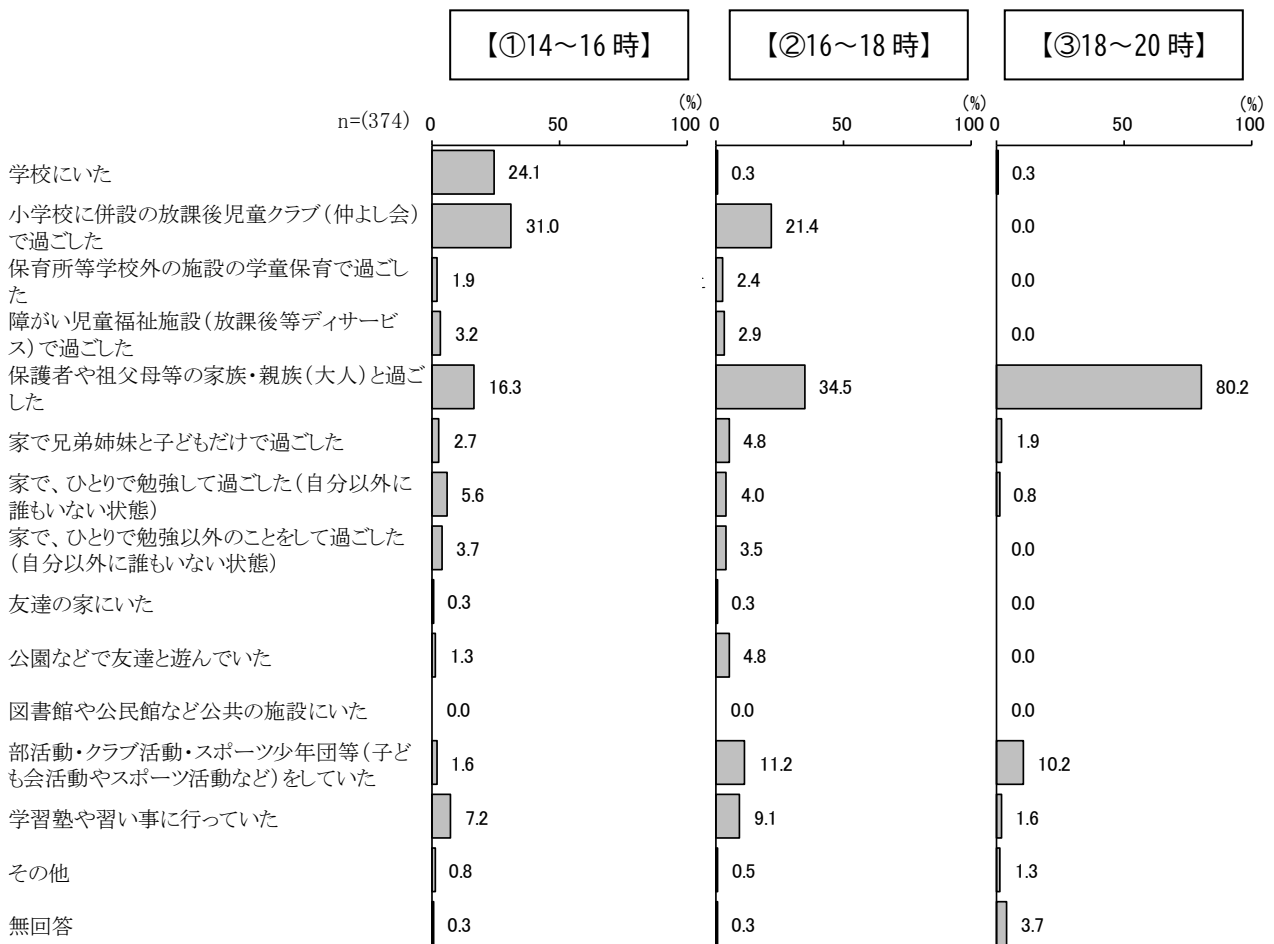
7 放課後の過ごし方について

（１）平日の放課後の過ごし方

▶平日の放課後の過ごし方については、『①14～16 時』は「小学校に併設の放課後児童クラブ（仲よし会）で過ごした」（31.0%）、『②16～18 時』は「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」（34.5%）、『③18～20 時』は「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」（80.2%）がそれぞれ最も高くなっている。

問 17 平日の放課後のお子さんの過ごし方で一番多いものは何ですか。

※①～③の時間帯ごとに、あてはまる番号を1つ選んでご記入ください。



（２）放課後の時間を過ごさせたい場所

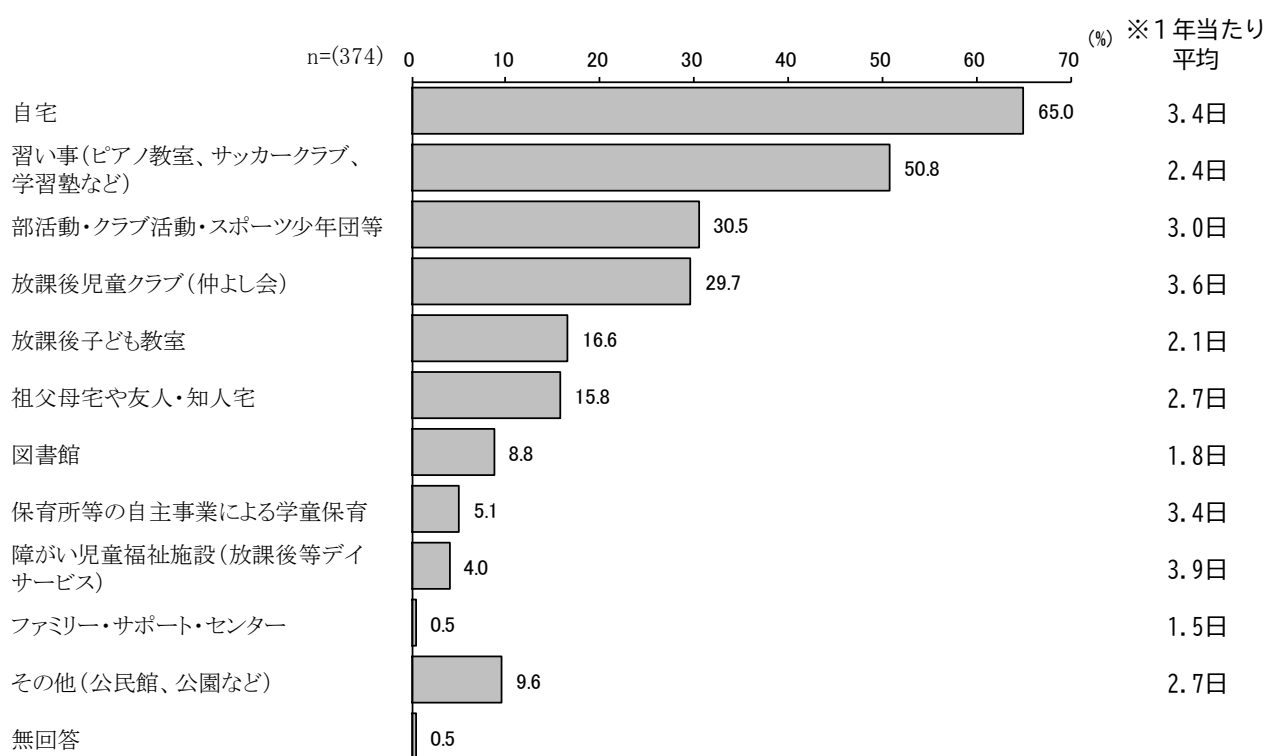
- ▶放課後の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が 65.0%と最も高く、週平均日数は 3.4 日となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」が 7.4 ポイント、「習い事（ピアノ、サッカークラブ、学習塾など）」が 3 ポイント上昇している一方、「放課後児童クラブ（仲よし会）」は 9.9 ポイント低下している。
- ▶放課後児童クラブ（仲よし会）の希望終了時間については、「下校から 17 時台」が 39.6%と最も高く、次いで「下校時から 17 時以前」（36.0%）となっている。

問 18 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

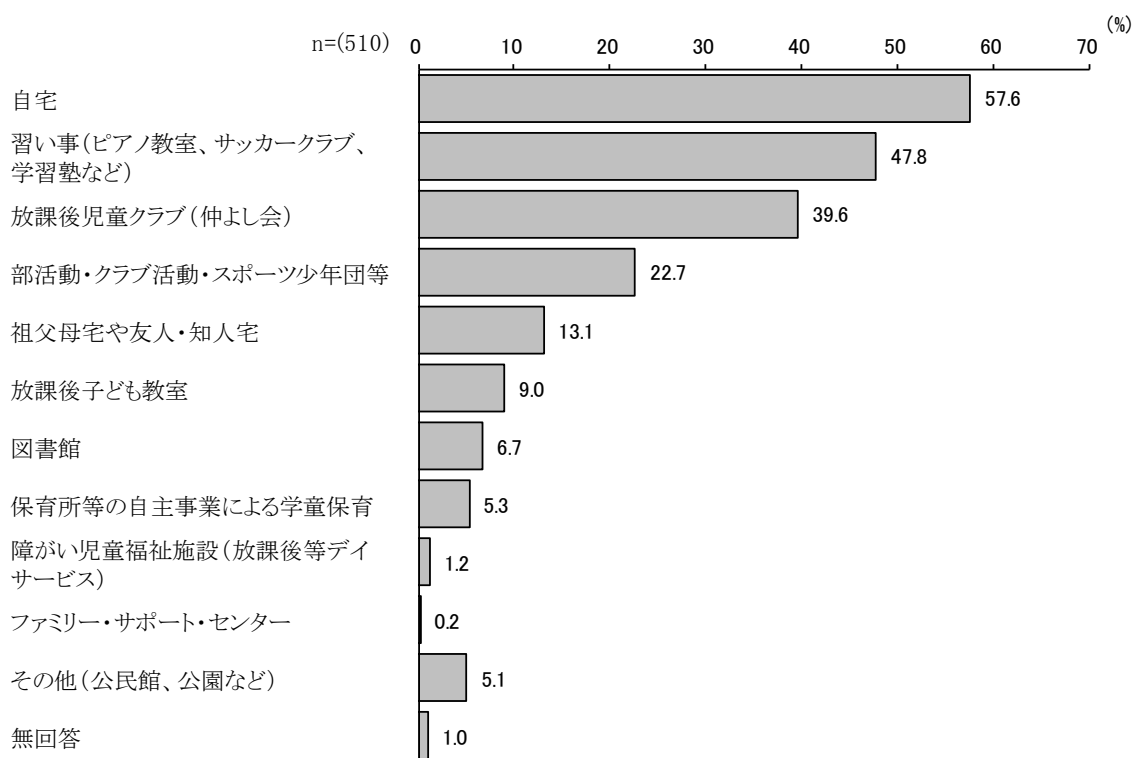
※それぞれ該当する週当たり日数を□内に数字でご記入ください。

※「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も 30 分単位で□内に数字でご記入ください。

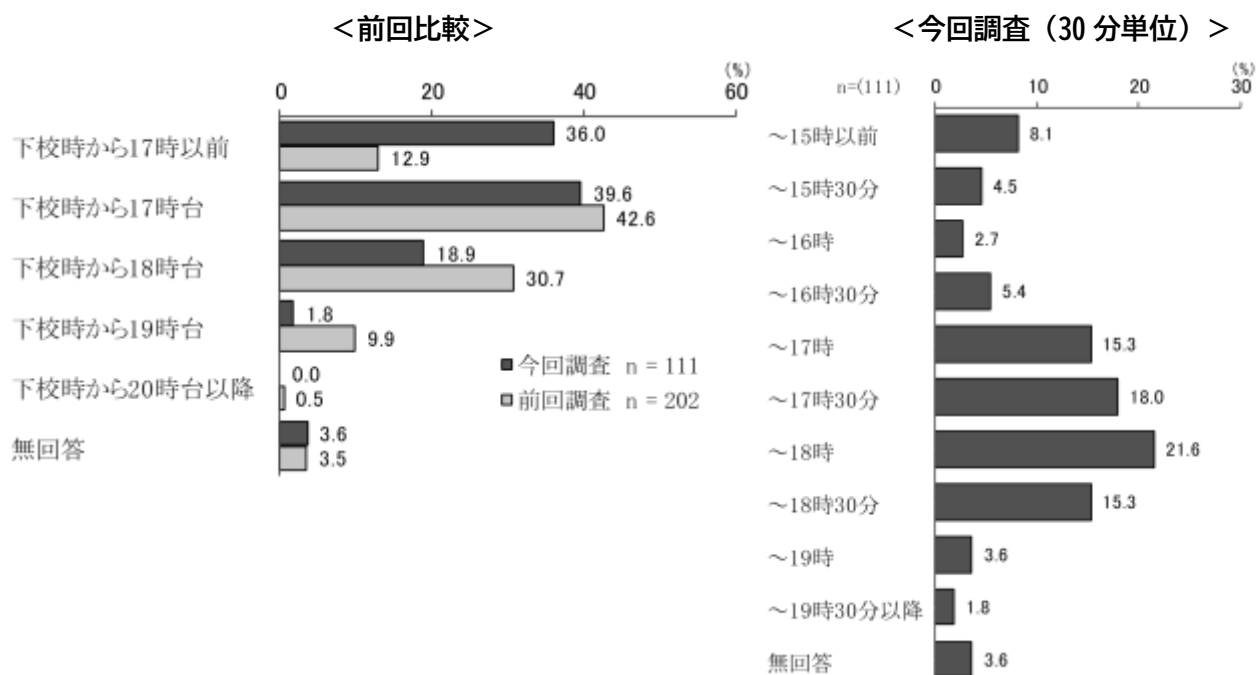
小学校終了後の放課後に過ごさせたい場所



参考：平成 30 年度調査



利用終了時間

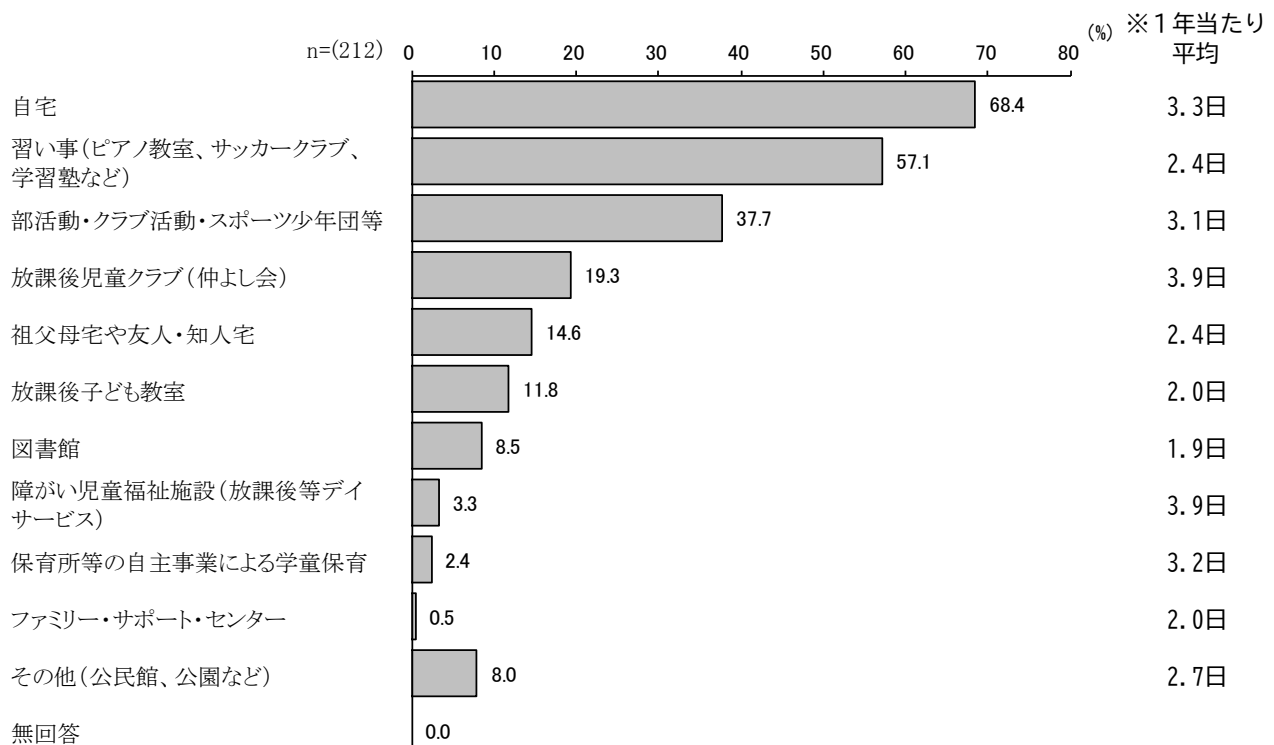


（３）高学年になったら放課後の時間を過ごさせたい場所

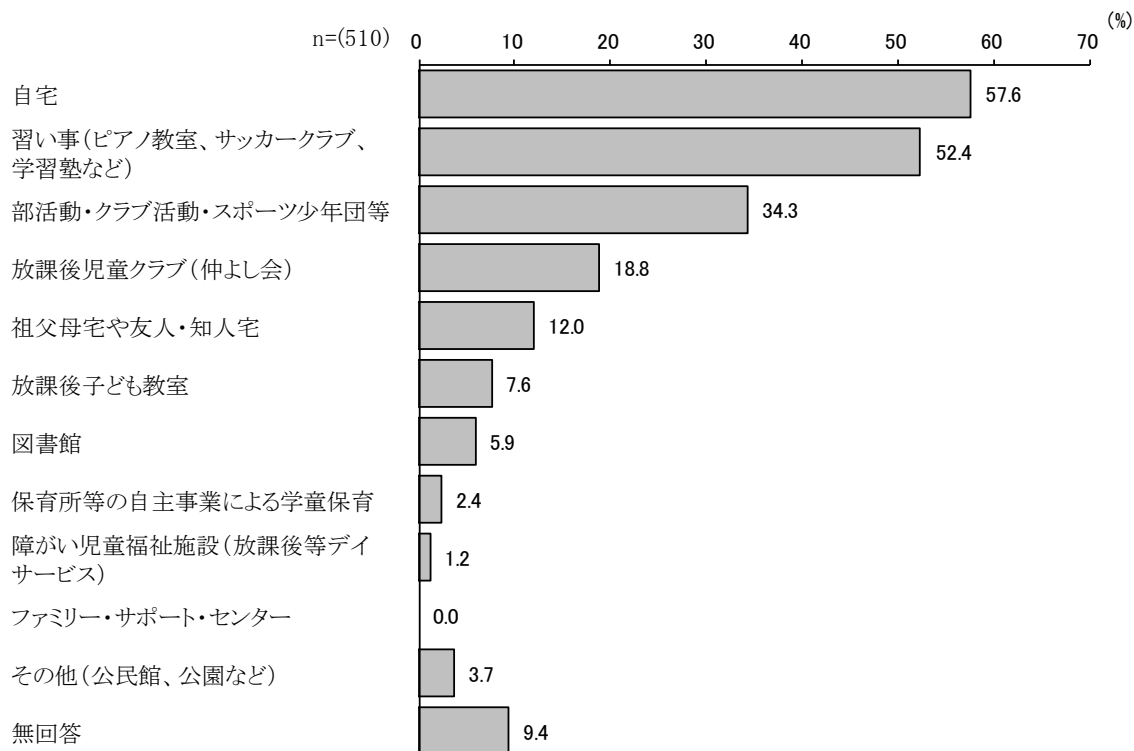
- ▶ 高学年になったら放課後の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が 68.4%と最も高く、週平均日数は 3.3 日となっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の順位に変化はないものの、「自宅」は 10.8 ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は 4.7 ポイント上昇している。
- ▶ 放課後児童クラブ（仲よし会）の希望終了時間については、「下校から 17 時台」が 48.8%と最も高く、次いで「下校時から 17 時以前」（36.6%）となっている。

問 19 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）
 ※それぞれ該当する週あたり日数を□内に数字でご記入ください。
 ※「６．放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も 30 分単位で□内に数字でご記入ください。

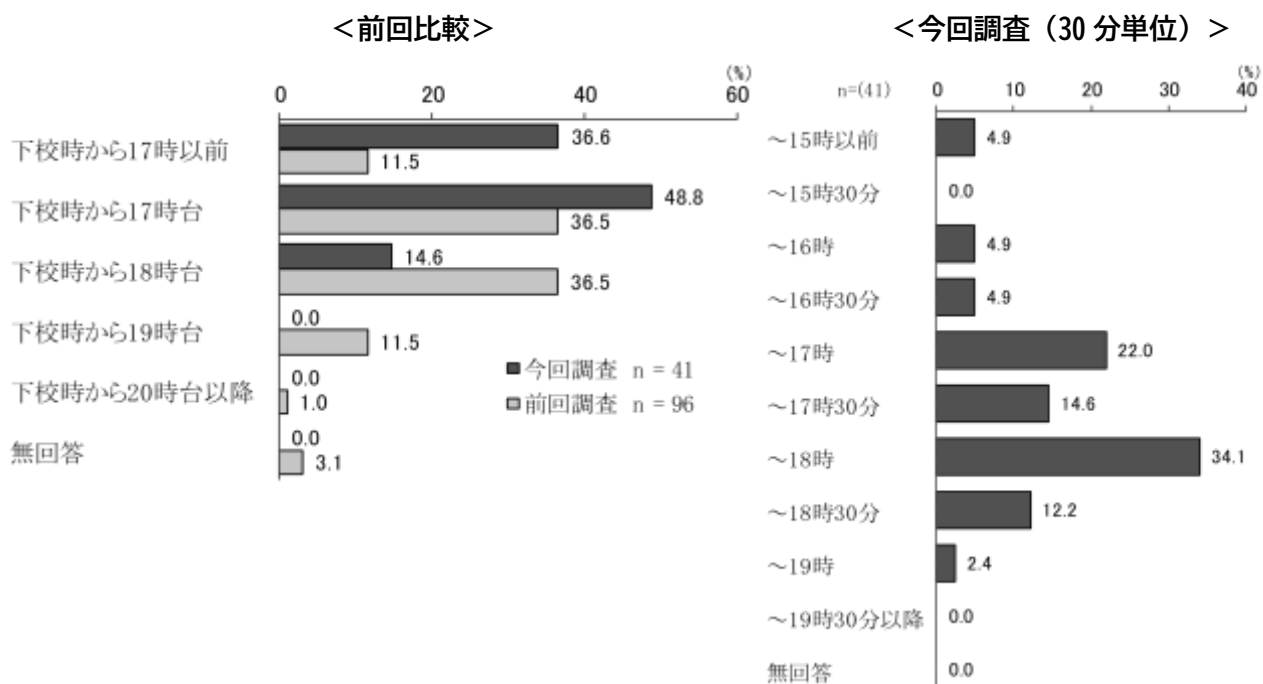
小学校高学年の放課後に過ごさせたい場所



参考：平成 30 年度調査



利用終了時間



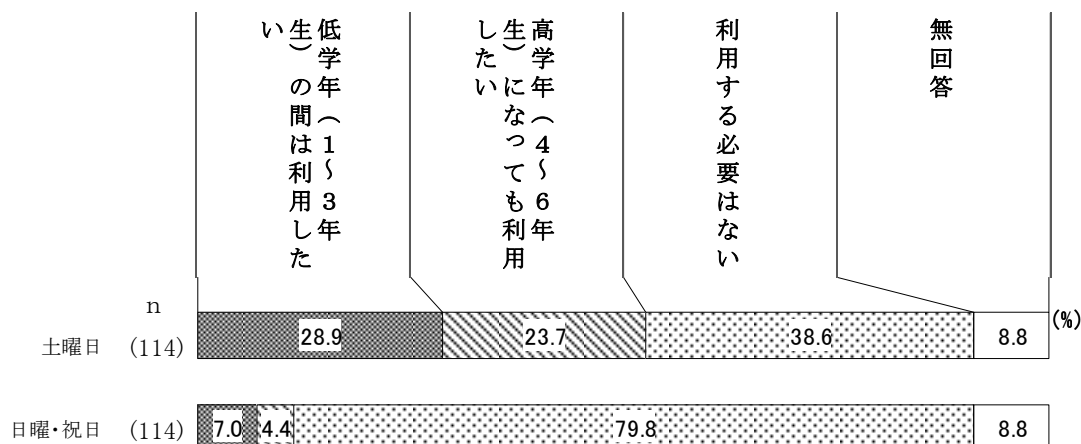
（４）休日の放課後児童クラブの利用希望

- ▶ 休日の放課後児童クラブの利用希望について、土曜日は「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 28.9%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 23.7%となっており、日曜・祝日はどちらも 1 割以下となっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、土曜日では「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 5.2 ポイント低下している。日曜・祝日については概ね同様の傾向となっている。

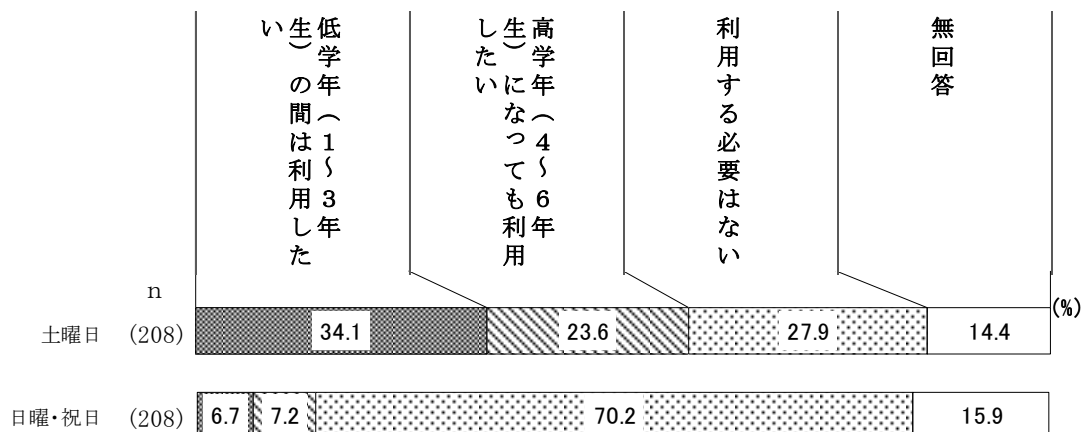
『問 18・問 19 小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所』で「放課後児童クラブ（仲よし会）」に○をつけた方にうかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。((1)(2)それぞれについて、あては、ある番号 1 つに○)
※利用したい時間帯を 30 分単位で口内に数字でご記入ください。

利用希望



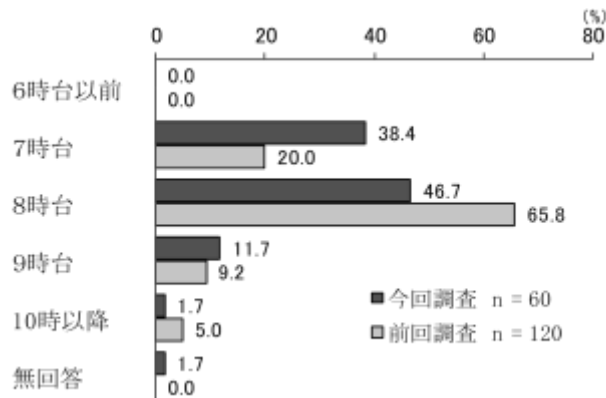
参考：平成 30 年度調査



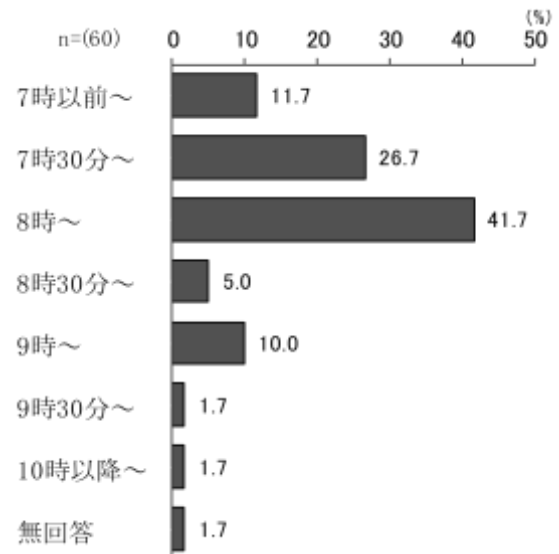
- ▶土曜日の放課後児童クラブ（仲よし会）の利用について、「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせた《利用したい》と回答した方の希望時間帯は、開始時間は「8 時台」（46.7%）、終了時間は「17 時台」（48.3%）が最も高い。

利用希望時間帯：土曜日

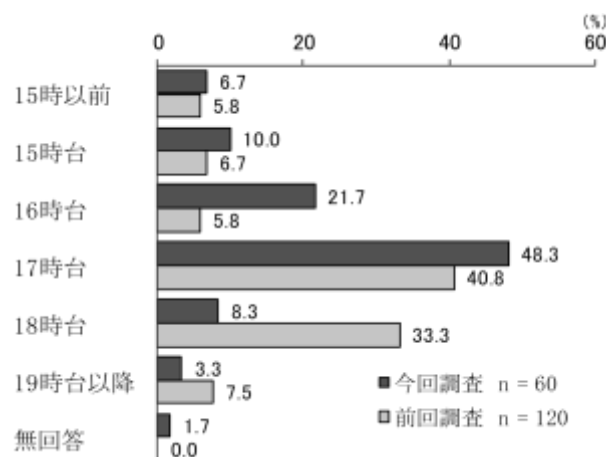
<前回比較（開始時間）>



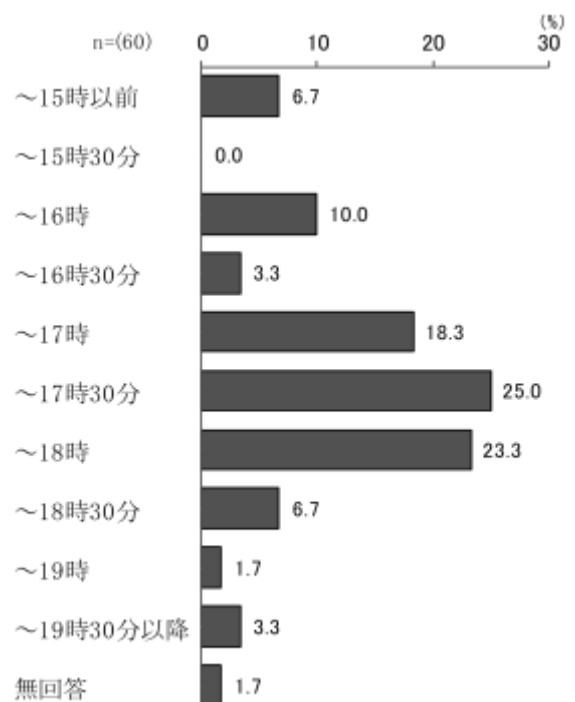
<今回調査（開始時間：30分単位）>



<前回比較（終了時間）>



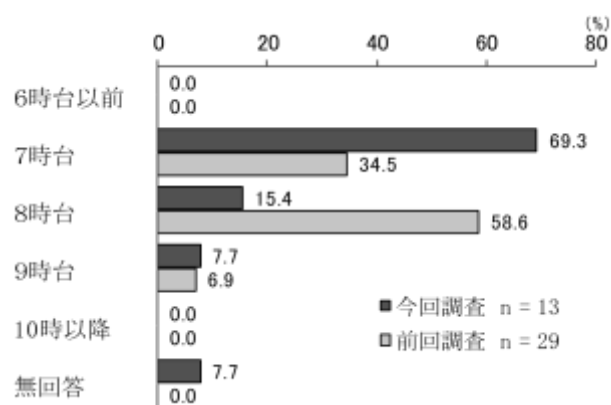
<今回調査（終了時間：30分単位）>



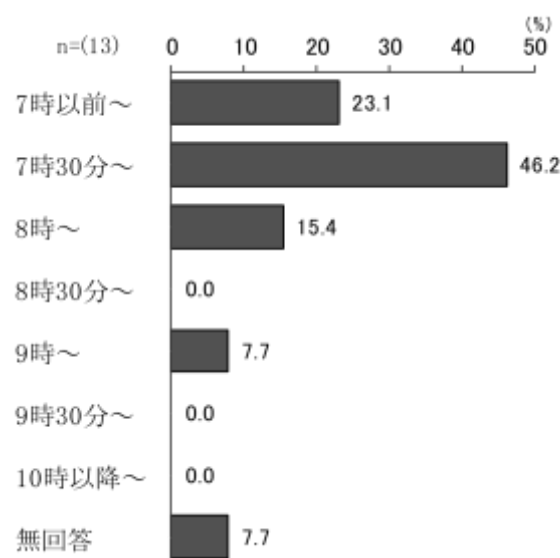
▶ 日曜日・祝日の放課後児童クラブ（仲よし会）の利用について、《利用したい》と回答した方の希望時間帯は、開始時間は「7 時台」（69.3%）、終了時間は「17 時台」（30.8%）が最も高い。

利用希望時間帯：日曜日・祝日

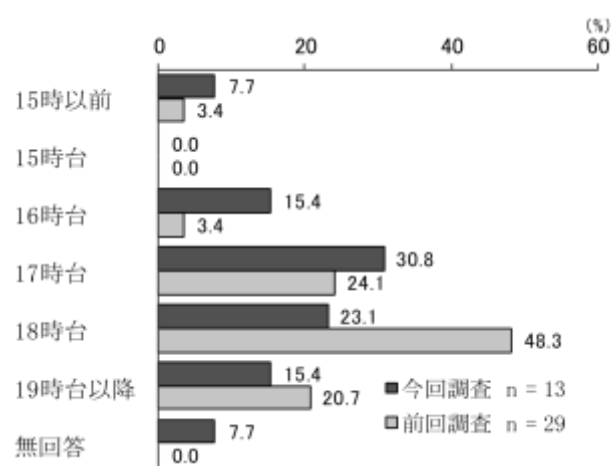
< 前回比較（開始時間） >



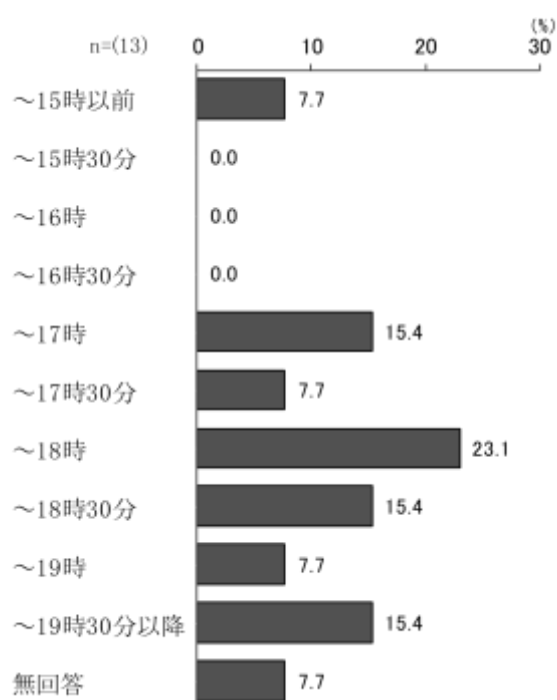
< 今回調査（開始時間：30 分単位） >



< 前回比較（終了時間） >



< 今回調査（終了時間：30 分単位） >



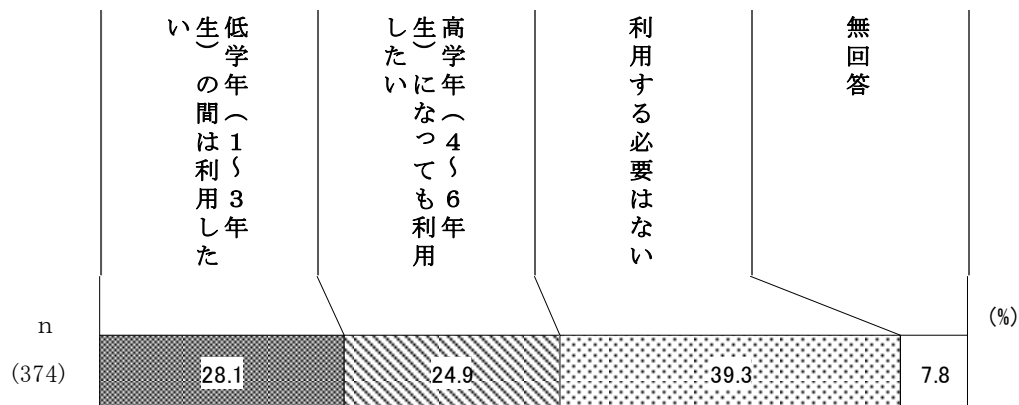
（５）長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望

- ▶長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が28.1%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が24.9%となっている。
- ▶平成30年度調査と比較すると、土曜日では「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が14.2ポイント、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が17.4ポイント低下している。

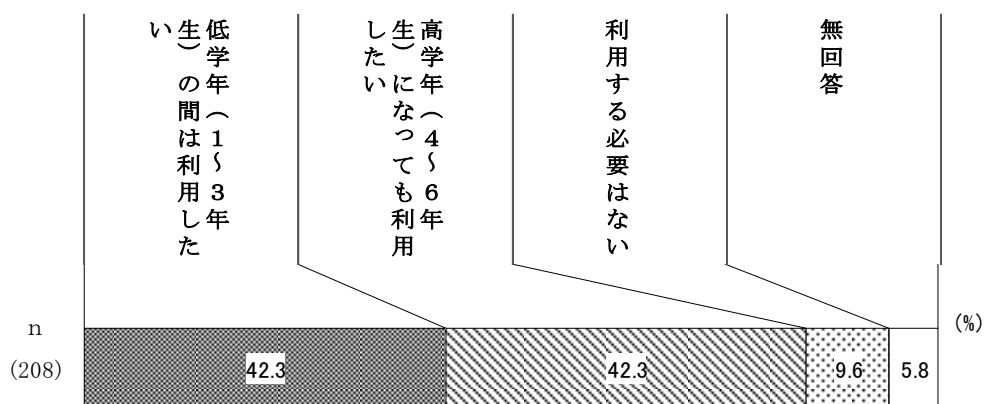
問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（あてはまる番号１つに○）

※利用したい時間帯を30分単位で口内に数字でご記入ください。

利用希望



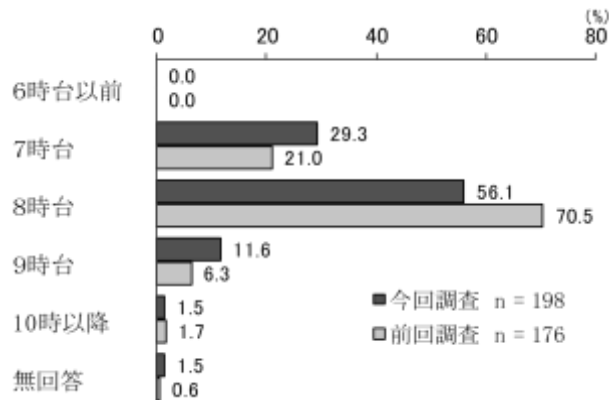
参考：平成30年度調査



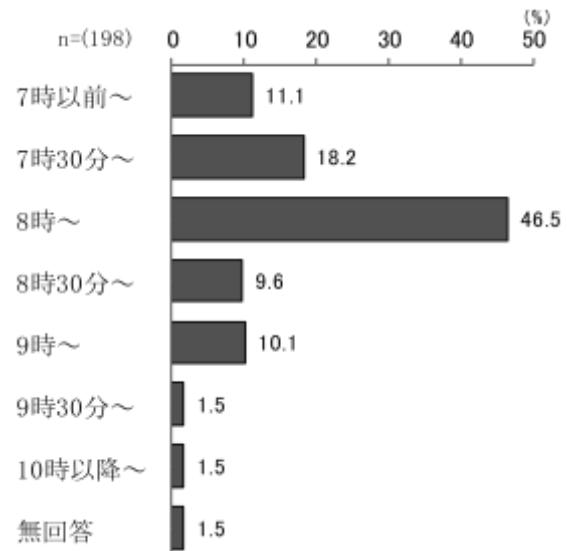
- ▶長期休業期間中の放課後児童クラブ（仲よし会）の利用について、「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせた《利用したい》と回答した方の希望時間帯は、開始時間は「8 時台」（56.1%）、終了時間は「17 時台」（44.4%）が最も高い。

利用希望時間帯

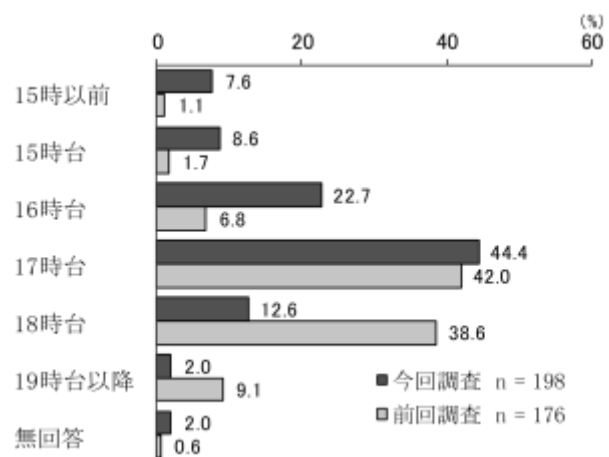
<前回比較（開始時間）>



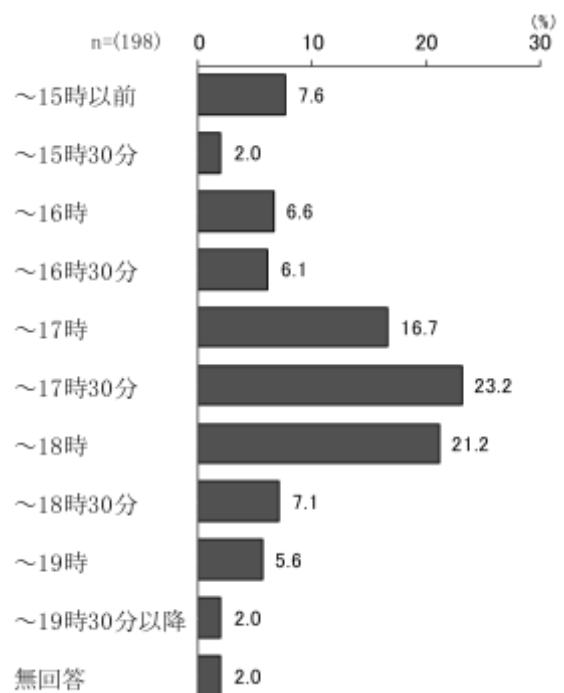
<今回調査（開始時間：30分単位）>



<前回比較（終了時間）>



<今回調査（終了時間：30分単位）>

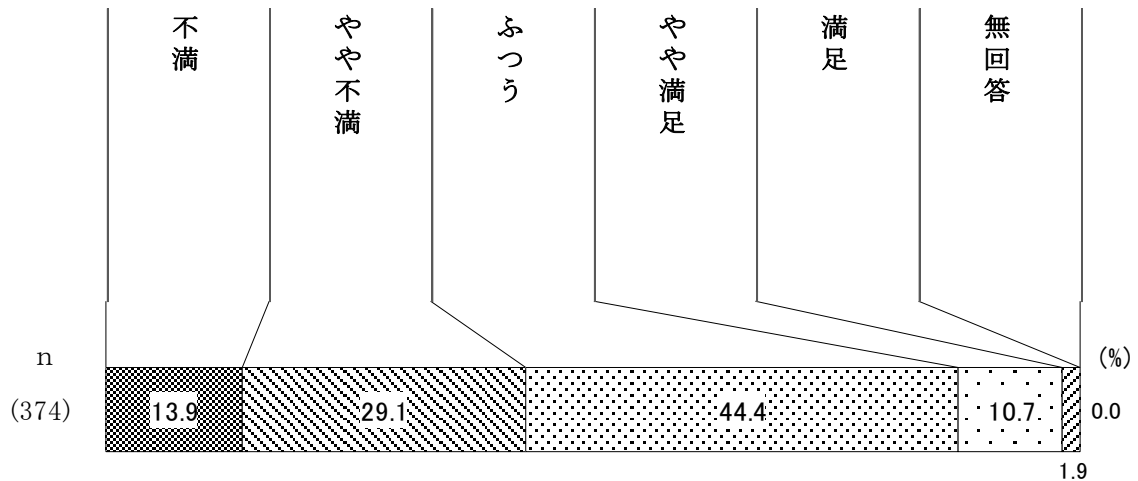


8 子育て環境全般について

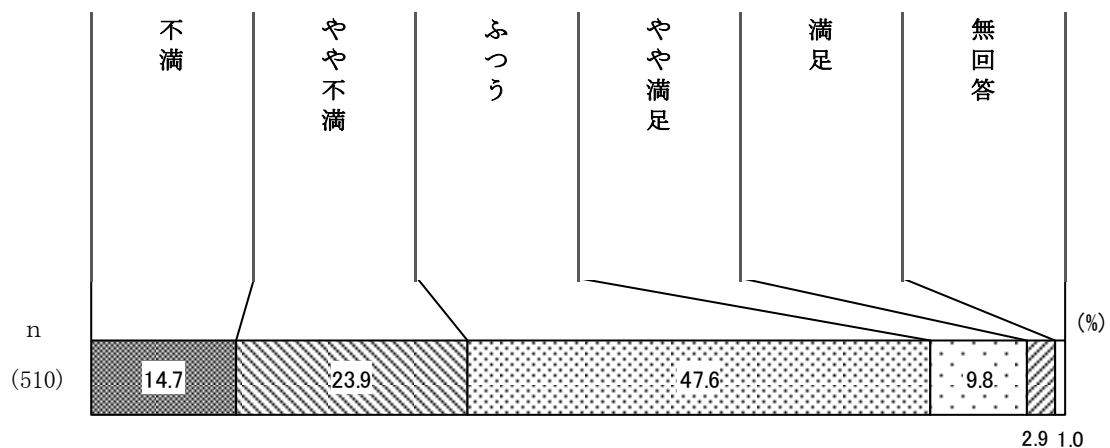
（１）子育て環境や支援への満足度

- ▶十和田市における子育て環境や支援への満足度については、「やや満足」と「満足」を合わせた《満足》が12.6%となっているが、「不満」と「やや不満」を合わせた《不満》が43.0%と子育て環境の整備や支援の必要性がうかがえる。
- ▶平成30年度調査と比較すると、「やや不満」が5.2ポイント上昇している。

問22 十和田市における子育て環境や支援への満足度をお答えください。
（あてはまる番号1つに○）



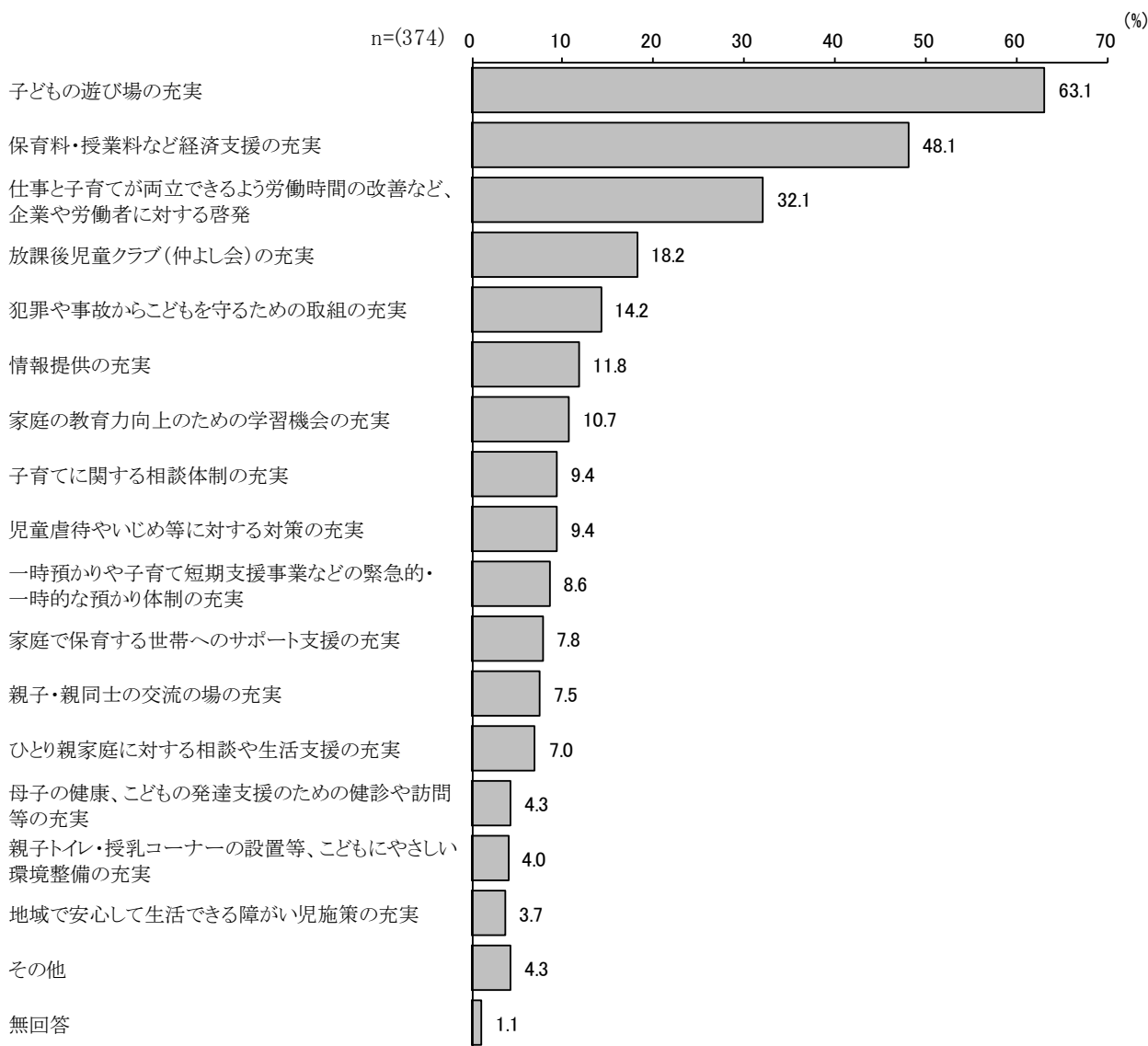
参考：平成30年度調査



（２）市の子育て環境充実のため、重要だと思うこと

▶市の子育て環境充実のため、重要なことは、「子どもの遊び場の充実」が63.1%と最も高く、次いで「保育料・授業料など経済支援の充実」（48.1%）、「仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発」（32.1%）などの回答も多くなっている。

問 23 十和田の子育て環境充実のため、今後どのようなことが重要だと思いますか。特に重要だと思う番号3つまでに○をつけてください。



（３）子育て環境・支援に関する意見

問 24 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

順位	内容	件数
1	放課後等の居場所について	35 件
2	遊び場の充実について	34 件
3	学校等教育環境について	25 件
4	経済的な支援の充実について	17 件
5	地域における子育て支援の充実について	15 件
6	職場環境について	6 件
7	病児・病後児保育の充実について	4 件
8	情報提供・相談体制について	4 件
-	その他	17 件

【自由意見（抜粋）】

1. 放課後等の居場所について

- 子どもたちが安心して過ごせる場所、施設が増えてほしい。学区内にあるとありがたいです。
- 図書館を利用させたいが、学区外のため子どもだけでの利用ができない。住む地域によって公共施設の利便性が異なるので、例えばコミュニティセンターを改修・整備するなどして、子どもが利用しやすい施設（居場所）を増やして欲しい。
- フルタイムで仕事をしているため、仲よし会の子どもの預かり時間の検討をしてほしい。職場が遠方なため、預かり開始、終了時間を延長してもらえるととても助かります。

2. 遊び場の充実について

- 普段よく公園で遊びますが、遊具が充実しておらず、あったとしても昔からある滑り台やブランコくらい。安全性もあり、もっと楽しめる遊具がある公園を整備してほしいです。外に居るのに、ゲーム機やカードゲームを持っている子をよく見かけます。サッカー等もして遊びたいのに公園だと小さい子も居て危険なので、もっと身近に球技が出来る施設や広場を多く作って欲しいです。
- 雨の日でも雪の日でも遊べる、屋根のある公園のような施設(遊具あり)がほしいです。また、1 年中入れる温水プール施設があるとうれしいです。
- 屋内施設の充実や、市の体育館を自由に使えるような仕組みがあると、子どもたちはもっと活動的に動けると思います。

3. 学校等教育環境について

- 学校ごとに校外学習や取り組みの内容に差が感じられるときがあるので、どの学校も同じような取り組みをしてほしい。例えば、修学旅行が2日のところもあれば1日だけのところもあったり、校外学習の行き先が学校によって近場だったり。
- 障害児の支援に関する施策がまだまだ足りない。教育センターに行けない不登校児への助けが無い。フリースクールが十和田市にできたらいいなと思います。
- 月曜日にも給食で白米を出してほしいです。

4. 経済的な支援の充実について

- 授業料、保育料など、教育に関するお金の無償化
- 母子(父子)家庭への補助は必要かも知れないが、両親家庭でも所得の少ない家庭への補助もほしかった。今の時代、同居を望まない両親もいて子育ての環境を考えると別で家を建てなければならず、家計がとても苦しい。
- 我が家は、子どもが3人いて、第一子が大学生となり、金銭的に苦しい。奨学金を月10万程借りているが、子どもに申し訳ない。できるなら親が返してあげたいと思うが余裕がない。子どもの為の支援や活動など色々あるが、行動派の一部の人だけが受けられる支援よりも、皆が自動で平等に受けられるような仕組みが欲しい。

5. 地域における子育て支援の充実について

- 十和田湖保育園の運営に対する市の支援について、感謝しております。町内会の地域の方々に支えられながら、子ども達は楽しく過ごさせていただき、保護者は安心して働くことができています。地域住民の1人として、この先、地域に子育て世代が増え、地域の子どもの数が増えていく事を期待しています。とはいえ、保育園に通う人数が、民間企業が安定して運営していけるほどの数になることは、現実的には厳しいのではないかと思います。子育て世代にとって、その地域に定着して住むことを考えるのに、子どもの小学校入学は大きい一つの要素だと思います。その小学校を決めるのにつながるものとして、やはり保育園も重要だと思います。安心して子どもを預けられる場所があることが、親としてはとても大事になりますし、逆にそれがなければ住むことはできません。現在の町内会運営の保育園は、地域の高齢化や、保育園運営に携われる人員の確保も、難しくなっていくことが予想されます。今後の子どもの数の変動や、保育園を支える地域住民の状況によって、市の支援のあり方も、たとえば人員派遣とか、町内会運営で負担軽減できる新しいルール作りとか、柔軟に対応していただければ、地域としても、保護者としてもありがたいと思っています。十和田湖だけでなく、過疎に悩む地域は今後増えていくと思いますので、今後の子育て支援の課題として、考えていただけたら大変ありがたいと思います。よろしくお願い致します。
- 十和田市内で、無料や子どものお小遣い程度の金額で楽しめるイベント（飲食、制作、体を動かす遊び場）など毎月あると、良い思い出作りになり嬉しい。企画など大変なのは重々承知ですが…。

6. 職場環境について

○子育ても大事だけど、仕事のキャリアややりがい失いたくない気持ちもあります。わがままだなと思いながら、仕事のせいで子どものやりたい習い事とかやらせてあげられないなど、可能性を潰している気がするし、残業も多く親子の時間も取れずで、不安やストレスが多いです。子どもの行事も職場で休み希望を出すために頭を下げて渋々休みをもらう環境で肩身が狭い。仕事を変えるべきかと日々考えます。

7. 病児・病後児保育の充実について

○職場の待遇としては看護休暇はとれるが、感染症が流行する時期は特に子育て世代が休むことが重なる。職場で何人か看護休暇を希望した時は希望を出している同僚と話し合って休みを取れるか取れないかということが決まることがある。病児保育もキャンセル待ちでないと使えないと言われると出勤したくてもできない。私たちの両親は市外に住んでおり遠方で、父は働いていたり、母は病氣、義母は派遣職員で融通はきくようだが車を持っていないため来ってもらうにもすぐに対応ができない。祖父母の世代も働いている時代、そして家族関係が良好な家庭ばかりではないため家族に頼みたくても頼めないという事情があることを知ってほしい。今は無料となつてとてもありがたいが、病児保育を利用してできるだけ出勤していたが働きに行ってもらう日給と利用料の差額でなんのために働いているのか、子育てをしながら働く意味がわからなくなることがある。サポートセンターを利用することも考えるが、料金が高く利用しづらい。両親が休んで看護にあたれるのが1番だが、それが難しい職場も多いと思う。働きながらも子どもを育て、みてくれるサービス、施設が増えることや利用した時の補助などあればとても助かります。

8. 情報提供・相談体制について

○学校に行きたくなかったり、行けなくなった子達がどこに相談し、どういふサポートがあるのか。どういふ取り組みをしているのか。いざそうなってから手探りで探すのではなく、前もって「こういう取り組みがあるんだな」と選択肢として知っておきたい。通級や特別支援学校なども同じく、そこを利用する人たちが知っていれば十分という域を超えても良いと思う。情報をオープンにすることで、周りの理解や協力が得られるのではないだろうか。

IV ニーズ調査の結果から見えた現状と課題

課題 1 子育て環境の変化への対応

【調査結果から見えた本市の現状】

- ▶ 平成 30 年度（前回調査時）と比べ、フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している親の割合に大きな変化はみられませんが、育休・介護休業中の方も含めたフルタイムで就労している母親は増加しています。
- ▶ 教育・保育事業を利用している保護者は 84.4%と、前回調査時と比較しても大きな変化は見られず、利用していない理由としては「子どもがまだ小さいため」が6割を占めています。
- ▶ こども誰でも通園制度については、約7割が利用を希望しています。また、利用したい頻度としては、「曜日や時間を固定せず、月 10 時間の範囲で自由に利用したい」の回答が多くなっています。

【課題の考察】

- ▶ 就労している母親が多い状況から、共働き家庭の増加も見据え、仕事と子育てを両立するための支援の拡充と多様なサービスの提供が求められます。また、今後子どもが大きくなったら利用したいと考える保護者がいることを踏まえた上で、教育・保育施設及び地域子ども・子育て支援事業の充実を図る必要があります。
- ▶ こども誰でも通園制度に対する保護者のニーズは一定数あり、保育施設・事業者の受入れ体制の整備や、利用枠の中で柔軟に通園が可能な仕組みづくりなどの検討が必要と考えられます。

課題 2 仕事と子育ての両立を支える環境づくり

【調査結果から見えた本市の現状】

- ▶ 就学前児童保護者では、子どもの病気やケガで仕事を休んだ経験がある保護者の5割以上が病児・病後児保育施設等の利用を希望しており、平成 30 年度（前回調査時）と比べて大幅に増加しています。
- ▶ 育児休業の取得状況をみると、平成 30 年度（前回調査時）に比べ父母ともに取得率は高くなっています。一方で、仕事の状況や職場の雰囲気、経済的な理由で、取得していない方も多くいました。

【課題の考察】

- ▶ 保護者が子育てと仕事を両立するための選択肢の1つとして、必要な時に病児・病後児保育施設等を利用できるよう体制を確保し、利用条件や利用方法などの情報を広く周知することが必要です。
- ▶ 父母ともに育児休業の取得率は増加していますが、依然として父親の約8割が育児休業を取得していない状況にあるため、雇用及び経済面において、安心して出産・育児ができるよう公的支援制度の周知・普及を図るとともに、父親の育児休業取得率の向上を目指し、育児に対する意識の改革や取得しやすい職場環境の整備が求められます。

課題3 安全で安心できる子育て環境の整備

【調査結果から見えた本市の現状】

- ▶ 子育てに関する親族・知人等の協力者については、約1割が「いない」と回答しています。
- ▶ 子育てに関して気軽に相談できる人・場所の有無については、9割以上が「ある」と回答しており、相談先として家族や身近な人、保育士や学校の先生となっている一方で、「ない」と回答した方が平成30年度（前回調査時）より増加しています。
- ▶ 今後教育・保育施設利用者の要望として、子どもを通わせる施設に対して、保護者の約6割が安全を最優先した保育を求めています。
- ▶ 就学前児童保護者において、小学校低学年の時の放課後の居場所として、約7割が放課後児童クラブ（仲よし会）を希望しています。小学生保護者の回答からは、習い事のニーズの高さが伺えますが、依然として一定数が放課後児童クラブ（仲よし会）の利用を希望していました。
- ▶ ヤングケアラーの認知度については、6割以上が「よく知っている」と回答している一方で、「よく知らない」、「聞いたことがない」と回答した方が3割以上います。

【課題の考察】

- ▶ 公的な保育サービスや相談機関の活用促進に向けて、教育・保育施設等と連携し、その活動の情報提供・普及を図るとともに、すべての保護者が気軽に相談できる（相談しやすい）体制づくりや環境整備をする必要があります。
- ▶ 変化する保護者のニーズを捉えて、保護者が安心して子どもを預けられ、子どもが安全・安心に過ごすことができる環境（居場所）を提供する必要があります。
- ▶ 子どもの放課後の過ごし方については、放課後児童クラブは一定の役割を担っています。子どもを預かるだけでなく、子どもの成長に繋がる取組であるため、保護者のニーズを反映しながら、よりよい事業内容への改善、環境・運営の整備を図り、さらに充実していくことが求められます。
- ▶ ヤングケアラーは複合的な課題を抱えていることが多く、自身がヤングケアラーであることに気づきにくいことから、学校等と連携しヤングケアラーを早期発見・支援する体制を構築する必要があります。

課題4 子育て環境や支援の充実（満足度）

【調査結果から見えた本市の現状】

- ▶ 本市の子育て環境や支援に対する満足度は、就学前児童保護者は「ふつう」38.7%、「やや満足」13.2%、「満足」4.1%の合計が56%、小学生保護者は「ふつう」44.4%、「やや満足」10.7%、「満足」1.9%の合計が57%となり、いずれの保護者からも概ねの評価は得られている状況です。一方で、就学前児童保護者、小学生保護者いずれも「やや不満」と回答した方が、平成30年度（前回調査時）に比べ増加しています。
- ▶ 子育て環境の充実については、「子どもの遊び場の充実」、「経済支援の充実」が重要であると回答した方が全体の5割以上を占めています。

【課題の考察】

- ▶ 本市の子育て環境や支援に対しての充実を図るためには、子育て中の保護者の視点に立った取組が必要です。
- ▶ 子ども医療費や給食費の無償化、保育料の軽減等、子育てにかかる経済的支援は進んでおりますが、福祉・保健・教育など多岐にわたるものであることから、各分野が相互に連携して取り組む必要があります。

V 資料編

(1) 就学前児童の保護者向け調査票

就学前児童保護者用調査票

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区（小学校区）はどこですか。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|------------|--------------|------------|
| 1. 三本木小学校区 | 2. 南小学校区 | 3. 北園小学校区 |
| 4. 東小学校区 | 5. 西小学校区 | 6. 藤坂小学校区 |
| 7. 高清水小学校区 | 8. 大深内小学校区 | 9. 深持小学校区 |
| 10. 四和小学校区 | 11. ちとせ小学校区 | 12. 沢田小学校区 |
| 13. 法奥小学校区 | 14. 十和田湖小学校区 | |

*小学校区が分からない場合は、住所をご記入ください。

十和田市 _____

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。 ※（□内に数字でご記入ください）

平成・令和 □□ 年 □□ 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。

※お子さんが2人以上の場合は、末子の生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください）

きょうだい数 □ 人 末子の生年月 平成・令和 □□ 年 □□ 月生まれ

問4 この調査票に回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|-------|-------|--------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|--------------------------------|

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶者の有無についてお聞きます。
（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|----------|--------------------------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） | |

子育てをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。
※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 |
| 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他（ | ） | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

- | | | | |
|-----------|---------|--------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 |
| 5. 認定こども園 | 6. その他（ | ） | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問10へ |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ |

⇒ 問10へ

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ |

）

問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問 10-1 へ | 2. いない／ない ⇒ 問 11 へ |
|---------------------|--------------------|

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 祖父母等の親族 |
| 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 子育て支援センター | 6. NPOなどの子育て支援団体 |
| 7. 保健所 | 8. 市役所（保健センター含む）の子育て相談等窓口 |
| 9. 保育士 | 10. 幼稚園教諭 |
| 11. 学校の先生 | 12. 民生委員・児童委員 |
| 13. 保健協力員 | 14. 病院・かかりつけの医師 |
| 15. 学校等相談機関（県教育センター・七戸養護学校） | 16. ベビーシッター |
| 17. その他（ ） | |

児童虐待やヤングケアラーに関することについてうかがいます。

問 11 「児童虐待」の通告先について、知っているものを選んでください。

（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 児童相談所 | 2. 警察 |
| 3. 市役所のこども家庭センター | 4. 知らない |

問 11-1 「児童虐待」の通告は「虐待の疑いがあると思う」場合でも、連絡できることを知っていましたか。

（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 11-2 通告しても通告者が特定されないよう配慮されることを知っていましたか。

（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 11-3 「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを言いますが、あなたは「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。

（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容もよく知っている | 2. 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3. 聞いたことがない | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親（女性の保護者を含む。以下同じ。）（あてはまる番号１つに○）

※父子家庭の場合は記入不要です。

1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ (1)-1へ
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ (2)へ
6. これまで就労したことがない	

（１）-1 （１）で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、□内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり □□ 日	1日当たり □□ 時間程度
------------	---------------

（１）-2 （１）で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、□内に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻 □□ 時台	帰宅時刻 □□ 時台
--------------	------------

（２）父親（男性の保護者を含む。以下同じ。）（あてはまる番号１つに○）

※母子家庭の場合は記入不要です。

1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	} ⇒ (2)-1へ
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ 問 13へ
6. これまで就労したことがない	

(2)-1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を、□内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間程度

(2)-2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、□内に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻 □ □ 時台 帰宅時刻 □ □ 時台

問13 問12の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は、問14へ

フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は、問15へ

就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)

※該当する□内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

- ① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 - ② パートタイム・アルバイト等(①以外)
- 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間程度

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- | |
|---|
| ① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
② パートタイム・アルバイト等（①以外）
→1週当たり 日 1日当たり 時間程度 |
|---|

**宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の
利用状況についてうかがいます。**

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 利用している → 問15-1へ | 2. 利用していない → 問15-5へ |
|--------------------|---------------------|

問15-1 問15-1～問15-4は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

（あてはまる番号すべてに○）

※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1. 幼稚園
（通常の就園時間の利用） | 2. 幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） |
| 3. 認可保育所
（保護者が市役所に申し込んで利用する施設） | 4. 認定こども園
（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） |
| 5. 認可外保育施設
（保護者が直接申し込んで利用する施設） | 6. 事業所内保育施設
（企業が主に従業員用に運営する施設） |
| 7. ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かる事業） | 8. 障がい児保育施設
（幼児通級教室） |
| 9. 小規模な保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた主に3歳未満の子どもを対象に定員概ね6～19人預かる施設）
※十和田市では、きく保育園が該当します | 10. その他
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 10px;"></div> |

問 15-6 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方のうち、宛名のお子さんの年齢が0歳から2歳の方にお伺いします。

国が取り組みを進めている「こども誰でも通園制度（仮称）」が開始された場合、月 10 時間まで定期的に利用できるとしたら、利用したいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

「こども誰でも通園制度（仮称）」とは、保護者の就労要件などを問わず、子どもを保育所などの施設に通わせることができる新たな制度で、令和 8 年度から全国的にスタートする予定です。
0 歳 6 か月から 2 歳までのふだん保育所などに通っていない子どもが対象です。

※「2. 3.」の場合は、利用を希望する時間帯も口内に数字でご記入ください。

※時間は、（例）13 時から 15 時のように 24 時間制でご記入ください。

※サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生する場合があります。

	利用したい時間帯
	時から 時
1. 月 1 回利用したい	} ⇒ ※月 10 時間の範囲内で記入してください。 （月 2 回の場合、1 日 5 時間まで、 毎週 1 回の場合、1 日 2 時間 30 分まで利用が上限です。）
2. 月 2 回定期的に利用したい	
3. 毎週 1 回定期的に利用したい	
4. 曜日や時間を固定せず、月 10 時間の範囲で自由に利用したい	
5. 利用したいと思わない	

問 16 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|--|--|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用) | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所
(保護者が市役所に申し込んで利用する施設) | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 認可外保育施設
(保護者が直接申し込んで利用する施設) | 6. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) |
| 7. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業) | 8. 障がい児保育施設
(幼児通級教室) |
| 9. 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた主に3歳未満の子どもを対象に定員概ね6～19人預かる施設) | 10. 家庭的保育
(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) |
| 11. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) | 12. その他
[] |

※現在、十和田市では実施していない事業も含まれています。

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 十和田市内 | 2. 十和田市外 |
|----------|----------|

問 16-2 問 16 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. ～12.」にも○をつけた方にうかがいます。

特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

**宛名のお子さんの地域の子育て支援拠点事業の
利用状況についてうかがいます。**

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。
（あてはまる番号1つに○）

※おおよその利用回数（頻度）を該当する□内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）を利用している
1 週当たり 回 もしくは 1 ヶ月当たり 回 程度
2. 利用していない

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（あてはまる番号1つに○）

※おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが利用したい
1 週当たり 回 もしくは 1 ヶ月当たり 回 程度
2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい
1 週当たり 更に 回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に 回 程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

※①～⑧の事業ごと、A～Cのそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業名等	A		B		C	
	知っている		これまでに利用 したことがある		今後利用したい	
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②市役所（保健センター含む）の情報・相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥子育て支援センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧子育て支援情報誌（子どもすこやか手帳等）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

問 19-1 問 19 C欄で（今後利用したい）で「いいえ」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。それぞれの理由に該当する問 19 の事業番号を記入してください。
 （あてはまる番号すべてに○） ⇒該当しない方は、問 20 へ

今後利用したいと思わない理由	事業番号
1. 特に利用する必要がない	
2. 事業の利用方法（手続き等）がわからない	
3. 事業の内容がよくわからない	
4. 利用料がわからない	
5. その他（ ）	

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の
「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか
 （一時的な利用は除きます）。

（（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

※希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。（例）08 時～18 時のように
 24 時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

1. 利用する必要はない	} ⇨	利用したい時間帯 時台から 時台まで
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

（2）日曜・祝日

1. 利用する必要はない	} ⇨	利用したい時間帯 時台から 時台まで
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

問 20-1 問 20 の（1）もしくは（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいま
 す。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他（ ）	

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。⇒利用されていない方は、問 22 へ
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望します
か。(あてはまる番号 1 つに○)

※希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。(例) 08 時～18 時のように 24
時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	} ⇨	利用したい時間帯
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		時台から
3. 休みの期間中、週に数日利用したい		時台まで

問 21-1 問 21 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよい | |
| 4. 利用料がかかる・高い | 5. 利用料がわからない |
| 6. 親が仕事を休んで対応する | 7. その他() |

問 22-5 問 22-1 で「3. ～9.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
 (あてはまる番号1つに○)

※「3. ～9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を□内に数字でご記入ください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問 23 へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 22-6 へ |

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他() |

**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や
宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 23 宛名のお子さんについて、平日の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

※1年間の利用日数(おおよそ)も□内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□ □ 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	□ □ 日
5. ベビーシッター	□ □ 日
6. その他()	□ □ 日
7. 利用していない	

⇒ 問 24 へ

→ 問 23-1 問 23 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない	8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他()	

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	□ □ 日
① 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的		□ □ 日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等		□ □ 日
③ 不定期の就労		□ □ 日
④ その他()		□ □ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問 25 へ		

⇒ 問 24-1 へ

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 24 の目的でお子さんを預ける場合、以下のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 大規模施設で子どもを預かる事業 (例: 幼稚園・保育所 等)
2. 小規模施設で子どもを預かる事業 (例: 地域子育て支援拠点等)
3. 地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業 (例: ファミリー・サポート・センター等)
4. その他 ()

問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族 (兄弟姉妹含む) の育児疲れや育児不安、病気など) により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

※短期入所生活援助事業 (ショートステイ) (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業) の利用希望の有無について当てはまる番号・丸数字すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください (利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担があります。

1. 利用したい	計			日
① 冠婚葬祭				日
② 保護者や家族の育児疲れ・不安				日
③ 保護者や家族の病気				日
④ その他 ()				日
2. 利用する必要はない ⇒ 問 26 へ				

**宛名のお子さんが5歳以上の方に、
小学校就学後、希望する放課後の過ごし方についてうかがいます。**

⇒ 5歳未満の方は、問 30 へ

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。

※「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も 30 分単位で口内に数字でご記入ください。（例）18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…十和田市では仲よし会と呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。
事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 図書館	週 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ（仲よし会）	週 日くらい → 下校時から 時 分まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
8. 保育所等の自主事業による学童保育	週 日くらい
9. 部活動・クラブ活動・スポーツ少年団等	週 日くらい
10. 障がい児童福祉施設（放課後等デイサービス）	週 日くらい
11. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

※ 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての児童が利用できます。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。

※「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も 30 分単位で口内に数字でご記入ください。（例）18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

※だいたいのことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 図書館	週 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ（仲よし会）	週 日くらい → 下校時から 時 分まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
8. 保育所等の自主事業による学童保育	週 日くらい
9. 部活動・クラブ活動・スポーツ少年団等	週 日くらい
10. 障がい児童福祉施設（放課後等デイサービス）	週 日くらい
11. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（仲よし会）」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 30 へ

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

（（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○）

※事業の利用には一定の利用料がかかります。

※利用したい時間帯を 30 分単位で口内に数字でご記入ください。

（例）08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} →	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		時 分から
3. 利用する必要はない		時 分まで

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} →	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		時 分から
3. 利用する必要はない		時 分まで

問 29 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

※事業の利用には一定の利用料がかかります。

※利用したい時間帯を30分単位で□内に数字でご記入ください。

(例) 08時～18時 のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} →	利用したい時間帯	
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□ □ 時 □ □ 分から	□ □ 時 □ □ 分まで
3. 利用する必要はない			

**すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。**

問 30 宛名のおさんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

(母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

※取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親 (いずれかに○)	(2) 父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である) ⇒ 問 30-1 へ	2. 取得した(取得中である) ⇒ 問 30-1 へ
3. 取得していない ⇒	3. 取得していない ⇒
取得していない理由(下から番号を 選んでご記入ください)(いくつでも)	取得していない理由(下から番号を 選んでご記入ください)(いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育所などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
 15. その他 母親 ()
父親 ()

問 30-1 問 30 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-2 へ
 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-8 へ
 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31 へ

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-2 へ
 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-8 へ
 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31 へ

問 30-2 問 30-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（どちらか 1 つに○）

※年度初めで認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。

※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」と回答してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問 30-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

※□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月 希望 □ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月 希望 □ 歳 □ □ ヶ月

問 30-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

※□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

	歳			ヶ月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

(2) 父親

	歳			ヶ月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

問 30-5 問 30-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

①母親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

②父親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

問 30-8 問 30-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

(2) 父親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

問 31 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み※1、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間において健康保健及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み※2があります。そのことをご存知でしたか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた |
| 2. 育児休業給付のみ知っていた |
| 3. 保険料免除のみ知っていた |
| 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

※1 保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月となります。

※2 法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準する措置です。

問 32 十和田市における子育て環境や支援への満足度をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い	←————→				満足度が高い
1. 不満	2. やや不満	3. ふつう	4. やや満足	5. 満足	

(2) 小学生の保護者向け調査票

小学生保護者用調査票

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区（小学校区）はどこですか。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|------------|--------------|------------|
| 1. 三本木小学校区 | 2. 南小学校区 | 3. 北園小学校区 |
| 4. 東小学校区 | 5. 西小学校区 | 6. 藤坂小学校区 |
| 7. 高清水小学校区 | 8. 大深内小学校区 | 9. 深持小学校区 |
| 10. 四和小学校区 | 11. ちとせ小学校区 | 12. 沢田小学校区 |
| 13. 法奥小学校区 | 14. 十和田湖小学校区 | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。 ※（□内に数字でご記入ください）

平成□□年□□月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。

※お子さんが2人以上の場合は、末子の生年月月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください）

きょうだい数□人 末子の生年月 平成・令和□□年□□月生まれ

問4 この調査票に回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶者の有無についてお聞します。
（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） | |

子育てをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。
※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | | |
|-----------|--------|--------|-----------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 小学校 | 6. 幼稚園 | 7. 保育所 | 8. 認定こども園 |
| 9. その他（ ） | | | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|-----------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 小学校 |
| 4. 幼稚園 | 5. 保育所 | 6. 認定こども園 |
| 7. その他（ ） | | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒ 問10へ | |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

⇒ 問10へ

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問10-1へ | 2. いない／ない ⇒ 問11へ |
|-------------------|------------------|

問10-1 問10で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 祖父母等の親族 |
| 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 子育て支援センター | 6. NPOなどの子育て支援団体 |
| 7. 保健所 | 8. 市役所（保健センター含む）の子育て相談等窓口 |
| 9. 保育士 | 10. 幼稚園教諭 |
| 11. 学校の先生 | 12. 民生委員・児童委員 |
| 13. 保健協力員 | 14. 病院・かかりつけの医師 |
| 15. 学校等相談機関（県教育センター・七戸養護学校） | 16. ベビーシッター |
| 17. その他 () | |

児童虐待やヤングケアラーに関することについてうかがいます。

問11 「児童虐待」の通告先について、知っているものを選んでください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 児童相談所 | 2. 警察 |
| 3. 市役所のこども家庭センター | 4. 知らない |

問11-1「児童虐待」の通告は「虐待の疑いがあると思う」場合でも、連絡できることを知っていましたか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 11-2 通告しても通告者が特定されないよう配慮されることを知っていましたか。

(あてはまる番号 1 つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 11-3 「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを言いますが、あなたは「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。

(あてはまる番号 1 つに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容もよく知っている | 2. 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3. 聞いたことがない | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親（女性の保護者を含む。以下同じ。）（あてはまる番号 1 つに○）

※父子家庭の場合は記入不要です。

- | | |
|--|------------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ (1)-1へ |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ (2)へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

(1)-1 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、□内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり □ □ 日 1日当たり □ □ 時間程度

(1)-2 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、□内に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻 □ □ 時台 帰宅時刻 □ □ 時台

(2) 父親（男性の保護者を含む。以下同じ。）（あてはまる番号1つに○）

※母子家庭の場合は記入不要です。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	⇒ (2)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ 問13へ
6. これまで就労したことがない	

(2)-1 (1)で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、□内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり	日	1日当たり	時間程度
-------	------------------------	-------	--

(2)-2 (2)で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、□内に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻	時台	帰宅時刻	時台
--------	--	------	--

問13 問12の(1)または(2)で「3. 4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は、問14へ

フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。⇒該当しない方は、問 15 へ就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)
※該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- | | |
|--|------------------------------------|
| ① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
② パートタイム・アルバイト等(①以外) | →1週当たり 日 1日当たり 時間程度 |
|--|------------------------------------|

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- | | |
|--|------------------------------------|
| ① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
② パートタイム・アルバイト等(①以外) | →1週当たり 日 1日当たり 時間程度 |
|--|------------------------------------|

問 15-4 問 15-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよい | |
| 4. 利用料がかかる・高い | 5. 利用料がわからない |
| 6. 親が仕事を休んで対応する | 7. その他() |

⇒ 問 16 へ

問 15-5 問 15-1 で「3. ～9.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
 (あてはまる番号1つに○)

※「3. ～9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を□内に数字でご記入ください。

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □ □ 日 | ⇒ 問 16 へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい | ⇒ 問 15-6 へ |

問 15-6 問 15-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他() |

問 16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるものをお答えください。
 ※①～⑨の事業ごと、A・Bのそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業名等	A		B	
	知っている		これまでに利用 したことがある	
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ
②市役所(保健センター含む)の情報・相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥子育て支援センター	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧子育て支援情報誌(子どもすこやか手帳等)	はい	いいえ	はい	いいえ

問 18 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。

※「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も 30 分単位で口内に数字でご記入ください。（例）18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…十和田市では仲よし会と呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。
事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 図書館	週 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ（仲よし会）	週 日くらい →下校時から 時 分まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
8. 保育所等の自主事業による学童保育	週 日くらい
9. 部活動・クラブ活動・スポーツ少年団等	週 日くらい
10. 障がい児童福祉施設（放課後等デイサービス）	週 日くらい
11. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

※ 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての児童が利用できます。

問 19 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。

※「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も 30 分単位で口内に数字でご記入ください。（例）18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 図書館	週 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ（仲よし会）	週 日くらい → 下校時から 時 分まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
8. 保育所等の自主事業による学童保育	週 日くらい
9. 部活動・クラブ活動・スポーツ少年団等	週 日くらい
10. 障がい児童福祉施設（放課後等デイサービス）	週 日くらい
11. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

問 20 問 18 または問 19 で「6. 放課後児童クラブ（仲よし会）」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 22 へ

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

（（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○）

※事業の利用には一定の利用料がかかります。

※利用したい時間帯を 30 分単位で口内に数字でご記入ください。

（例）08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯 時 分から 時 分まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯 時 分から 時 分まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

※事業の利用には一定の利用料がかかります。

※利用したい時間帯を30分単位で□内に数字でご記入ください。

(例) 08時～18時 のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯					
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□	□	時	□	□	分から
3. 利用する必要はない		□	□	時	□	□	分まで

問 22 十和田市における子育て環境や支援への満足度をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い	←————→				満足度が高い
1. 不満	2. やや不満	3. ふつう	4. やや満足	5. 満足	

問 23 十和田市の子育て環境充実のため、今後どのようなことが重要だと思いますか。特に重要だと思う番号3つまでに○をつけてください。

1. 子育てに関する相談体制の充実
2. 情報提供の充実
3. 親子・親同士の交流の場の充実
4. 家庭の教育力向上のための学習機会の充実
5. 母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問等の充実
6. 子どもの遊び場の充実
7. 放課後児童クラブ(仲よし会)の充実
8. 児童虐待やいじめ等に対する対策の充実
9. 地域で安心して生活できる障がい児施策の充実
10. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
11. 保育料・授業料など経済支援の充実
12. 家庭で保育する世帯へのサポート支援の充実
13. 一時預かりや子育て短期支援事業などの緊急的・一時的な預かり体制の充実
14. 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発
15. 親子トイレ・授乳コーナーの設置等、子どもにやさしい環境整備の充実
16. 犯罪や事故から子どもを守るための取組の充実
17. その他()

問 24 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

十和田市
子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査
調査結果報告書
令和7年1月

十和田市 健康福祉部 こども支援課
〒034-0081 青森県十和田市西十三番町 4-37
(十和田市保健センター内)
TEL : 0176-51-6717 FAX : 0176-23-5114
